

7 ビューティフル・ウィンドウズ運動

-
- (1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況
 - (2) 参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み
 - (3) 『花のビュー坊プレート』『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況
 - (4) 治安が改善していることの認知
 - (5) 居住地域の治安状況
 - (6) 区内の治安が良いと感じる点
 - (7) 区内の治安が悪いと感じる点
 - (8) 治安対策として区に力を入れてほしいこと
 - (9) 駐車時の鍵かけ状況
-

7 ビューティフル・ウィンドウズ運動

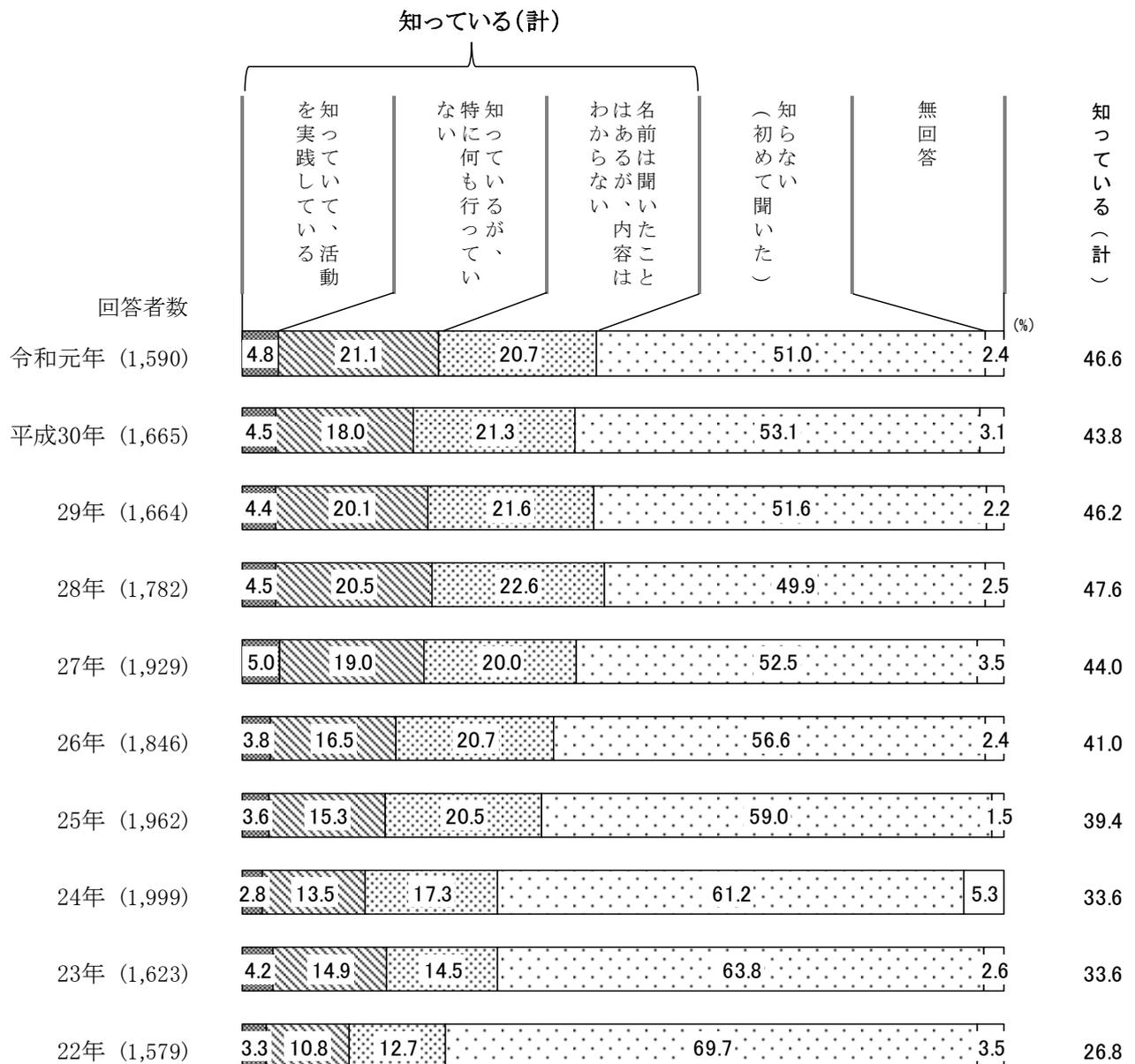
(1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

■ 【知っている】が半数近く

問32 あなたは、足立区が取り組んでいる「ビューティフル・ウィンドウズ運動（※）」という取り組みを知っていますか（○は1つだけ）。

※ 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」とは、「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑止しようという足立区独自の運動です。区は、警視庁や区民のみなさんと協働して、まちの美化活動や防犯パトロールなどの取り組みを推進し、犯罪のない住みよいまちの実現をめざしています。

図7-1-1 経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



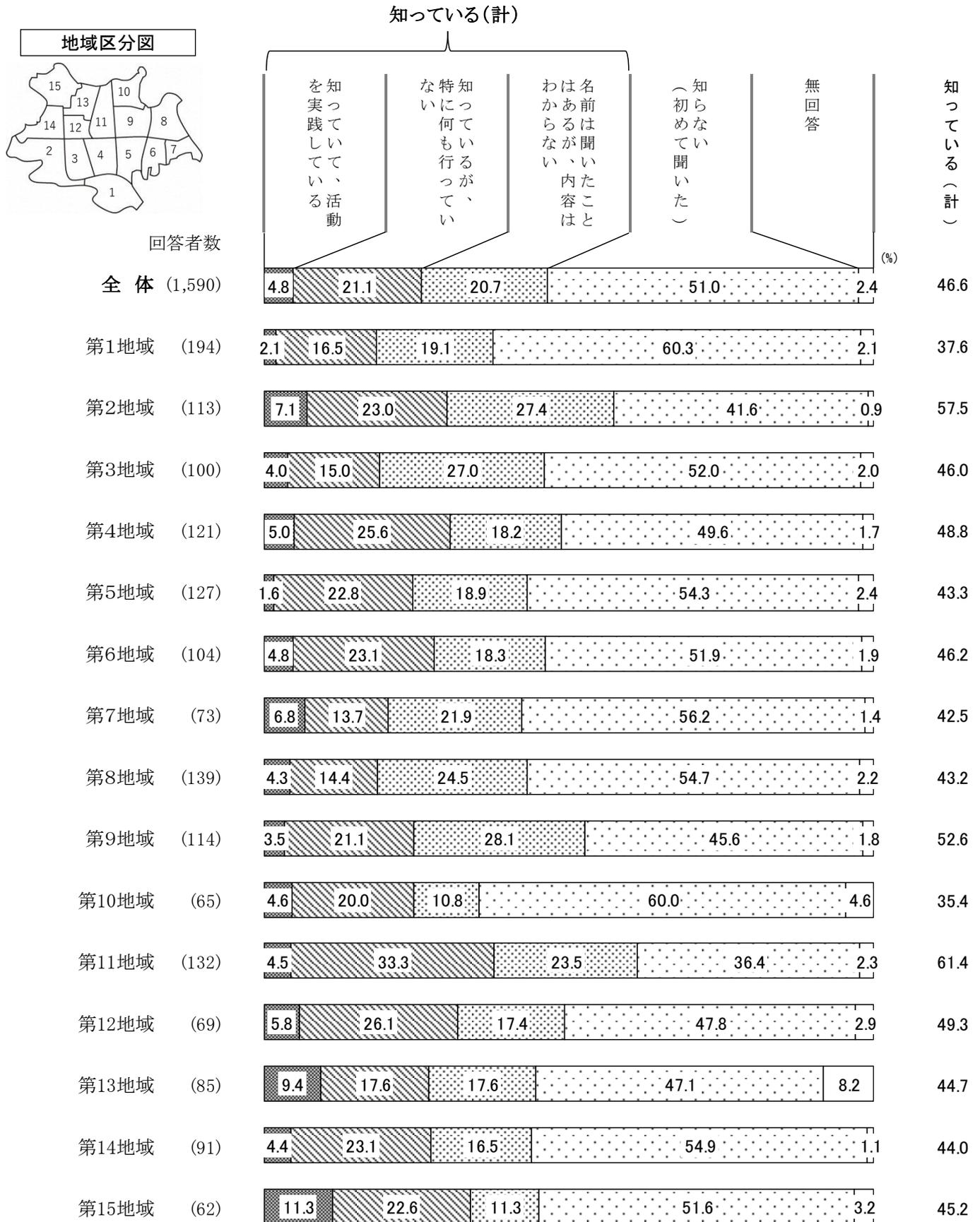
第3章 調査結果の分析〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知っていて、活動を実践している」は4.8%で、これに「知っているが、特に何も行っていない」(21.1%)、「名前は聞いたことはあるが、内容はわからない」(20.7%)を合わせた【知っている】は46.6%となっている。

経年でみると、【知っている】は、平成28年の47.6%を頂点として平成29年以降は2年続けて微減していたが、今回は46.6%と前回より2.8ポイント増加して平成29年と同水準となっている。

地域別でみると、【知っている】は第11地域で61.4%と最も高いほか、第2地域でも6割弱と高くなっている。

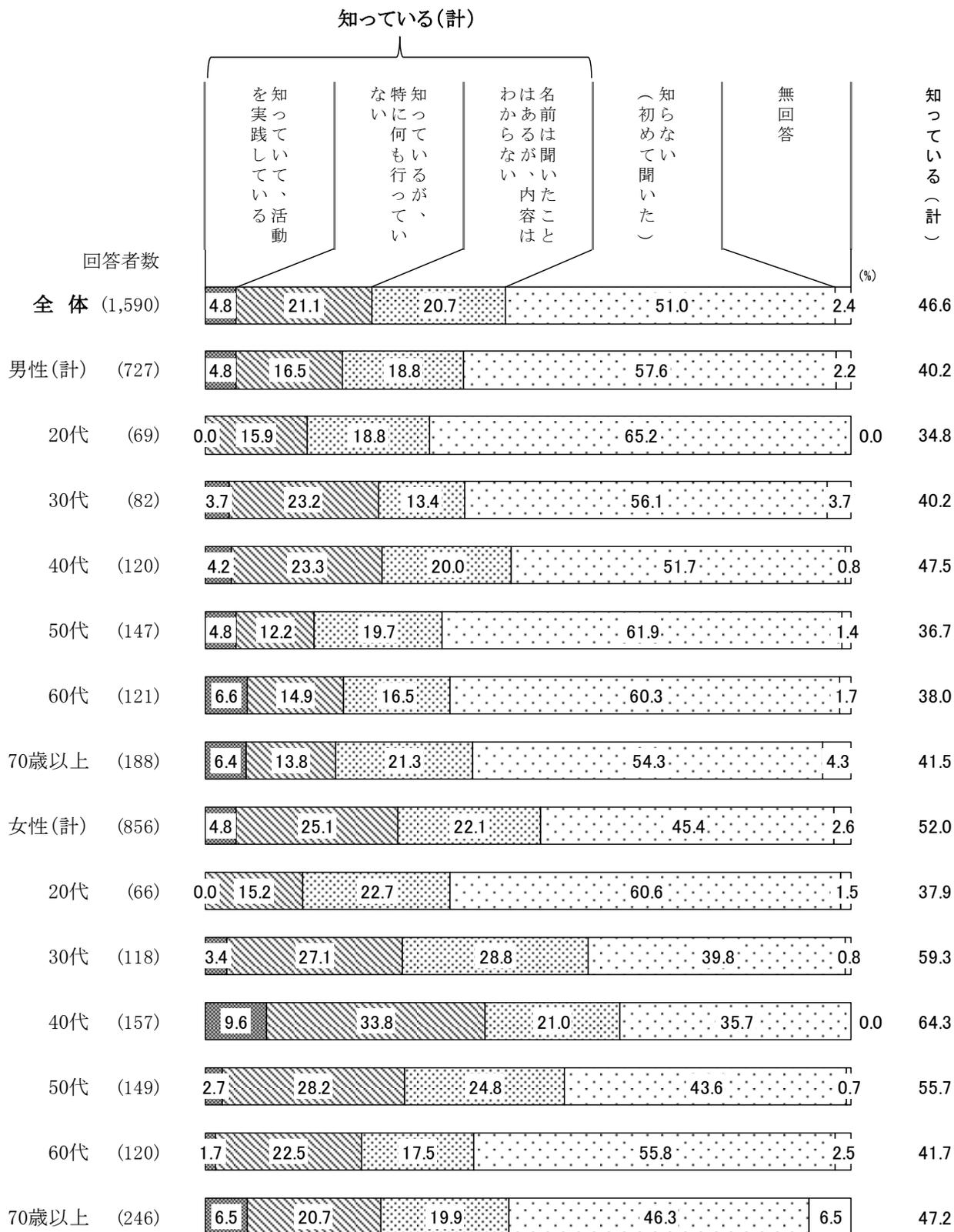
図7-1-2 地域別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

性別でみると、【知っている】は男性40.2%、女性52.0%と、男性より女性が高くなっている。
 性・年代別でみると、男性では、【知っている】が40代で47.5%と最も高いほか、30代と70歳以上でも4割を超えている。
 女性では、【知っている】が40代で64.3%と最も高いほか、30代と50代でも5割台後半と高くなっている。

図7-1-3 性別、性・年代別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



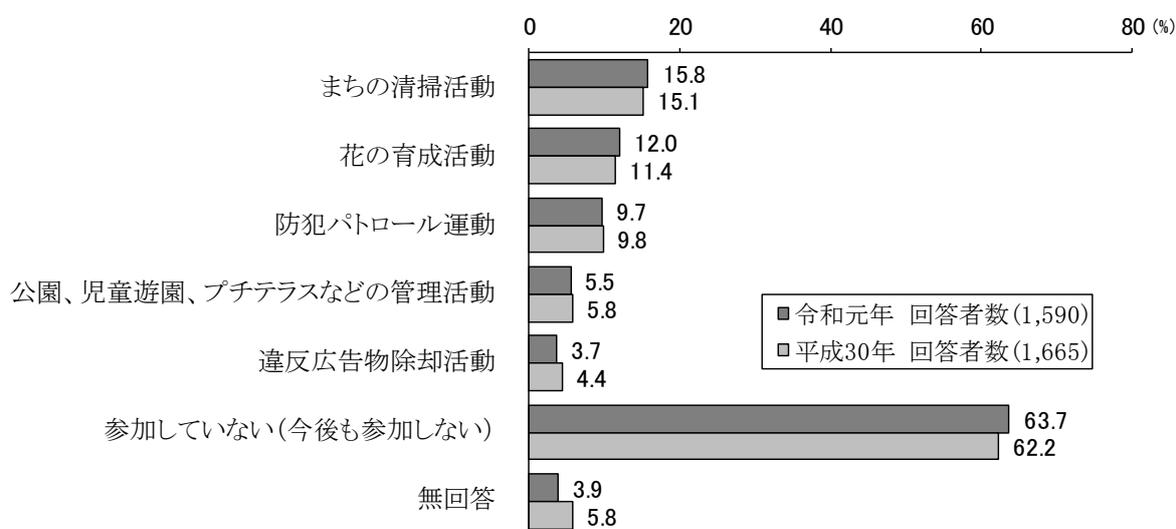
(2) 参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

■ 「まちの清掃活動」が1割台半ばと最多も、「参加していない(今後も参加しない)」が6割台半ばに達する

問33 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関連する取り組みのうち、あなたが現在参加している、もしくは今後参加したいものは何ですか（○はあてはまるものすべて）。

図7-2-1 前回調査比較／

参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



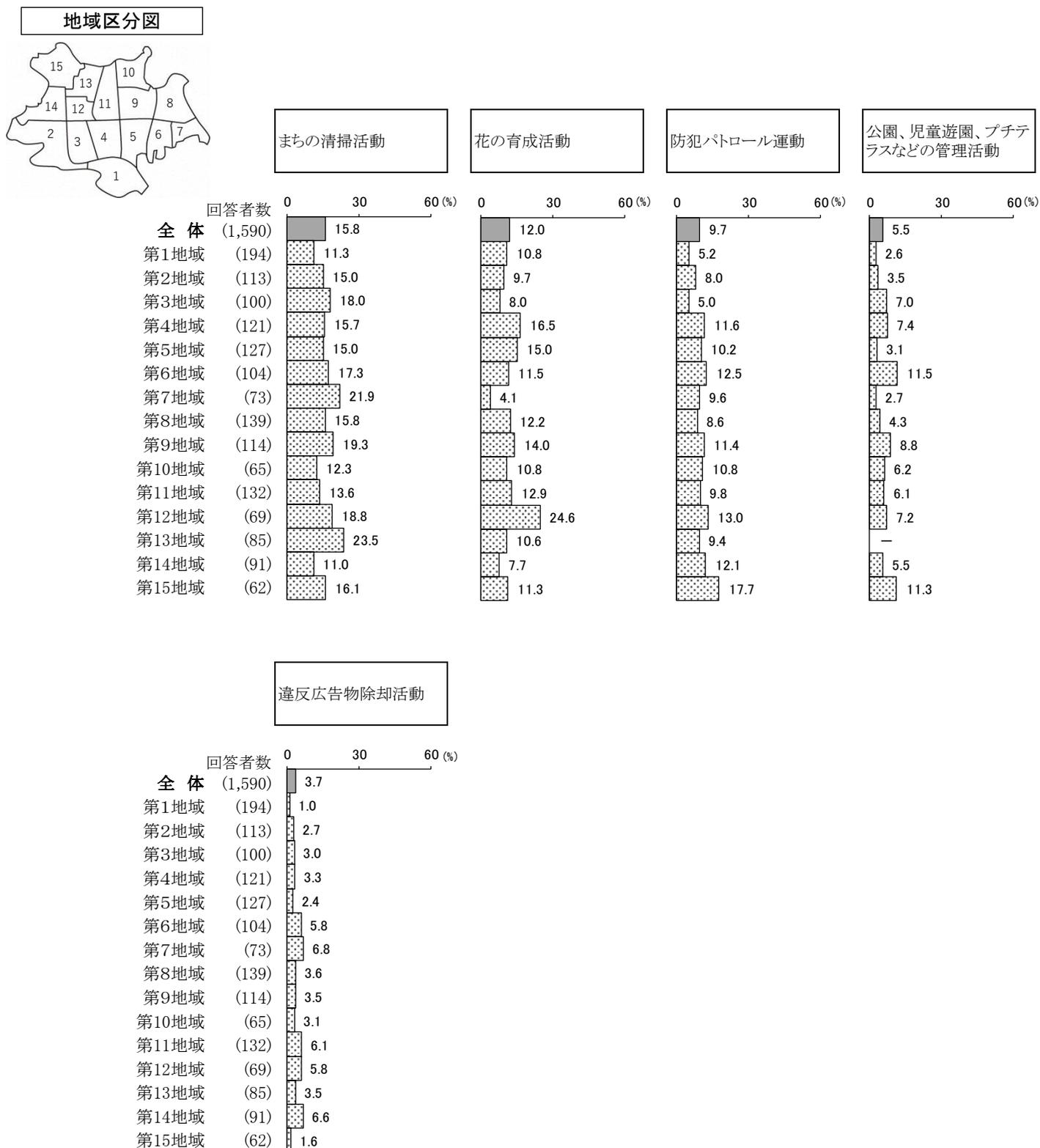
「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関する取り組みのうち、現在参加している、もしくは今後参加したい取り組みを聞いたところ、「まちの清掃活動」が15.8%で最も高く、以下「花の育成活動」(12.0%)、「防犯パトロール運動」(9.7%)の順となっている。一方、「参加していない(今後も参加しない)」は63.7%となっている。

第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

地域別でみると、「まちの清掃活動」は第13地域で23.5%と高くなっている。「花の育成活動」は第12地域で24.6%と高く、「防犯パトロール」は第15地域で17.7%と高くなっている。

図7-2-2 地域別／

参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

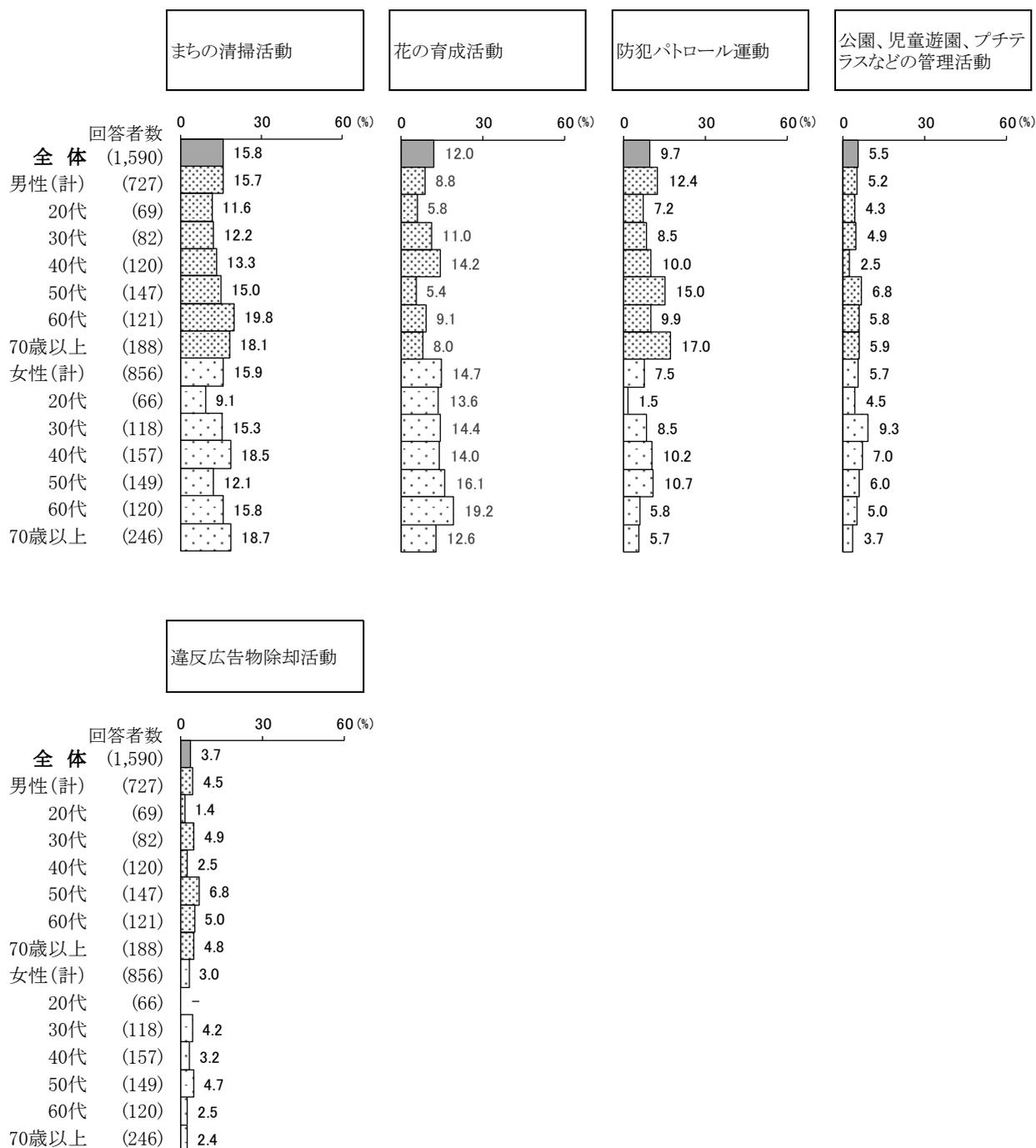


性別でみると、「まちの清掃活動」は男性が15.7%、女性が15.9%でほとんど違いはみられない。また、「花の育成活動」は女性が14.7%と男性（8.8%）を上回って高い。

性・年代別でみると、男性の50代と70歳以上の両層では「防犯パトロール運動」が1割台後半と高くなっている。

女性では、60代で「花の育成活動」（19.2%）が最も高くなっている。また、20代で「まちの清掃活動」が1割未満と低くなっている。

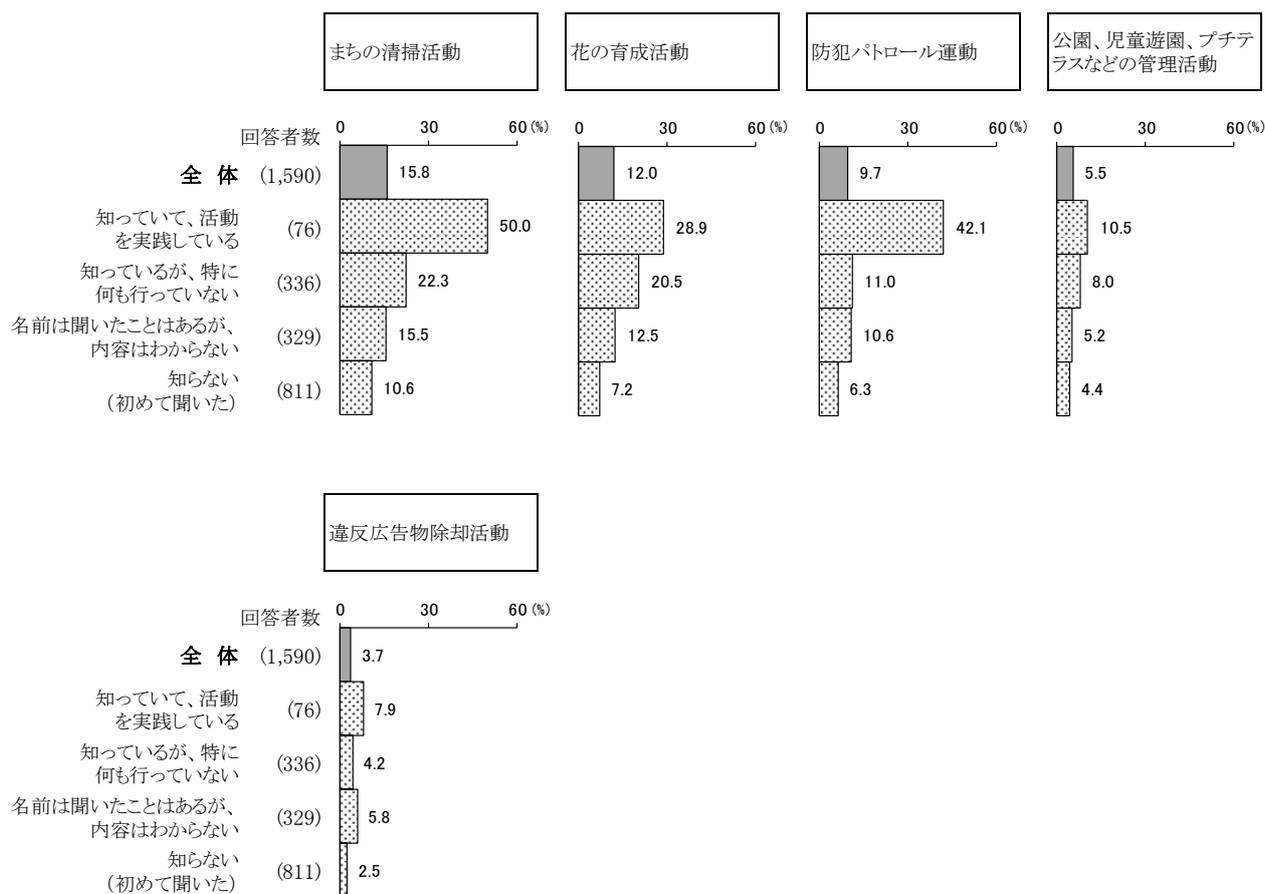
図7-2-3 性別、性・年代別／
参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別にみると、上位3項目については認知・実践レベルが高いほど、それぞれの取り組みに対する参加率、参加意向は高くなる傾向がみられ、その傾向は“知っている、活動を実践している”層でとくに顕著で、「まちの清掃活動」(50.0%)と「防犯パトロール運動」(42.1%)はそれぞれ全体に比べて30ポイント以上高くなっている。

図7-2-4 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別／
参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



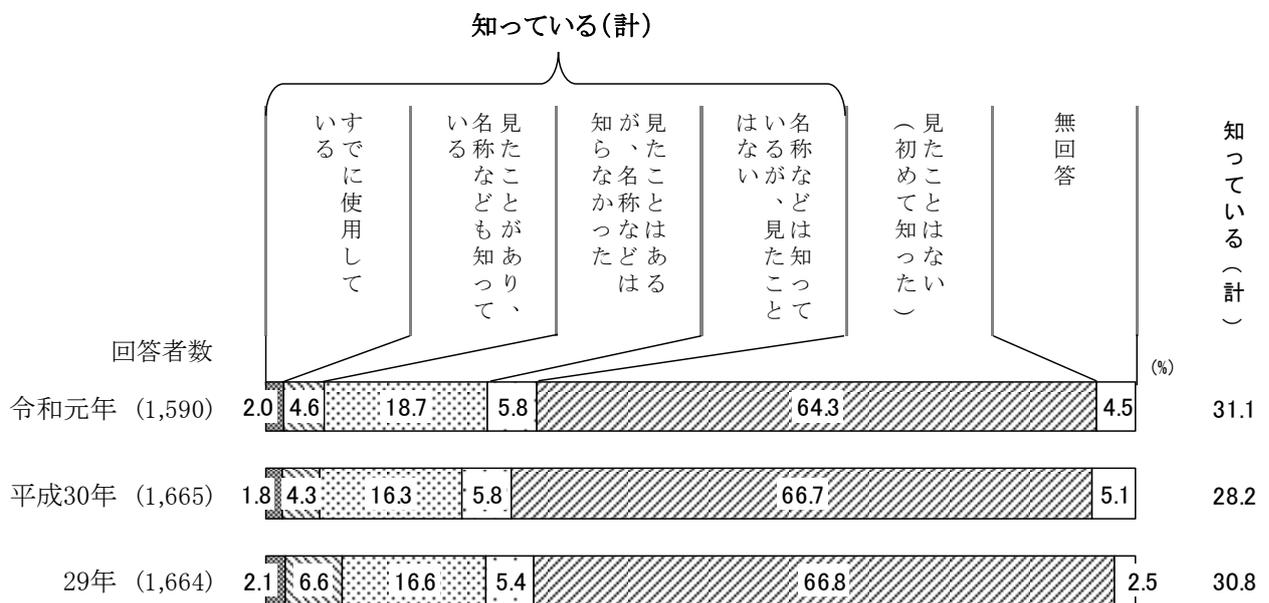
(3) 『花のビュー坊プレート』『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況

■ 「見たことはない（初めて知った）」が6割台半ば

問34 あなたの行動範囲で、「花のあるまちかど事業（※）」の『花のビュー坊プレート』や『ビュー坊のガーデンピック』を見たことがありますか（○はそれぞれ1つずつ）。

※ 「花のあるまちかど事業」とは、玄関先や店先で鉢植えやプランターを飾ったり、公園や公共施設などの花壇で花を育てることにより、まちを彩ることと、花の手入れを行う際の人の目で犯罪を抑止しようとする事業です。植木鉢などに『花のビュー坊プレート』や『ビュー坊のガーデンピック』をさして、事業をアピールしています。

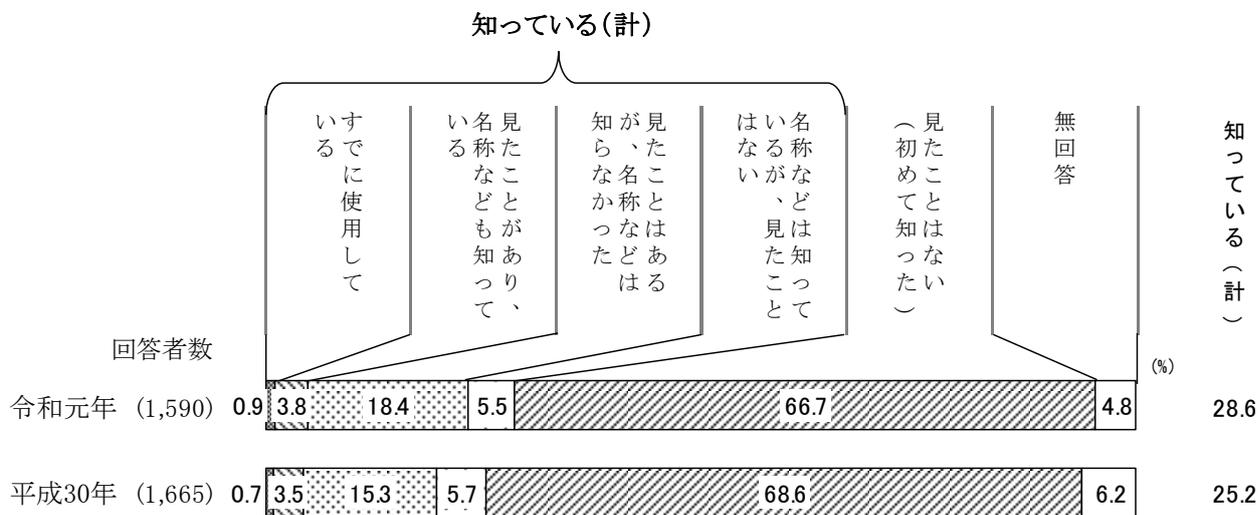
図7-3-1-① 経年比較／『花のビュー坊プレート』の認知状況



『花のビュー坊プレート』を「すでに使用している」は2.0%で、これに「見たことがあり、名称なども知っている」（4.6%）、「見たことはあるが、名称などは知らなかった」（18.7%）、「名称などは知っているが、見たことはない」（5.8%）を合わせた【知っている】は31.1%となっている。一方、「見たことはない（初めて知った）」は64.3%となっている。

経年でみると、今回は【知っている】が31.1%と、平成30年の28.2%から微増しており、これまでの3年の調査の中で最も高くなっている。

図7-3-1-② 前回調査比較／『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況



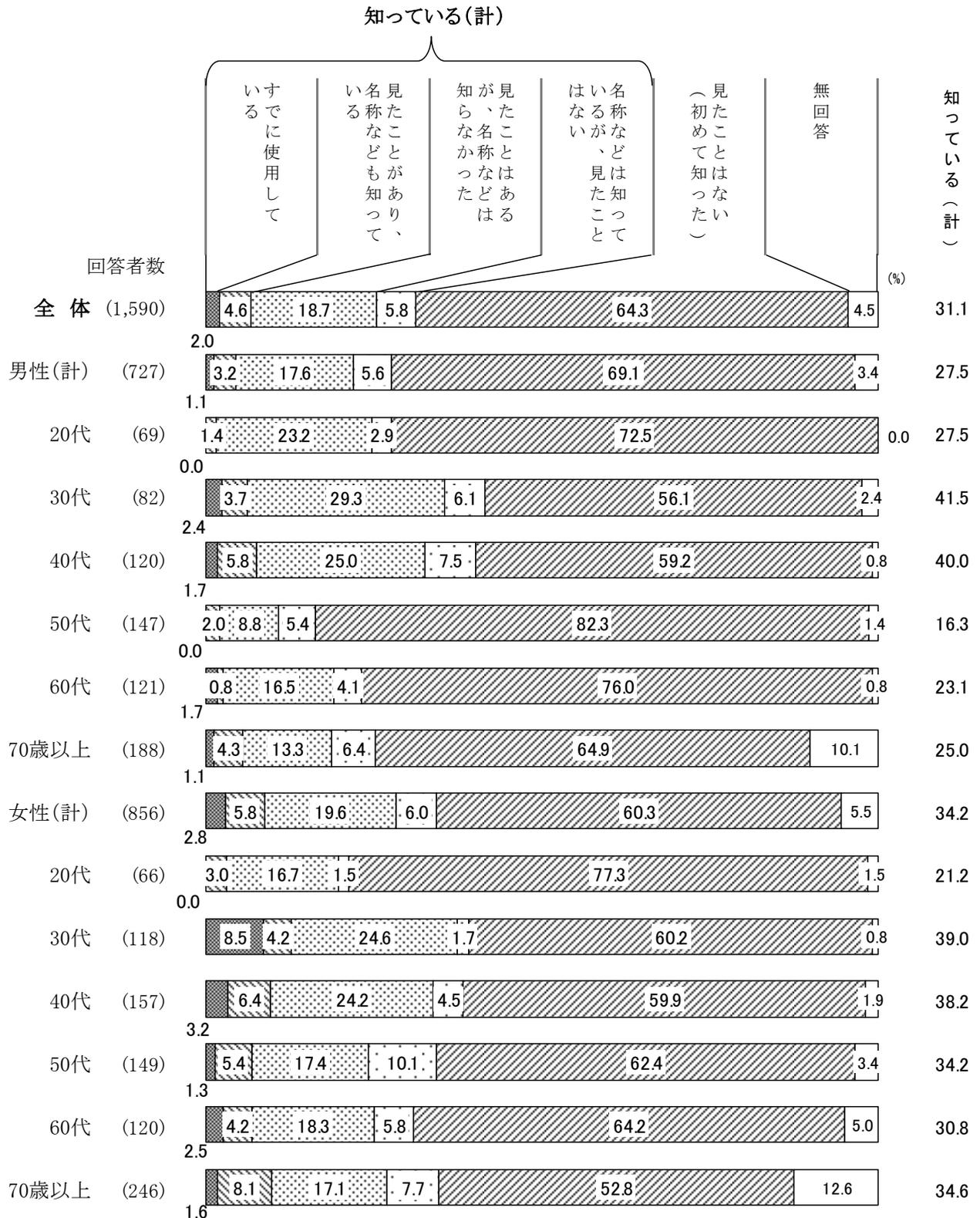
『ビュー坊のガーデンピック』を「すでに使用している」は0.9%で、これに「見たことがあり、名称なども知っている」(3.8%)、「見たことはあるが、名称などは知らなかった」(18.4%)、「名称などは知っているが、見たことはない」(5.5%)を合わせた【知っている】は28.6%となっている。一方、「見たことはない(初めて知った)」は66.7%となっている。

前回と比較すると、【知っている】は今回28.6%で、前回より3.4ポイント増加しており、中では「見たことはあるが、名称などは知らなかった」(平成30年15.3%→令和元年18.4%)で伸びが大きめとなっている。

『花のビュー坊プレート』の認知状況を性別でみると、【知っている】は男性27.5%、女性34.2%で女性の方が高くなっている。

性・年代別でみると、【知っている】は、男女ともに30代と40代でそれぞれ4割前後と高くなっている。

図7-3-2-① 性別、性・年代別／『花のビュー坊プレート』の認知状況

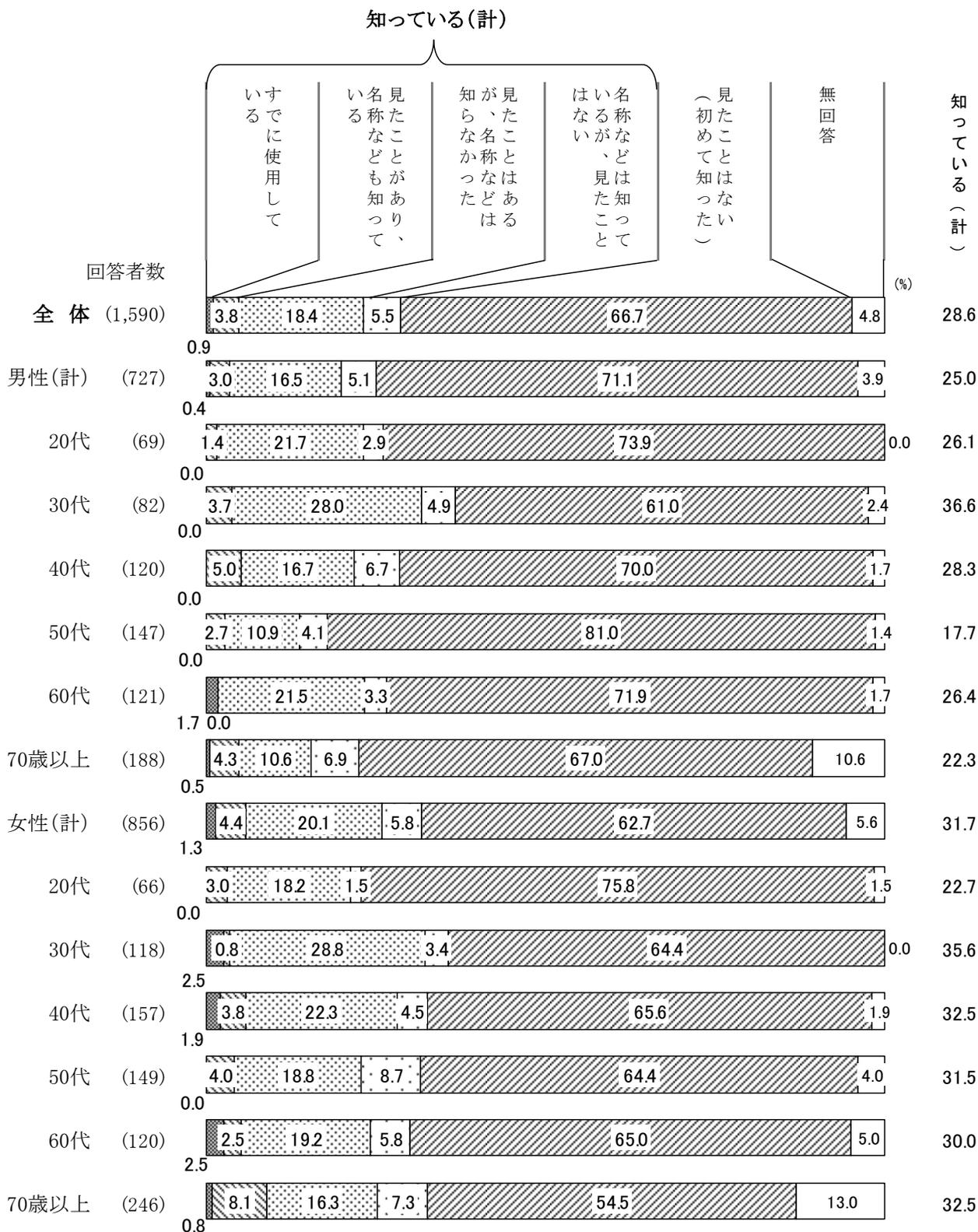


第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況を性別で見ると、【知っている】は、男性25.0%、女性31.7%で、女性の方がやや高くなっている。

性・年代別で見ると、【知っている】は、男女ともに30代で、それぞれ3割台後半で最も高くなっているが、男性の50代では2割に届かず低くなっている。

図7-3-2-② 性別、性・年代別／『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況



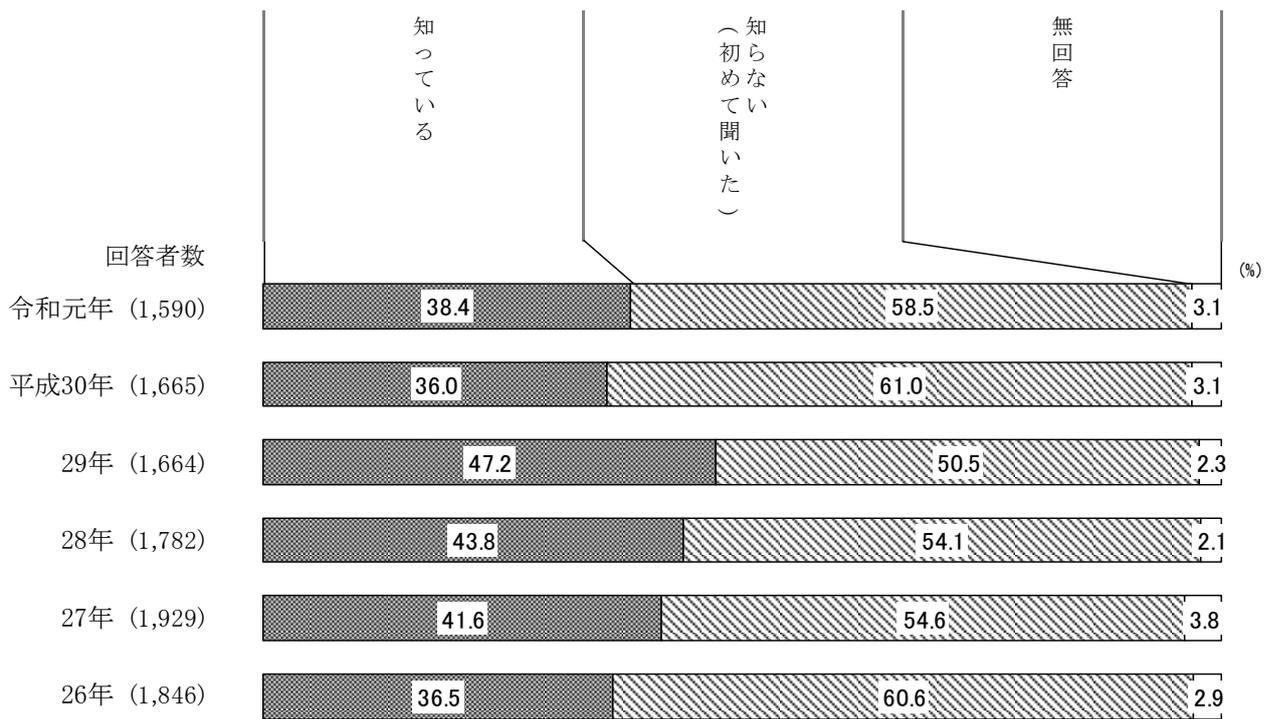
(4) 治安が改善していることの認知

■ 「知っている」が4割弱、「知らない（初めて聞いた）」が6割弱

問35 あなたは、足立区内の刑法犯認知件数（※）がピーク時から1万件以上、減少していることを知っていますか（○は1つだけ）。

※ 警察が犯罪について、被害の届出などによりその発生を確認した件数。ただし、交通違反などを除きます。

図7-4-1 経年比較／治安が改善していることの認知



※ 平成29年度までの設問文は、「あなたは、平成〇年の足立区内の刑法犯認知件数（※）が減少し、治安が改善していることを知っていますか。※ 警察が犯罪について、被害の届出などによりその発生を確認した件数。ただし、交通違反などを除きます。」

足立区内の刑法犯認知件数がピーク時から1万件以上、減少していることについて、「知っている」は38.4%である。一方、「知らない（初めて聞いた）」は58.5%となっている。

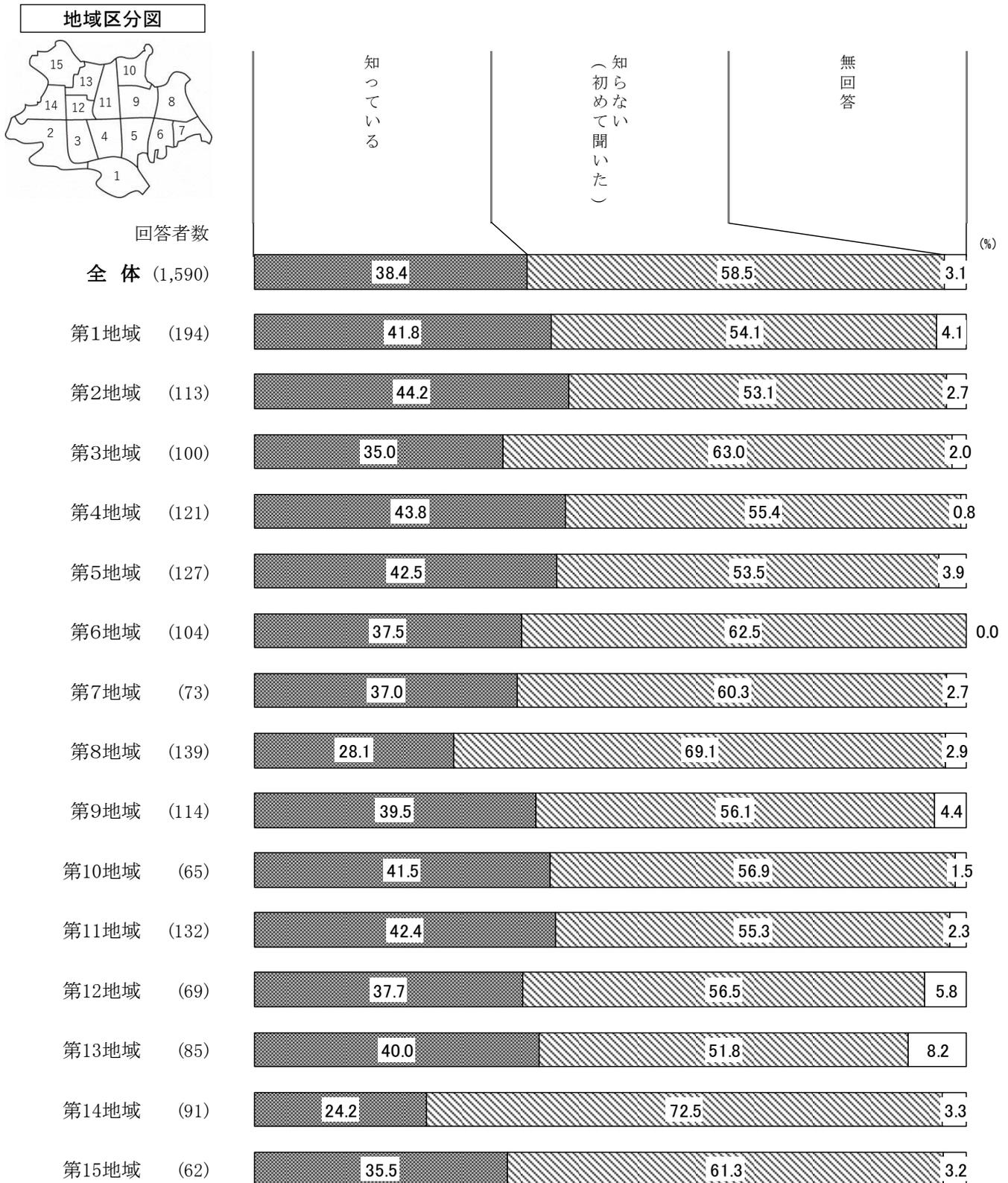
経年でみると、令和元年の「知っている」は38.4%で前回の36.0%から2.4ポイント増加している。

なお、平成26年から平成29年までの調査結果は、設問文が部分的に異なるため参考として掲載するが、単純に比較はできないためコメントはつけていない。

第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

地域別でみると、「知っている」は第2地域で44.2%と最も高く、第1地域、第4地域、第5地域、第10地域、第11地域、第13地域でも4割台とやや高くなっている。一方、「知らない」は第14地域で72.5%と最も高く、第8地域でも7割弱と高くなっている。

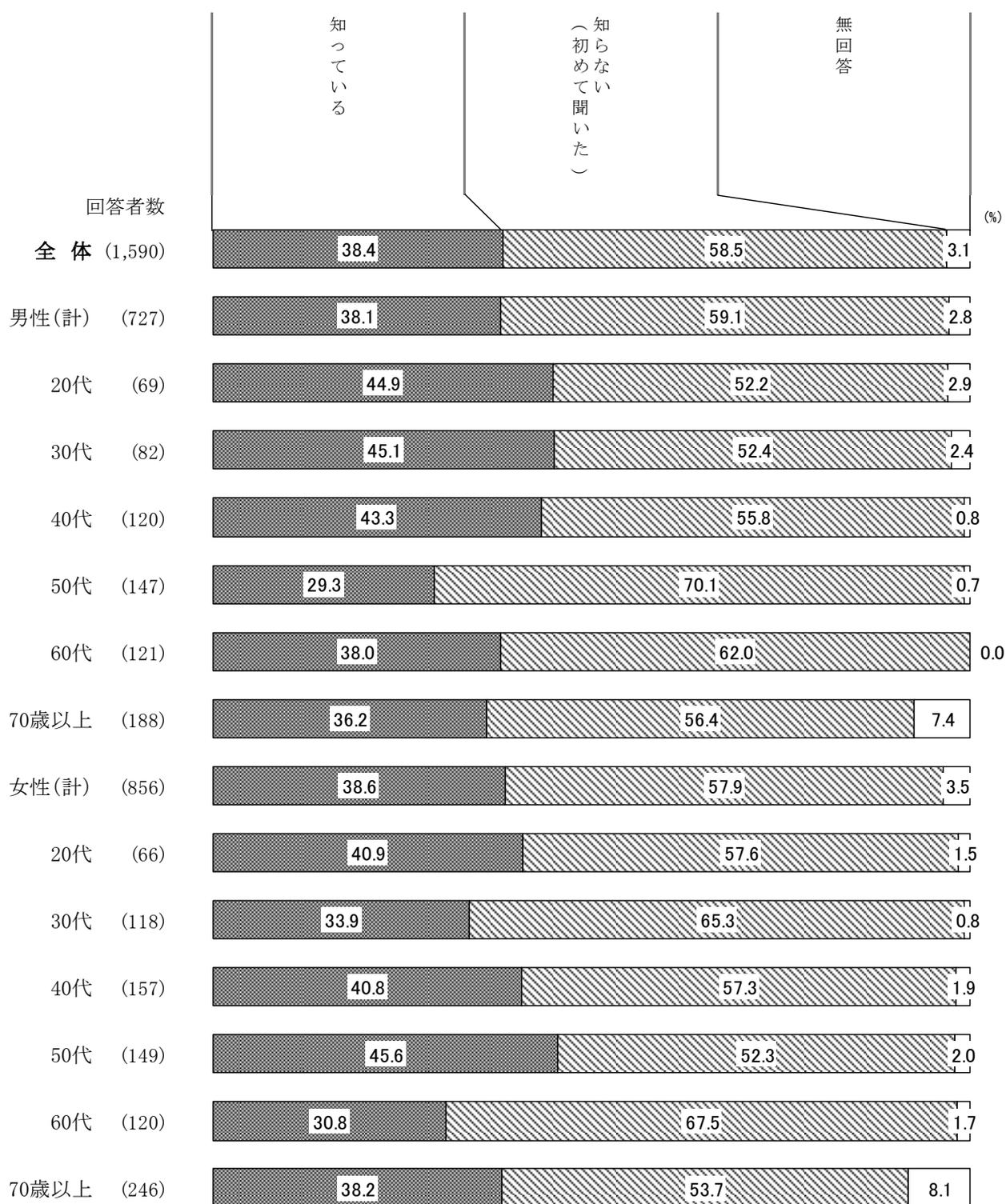
図7-4-2 地域別／治安が改善していることの認知



性別で見ると、「知っている」は男性38.1%、女性38.6%でほぼ同じとなっている。

性・年代別で見ると、「知っている」は男性では20代と30代で、女性では50代で、それぞれ4割台半ばと高くなっている。一方、男性の50代と女性の60代では「知っている」がともに3割前後と低くなっている。

図7-4-3 性別、性・年代別／治安が改善していることの認知



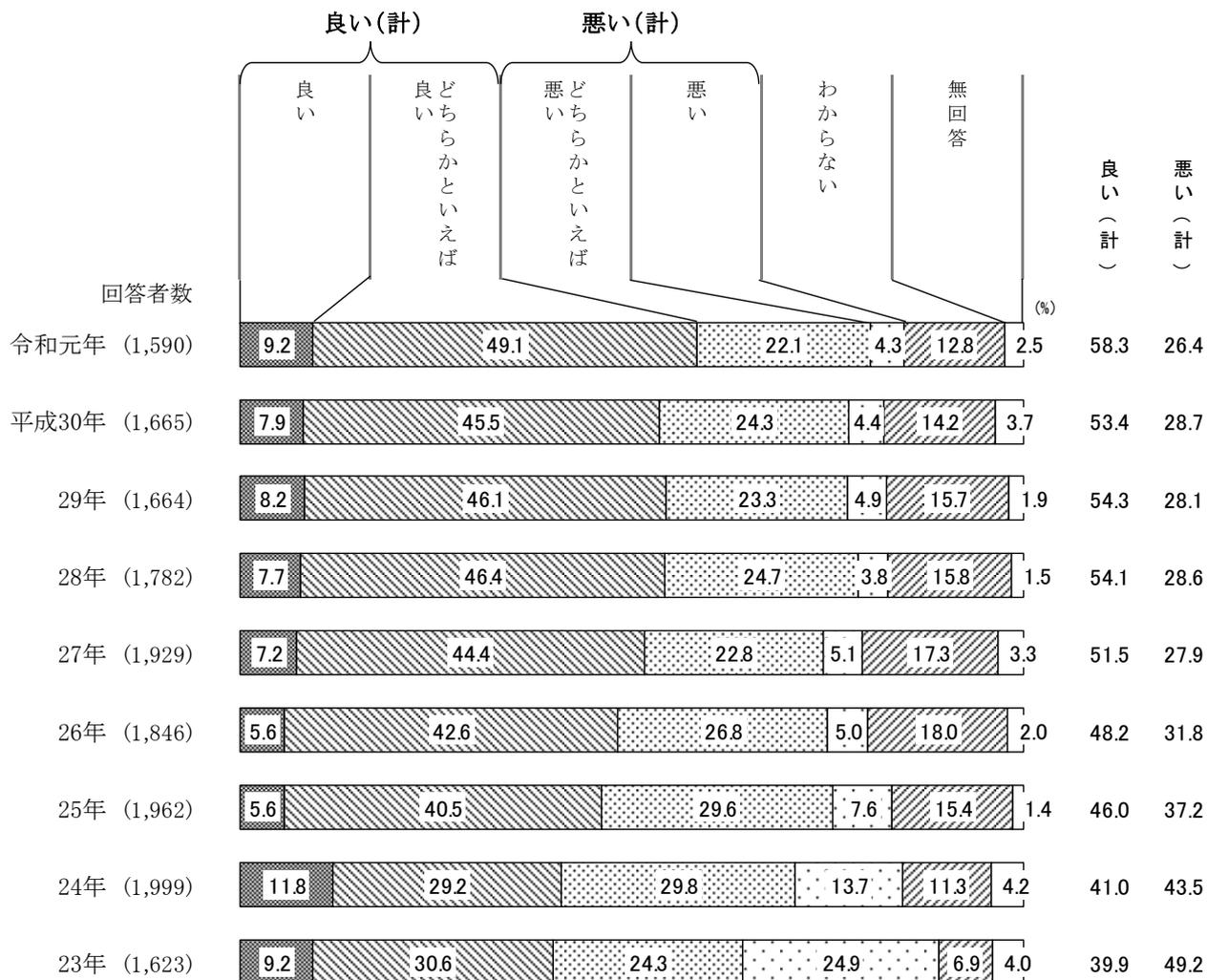
(5) 居住地域の治安状況

■ 【良い】は6割弱で、前回より約5ポイント増加し、平成23年以降の中で最も高い

問36 あなたは、お住まいの地域の治安（※）について、どのように感じていますか
 （○は1つだけ）。

※ 犯罪が少なく、世の中の秩序が保たれている状態のことです。

図7-5-1 経年比較／居住地域の治安状況



住んでいる地域の治安について、「良い」が9.2%で、これに「どちらかといえば良い」の49.1%を合わせた【良い】は58.3%となっている。一方、「どちらかといえば悪い」(22.1%)と「悪い」(4.3%)を合わせた【悪い】は26.4%である。

経年でみると、【良い】は平成28年以降、ほぼ横ばいの状態となっていたが、今回は58.3%と前回の53.4%から4.9ポイント増加して、初めて聴取した平成23年以降の9年間の中で最も高くなっている。

地域別でみると、【良い】は第1地域で68.0%と最も高く、僅差で第2地域（67.3%）が続き、この両地域で高くなっている。一方、【悪い】は第11地域で37.1%と他の地域に比べて高くなっている。

図7-5-2 地域別／居住地域の治安状況

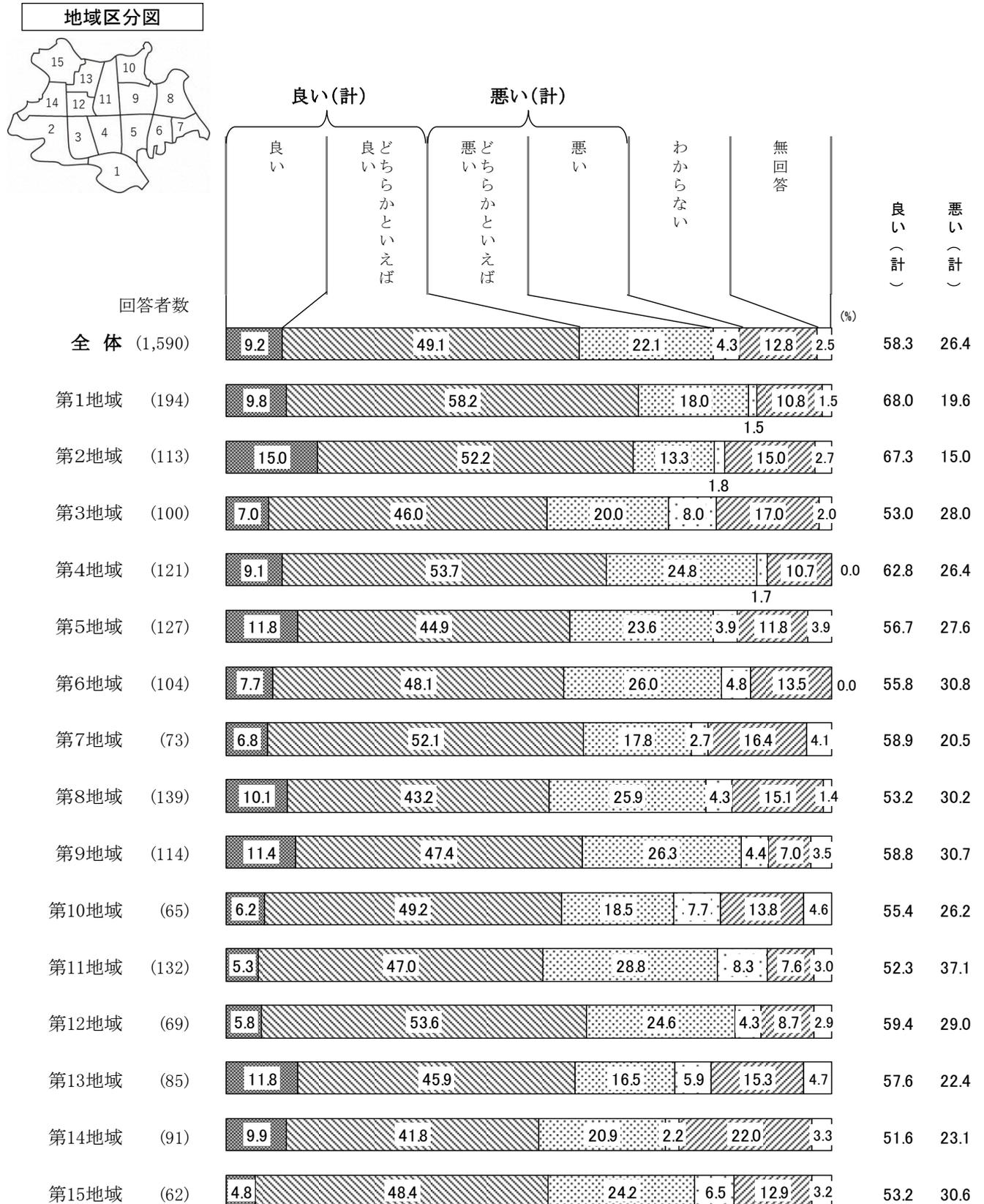
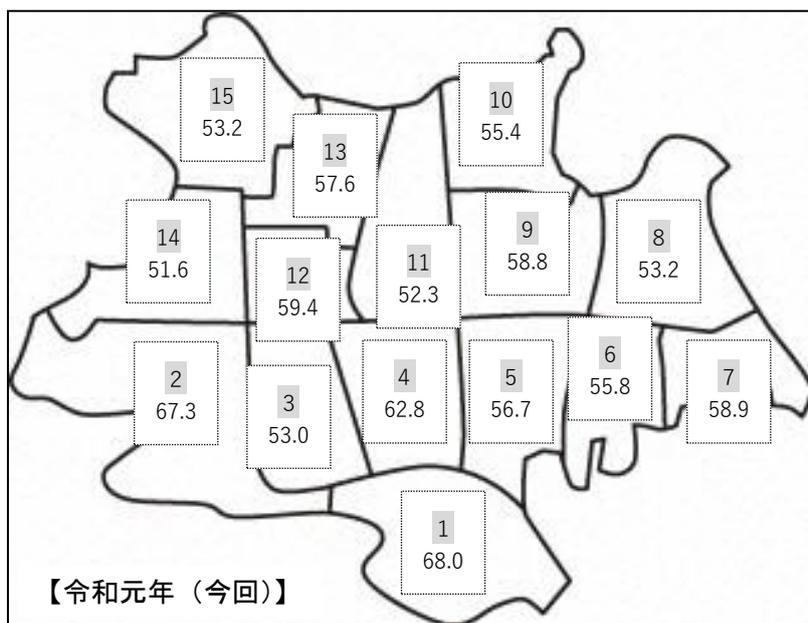
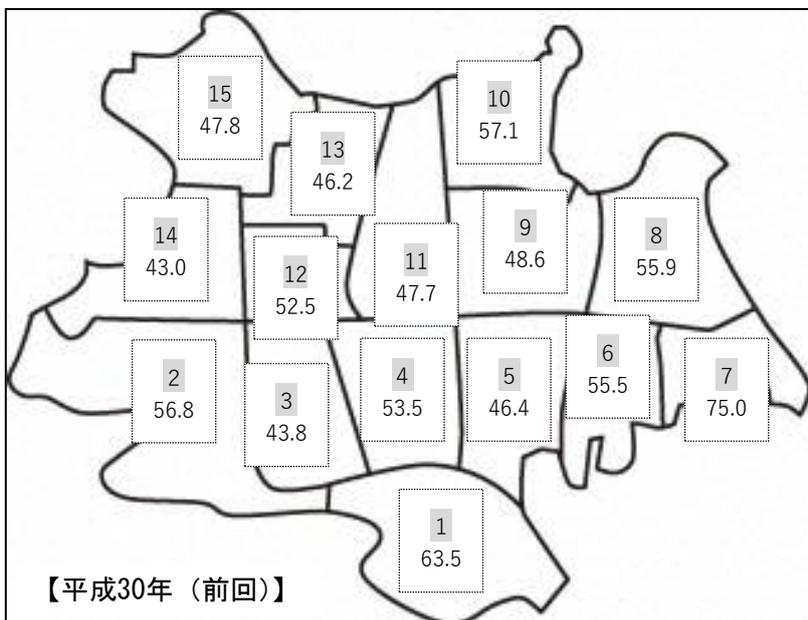


図7-5-3 地域区分図／居住地域の治安状況
 (上段：地域番号、下段：治安が【良い】と答えた回答者の割合%)



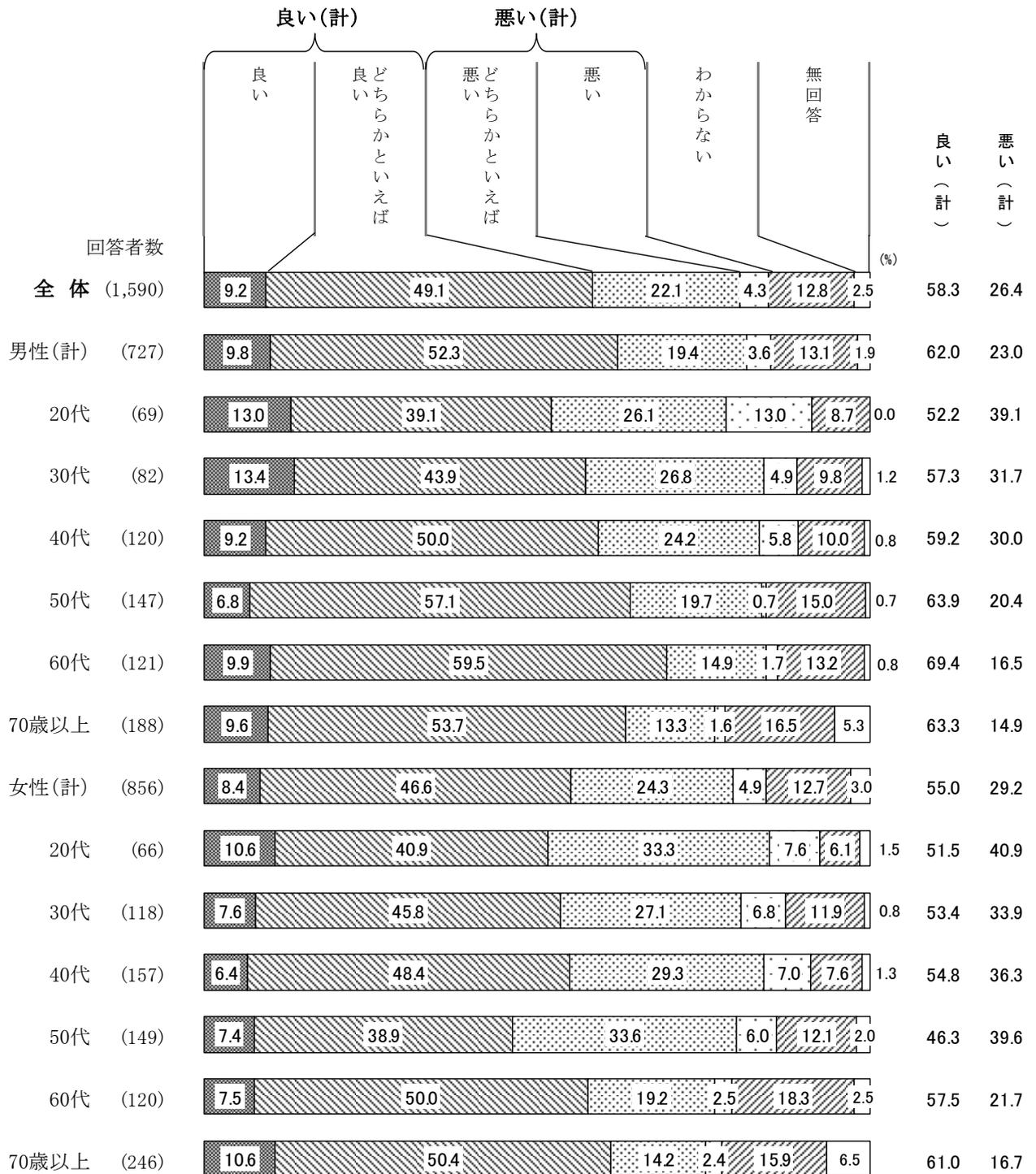
【参考資料】地域区分図／居住地域の治安状況（平成30年世論調査）
 (上段：地域番号、下段：治安が【良い】と答えた回答者の割合%)



性別でみると、【良い】は男性62.0%、女性55.0%で男性の方が高い。

性・年代別でみると、【良い】は、男性では60代で69.4%と最も高く、50代と70歳以上でもそれぞれ63.9%、63.3%と高くなっている。女性では70歳以上で61.0%と最も高くなっている。一方、男女の20代と女性50代では【悪い】がそれぞれ4割前後と他の性・年代層に比べて高くなっている。

図7-5-4 性別、性・年代別／居住地域の治安状況



(6) 区内の治安が良いと感じる点

■ “犯罪に巻き込まれた人がいないから”が5割弱で最も高いが、各年漸減傾向にある

問36で「1. 良い」、または「2. どちらかといえば良い」とお答えの方に
 問36-1 どのような点で治安が良いと感じますか (〇は2つまで)。

図7-6-1-① 経年比較/区内の治安が良いと感じる点

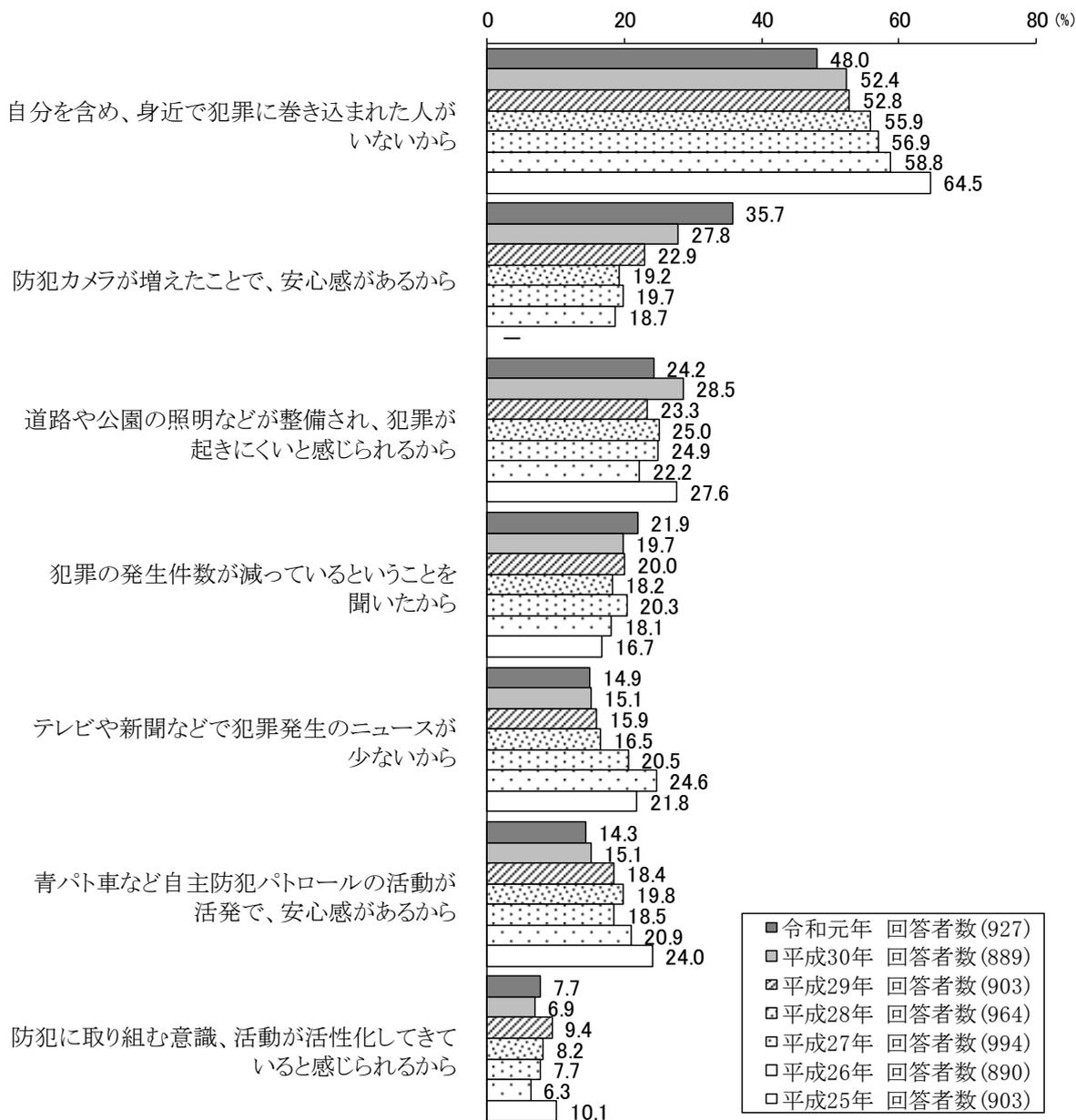
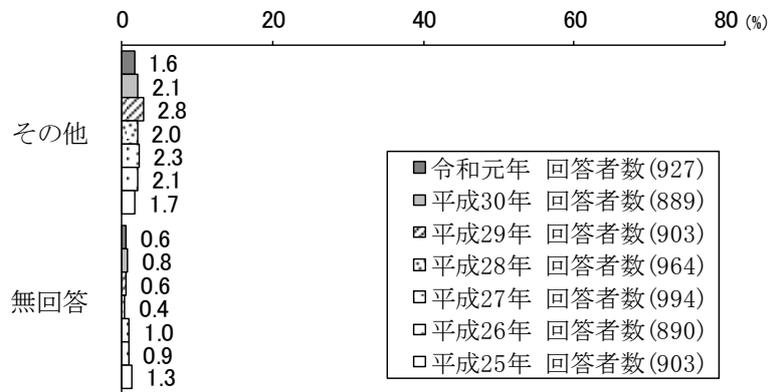


図7-6-1-② 経年比較／区内の治安が良いと感じる点



※ 「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は、平成26年度新設。

※ 「防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」は、平成25年度では「区全体の防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」。

居住地域の治安を【良い】と評価した人に、その理由を聴くと、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」が48.0%で最も高く、以下「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」(35.7%)、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」(24.2%)の順となっている。

経年でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は今回は48.0%で、平成30年の52.4%より4.4ポイント低くなっており、平成25年以降6年続けて漸減傾向を示している。一方、「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は平成30年から7.9ポイント増加しており、平成29年以降は3年続けて漸増傾向が明確となっている。

第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

地域別でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は第11地域、第14地域でそれぞれ5割台半ばと高く、「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は第1地域で43.2%と最も高く、第2地域、第3地域、第7地域、第10地域、第15地域でも4割弱とやや高くなっている。また、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」は第3地域で39.6%ととくに高くなっている。

地域区分図

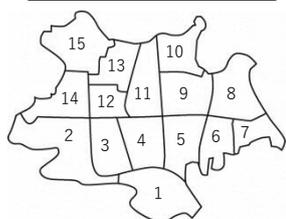
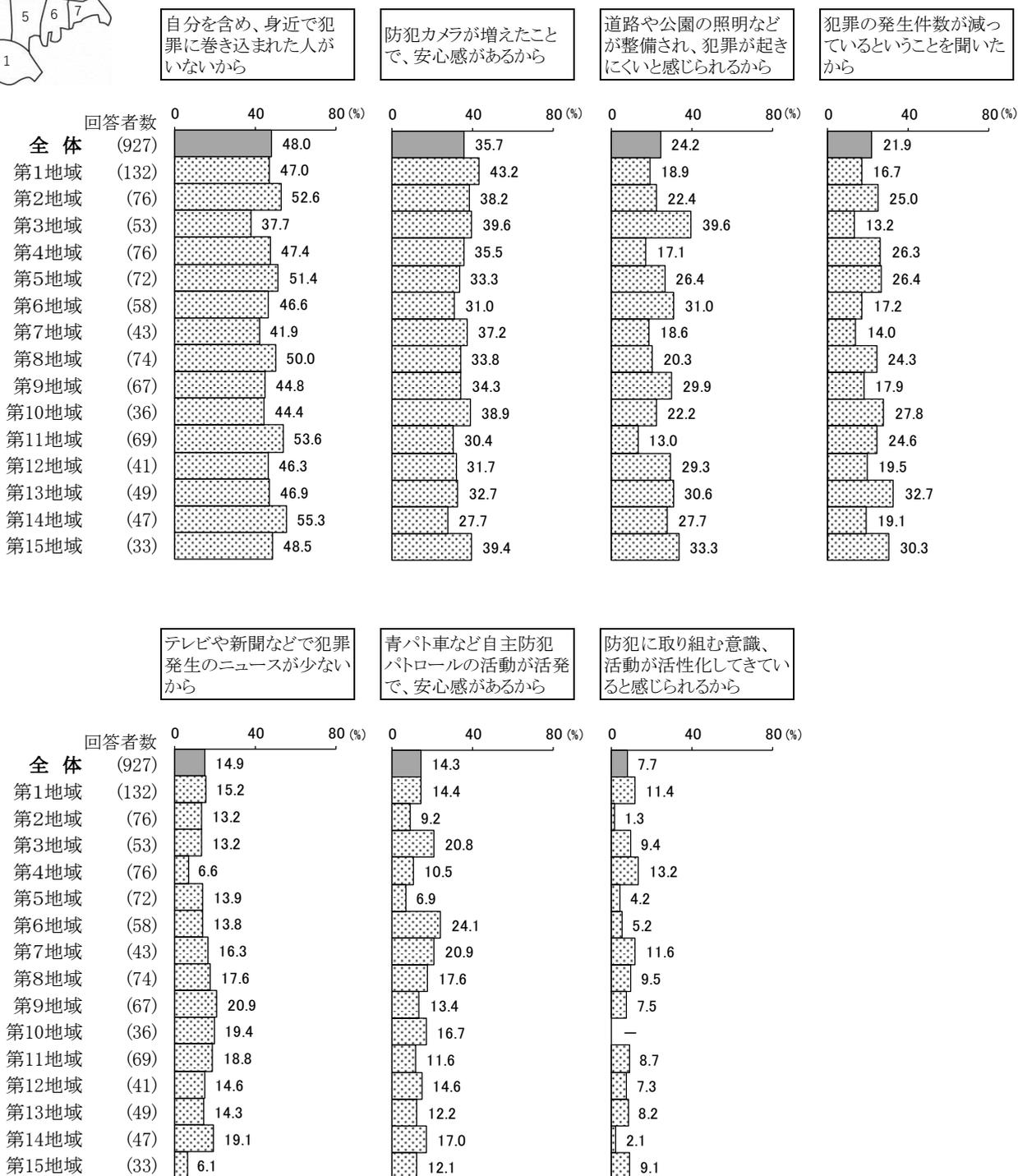


図7-6-2 地域別／区内の治安が良いと感じる点

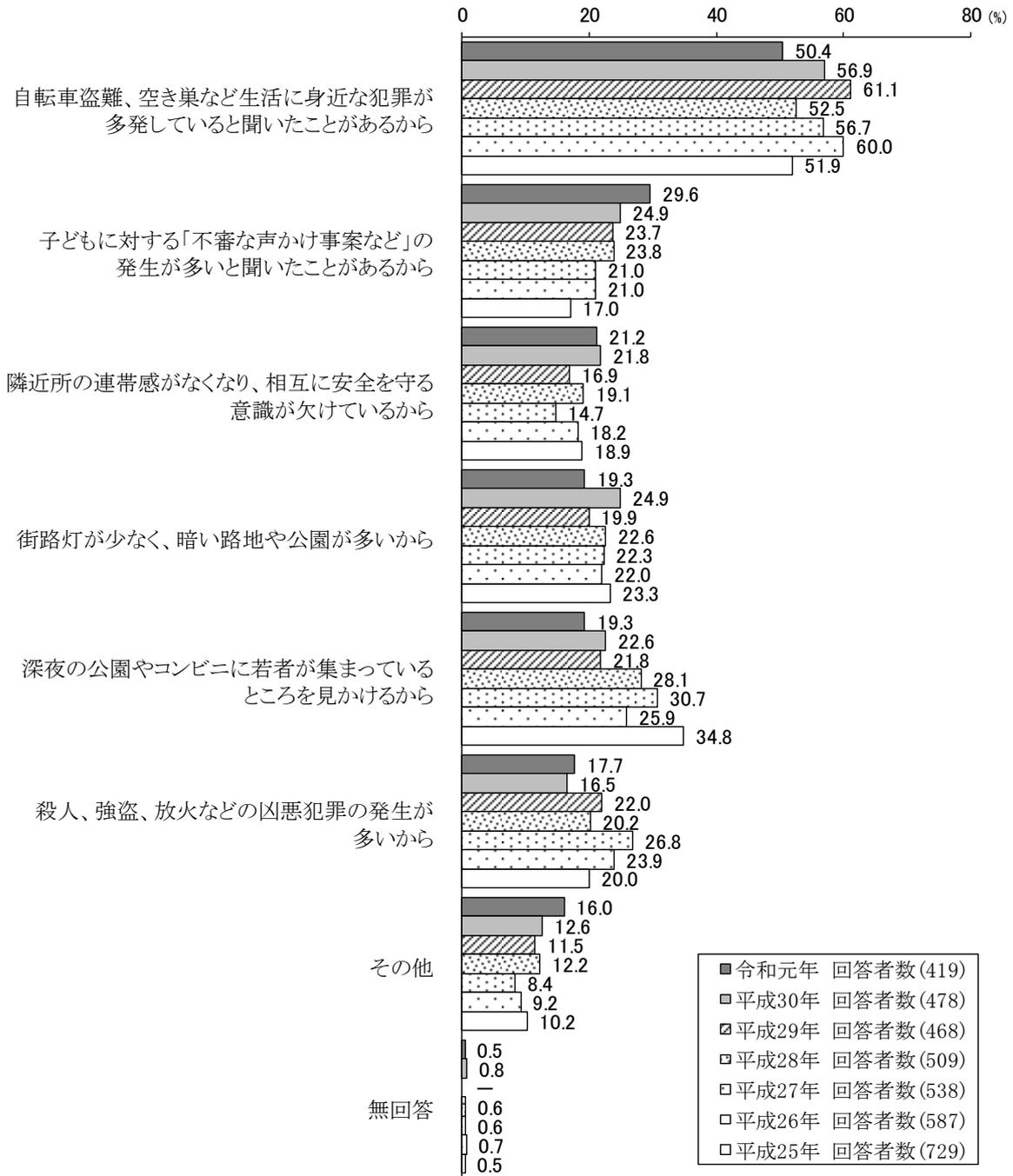


(7) 区内の治安が悪いと感じる点

■ “生活に身近な犯罪が多発していると聞いた”が5割を超えて突出

問36で「3. どちらかといえば悪い」、または「4. 悪い」とお答えの方に
 問36-2 どのような点で治安が悪いと感じますか (〇は2つまで)。

図7-7-1 経年比較/区内の治安が悪いと感じる点



第3章 調査結果の分析〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

- ※ 「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は、平成25年度では「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発しているから」。
- ※ 「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は、平成25年度では「子どもに対する『不審な声かけ事案等』の発生が多いから」。

居住地域の治安を【悪い】と評価した人に、その理由を聴くと、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」が50.4%で最も高く、以下、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」（29.6%）「隣近所の連帯感がなくなり、相互に安全を守る意識が欠けているから」（21.2%）、「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」と「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」（各19.3%）の順となっている。

経年で上位項目をみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」（50.4%）と「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」（19.3%）は平成30年よりともに6ポイント前後減少している。一方、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は平成30年の24.9%から今回29.6%へと4.7ポイント増加している。

地域別でみると、一部の地域で回答者数が少ないことに留意する必要があるが、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発している」と聞いたことがあるから」は第15地域（63.2%）と第6地域（62.5%）で6割強と高くなっている。「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多い」と聞いたことがあるから」は第2地域で47.1%と5割弱に達して最も高く、第9地域、第15地域でも4割強と高くなっている。また、「隣近所の連帯感がなくなり、相互に安全を守る意識が欠けているから」は第1地域で31.6%と最も高く、第2地域と第3地域でもともに3割弱と高くなっている。

地域区分図

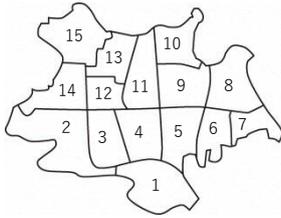
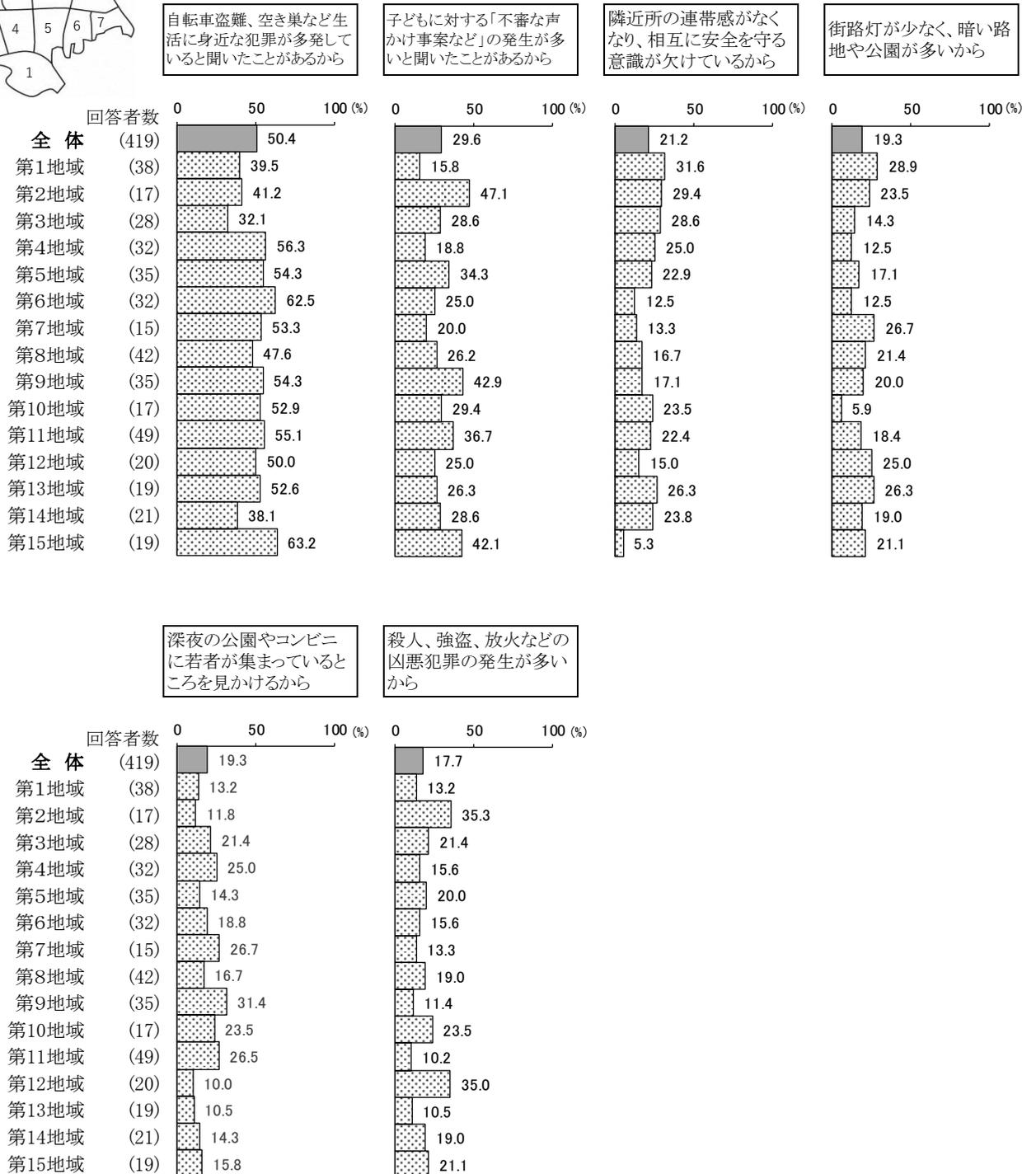


図7-7-2 地域別／区内の治安が悪いと感じる点

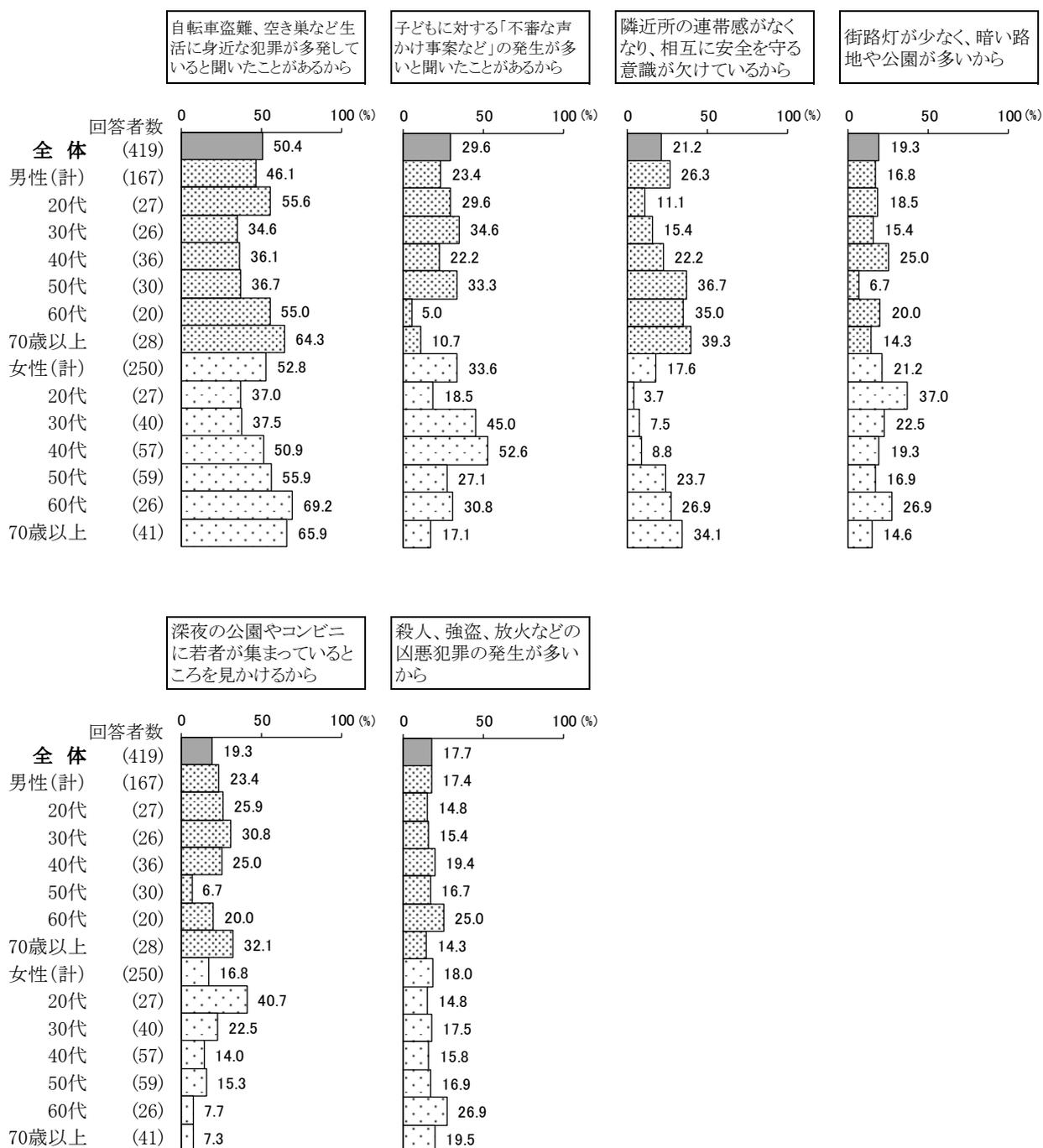


第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

性別でみると、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は男性23.4%、女性33.6%で女性の方が高くなっている。

性・年代別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発している」と聞いたことがあるから」は、男性の70歳以上と女性の60代と70歳以上でそれぞれ6割台半ばと高くなっている。また、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は女性の30代と40代で4割台半ばから5割強と高くなっている。

図7-7-3 性別、性・年代別／区内の治安が悪いと感じる点



(8) 治安対策として区に力を入れてほしいこと

■ “防犯設備の設置に対する支援”が5割台半ば、“安全に配慮した道路、公園の整備”が4割強、“防犯パトロール”が4割弱で上位

問37 あなたが、治安対策として足立区に特に力を入れてほしいと考えていることは何ですか (〇は2つまで)。

図7-8-1-① 経年比較/治安対策として区に力を入れてほしいこと

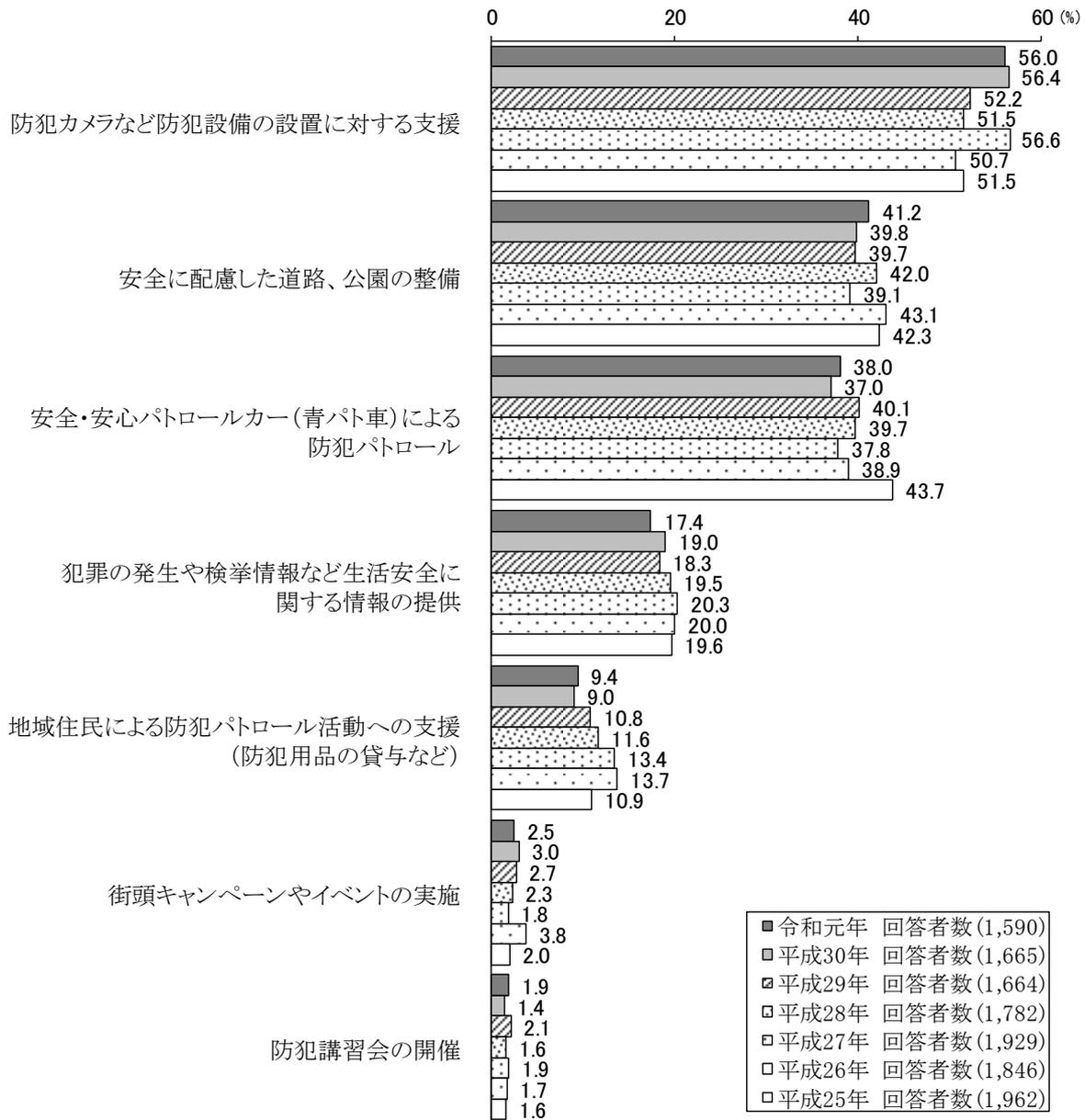
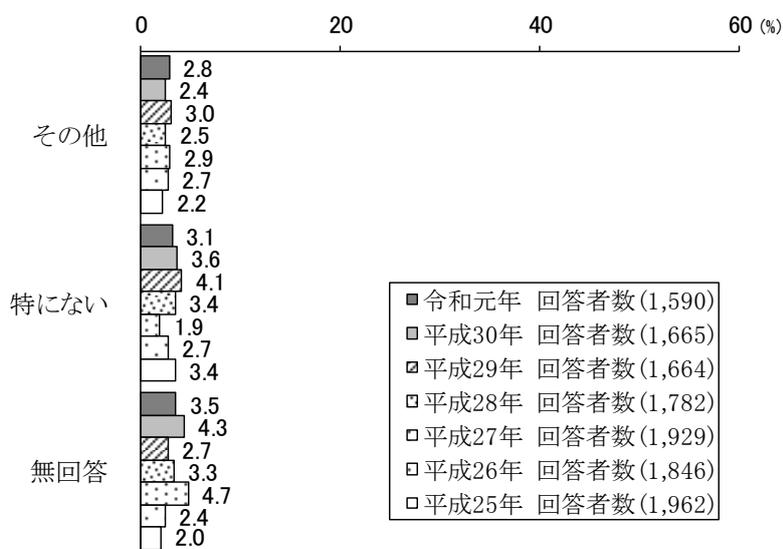


図7-8-1-② 経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと



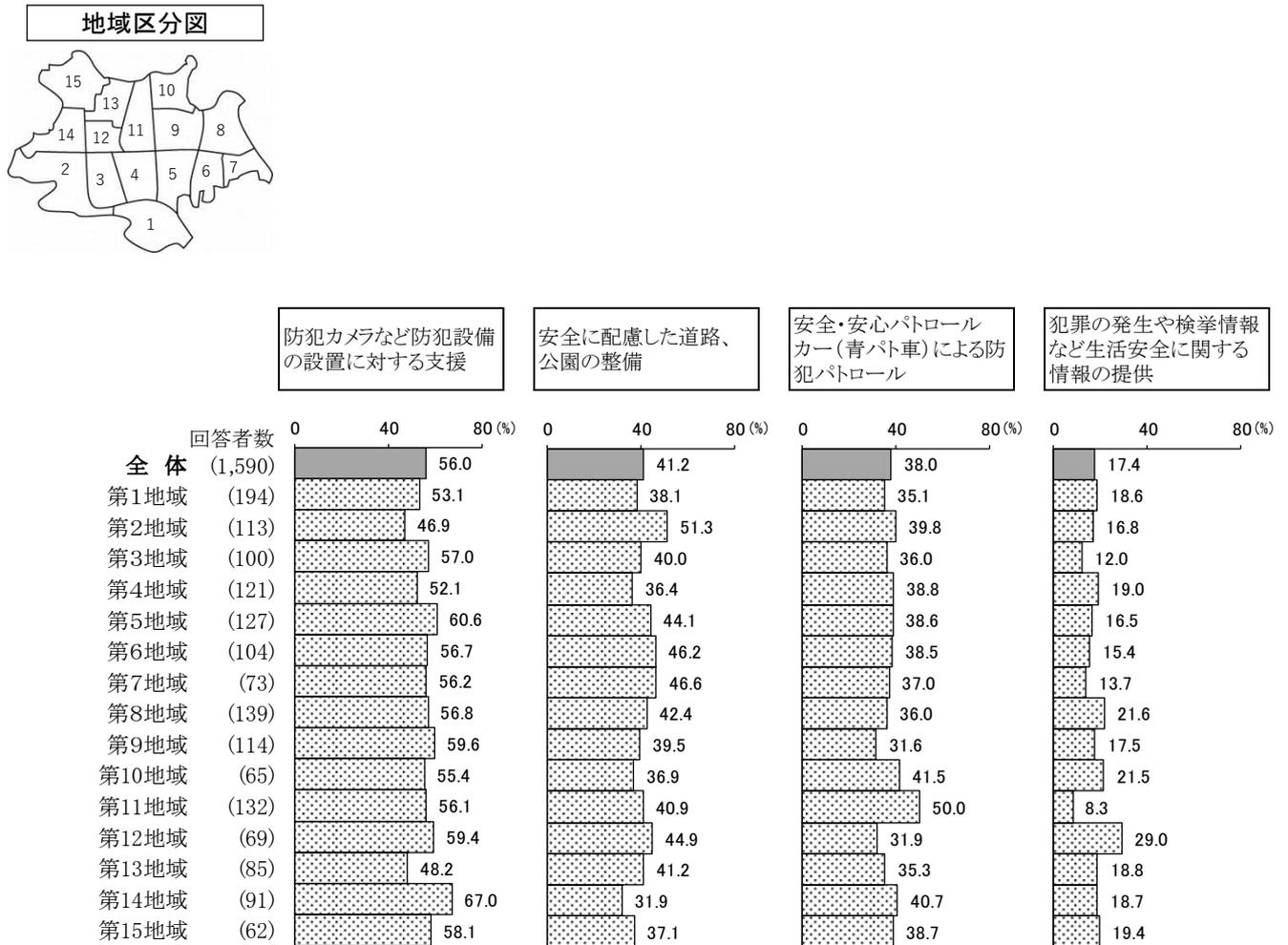
※ 「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は、平成28年度までは「防犯カメラなど防犯設備の設置などに対する支援」

治安対策として足立区に力を入れてほしいこととしては、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」が56.0%で最も高く、以下「安全に配慮した道路、公園の整備」(41.2%)、「安全・安心パトロールカー(青パト車)による防犯パトロール」(38.0%)の順となっている。

経年でみると、上位項目について、順位、数値に大きな変化はみられない。

地域別でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は第14地域で67.0%と最も高く、第5地域、第9地域、第12地域でも6割前後とやや高くなっている。また、「安全に配慮した道路、公園の整備」は第2地域で51.3%と最も高く、「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」は第11地域で50.0%と最も高くなっている。

図7-8-2 地域別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目



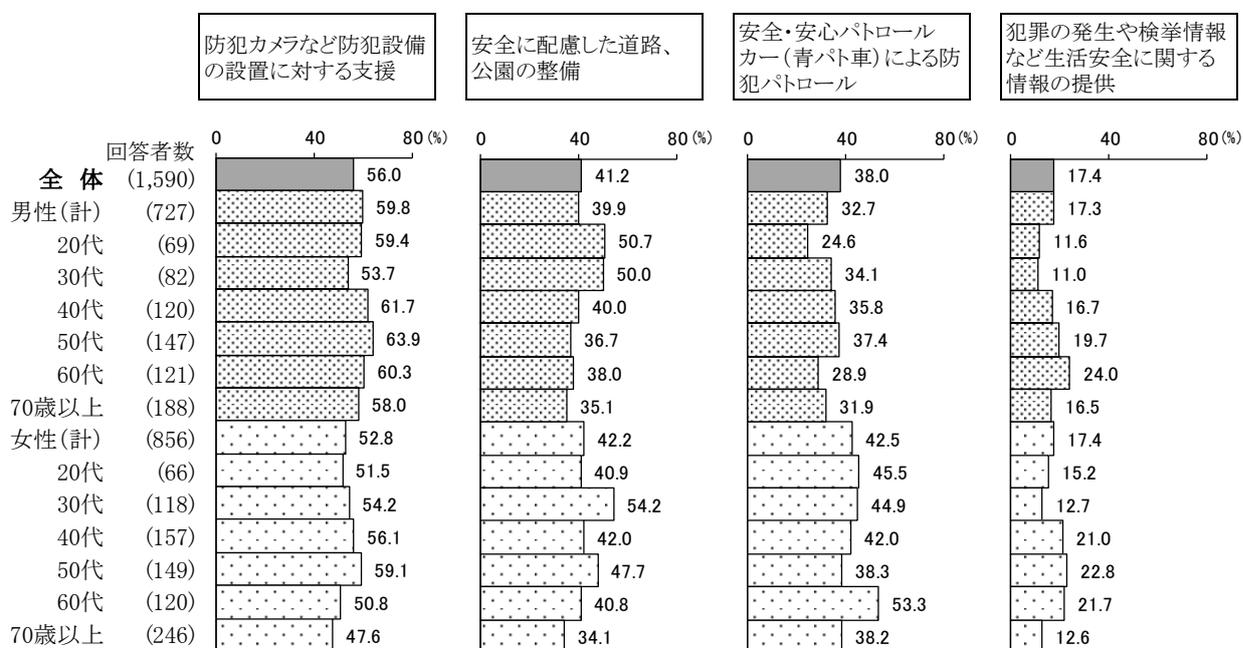
第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

性別でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は男性59.8%、女性52.8%と男性の方がやや高く、「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」は男性32.7%、女性42.5%で女性の方が高くなっている。

性・年代別でみると、男性では、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は50代で63.9%と最も高く、「安全に配慮した道路、公園の整備」は20代で50.7%と最も高く、30代でも50.0%と高くなっている。一方、「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」は20代で24.6%と低くなっている。

女性では、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は50代で59.1%、「安全に配慮した道路、公園の整備」は30代で54.2%、「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」は60代で53.3%と、それぞれ最も高くなっている。

図7-8-3 性別、性・年代別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目



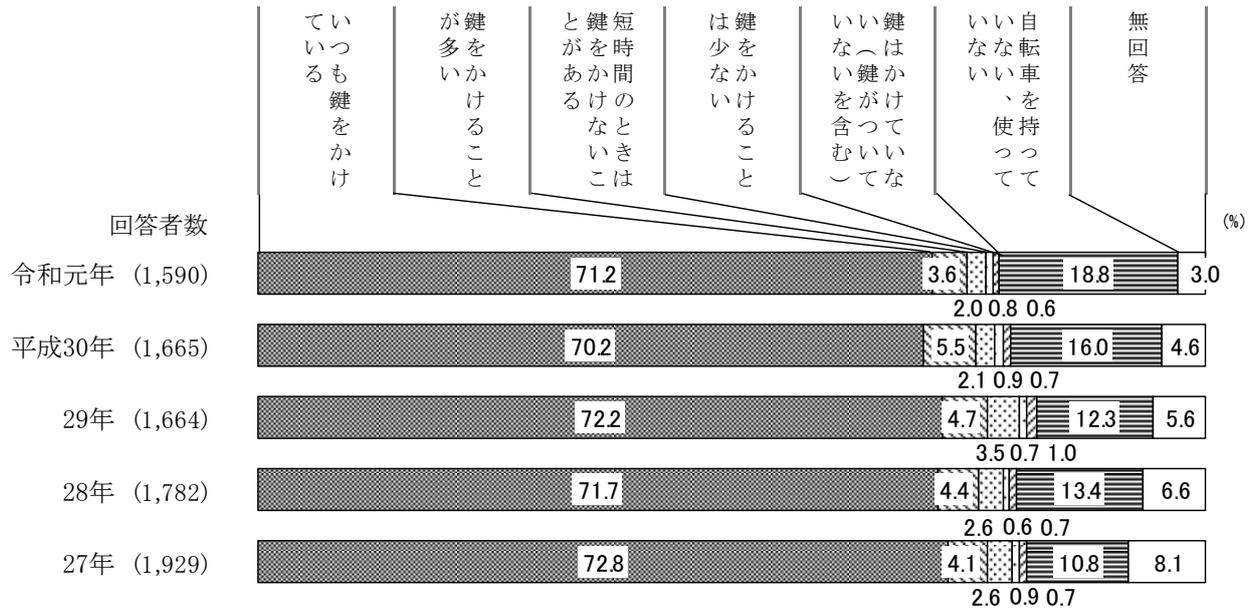
(9) 駐車時の鍵かけ状況

■ 「いつも鍵をかけている」は、外出先が7割強、敷地内が6割と、傾向は変わらず

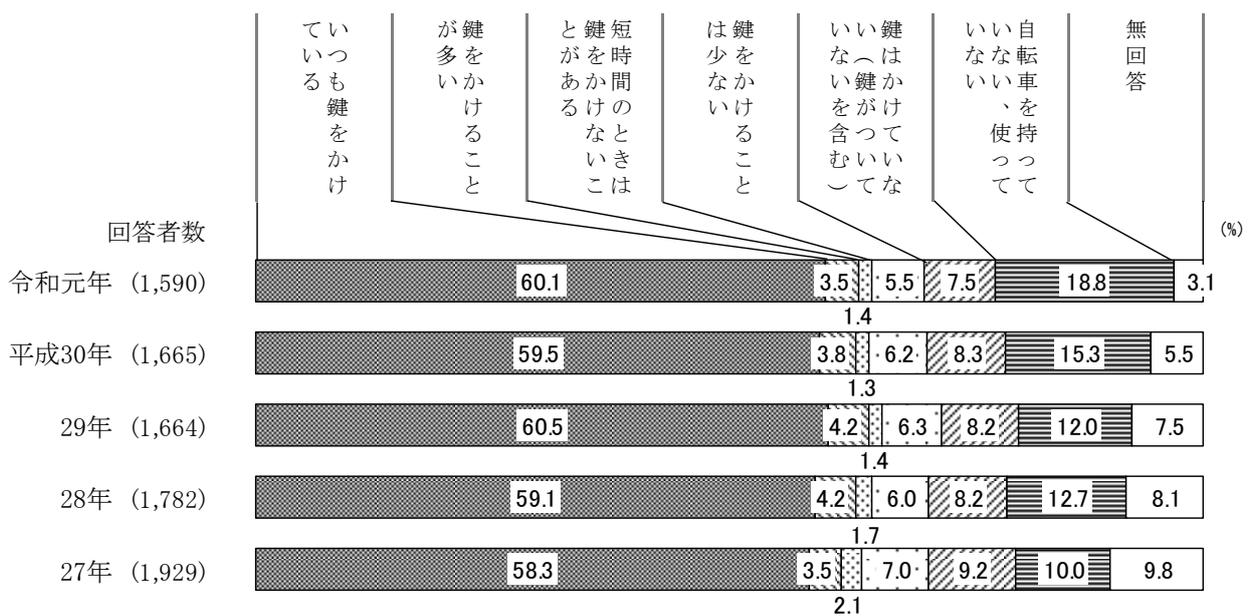
問38 あなたは、自転車を駐車するときには、自転車に鍵をかけていますか
(○はそれぞれ1つずつ)。

図7-9-1 経年比較／駐車時の鍵かけ状況

ア. 外出先で駐車するとき



イ. 自宅・マンションなどの敷地内に駐車するとき



第3章 調査結果の分析〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

外出先で自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているか、については、「いつも鍵をかけている」が71.2%を占めて最も多く、次いで「鍵をかけることが多い」(3.6%)となっている。一方、「短時間のときは鍵をかけないことがある」は2.0%、「鍵をかけることは少ない」は0.8%、「鍵はかけていない(鍵がついていないを含む)」は0.6%となっている。

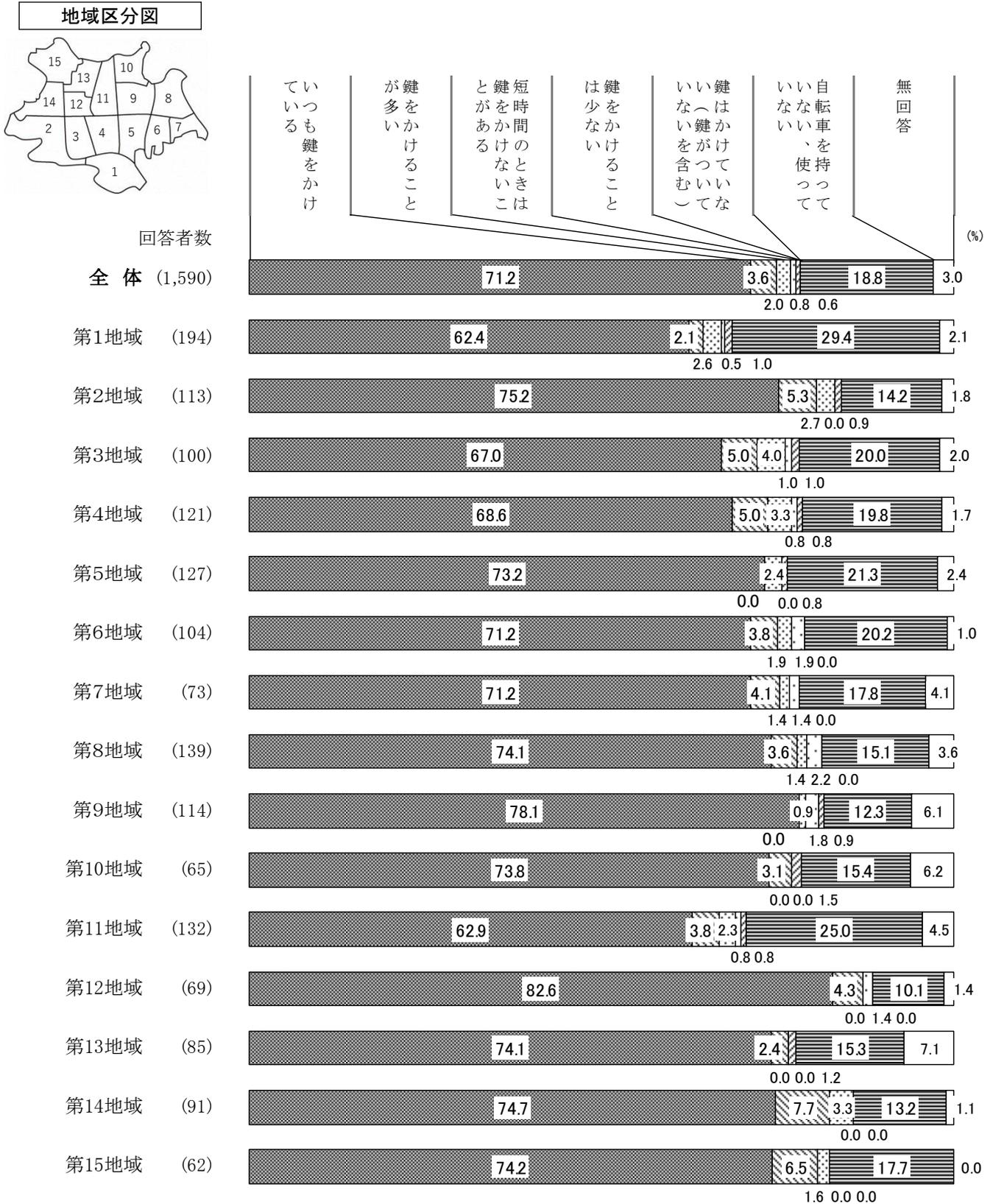
経年でみると、平成27年以降「いつも鍵をかけている」は各年7割強程度で、回答傾向に大きな変化はみられない。

自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているか、については、「いつも鍵をかけている」が60.1%で最も多く、「鍵をかけることが多い」は3.5%となっている。一方、「短時間のときは鍵をかけないことがある」は1.4%、「鍵をかけることは少ない」は5.5%、「鍵はかけていない(鍵がついていないを含む)」は7.5%となっており、外出先に比べると鍵をかけない割合が増える様子がみられる。

経年でみると、平成27年以降「いつも鍵をかけている」は各年6割前後で、外出先同様、回答傾向に大きな変化はみられない。

外出先で自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについて、地域別でみると、「いつも鍵をかけている」は第12地域が82.6%で最も高く、第9地域でも8割弱と高くなっている。

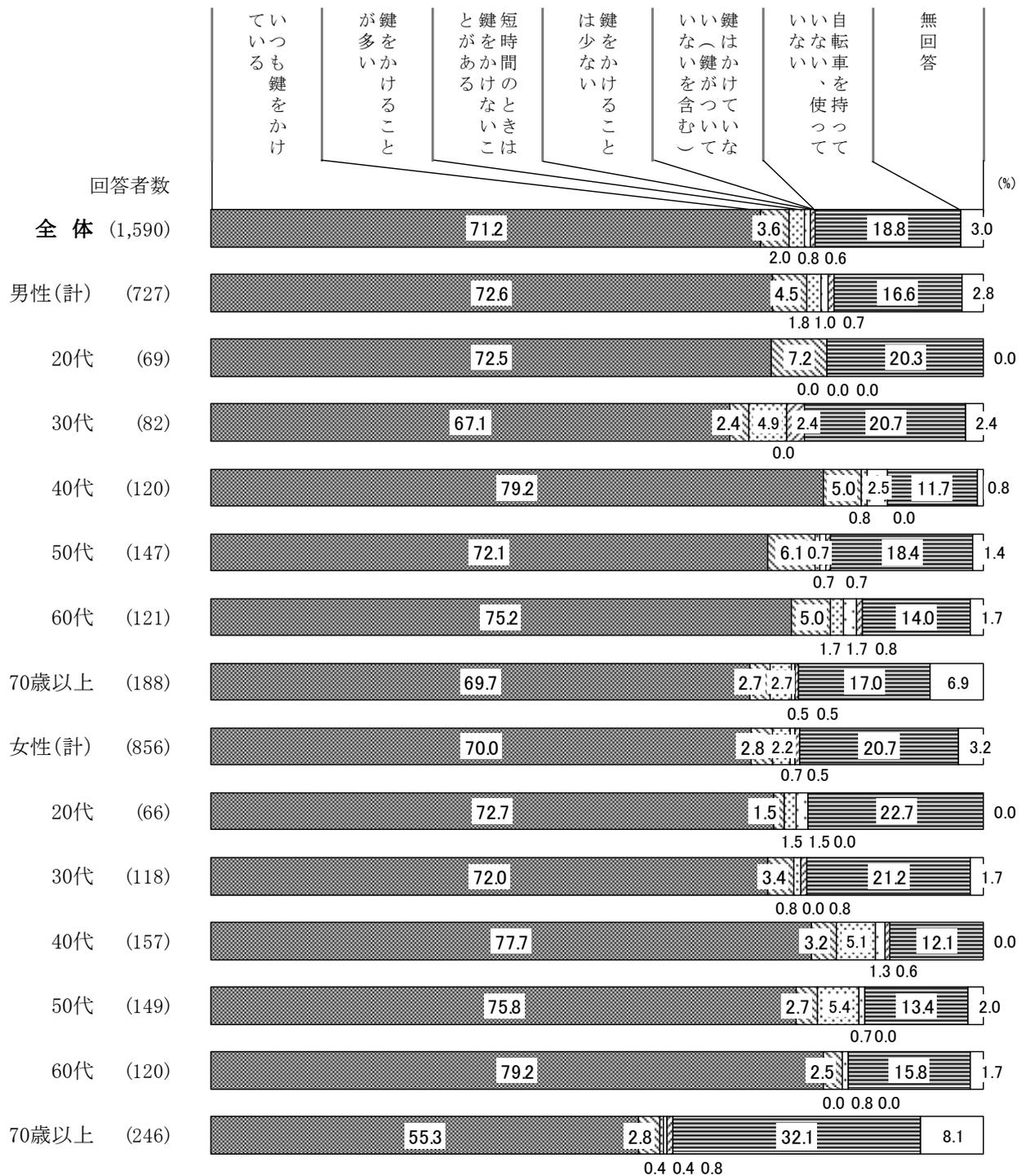
図7-9-2-① 地域別／駐車時の鍵かけ状況／外出先



外出先で自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについて、性別でみると、「いつも鍵をかけている」は男性72.6%、女性70.0%となっており、大きな違いはみられない。

性・年代別でみると、「いつも鍵をかけている」は、男性では40代が、女性では40代と60代がいずれも8割弱と高くなっている。

図7-9-3-① 性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況／外出先

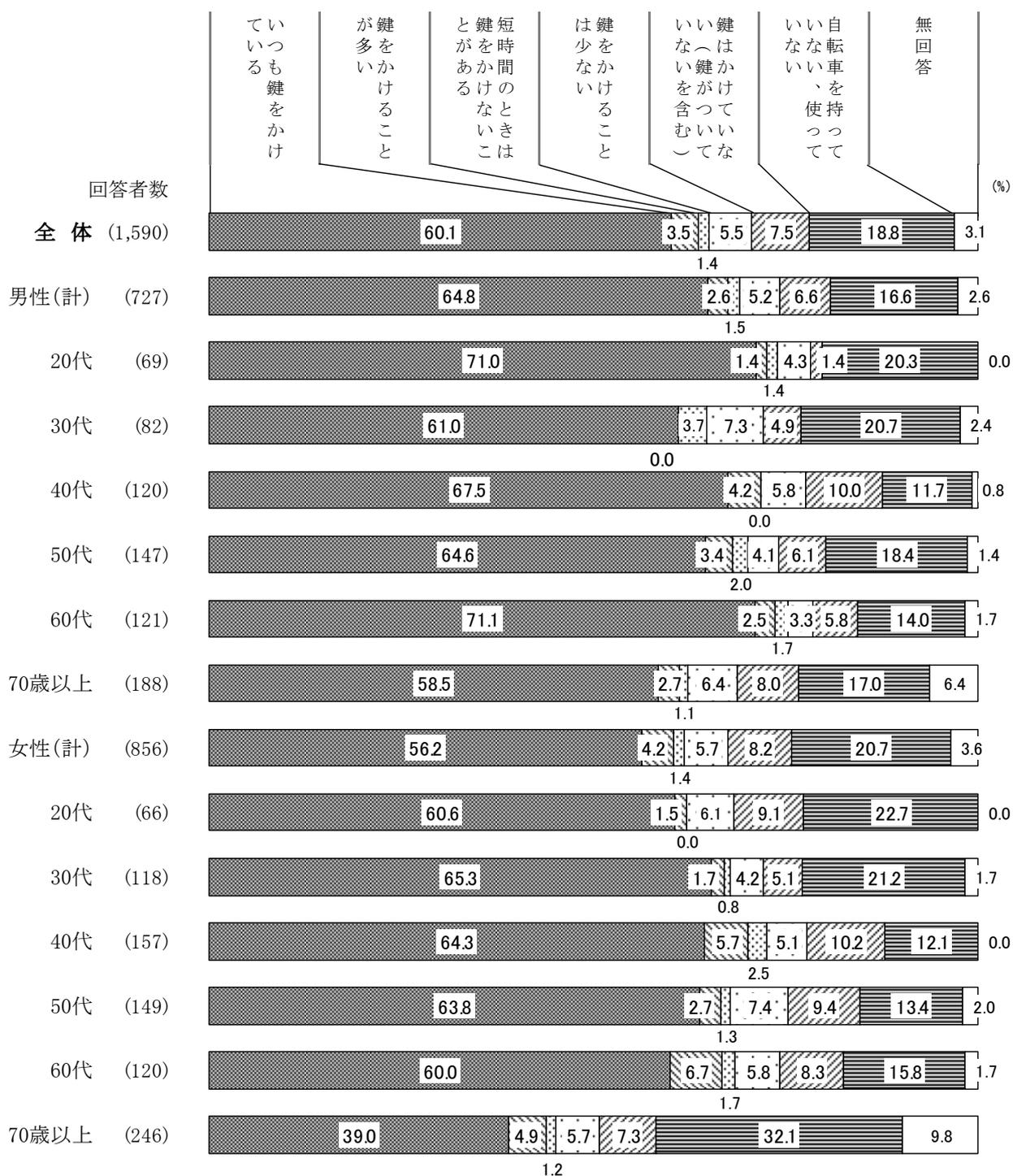


第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについて、性別でみると、「いつも鍵をかけている」は男性が64.8%、女性が56.2%と男性の方が高くなっている。

性・年代別でみると、「いつも鍵をかけている」は、男性では20代と60代で7割強と高く、40代でも7割弱と高くなっている。女性では30代、40代、50代の3年代層でそれぞれ6割台半ばとやや高くなっている。

図7-9-3-② 性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況／敷地内



8 環境・地域活動

-
- (1) 環境のために心がけていること
 - (2) 「食品ロス」という言葉の認知
 - (3) 食品ロス削減のために心がけていること
 - (4) この1年間に参加した活動と今後の参加意向
-

8 環境・地域活動

(1) 環境のために心がけていること

■ “ごみと資源の分別”が8割台半ば、“不要なレジ袋を断る”が5割台後半で、上位

問39 あなたが、環境のために心がけていることは何ですか（○はあてはまるものすべて）。

図8-1-1-① 経年比較／環境のために心がけていること

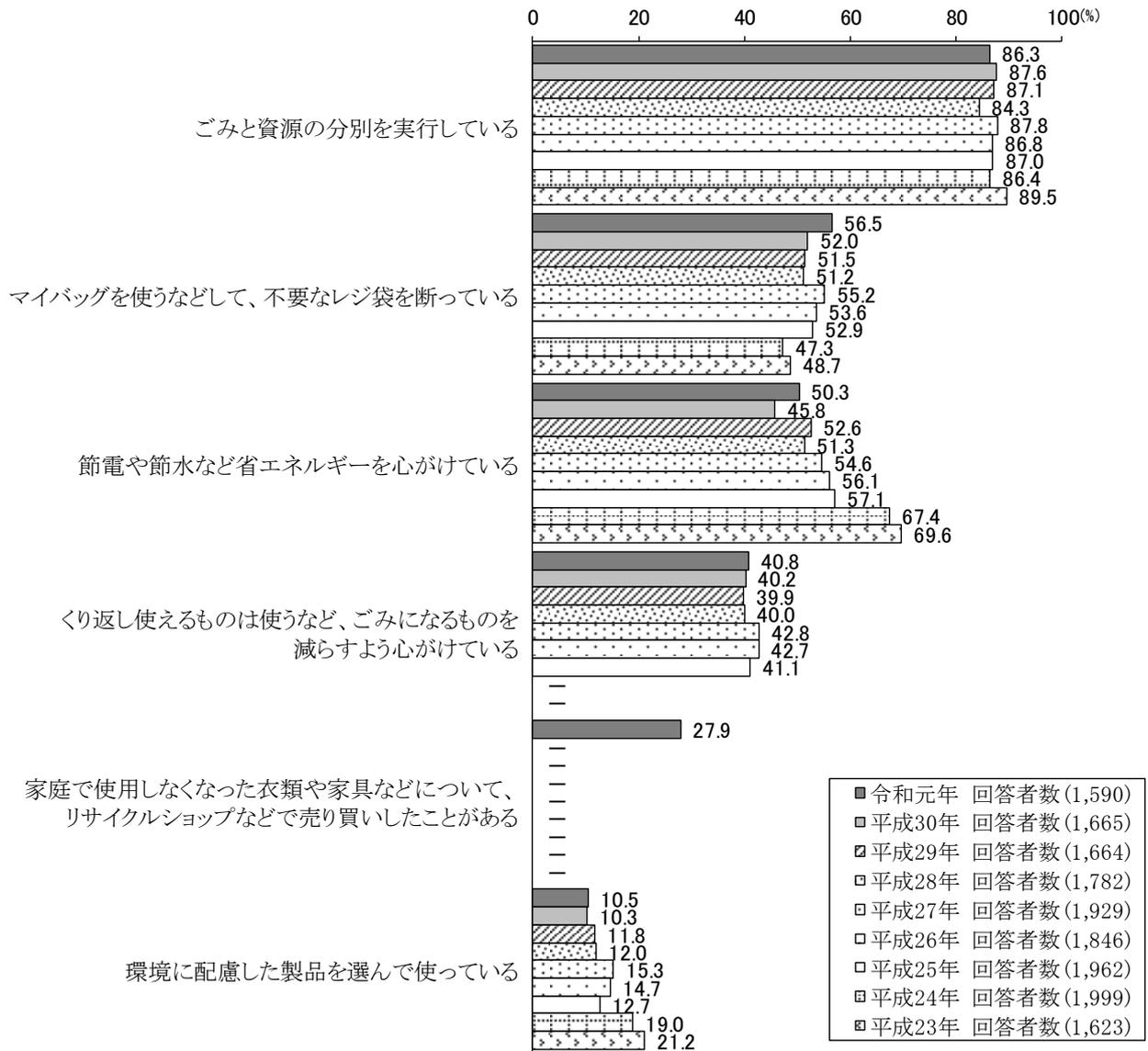
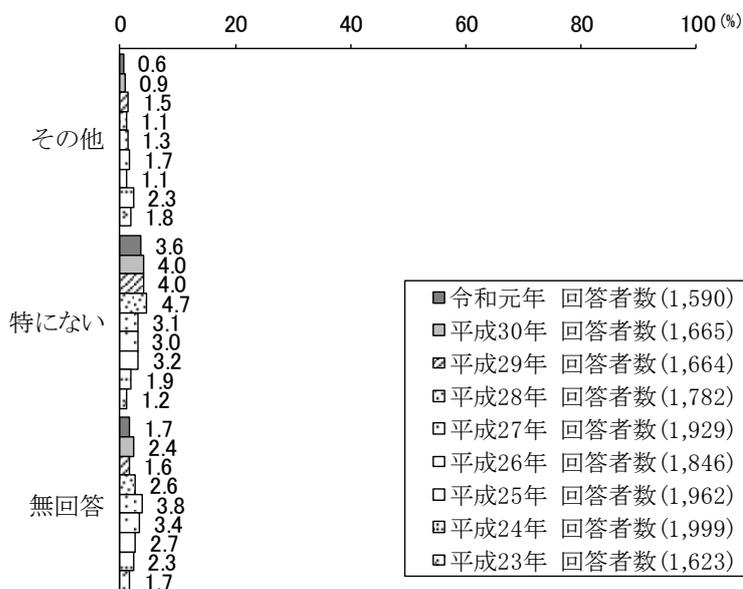


図8-1-1-② 経年比較／環境のために心がけていること



※ 「くり返し使えるものは使うなど、ごみになるものを減らすよう心がけている」は、平成25年度新設。
 ※ 「家庭で使用しなくなった衣類や家具などについて、リサイクルショップなどで売り買いしたことがある」は令和元年度新設。

環境のために心がけていることとしては、「ごみと資源の分別を実行している」が86.3%で最も高く、以下「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」(56.5%)、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」(50.3%)の順となっている。

なお、今回の令和元年新設の「家庭で使用しなくなった衣類や家具などについて、リサイクルショップなどで売り買いしたことがある」は27.9%となっている。

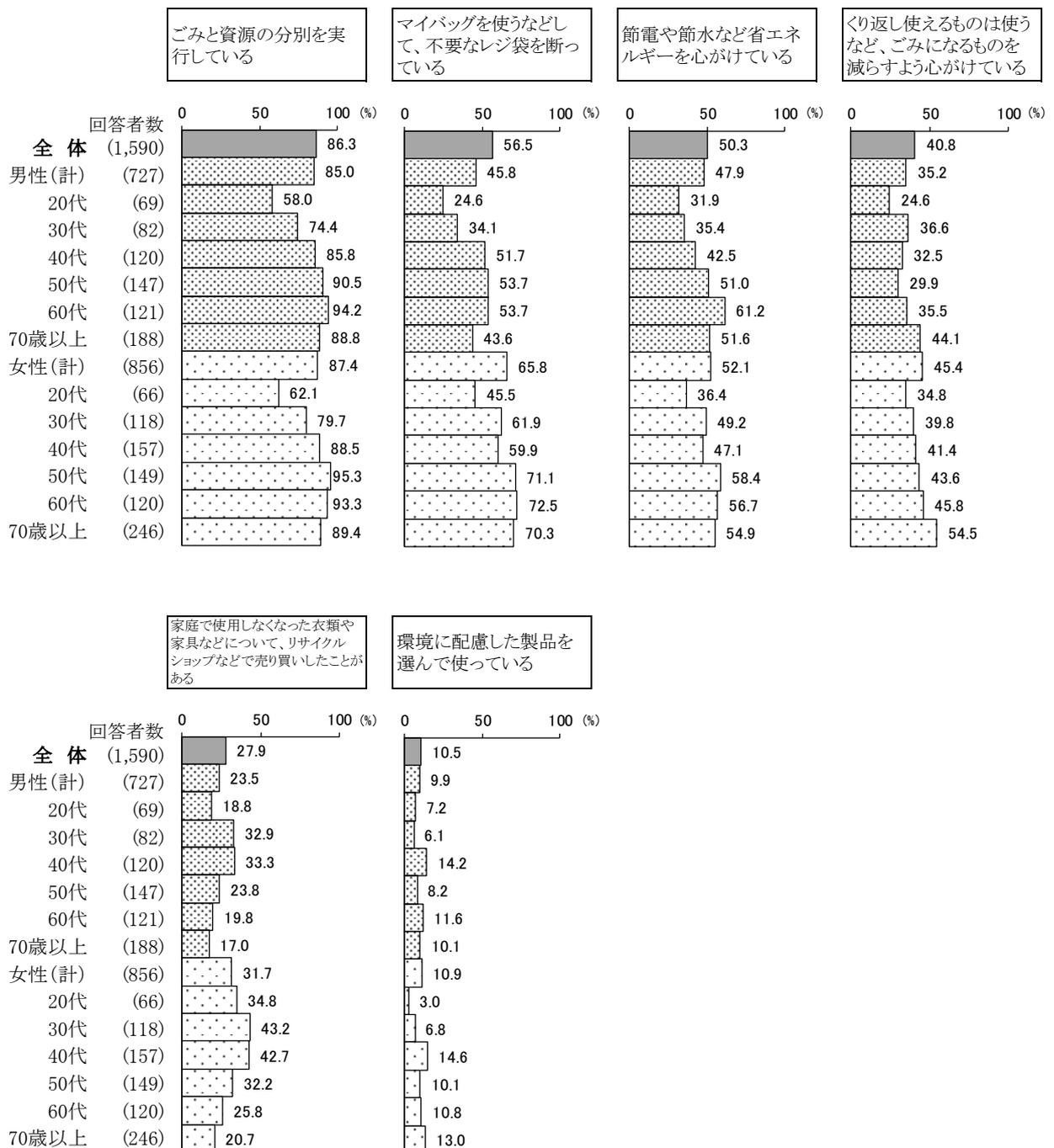
経年でみると、「ごみと資源の分別を実行している」は大きな経年変化はみられないが、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」(56.5%)と「節電や節水など省エネルギーを心がけている」(50.3%)は、平成30年に比べてともに4.5ポイント増加している。

性別で見ると、女性は、すべての項目で男性より高くなっており、中でも「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」（女性65.8%>男性45.8%）で性差が大きくなっている。

性・年代別で見ると、男性では、「ごみと資源の分別を実行している」は60代で94.2%と最も高く、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」も60代で6割強と高い一方、20代では3割強と低くなっている。

女性では、「ごみと資源の分別を実行している」は50代と60代で9割強から9割台半ばと高く、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」は50代以上の高齢層3層でそれぞれ7割を超えて高くなっている。

図8-1-2 性別、性・年代別／環境のために心がけていること

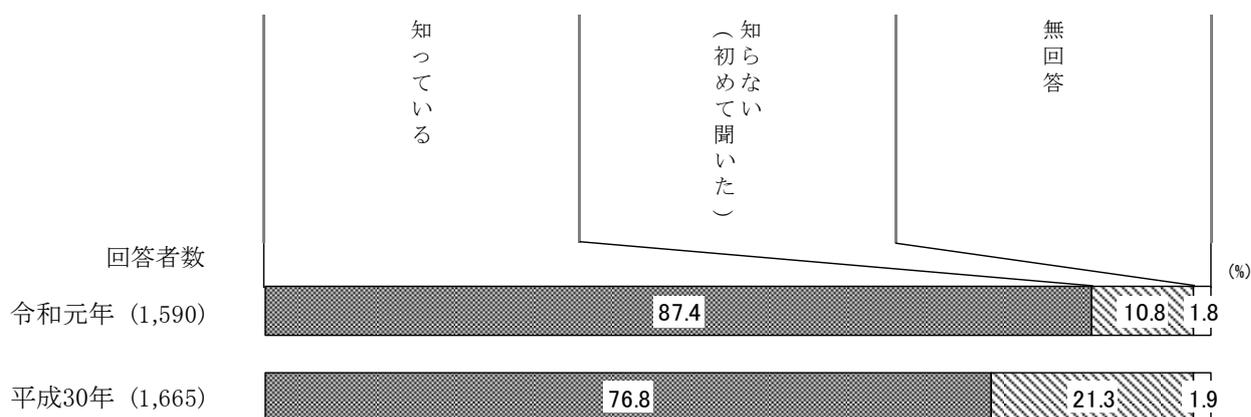


(2) 「食品ロス」という言葉の認知

■ 9割弱の人が「食品ロス」という言葉を知っており、認知率は前回より10ポイント以上伸長

問40 あなたは、「食品ロス」という言葉を知っていますか（○は1つだけ）。

図8-2-1 前回調査比較／「食品ロス」という言葉の認知



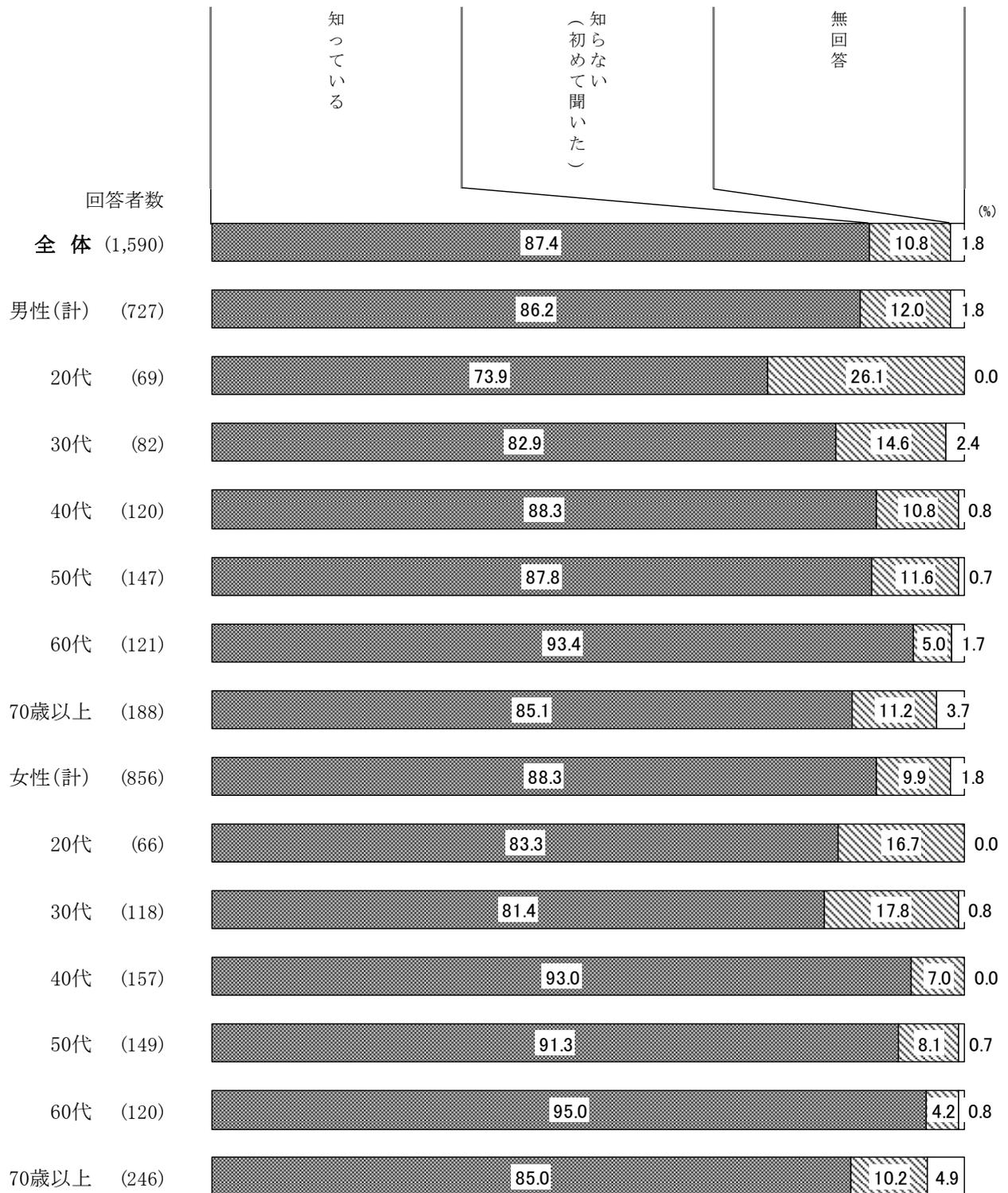
「食品ロス」という言葉の認知は、「知っている」が87.4%を占めて多く、「知らない（初めて聞いた）」は10.8%。

経年でみると、「知っている」は初めて聴取した前回平成30年の76.8%から今回の87.4%へと10.6ポイントも増加している。

性別で見ると、「知っている」は男性86.2%、女性88.3%と大きな性差はみられない。

性・年代別で見ると、「知っている」は、男性では60代で93.4%と最も高く、女性では60代で95.0%と最も高いが、40代と50代もそれぞれ9割強でやや高くなっている。一方、男性の20代では「知っている」が7割台半ばと他の性・年代層に比べて低くなっている。

図8-2-2 性別、性・年代別／「食品ロス」という言葉の認知



(3) 食品ロス削減のために心がけていること

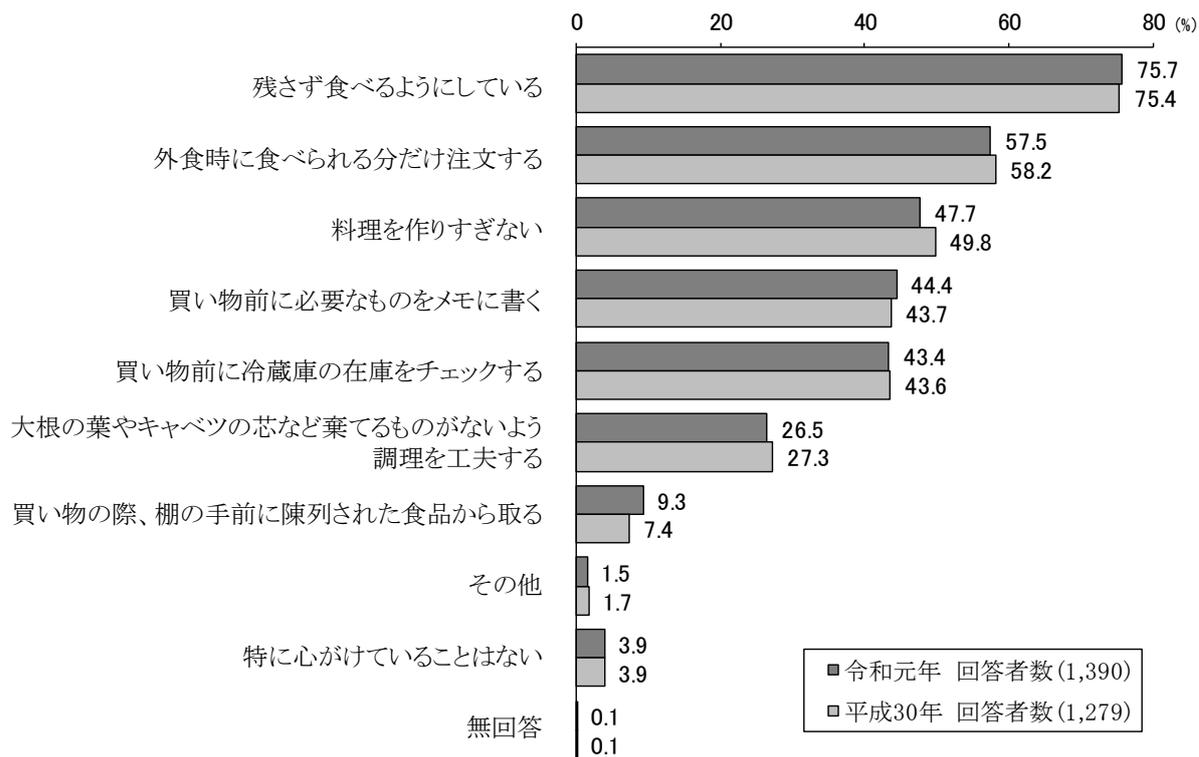
■ 「残さず食べるようにしている」が7割台半ば

問40で「1. 知っている」とお答えの方に

問40-1 あなたが、食品ロス削減のために心がけていることは何ですか

(○はあてはまるものすべて)。

図8-3-1 前回調査比較／食品ロス削減のために心がけていること



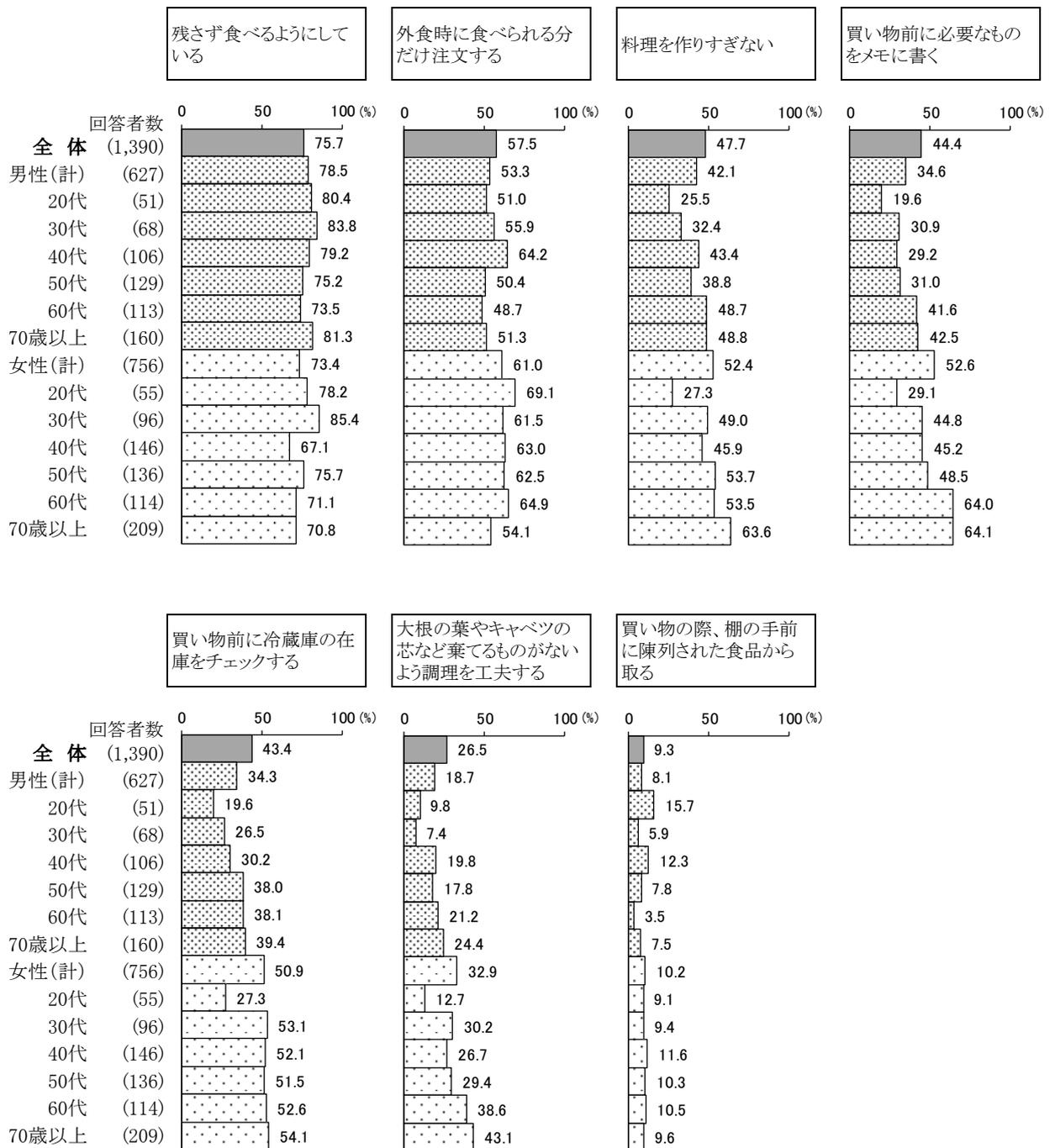
「食品ロス」という言葉を知っている人に、食品ロス削減に心がけていることを聞いた結果は、「残さず食べるようにしている」が75.7%で最も高く、以下「外食時に食べられる分だけ注文する」(57.5%)、「料理を作りすぎない」(47.7%)、「買い物前に必要なものをメモに書く」(44.4%)、「買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする」(43.4%)の順となっている。

前回の結果と比較すると、各項目の比率にほとんど変動はみられない。

性別でみると、多くの項目で男性より女性の方が高くなっているが、最も高い「残さず食べるようにしている」だけは男性78.5%、女性73.4%で男性の方がやや高くなっている。

性・年代別でみると、「残さず食べるようにしている」は、男性では20代と30代及び70歳以上で、女性では30代で、それぞれ8割台とやや高くなっている。次点の「外食時に食べられる分だけ注文する」は、男性では40代で、女性では20代でそれぞれ最も高く、そのほか「料理を作りすぎない」は女性の70歳以上で、「買い物前に必要なものをメモに書く」は女性の60代と70歳以上で、それぞれ6割台半ばと他の性・年代層より高くなっている。

図8-3-2 性別、性・年代別／食品ロス削減のために心がけていること



(4) この1年間に参加した活動と今後の参加意向

■ 活動経験・参加意向とも“区が主催する各種のイベントや催し物”が2割前後で最多

問41 あなたがこの1年間に参加された活動と、引き続き、または今後あなたが参加したいと思う活動はどれですか（〇はいずれも、あてはまるものすべて）。

図8-4-1-① 経年比較／この1年間に参加した活動

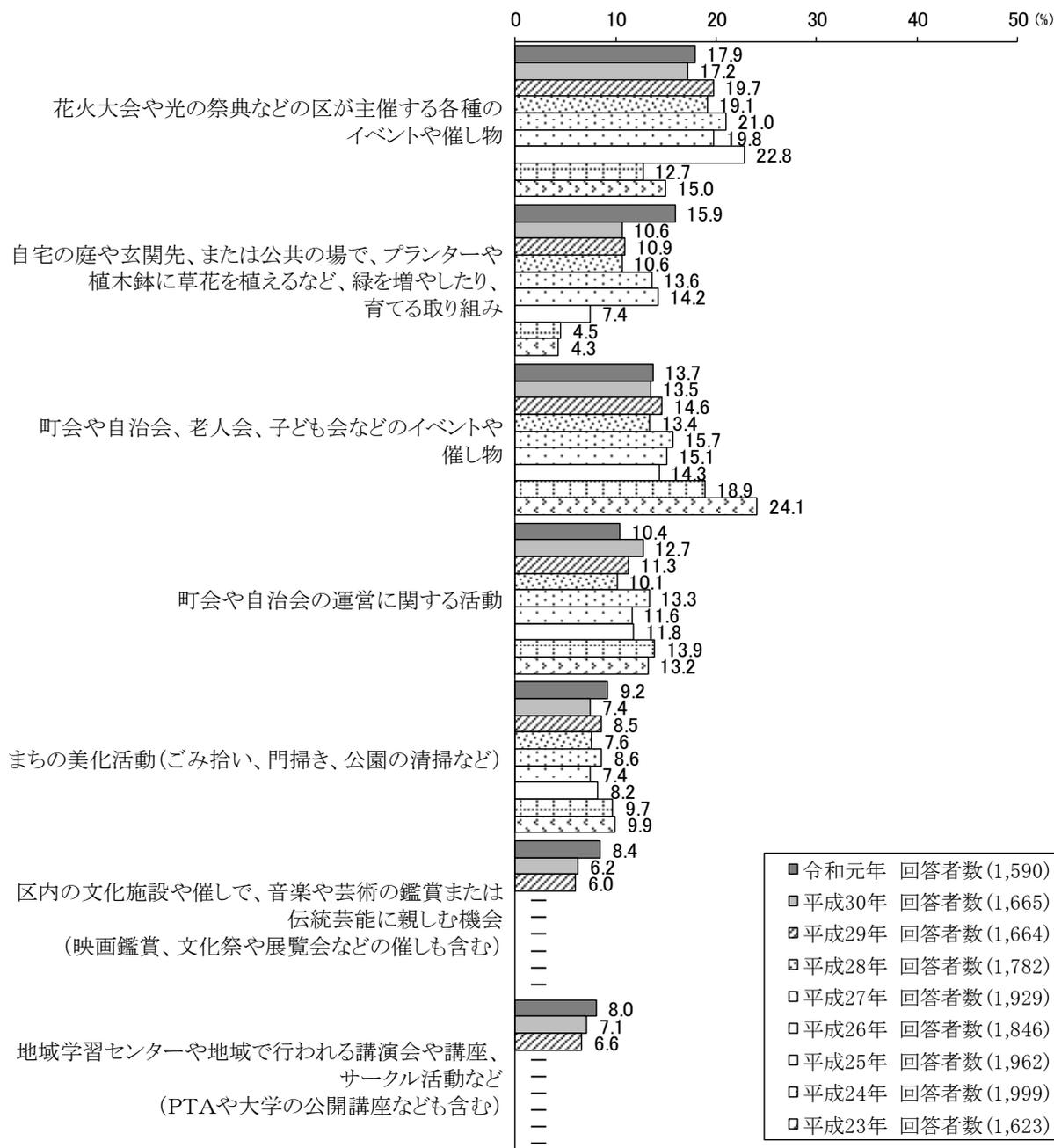
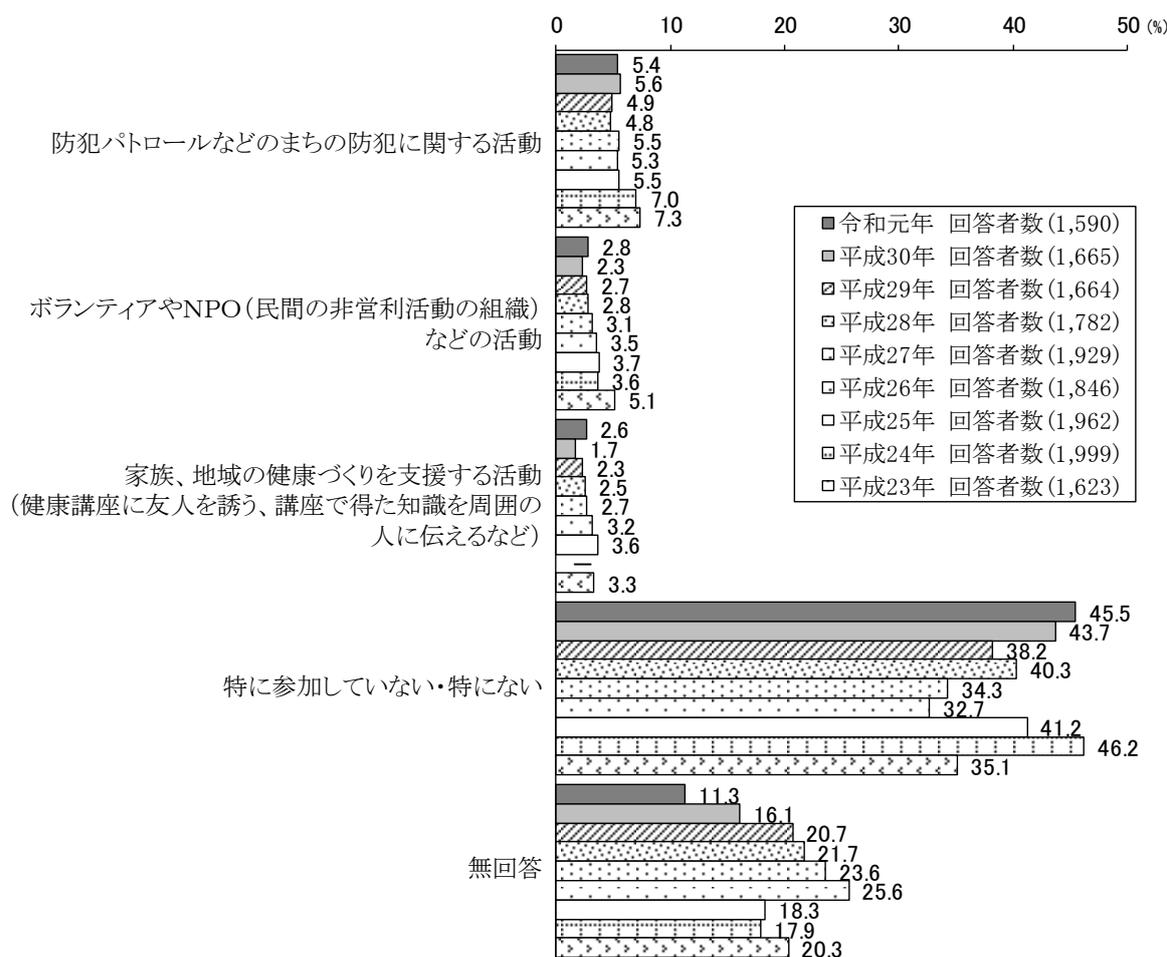


図8-4-1-② 経年比較／この1年間に参加した活動



- ※ 「自宅や店舗の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は、平成26年度から平成30年度まで「自宅や店舗の庭や玄関先、ベランダ、公共の場などでの草花や木、緑のカーテンの育成」で、平成25年度以前は「自宅や公共の場での花壇づくり、緑のカーテンの設置など緑化活動」。
- ※ 「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」のカッコ内の（映画鑑賞～などの催しも含む）の部分は、令和元年度に新規追加。
- ※ 「地域学習センターや地域で行われる講演会や講座、サークル活動など」と「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会」は、平成29年度新設。
- ※ 平成24年度は、「家族、地域の健康づくりを支援する活動」を設けていない。

この1年間で参加した活動としては、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」が17.9%で最も高く、以下「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」(15.9%)、「町会や自治会、老人会、子ども会などのイベントや催し物」(13.7%)、「町会や自治会の運営に関する活動」(10.4%)の順で続いている。

経年でみると、項目文の一部を変更した「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」(今回15.9%)が前回より5.3ポイント増加して、順位(前回4位→今回2位)も上げたのを除くと、そのほかの上位項目について、順位、数値に大きな変動はみられない。

図8-4-2-① 経年比較／今後の参加意向

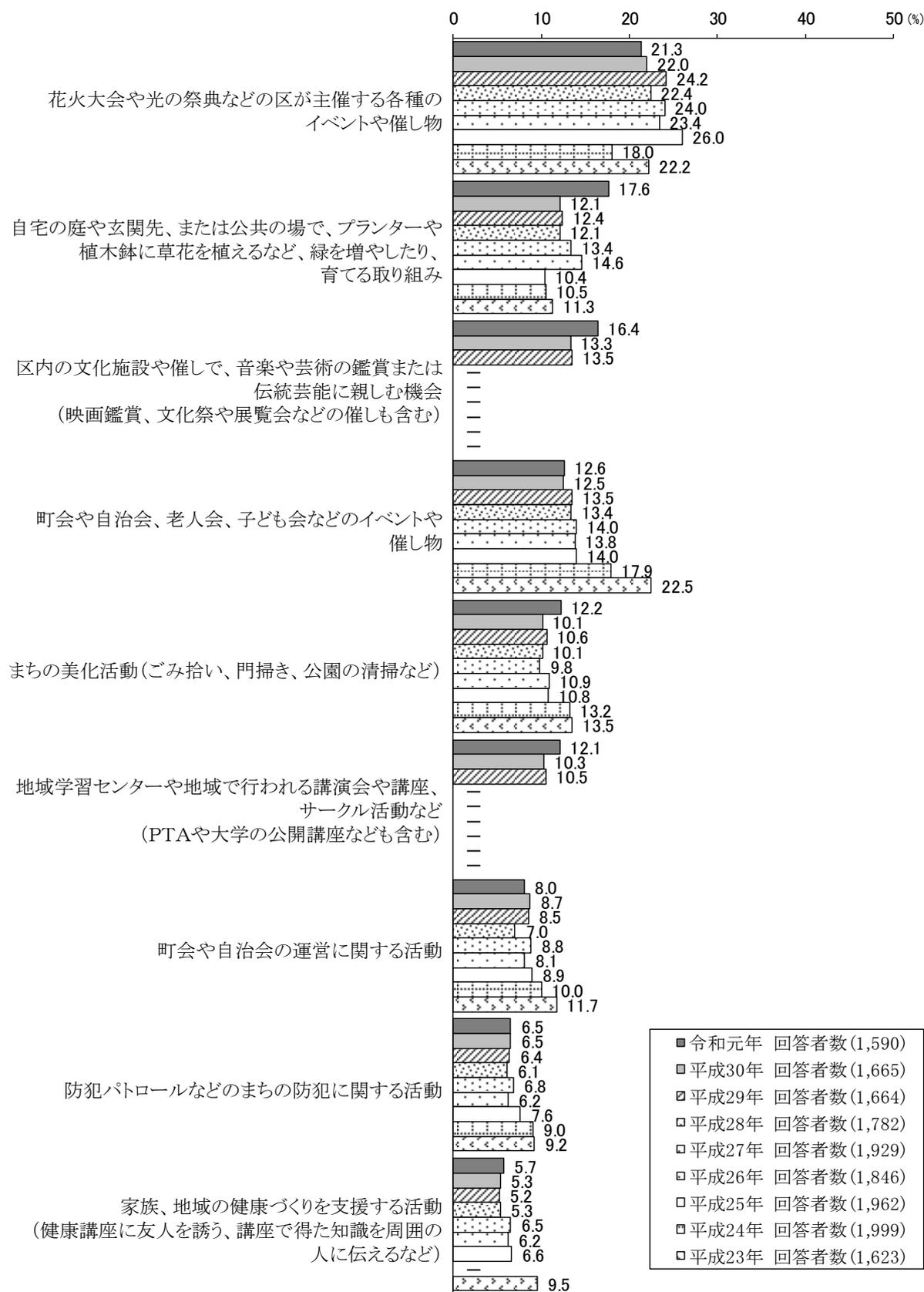
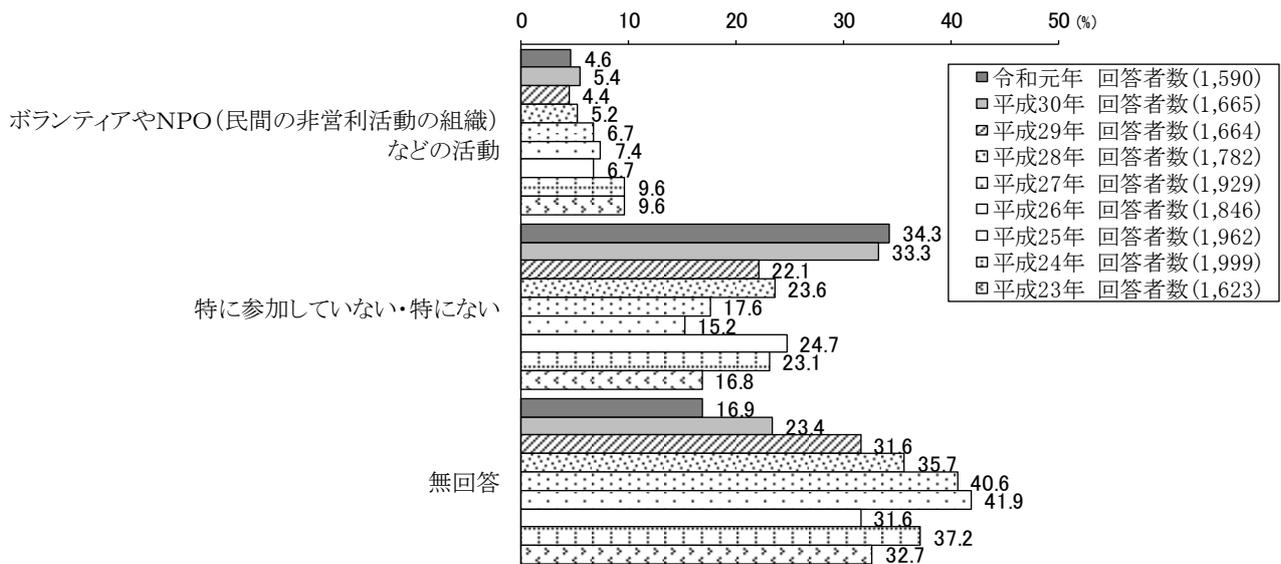


図8-4-2-② 経年比較／今後の参加意向



- ※ 「自宅や店舗の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は、平成26年度から平成30年度まで「自宅や店舗の庭や玄関先、ベランダ、公共の場などでの草花や木、緑のカーテンの育成」で、平成25年度以前は「自宅や公共の場での花壇づくり、緑のカーテンの設置など緑化活動」。
- ※ 「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」のカッコ内の（映画鑑賞～などの催しも含む）の部分は、令和元年度に新規追加。
- ※ 「地域学習センターや地域で行われる講演会や講座、サークル活動など」と「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会」は、平成29年度新設。
- ※ 平成24年度は、「家族、地域の健康づくりを支援する活動」を設けていない。

今後参加したい活動としては、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」が21.3%で最も高く、以下「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」（17.6%）、「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」（16.4%）、「町会や自治会、老人会、子ども会などのイベントや催し物」（12.6%）、の順で続いている。

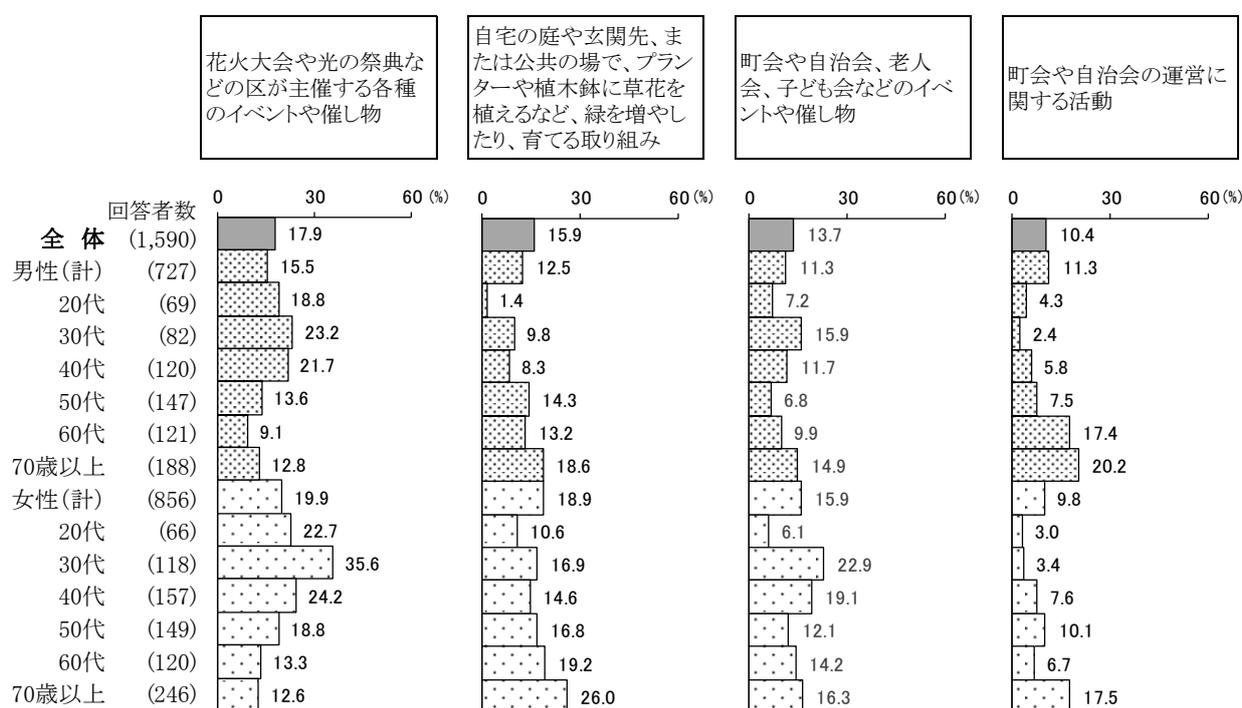
経年でみると、〈参加した活動〉と同様に、項目文の一部を変更した「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」（今回 17.6%）が前回より 5.5 ポイント増加して順位（前回 4 位→今回 2 位）も上げたことと、項目文巻末に（映画鑑賞、文化祭～も含む）の補足文を加えた「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」（今回 16.4%）が 3.1 ポイント増加（順位は 2 位→3 位）したのを除くと、そのほかの上位項目について、順位、数値に大きな変動はみられない。

第3章 調査結果の分析 〈 環境・地域活動 〉

〈参加した活動〉の上位4項目について性別でみると、男性の方が僅かに高めの「町会や自治会の運営に関する活動」を除く上位3項目はいずれも女性の方がやや高くなっている。

性・年代別でみると、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」は女性の30代で3割台半ばととくに高く、そのほか「町会や自治会、老人会、子ども会などのイベントや催し物」は女性の30代と40代で、「町会や自治会の運営に関する活動」は男女の70歳以上と男性60代で、それぞれ2割前後とやや高くなっている。

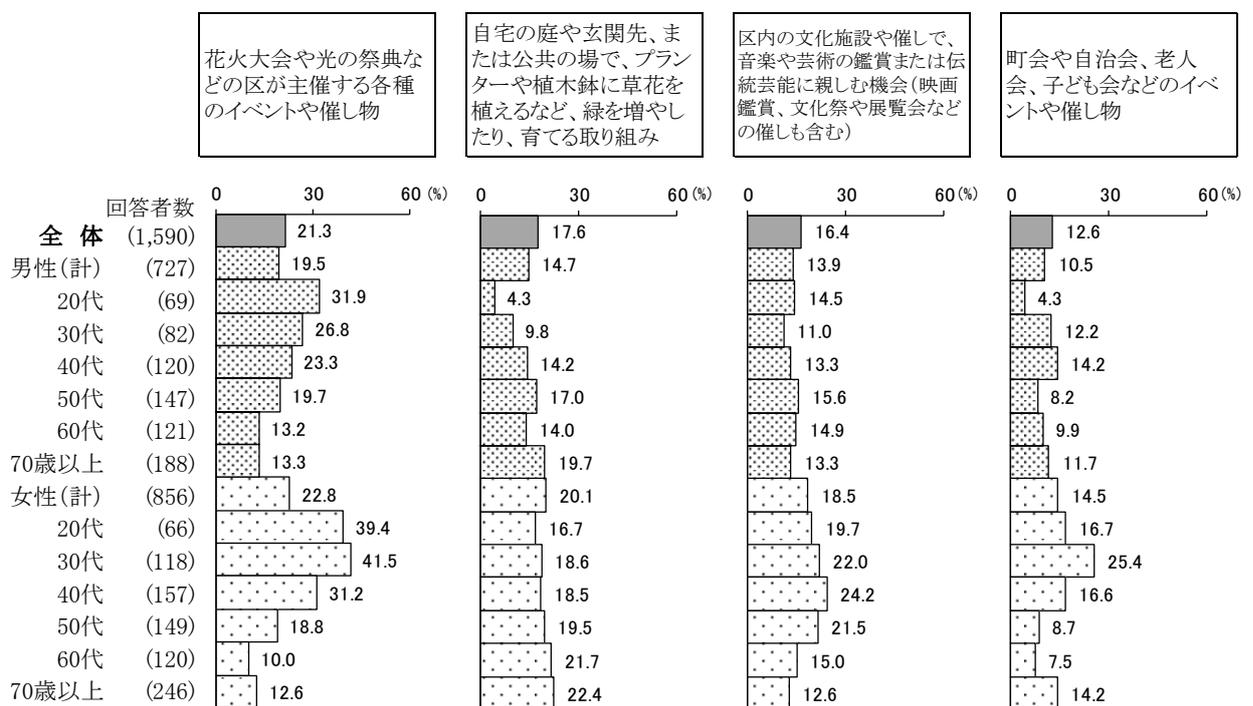
図8-4-3 性別、性・年代別／この1年間に参加した活動／上位4項目



〈今後参加したい活動〉の上位4項目について性別でみると、4項目はいずれも女性の方が男性よりやや高くなっているが、大きな性差とはなっていない。

性・年代別でみると、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」は、男女ともに若い層ほど高めとなる傾向がみられ、年代による格差は男性より女性の方が強めとなっている。そのほか「町会や自治会、老人会、子ども会などのイベントや催し物」は女性の30代で2割台半ばと高くなっている。

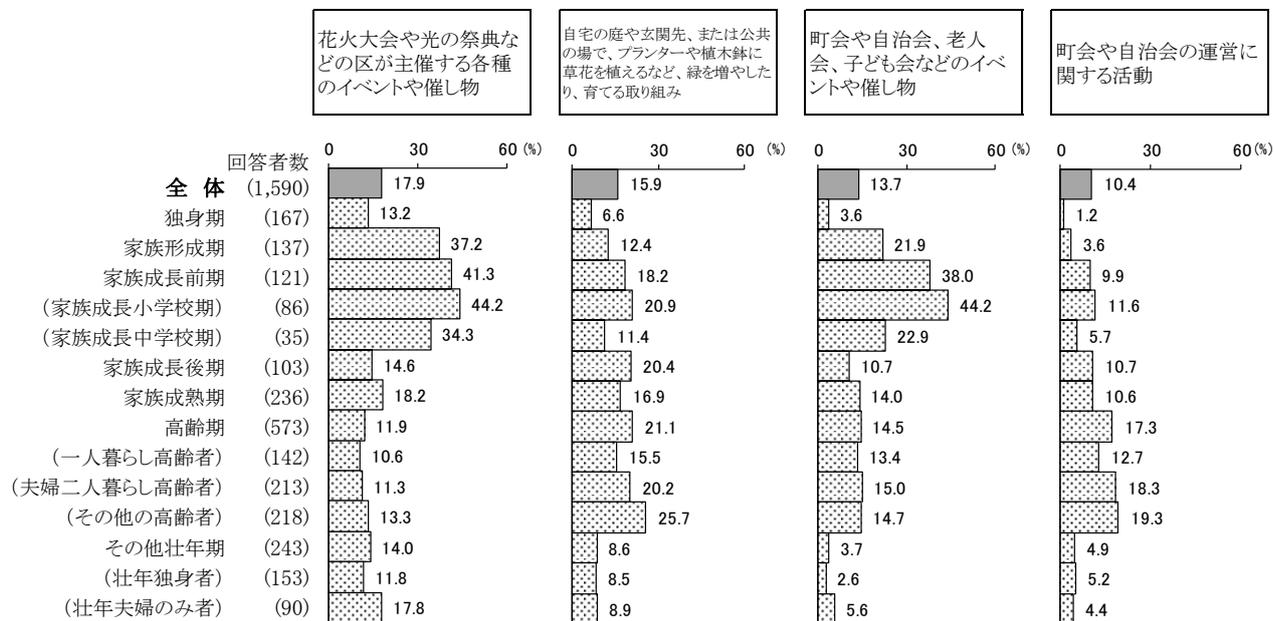
図8-4-4 性別、性・年代別／今後の参加意向／上位4項目



第3章 調査結果の分析 〈環境・地域活動〉

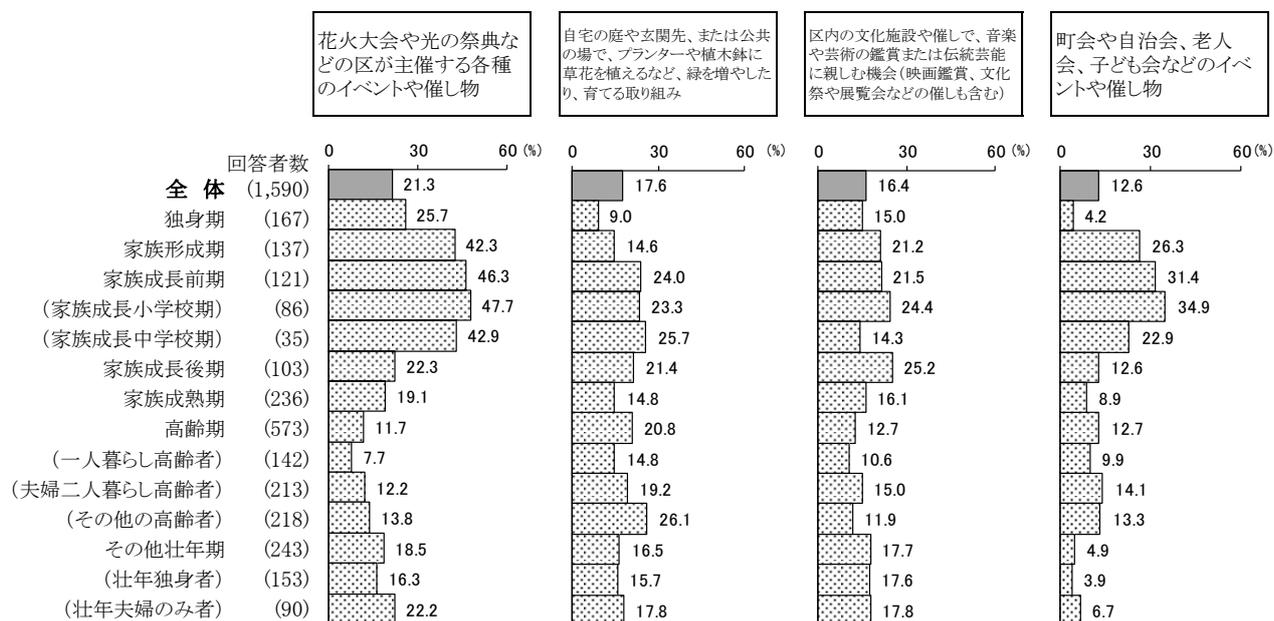
〈参加した活動〉についてライフステージ別でみると、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」は家族形成期と家族成長前期で4割前後とともに高く、家族成長前期は「町会や自治会、老人会、子ども会などのイベントや催し物」も4割弱と高くなっている。

図8-4-5 ライフステージ別／この1年間に参加した活動／上位4項目



〈今後参加したい活動〉についてライフステージ別でみると、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」と「町会や自治会、老人会、子ども会などのイベントや催し物」の2項目は、家族形成期と家族成長前期でそれぞれ他の層より高くなっている。

図8-4-6 ライフステージ別／今後の参加意向／上位4項目



9 「孤立ゼロプロジェクト」など

-
- (1) 「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況
 - (2) 「地域包括支援センター」の認知状況
 - (3) 高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向
 - (4) 協力意向がある活動内容
 - (5) 「成年後見制度」の認知状況
-

9 「孤立ゼロプロジェクト」など

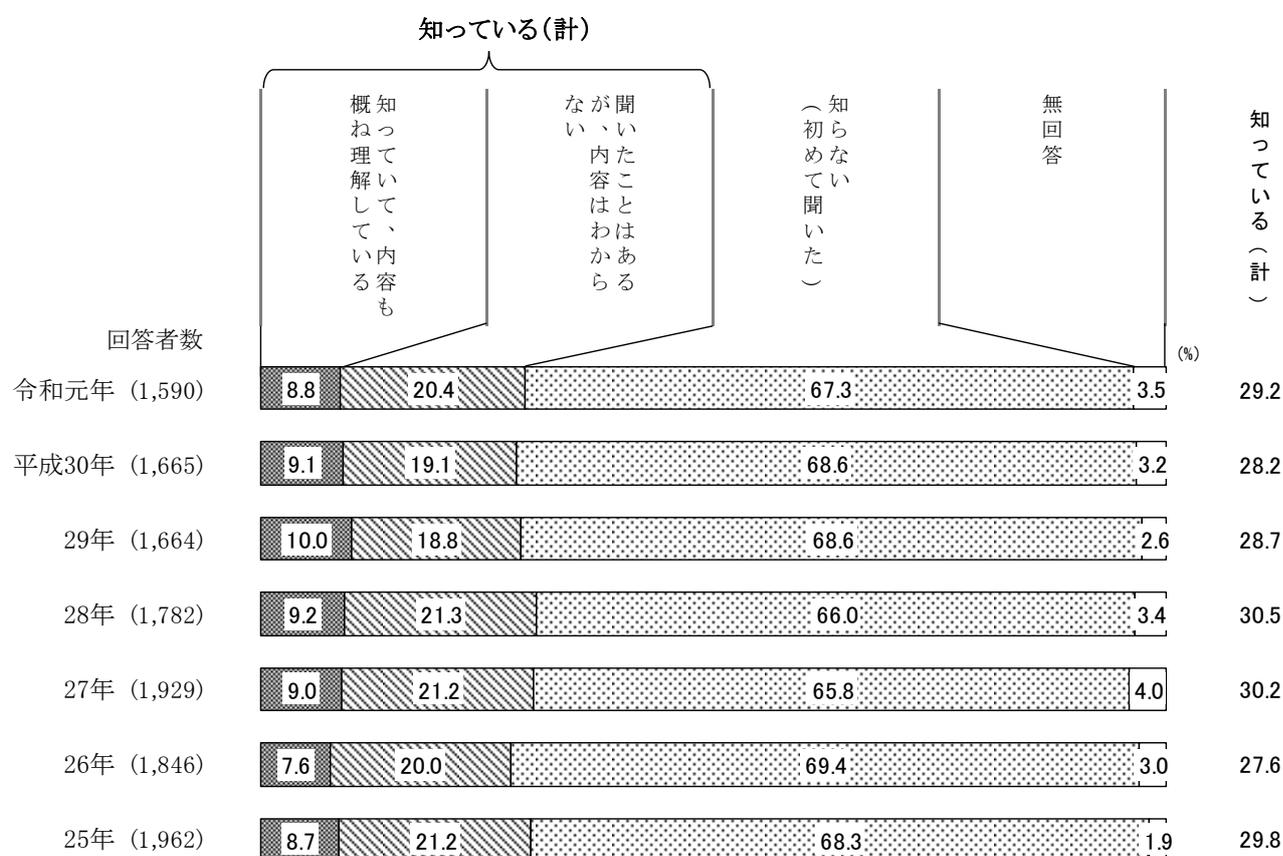
（1）「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

■ 【知っている】は3割弱で、「知らない（初めて聞いた）」が7割弱

問42 あなたは、足立区の「孤立ゼロプロジェクト（※）」という取り組みを知っていますか
（○は1つだけ）。

※ 「孤立ゼロプロジェクト」とは、地域における見守り活動を支援するとともに、日常的な寄り添い支援活動を通じて、支援を必要とする方を早期に発見し、必要なサービスにつなぎ、地域活動などへの社会参加を促す一連の活動をいいます。

図9-1-1 経年比較／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況



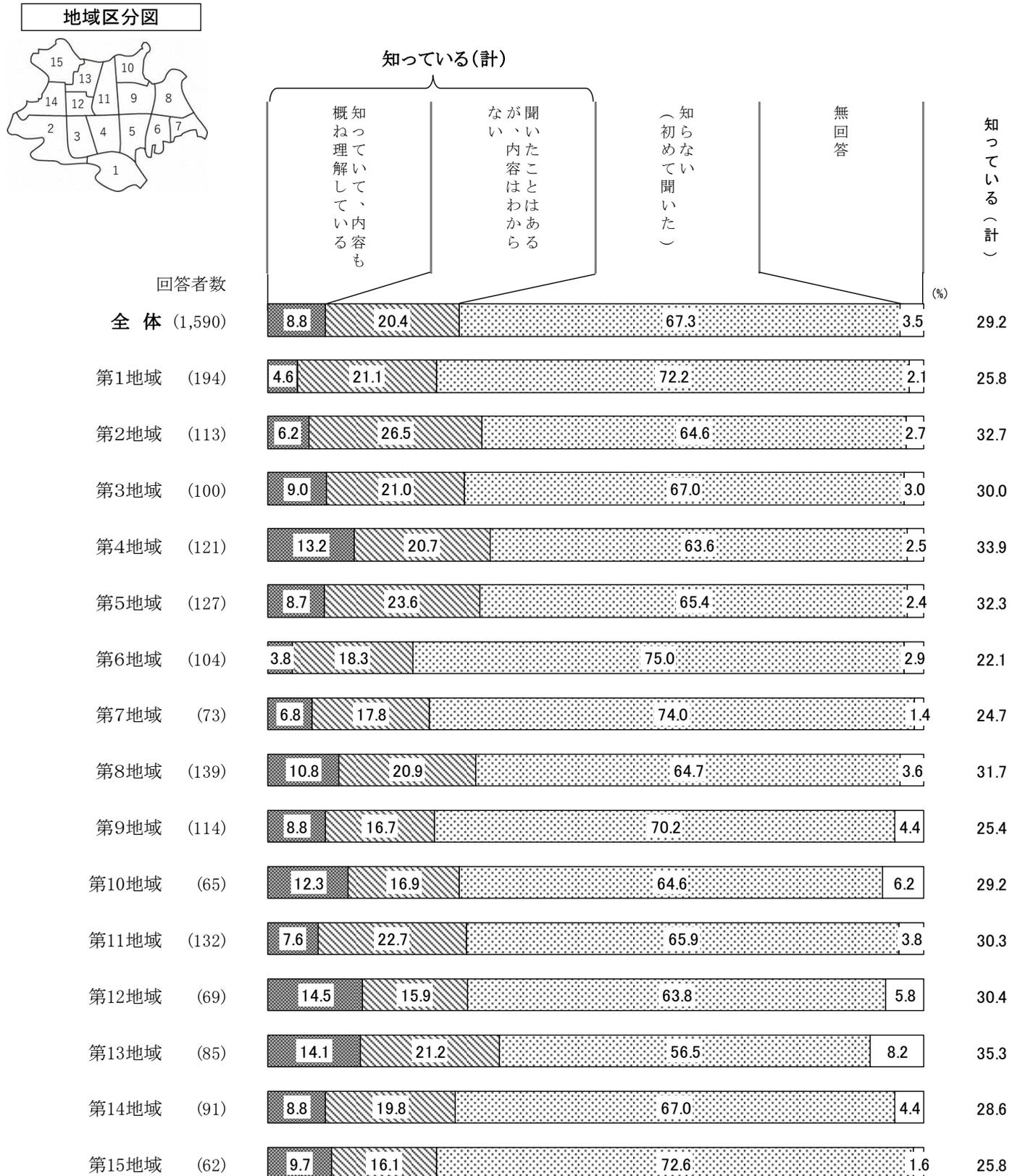
「孤立ゼロプロジェクト」について、「知っている、内容も概ね理解している」が8.8%で、これに「聞いたことはあるが、内容はわからない」の20.4%を合わせた【知っている】は29.2%となっている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は67.3%を占めている。

経年でみると、【知っている】は今回29.2%で、平成25年以降3割前後で推移しており、ほぼ横ばい状態となっている。

第3章 調査結果の分析 〈「孤立ゼロプロジェクト」など〉

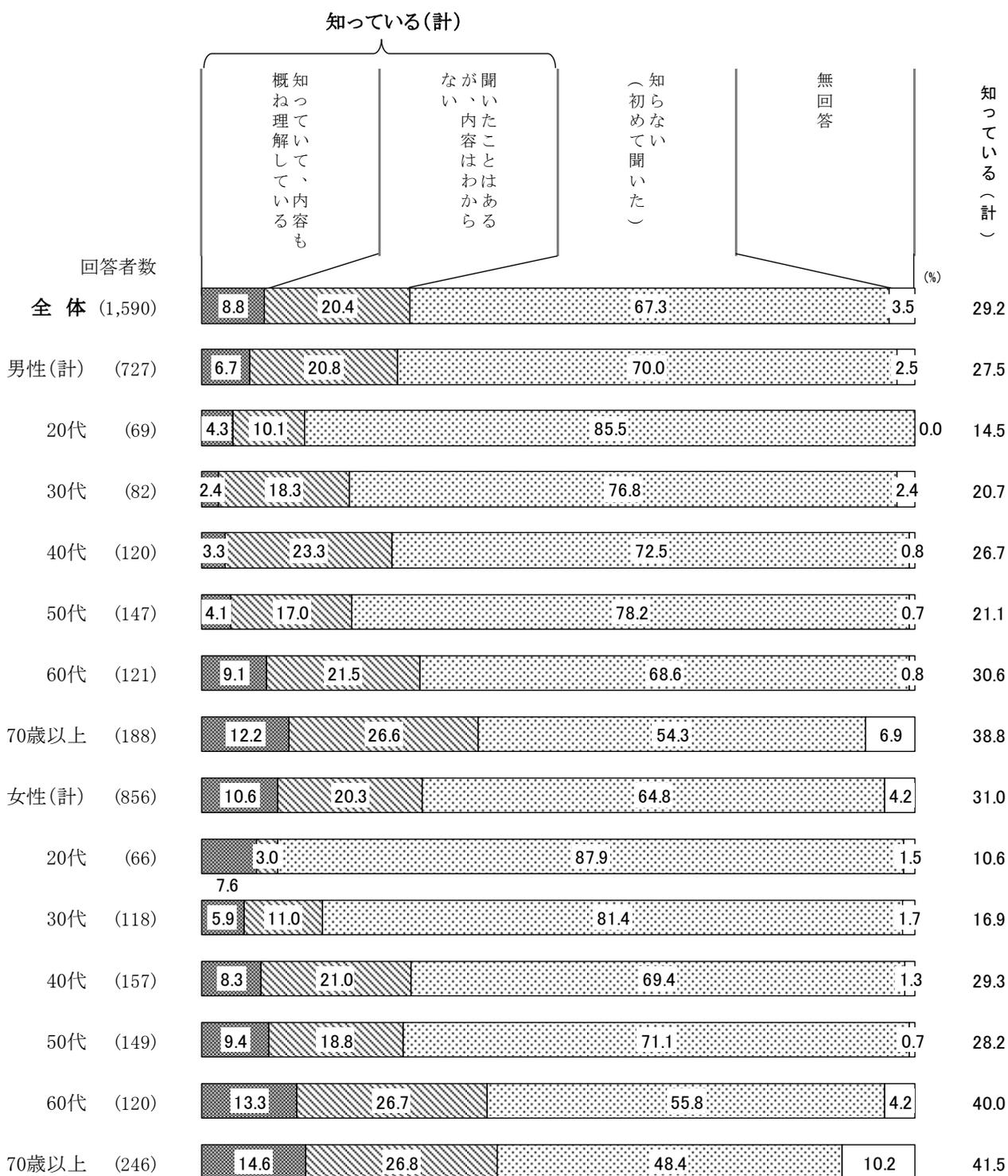
地域別でみると、【知っている】は第13地域で35.3%と最も高く、第4地域が33.9%で続き、この両地域でやや高くなっている。一方、第6地域では【知っている】が22.1%とやや低く、「知らない（初めて聞いた）」が7割台半ばを占めて最も高くなっている。

図9-1-2 地域別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況



性別でみると、【知っている】は男性27.5%、女性31.0%と、女性の方がやや高くなっている。
 性・年代別でみると、【知っている】は、男性では70歳以上で、女性では60代と70歳以上で、それぞれ4割前後と高くなっているが、男女の20代と女性30代ではいずれも1割台と低く、男女ともに年代が高くなるにつれて認知率も高まる傾向がみられる。

図9-1-3 性別、性・年代別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況



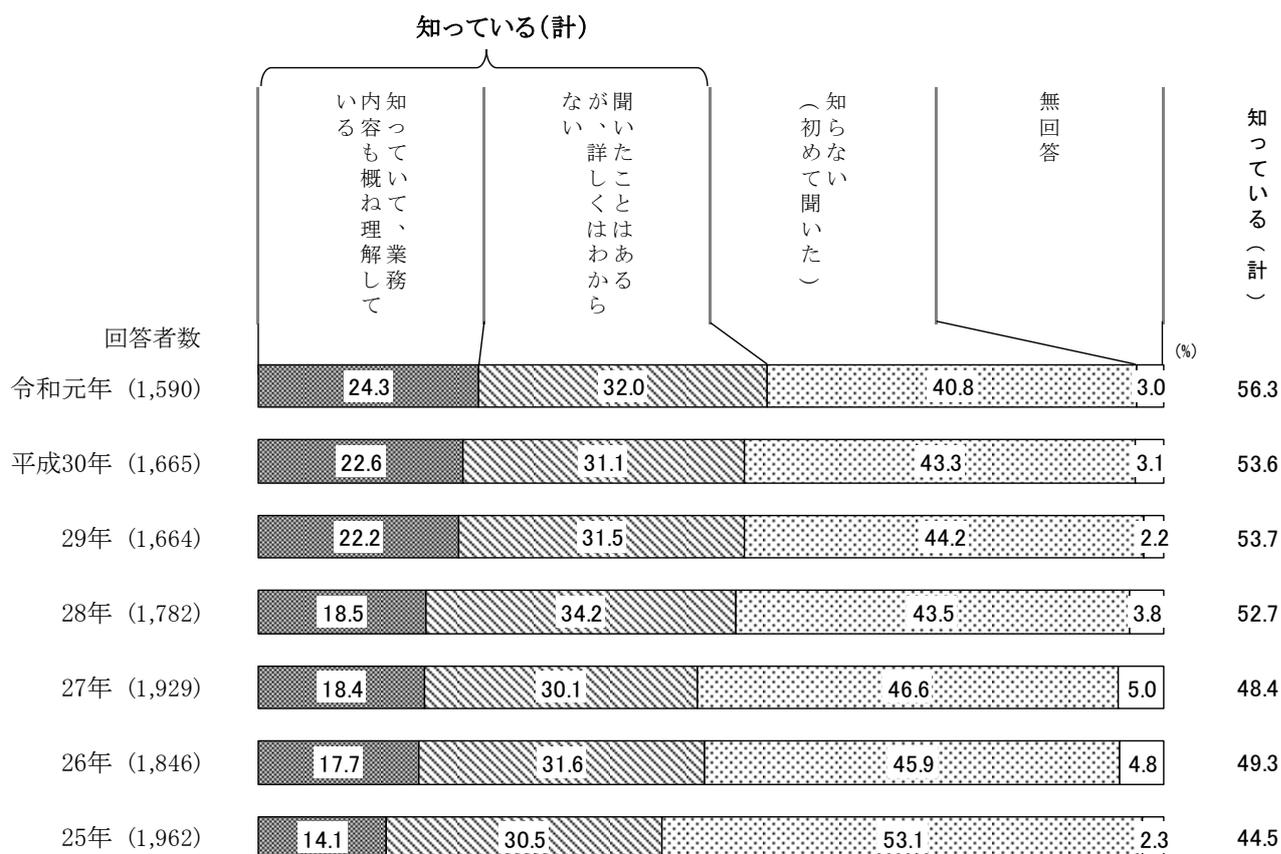
(2) 「地域包括支援センター」の認知状況

■ 【知っている】が5割台半ば

問43 あなたは、「地域包括支援センター（※）」を知っていますか（○は1つだけ）。

※ 「地域包括支援センター」とは、足立区から委託を受けた公的な「高齢者の総合相談窓口」です。高齢者やご家族の方の様々なご相談に応じて、公的な保健福祉サービスの紹介や申請手続きのお手伝いをします。

図9-2-1 経年比較／「地域包括支援センター」の認知状況

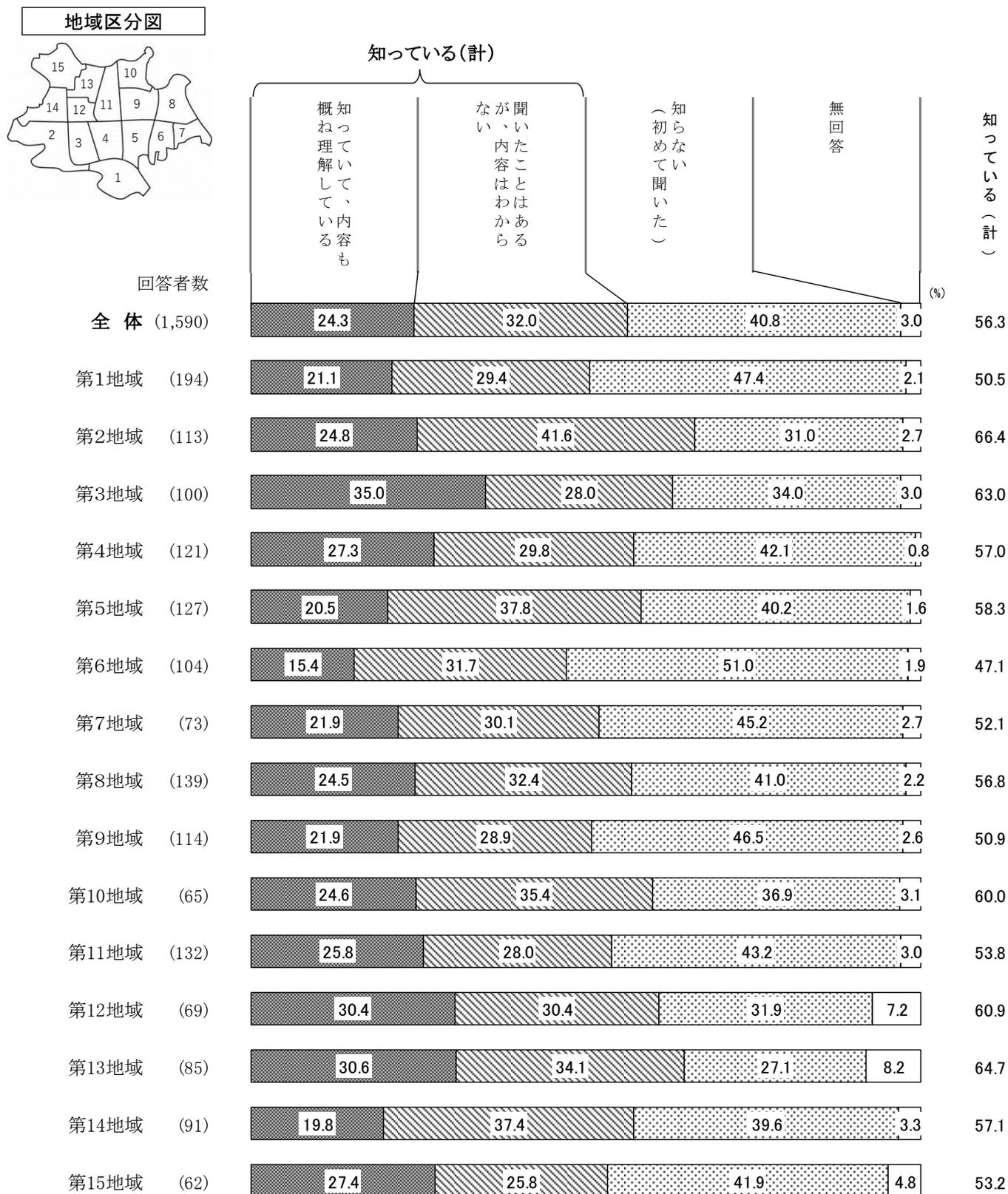


「地域包括支援センター」について、「知っている、業務内容も概ね理解している」が24.3%で、これに「聞いたことはあるが、詳しくはわからない」の32.0%を合わせた【知っている】は56.3%となっている。一方、「知らない(初めて聞いた)」は40.8%である。

経年でみると、【知っている】は今回56.3%で、前回より2.7ポイント増えており、平成25年の44.5%からみると10ポイント以上増加して漸増傾向にあり、「知っている、業務内容も概ね理解している」も今回24.3%で、平成25年以降6年間に亘って僅かずつながら各年微増を続けている。

地域別でみると、【知っている】は66.4%の第2地域で最も高く、第13地域が僅差で続き、第3地域、第10地域、第12地域もそれぞれ6割台と高くなっている。一方、第6地域では【知っている】が47.1%と低く、「知らない（初めて聞いた）」が過半数を占めて最も高くなっている。

図9-2-2 地域別／「地域包括支援センター」の認知状況

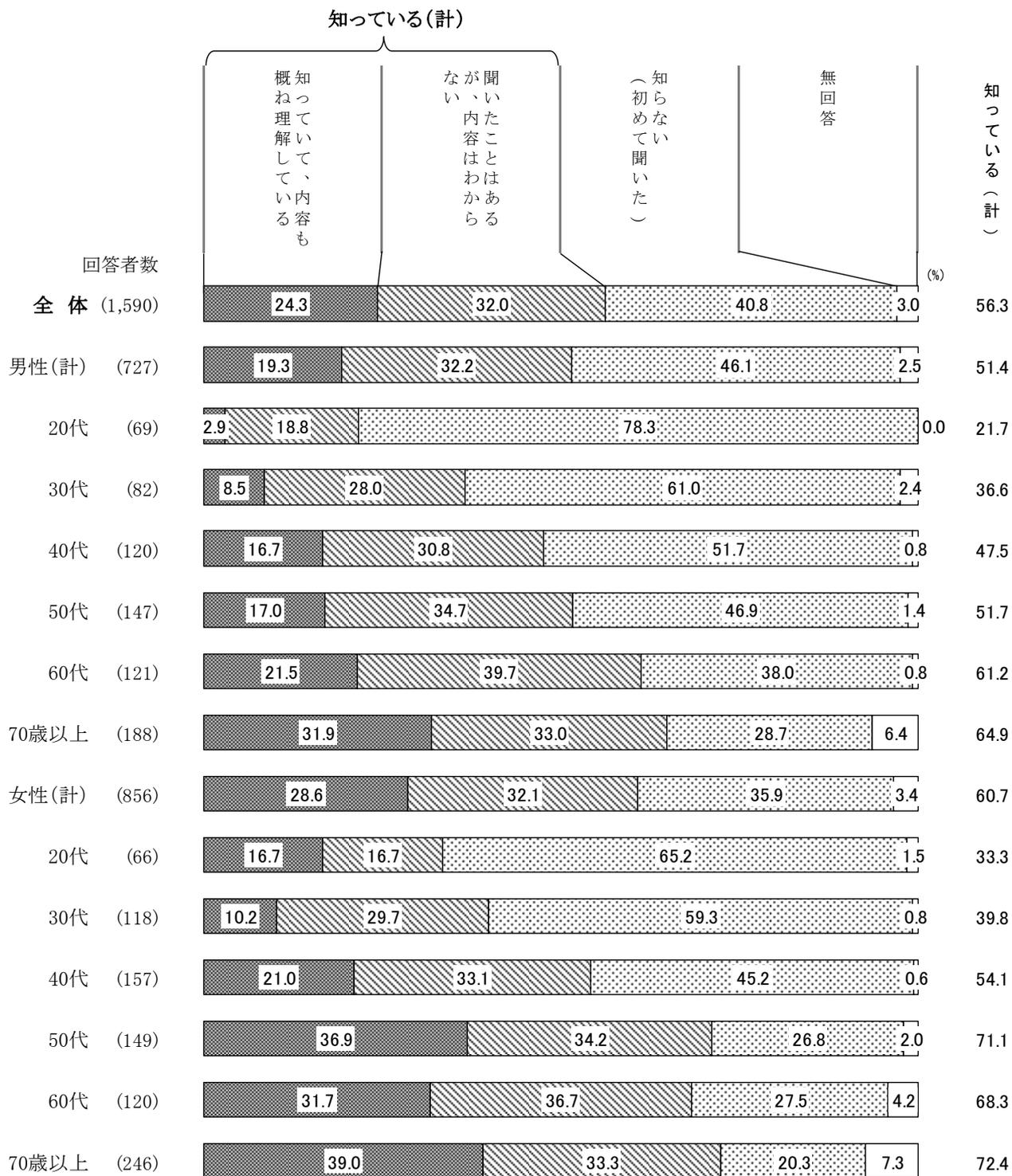


第3章 調査結果の分析 〈「孤立ゼロプロジェクト」など〉

性別でみると、【知っている】は男性51.4%、女性60.7%と、男性より女性で高くなっている。

性・年代別でみると、【知っている】は、男性では70歳以上で6割台半ばと最も高く、女性では50代以上の3年代層で、それぞれ7割前後と高くなっており、男女ともに年代が高くなるにつれて認知率も高まる傾向がみられる。

図9-2-3 性別、性・年代別／「地域包括支援センター」の認知状況

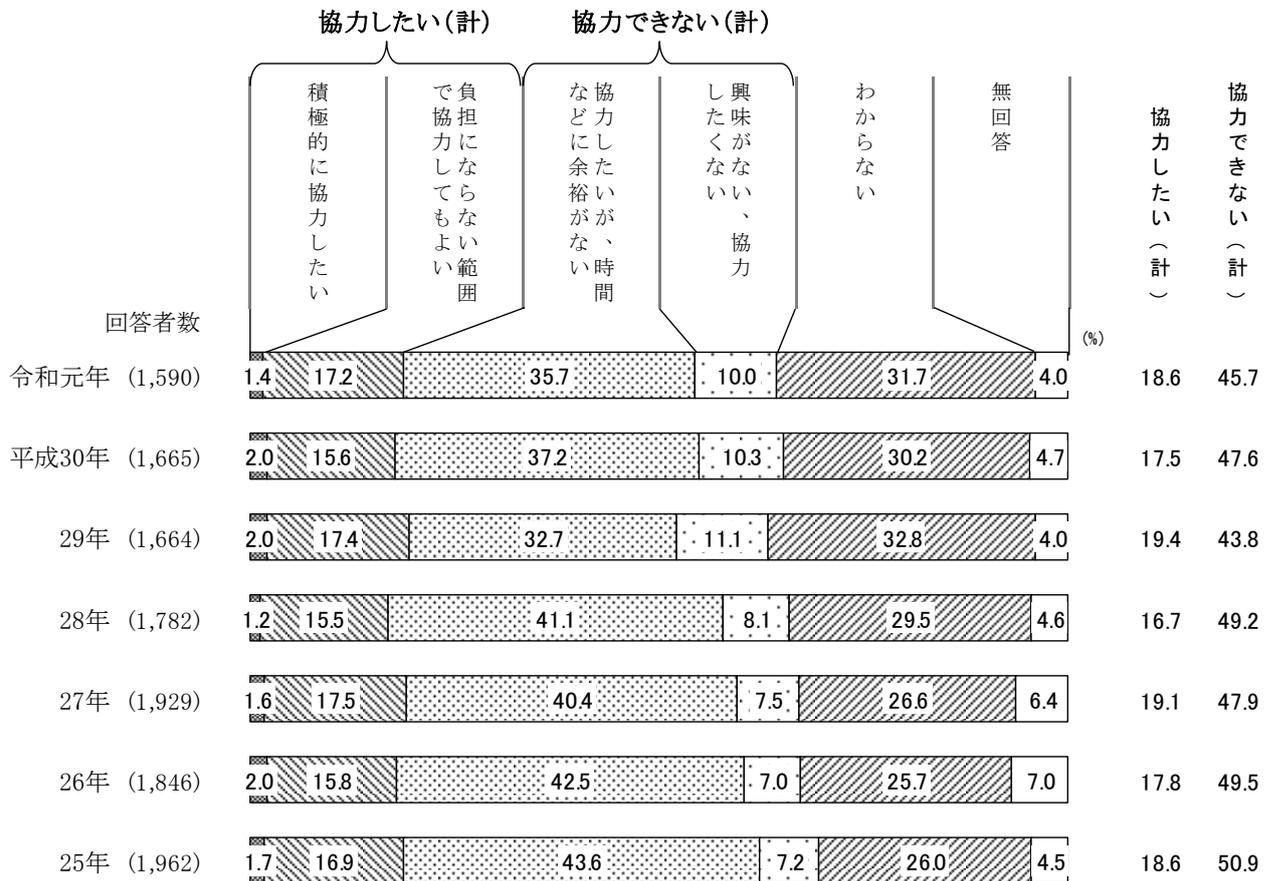


（3）高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

■ 【協力したい】は2割弱で、前回よりやや増加も、大きな経年変化はみられず

問44 あなたは、高齢者の孤立防止や見守り活動に協力してみたいですか（○は1つだけ）。

図9-3-1 経年比較／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向



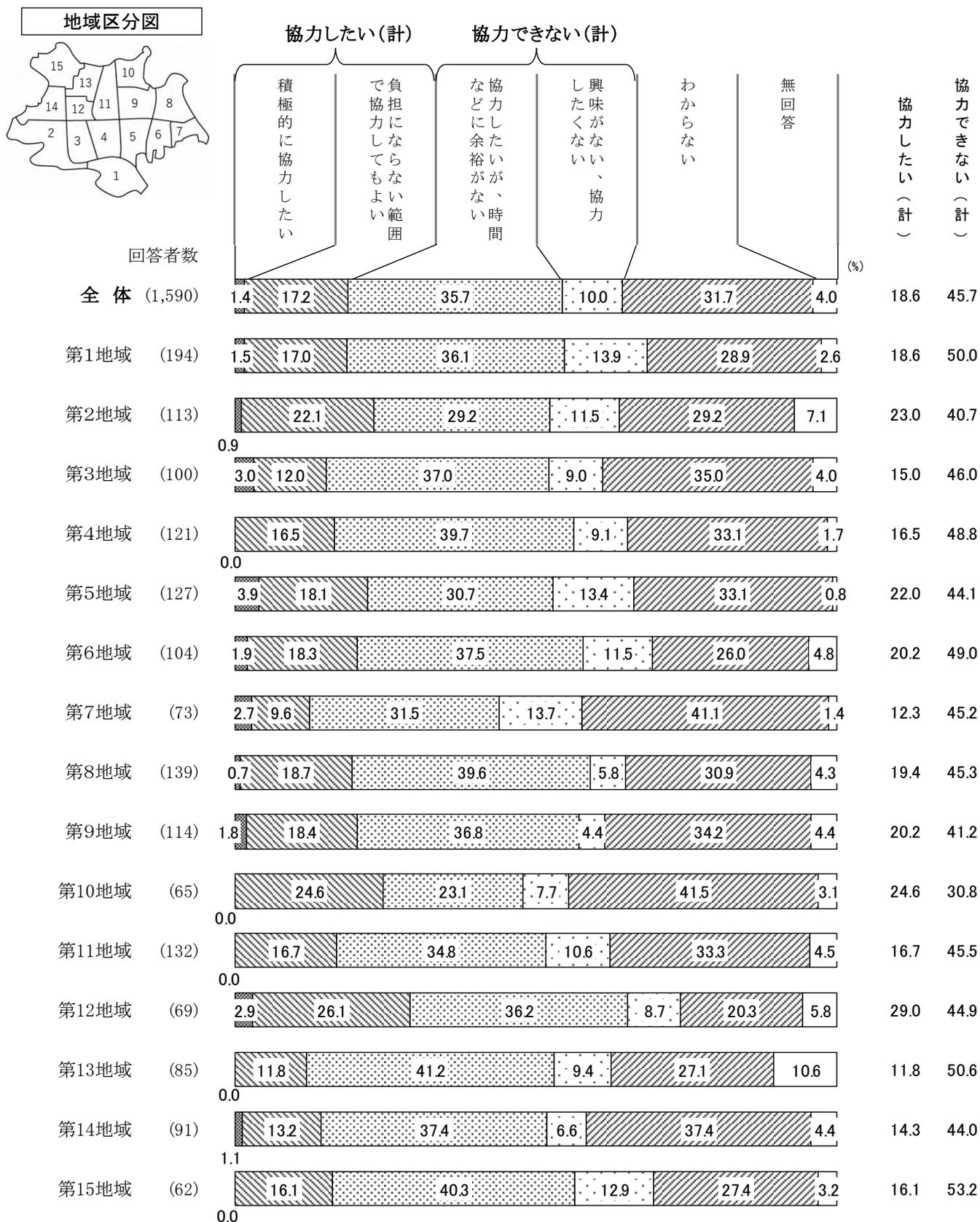
高齢者の孤立防止や見守り活動に「積極的に協力したい」は1.4%で、これに「負担にならない範囲で協力してもよい」の17.2%を合わせた【協力したい】は18.6%となっている。一方、「協力したいが、時間などに余裕がない」は35.7%、「興味がない、協力したくない」は10.0%となっており、この両層を合わせた【協力できない】は45.7%となる。

経年でみると、【協力したい】は今回18.6%と、前回の17.5%より1.1ポイント増加しているものの、平成25年以降各年2割弱のレベルで推移しており、大きな経年変化はみられない。

第3章 調査結果の分析 〈「孤立ゼロプロジェクト」など〉

地域別でみると、【協力したい】は第12地域が29.0%で最も高く、第10地域が24.6%で続き、この両地域で高くなっている。一方、【協力できない】は第15地域が5割強で最も高くなっている。

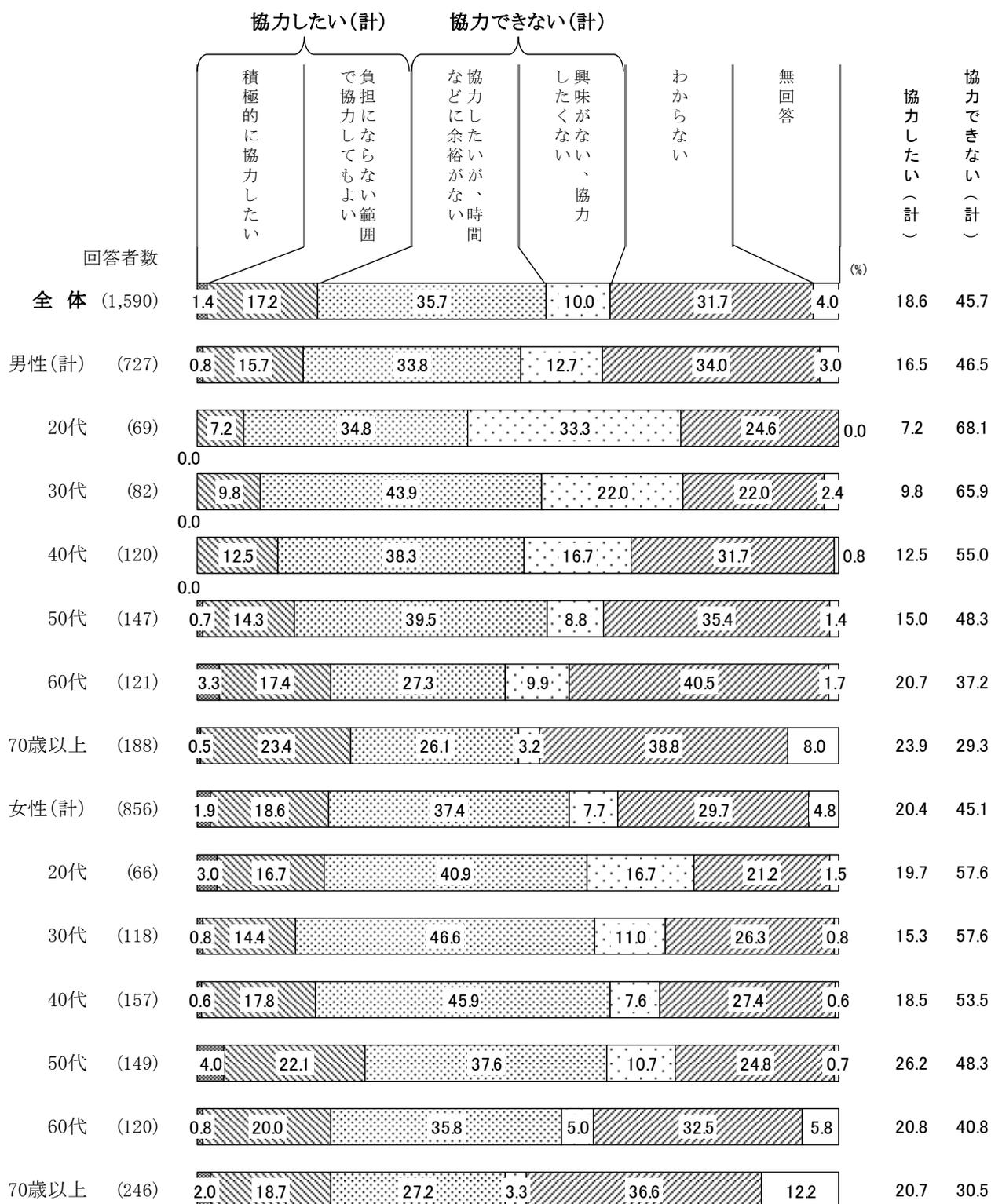
図9-3-2 地域別／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向



性別でみると、【協力したい】は男性16.5%、女性20.4%となっている。

性・年代別でみると、【協力したい】は、男性では70歳以上で、女性では50代で、それぞれ2割台半ばとやや高くなっている。一方、男女の30代と女性40代では「協力したいが、時間などに余裕がない」がそれぞれ4割台半ばを占めて、他の性・年代層より高くなっている。

図9-3-3 性別、性・年代別／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

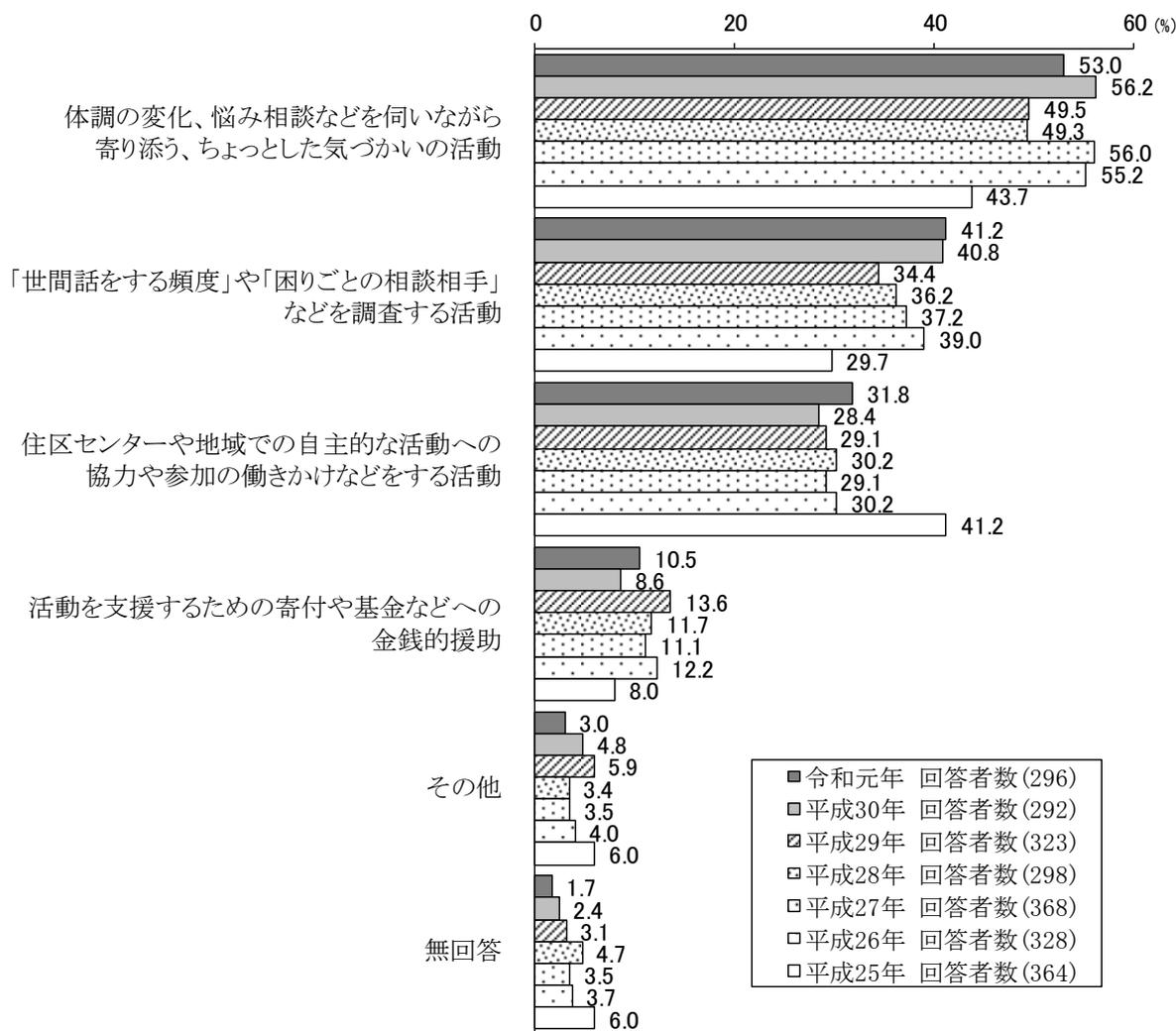


（4）協力意向がある活動内容

■ “ちょっとした気づかいの活動”が5割強、“調査する活動”が4割強

問44で「1. 積極的に協力～」、または「2. 負担にならない範囲で協力～」とお答えの方に
問44-1 どのような活動に協力したいですか（○はあてはまるものすべて）。

図9-4-1 経年比較／協力意向がある活動内容



平成25年度調査の選択肢について

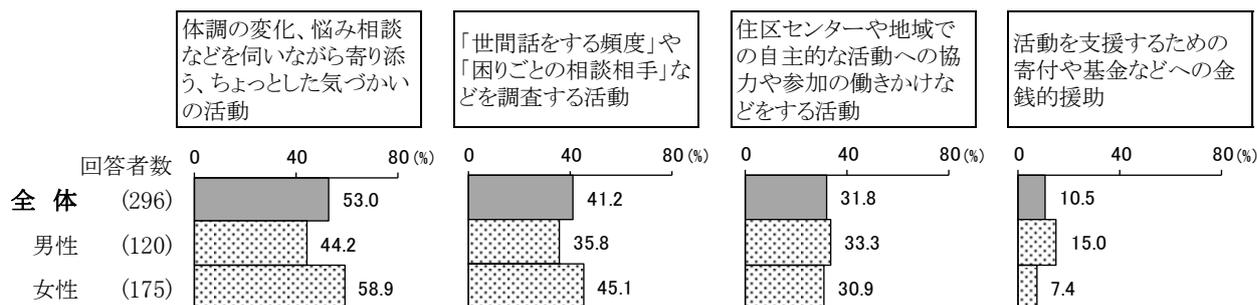
- 体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動＝平成25年度調査：寄り添い支援活動
- 「世間話をする頻度」や「困りごとの相談相手」などを調査する活動＝平成25年度調査：調査活動
- 住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなどをする活動＝平成25年度調査：居場所づくりや活動の場での協力
- 活動を支援するための寄付や基金等への金銭的援助＝平成25年度調査：財政的協力

【協力したい】という人に、その活動内容を聴くと、「体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動」が53.0%で最も高く、以下「『世間話をする頻度』や『困りごとの相談相手』などを調査する活動」（41.2%）、「住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなどをする活動」（31.8%）の順で続いている。

経年でみると、上位項目の順位や比率に前回からの大きな変動はみられない。

性別でみると、「体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動」は男性44.2%、女性58.9%で男性より女性が14.7ポイント高く、「『世間話をする頻度』や『困りごとの相談相手』などを調査する活動」（男性35.8%＜女性45.1%）も女性の方が高くなっている。

図9-4-2 性別／協力意向がある活動内容

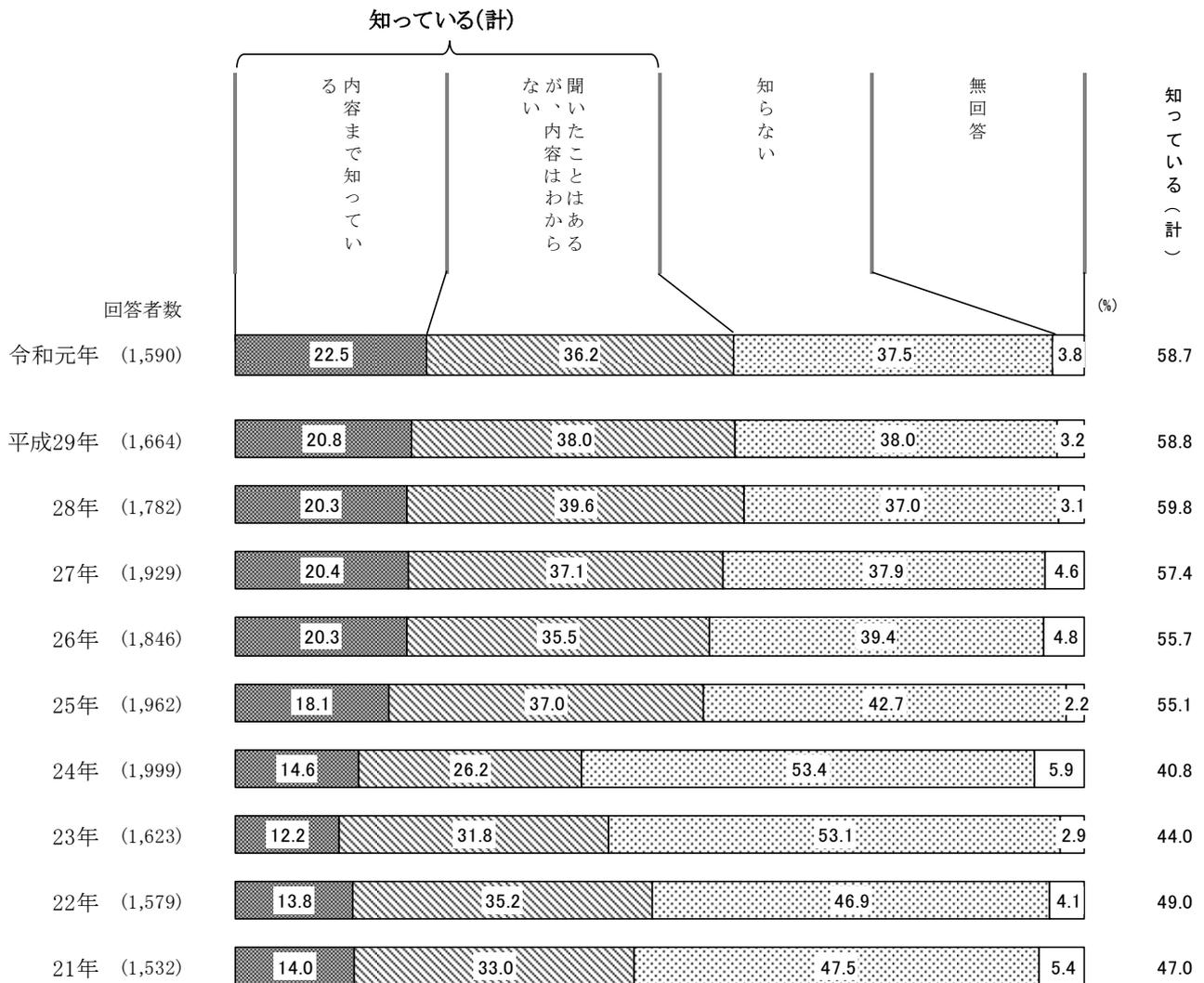


(5) 「成年後見制度」の認知状況

■ 【知っている】は6割弱で、そのうち“内容まで認知”が2割強で、ほぼ横ばいの結果

問45 あなたは、高齢者などの権利を守るしくみとして、「成年後見制度」を知っていますか（○は1つだけ）。

図9-5-1 「成年後見制度」の認知状況



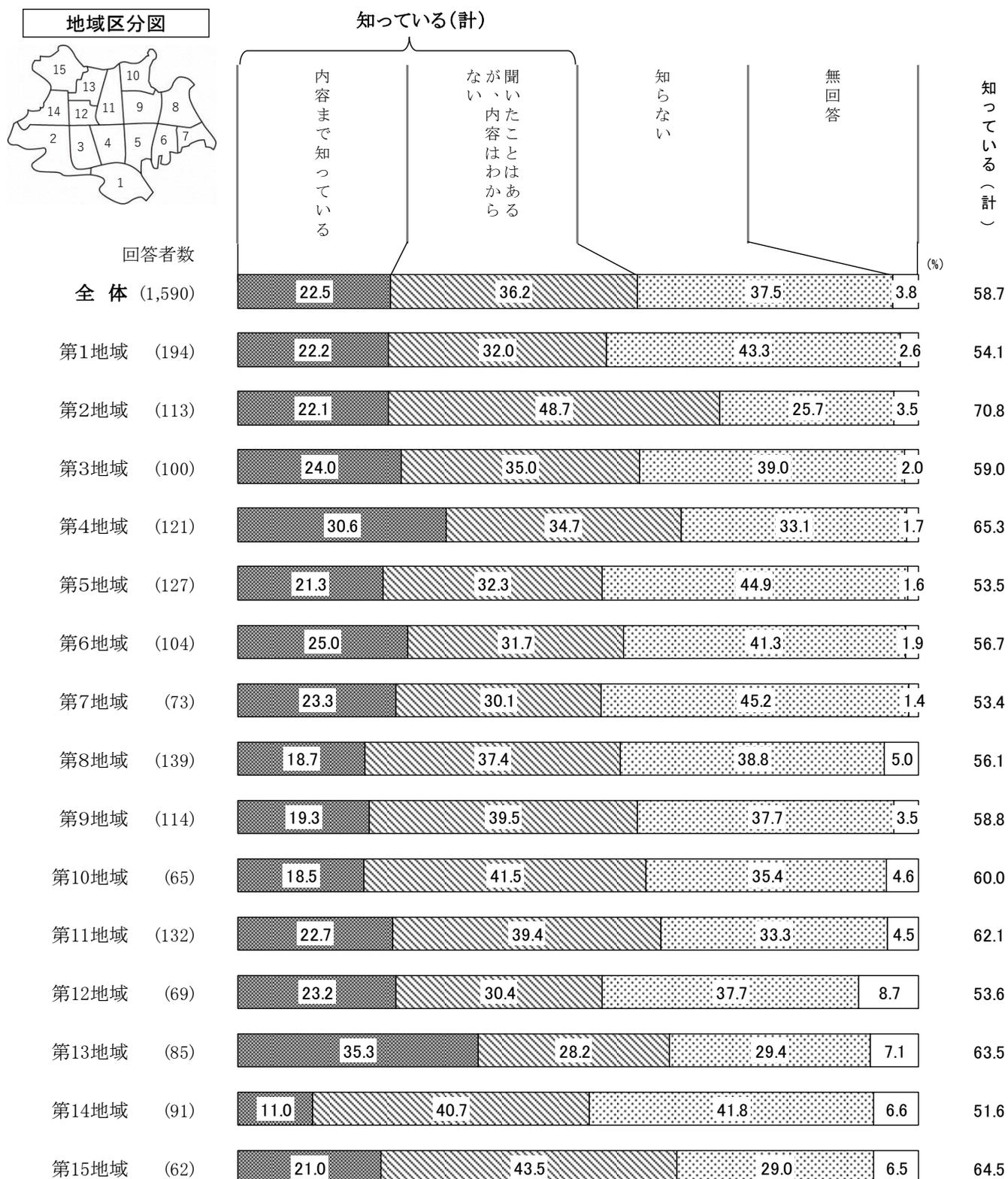
※ 本設問は、平成21年度以降聴取しているが、平成30年度では聴取していない。

「成年後見制度」について、「内容まで知っている」が22.5%で、これに「聞いたことあるが、内容はわからない」の36.2%を合わせた【知っている】は58.7%で6割弱となっている。一方、「知らない」は37.5%となっている。

経年でみると、【知っている】は今回58.7%と、平成27年以降ほぼ横ばい状態となっている。

地域別でみると、【知っている】は第2地域が70.8%と7割を超えて最も高く、これに第4地域、第13地域、第15地域がそれぞれ6割台半ばで続き、これらの地域で高くなっている。

図9-5-2 地域別／「成年後見制度」の認知状況

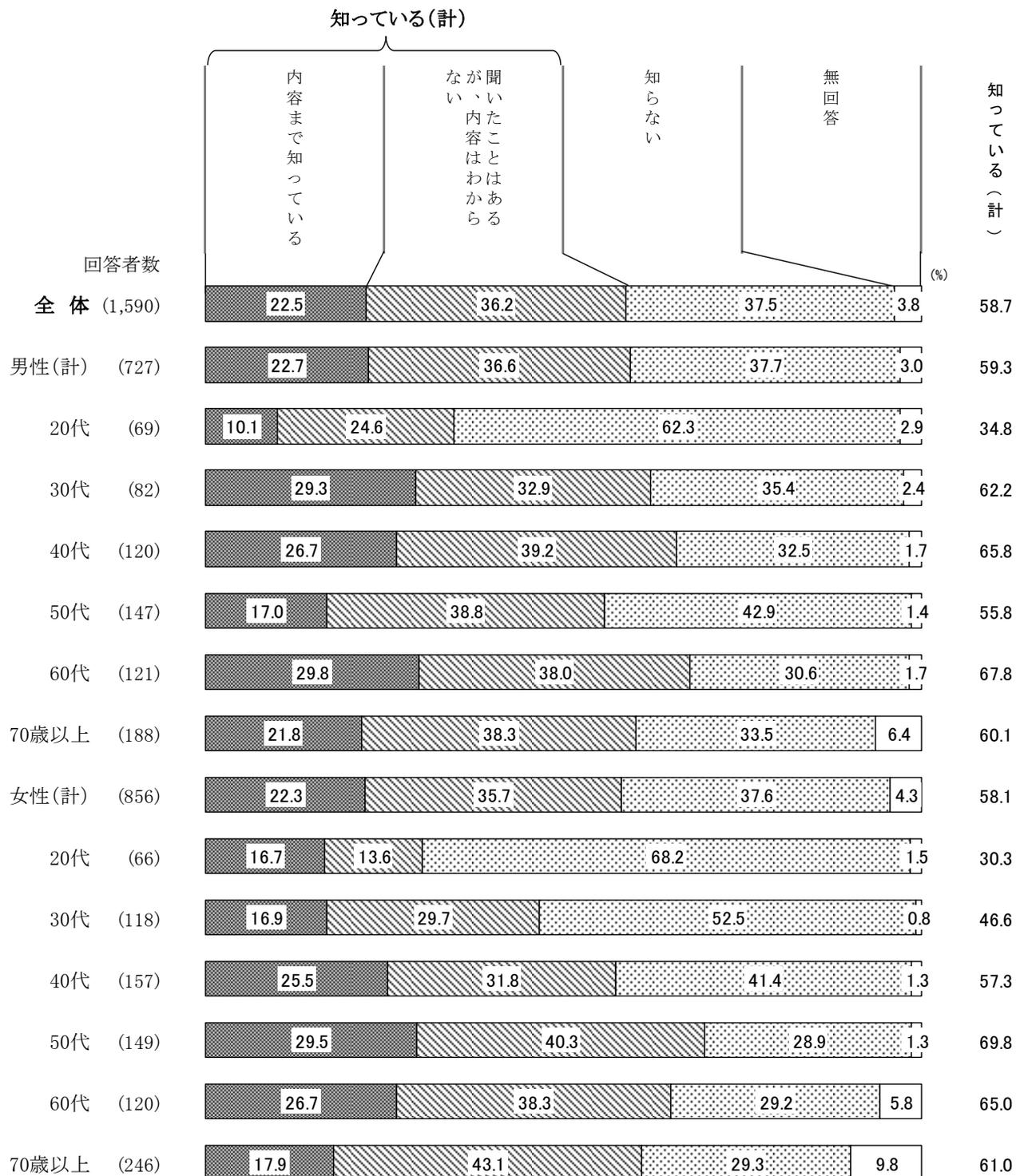


第3章 調査結果の分析（「孤立ゼロプロジェクト」など）

性別でみると、【知っている】は男性59.3%、女性58.1%でほとんど違いはみられない。

性・年代別でみると、【知っている】は、男性の60代と女性の50代でそれぞれ7割弱と高く、これに男性の40代と女性の60代がともに6割台半ばで続き、他の性・年代層より高くなっている。

図9-5-3 性別、性・年代別／「成年後見制度」の認知状況



10 協働・協創

-
- (1) 「協創」の認知
 - (2) 協働・協創の実践
 - (3) 区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価
-

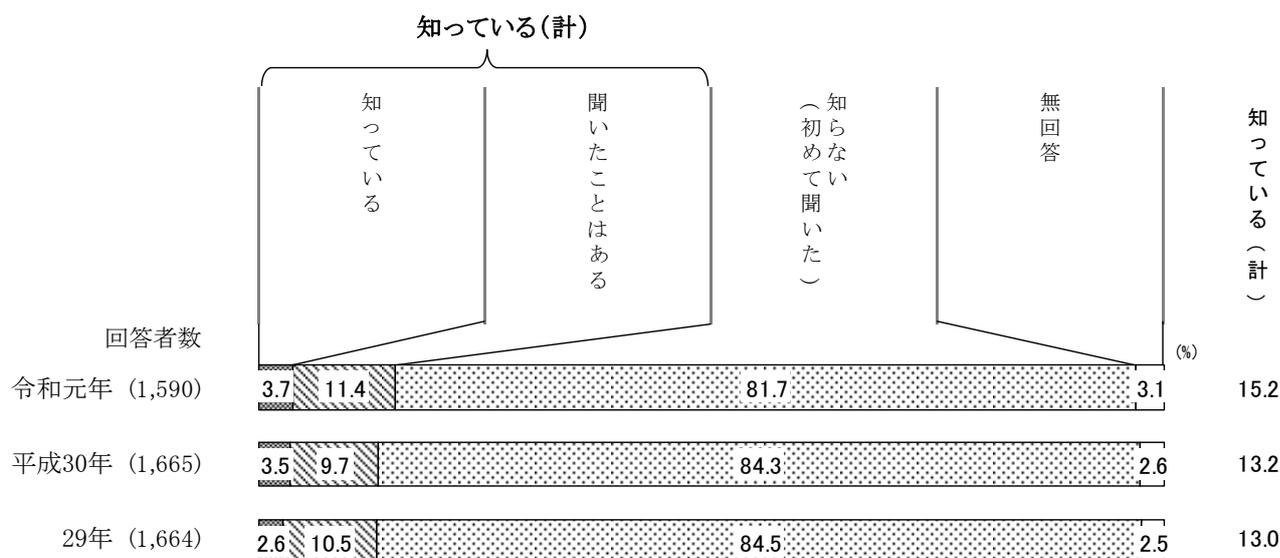
10 協働・協創

(1) 「協創」の認知

■ 【知っている】は前年より微増したが、依然15%台にとどまる

問46 「協創」とは、平成28年10月策定の足立区基本構想により打ち出した「区民・団体・企業・NPO・大学など多様な主体がつながり支えあい、自ら行動する」新たな仕組みです。あなたは、この「協創」を知っていますか（○は1つだけ）。

図10-1-1 経年比較／「協創」の認知



「協創」について「知っている」が3.7%で、これに「聞いたことはある」(11.4%)を合わせた【知っている】は15.2%となっている。一方、「知らない」は81.7%を占めている。

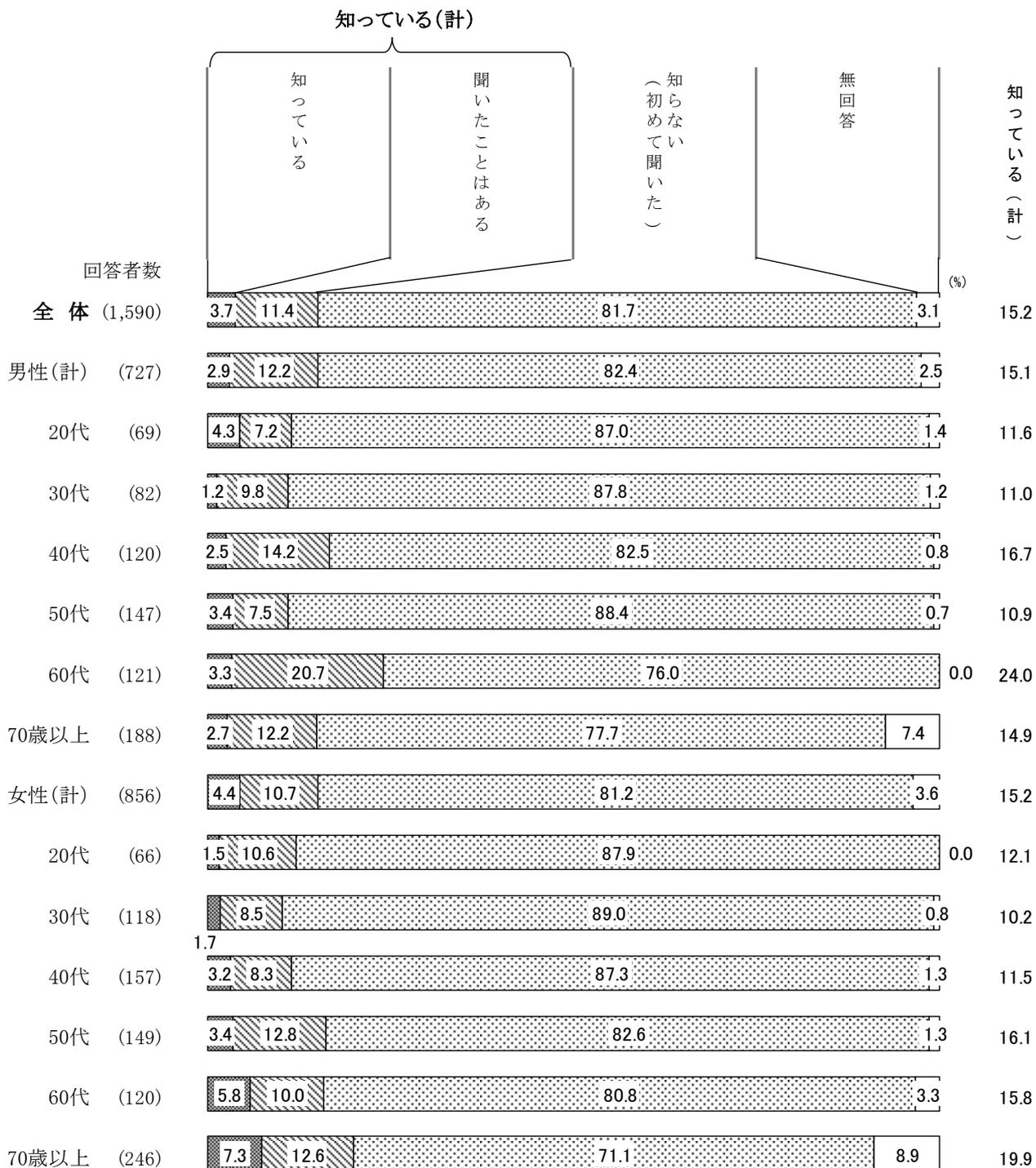
経年でみると、前回までと似通った回答分布ながら、今回の令和元年の【知っている】は15.2%で、前回の13.2%から2.0ポイントながら増加しており、逆に「知らない(初めて聞いた)」は前回より2.6ポイント減少している。

第3章 調査結果の分析〈協働・協創〉

性別で見ると、【知っている】は男性15.1%、女性15.2%で性差はみられない。

性・年代別で見ると、【知っている】は、男性では60代で2割台半ばで最も高く、女性では70歳以上でほぼ2割と高くなっている。

図10-1-2 性別、性・年代別／「協創」の認知

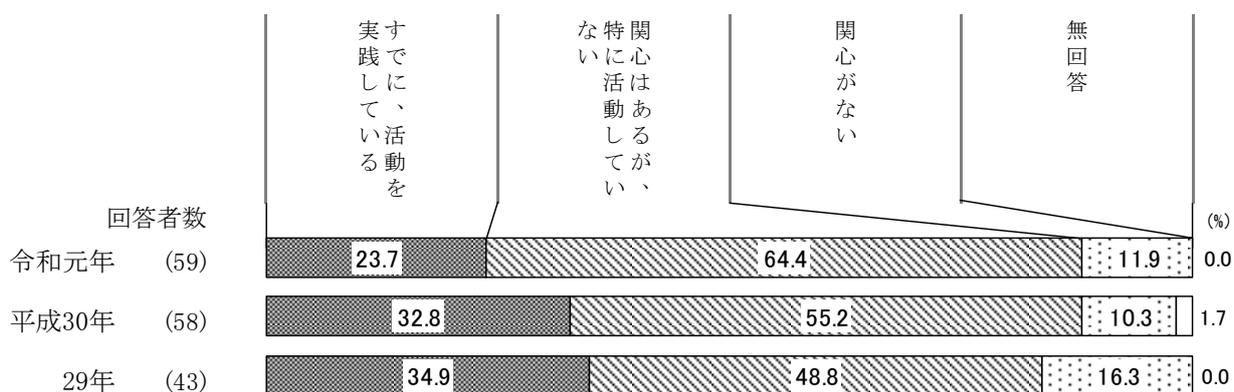


(2) 協働・協創の実践

■ 「関心はあるが、特に活動していない」が6割台半ば

問46で「1. 知っている」とお答えの方に
 問46-1 あなたは、ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクト、野菜から食べるベジタベライフ、子どもの貧困対策など、区役所・区民・団体との協力・連携（協働）や自主的な取り組み・活動（協創）を実践していますか
 （○は1つだけ）。

図10-2-1 経年比較／協働・協創の実践

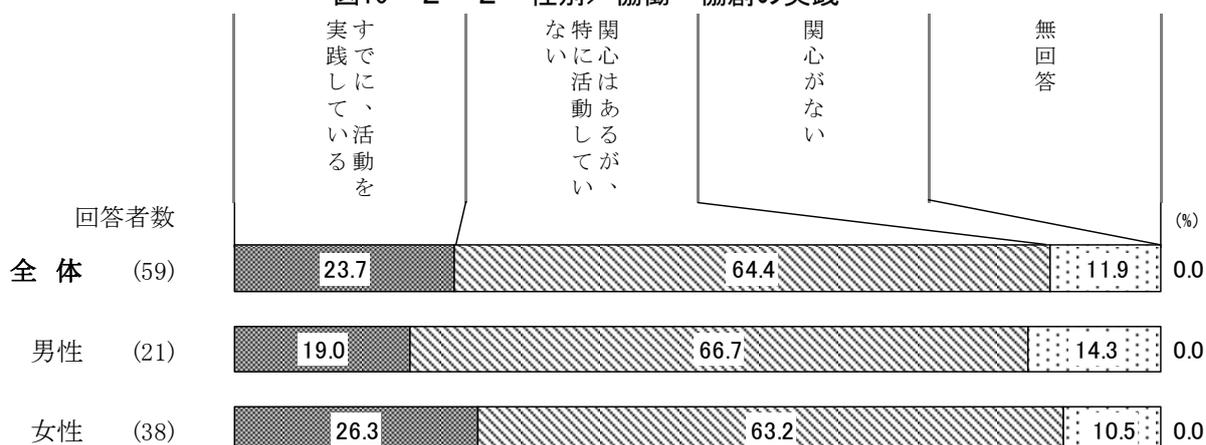


「協創」を「知っている」という人について、その実践状況を見ると、「すでに、活動を実践している」が23.7%、「関心はあるが、特に活動していない」が64.4%となっている。一方、「関心がない」は11.9%となっている。

経年でみると、「関心はあるが特に活動していない」が前回の55.2%から9.2ポイント増加し、2年続けて増加の一方、「すでに、活動を実践している」は前回の32.8%から9.1ポイント減少している。

性別でみると、「すでに、活動を実践している」は男性（19.0%）より女性（26.3%）の方が高くなっている。

図10-2-2 性別／協働・協創の実践

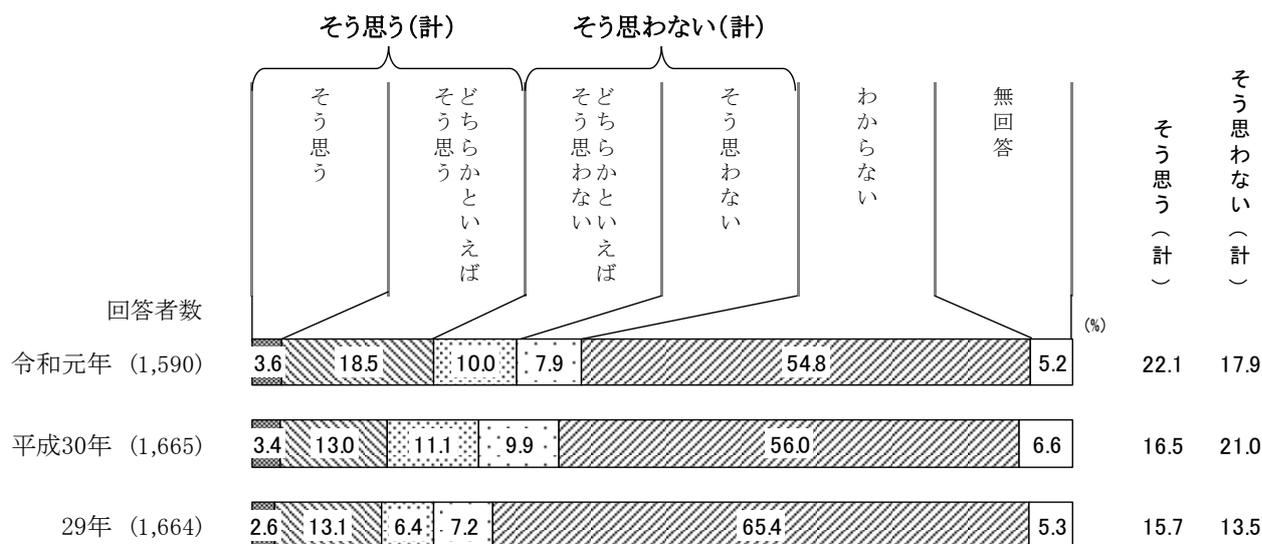


(3) 区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価

■ 【そう思う】が初めて2割を超え、【そう思わない】を上回って多くなっている

問47 あなたは、ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクト、野菜から食べるベジタベライフ、子どもの貧困対策など、区役所・区民・団体の協力・連携（協働）や自主的な取り組み・活動（協創）による事業が進んでいると感じていますか
 (○は1つだけ)。

図10-3-1 経年比較/区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価



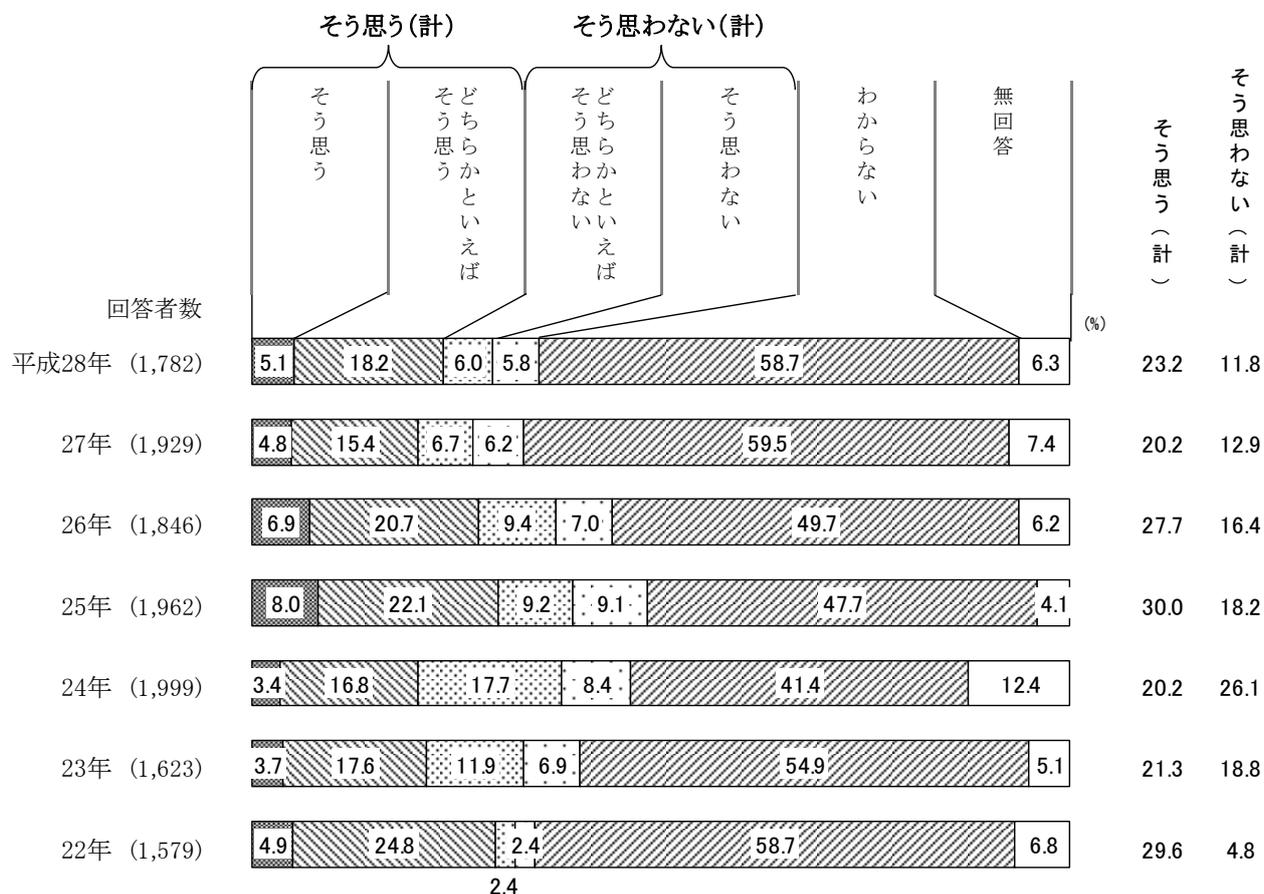
※ 平成30年度の設問文は、「あなたは、ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクト、野菜から食べるベジタベライフなど、区役所・区民・団体の協力・連携（協働）や自主的な取り組み・活動（協創）による事業が進んでいると感じていますか。」で、今回の令和元年では設問文の一部の表現が変わった上に、「子どもの貧困対策」が追加挿入された

協働や協創による事業が進んでいると思うかについては、「そう思う」が3.6%で、これに「どちらかといえばそう思う」(18.5%)を合わせた【そう思う】は22.1%で2割強となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(10.0%)と「そう思わない」(7.9%)を合わせた【そう思わない】は17.9%で2割弱となっており、〈協働・協創〉評価の測定を始めて3回目の今回初めて【そう思う】が2割を超えて、2割弱の【そう思わない】を上回る結果となっている。一方、「わからない」は2年続けて漸減傾向にあるものの、依然として54.8%と過半数を占めて多くなっている。

今回の調査は、平成30年と設問文が部分的に異なるため、経年比較はあくまでも参考とすべきながら、【そう思う】という評価層が2割台に達して【そう思わない】という非評価層を上回ったことは注目に値すると思われる。

参考／区役所・区民・団体との協力・連携（協働）した事業推進の評価

問 あなたは、区役所が孤立ゼロプロジェクトやビューティフル・ウィンドウズ運動など区民・団体と協力・連携（協働）して事業を進めていると感じていますか（○は1つだけ）。



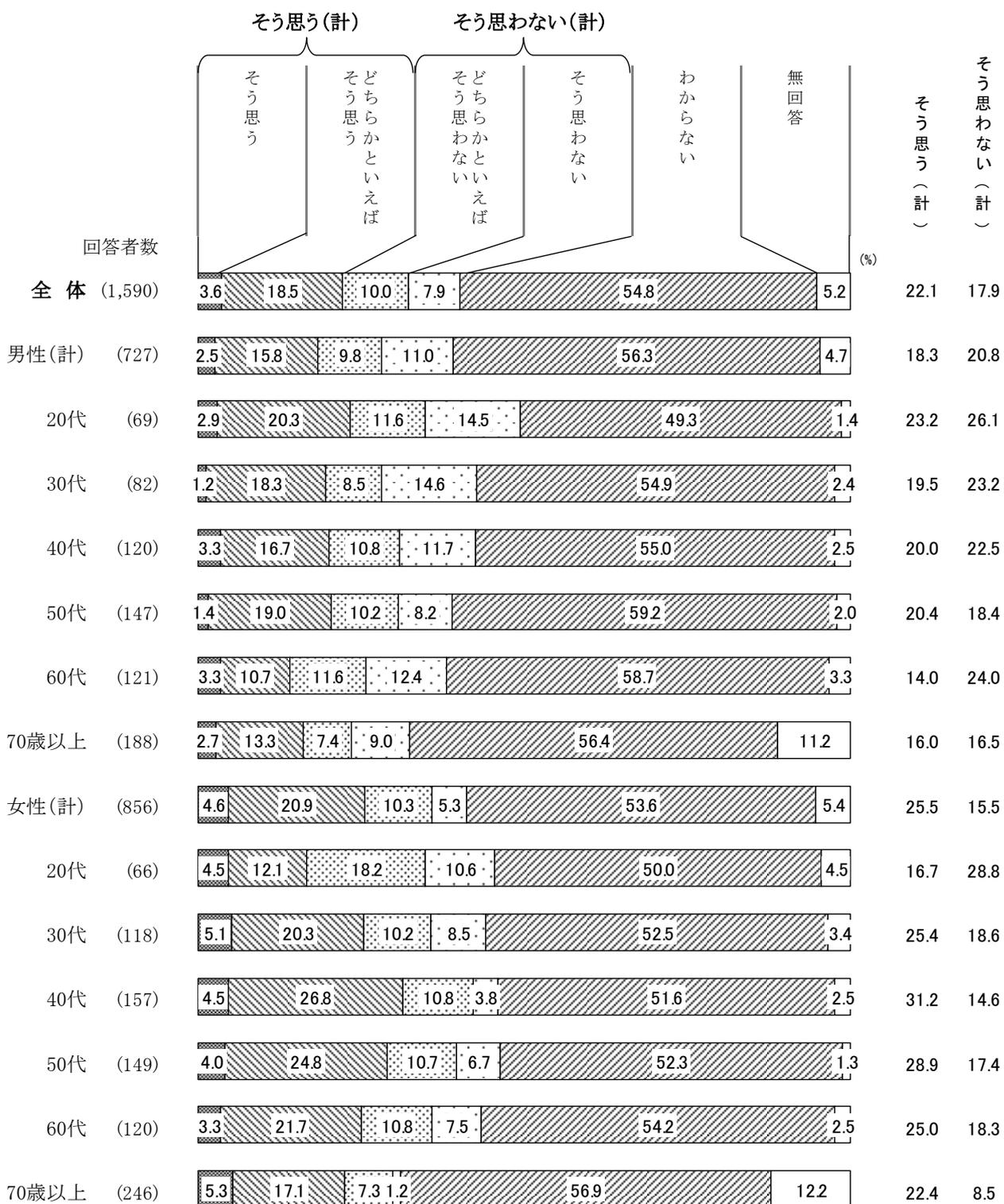
※ 平成28年度までは、「協創」の部分にふれておらず、設問文も違うため、結果を単純に比較することはできない。

第3章 調査結果の分析〈協働・協創〉

協働や協創による事業が進んでいると思うかについて性別でみると、【そう思う】は男性18.3%、女性25.5%で、女性の方が7.2ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「わからない」が多数を占める傾向は男女の各年代ともに共通しているが、【そう思う】の方が【そう思わない】を上回って多いのは、男性では50代に限られるのに対し、女性では20代だけを除く30代以上の5年代層となっている。

図10-3-2 性別、性・年代別／区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価



11 区での取り組み

-
- (1) 満足度と重要度
 - (2) 区政への区民意見の反映度
 - (3) 区に対する気持ち
 - (4) 区に愛着や誇りをもてない、区を人に勧めたくないと思う理由（自由回答）
 - (5) 区政についてのご意見、ご要望（自由回答）
 - (6) 本調査内容の区民ニーズ・意識把握に対する有効度
-

11 区の取り組み

(1) 満足度と重要度

■ 満足度は「資源環境対策」が、重要度は「治安対策」が、それぞれ最上位

問48 足立区の取り組みについて、あなたの現状評価（満足度）と今後の取り組みの重要度について、ア～ニの項目ごとに、最も近いものを選んでください

（○はいずれも、それぞれ1つずつ）。

選択肢（区の取り組み）	内 容
ア. 子育て支援	保育サービス、子ども医療費助成や子育て相談の充実など
イ. 学校教育対策	教育内容の充実、施設の改修など
ウ. 地域活動支援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など
エ. 社会参加支援	NPOやボランティアの育成や支援など
オ. 男女共同参画推進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど
カ. 生涯学習振興	文化・芸術・スポーツ活動の支援、施設の充実など
キ. 高齢者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など
ク. 障がい者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など
ケ. 保健衛生対策	健康づくり、健康診査、生活衛生など
コ. 低所得者対策	生活の援助や自立支援など
サ. 産業振興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など
シ. 治安対策	防犯パトロールやビューティフル・ウィンドウズ運動、警察との連携など
ス. 資源環境対策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど
セ. 都市開発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど
ソ. 住環境対策	多様で良好な住宅供給、中古住宅市場の活性化、空き家利活用、公共住宅の再生など
タ. 交通対策	道路や交通網の整備、交通安全対策など
チ. 防災対策	防災活動の充実、都市の不燃化など
ツ. 自然・緑化対策	公園や緑地、河川の整備など
テ. 情報提供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など
ト. 職員の接客態度	窓口や仕事での区民対応における接客態度など
ナ. 行政改革	区政の透明化や区民サービスの向上など
ニ. 区政全体として	

図11-1-1-① 経年比較／現状評価（満足度）

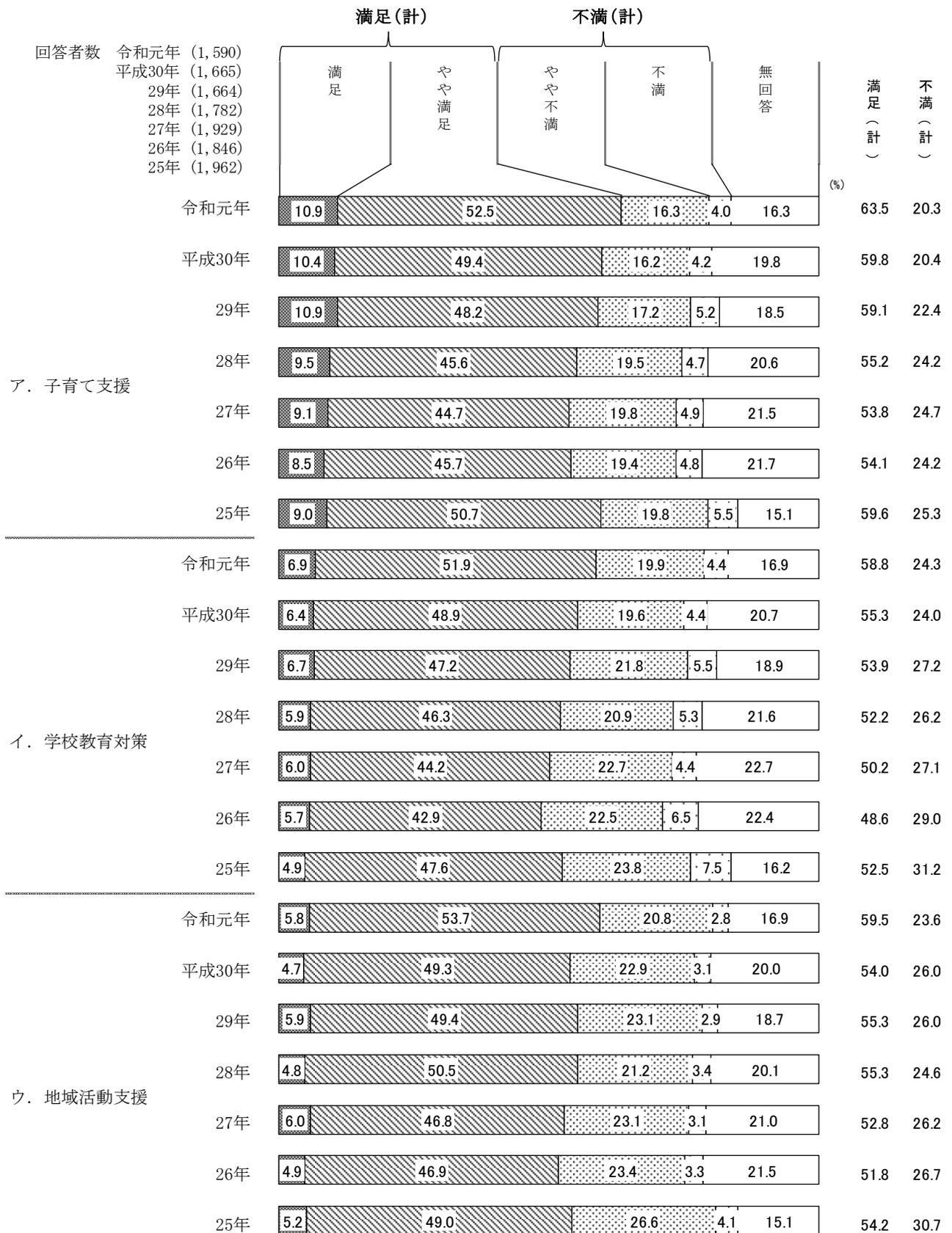


図11-1-1-② 経年比較/現状評価(満足度)

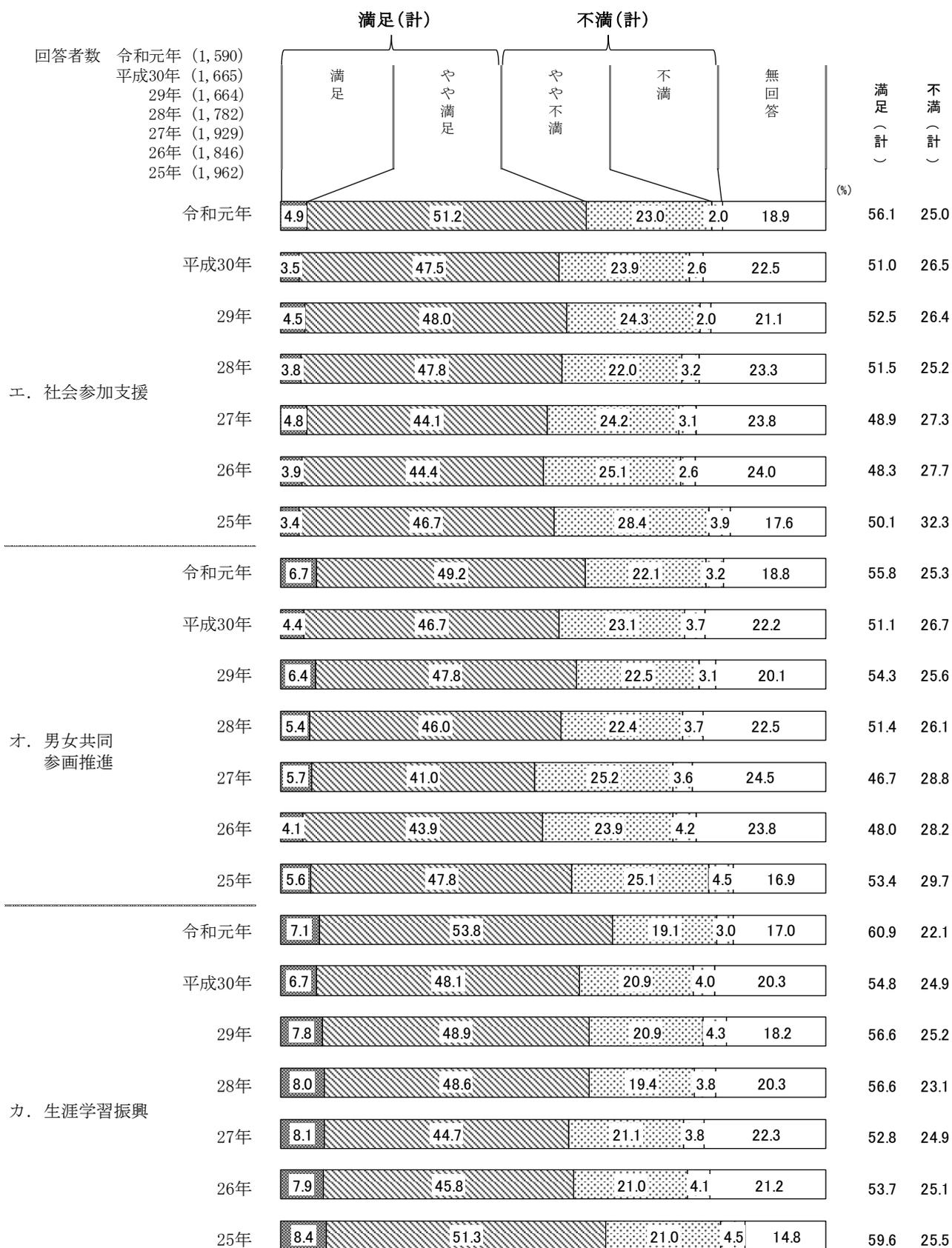


図11-1-1-③ 経年比較／現状評価（満足度）

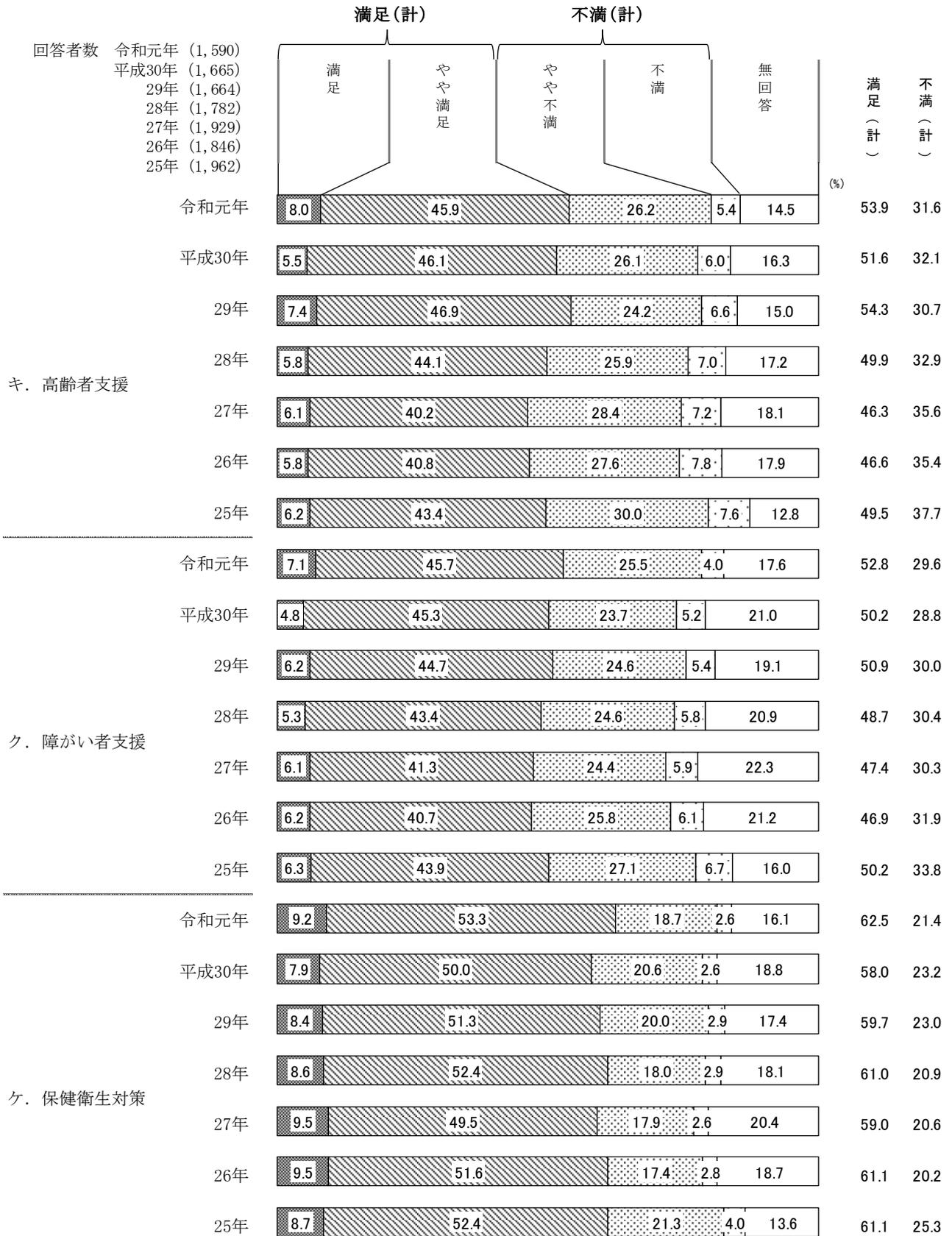
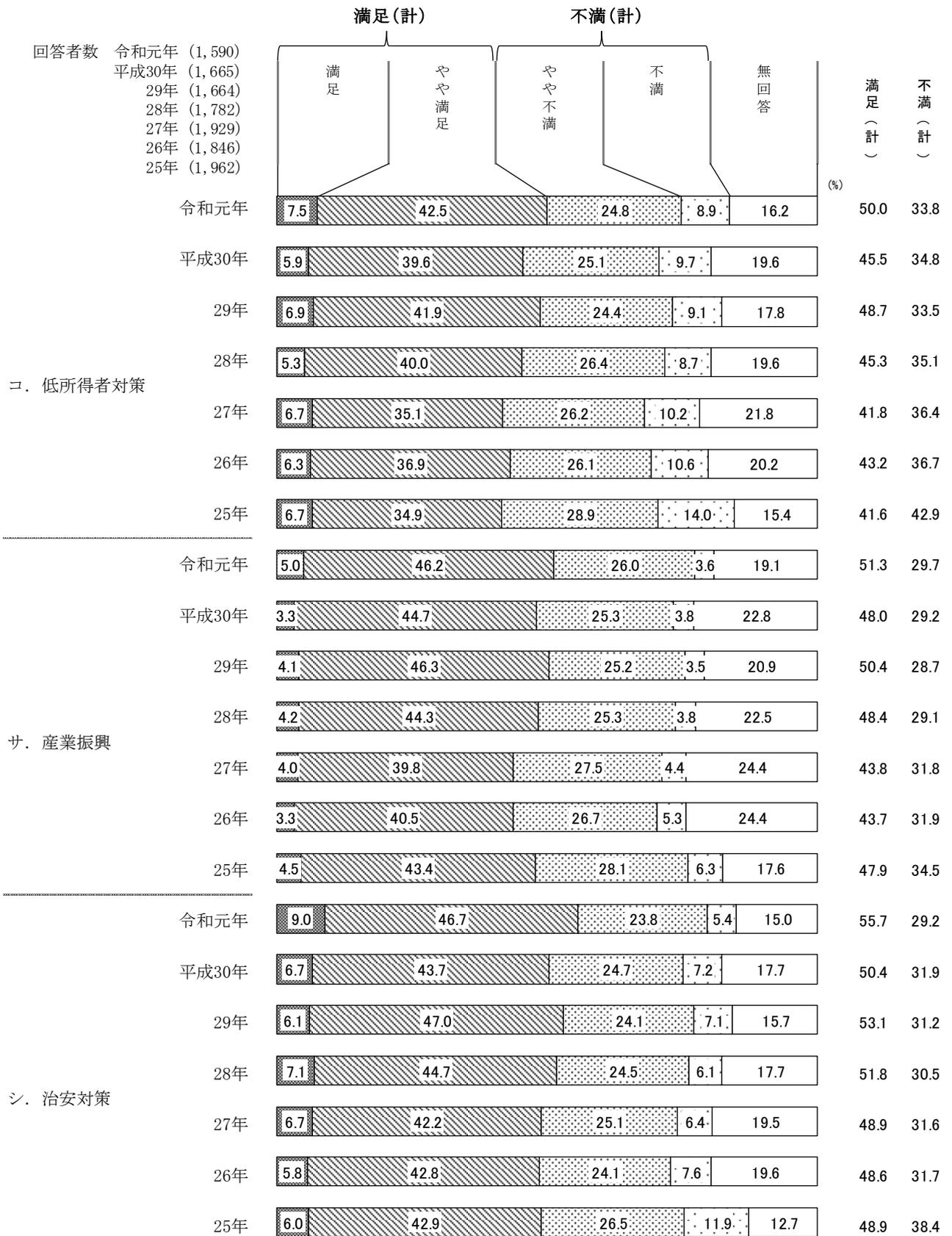
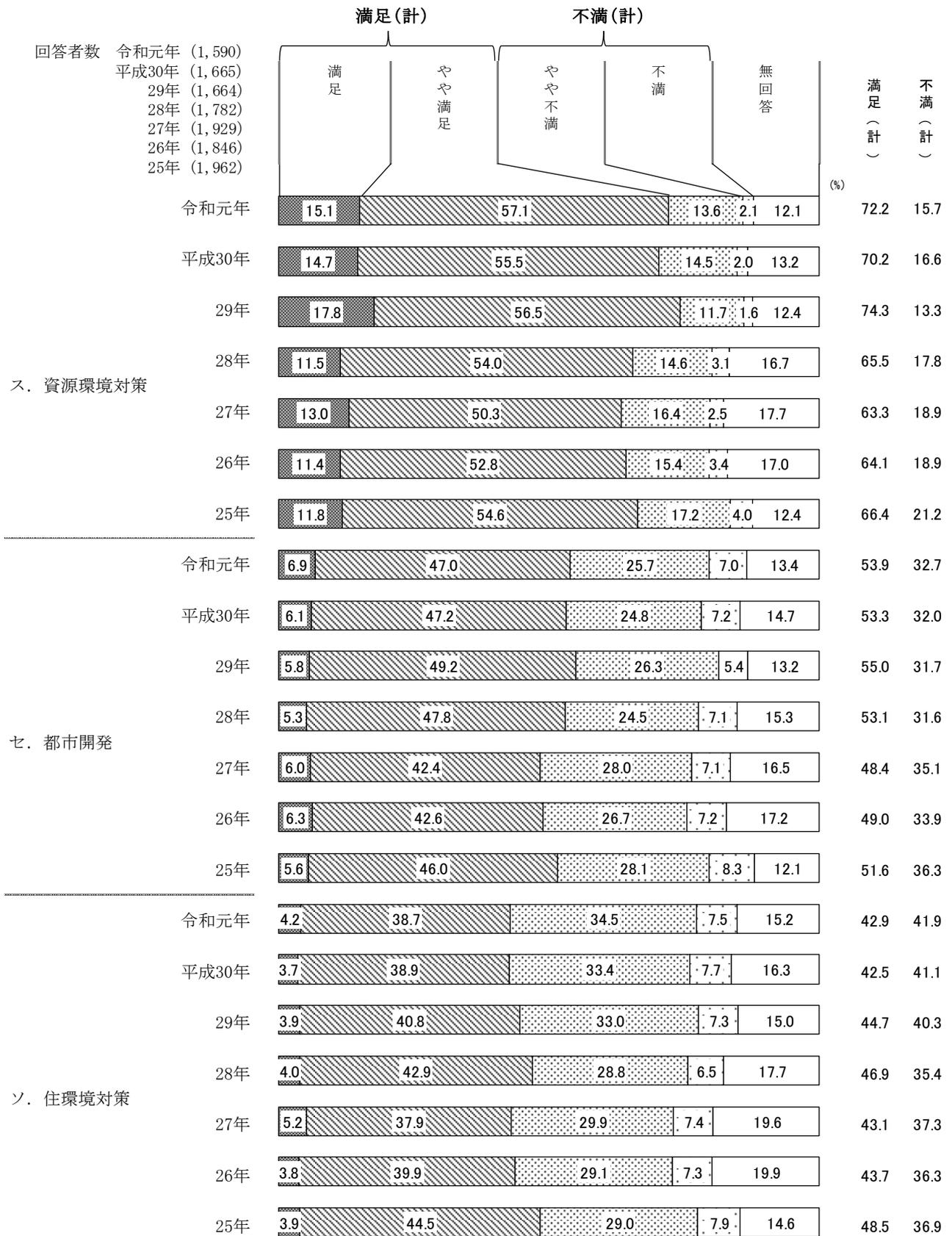


図11-1-1-④ 経年比較／現状評価（満足度）



第3章 調査結果の分析〈区の取り組み〉

図11-1-1-⑤ 経年比較/現状評価(満足度)



※ 「ソ. 住環境対策」は、平成28年度までは「住宅対策」。

図11-1-1-⑥ 経年比較/現状評価(満足度)

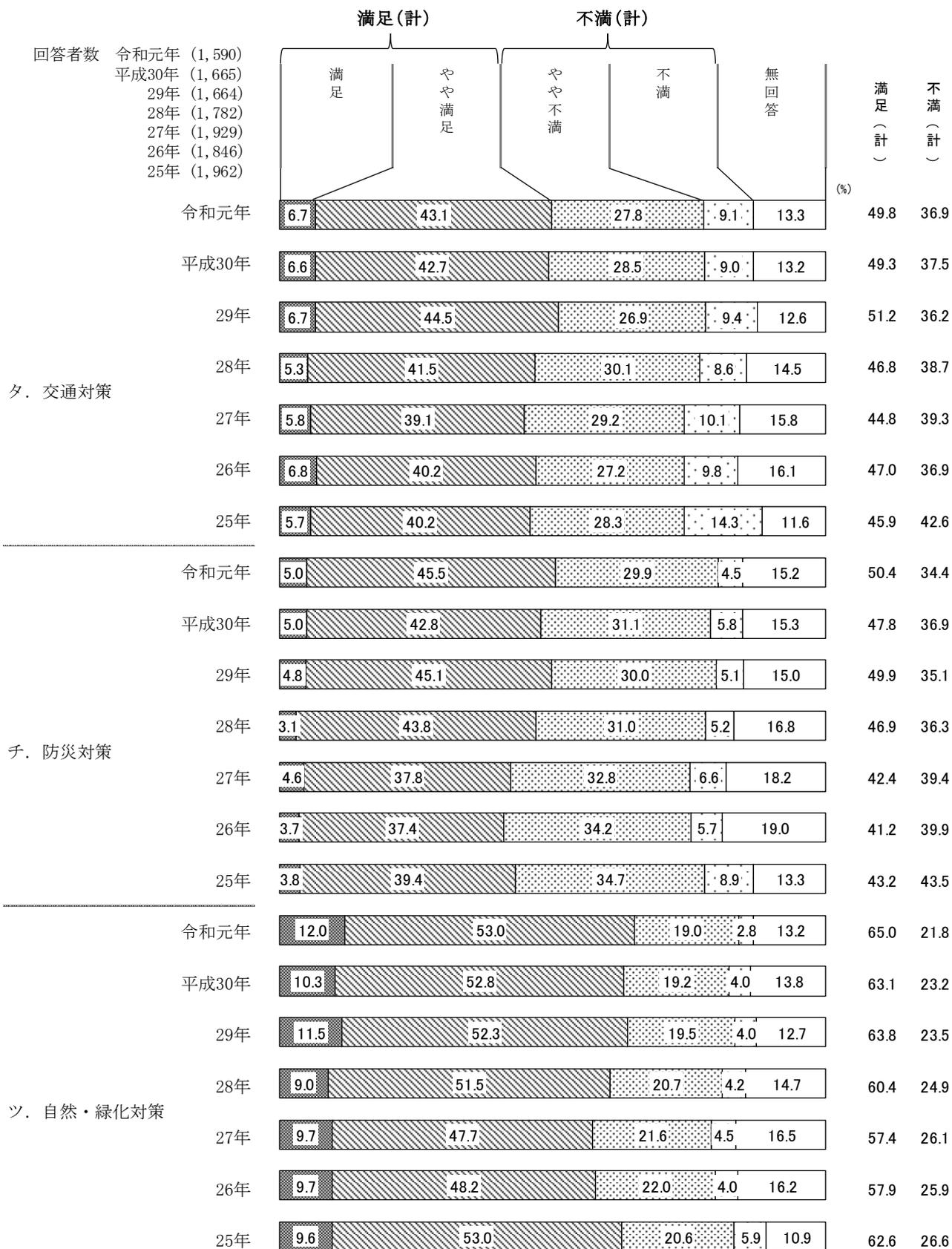


図11-1-1-⑦ 経年比較/現状評価(満足度)

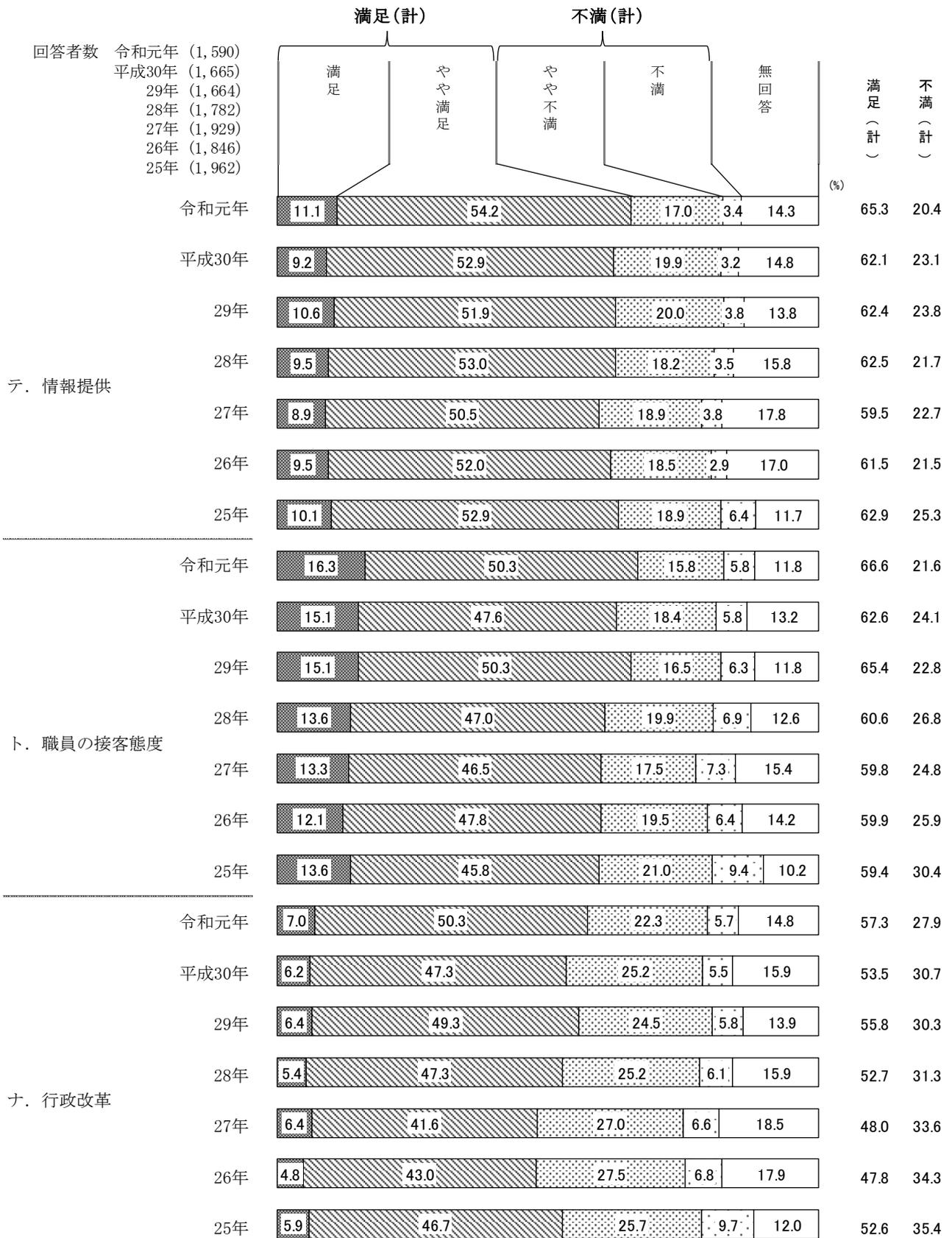
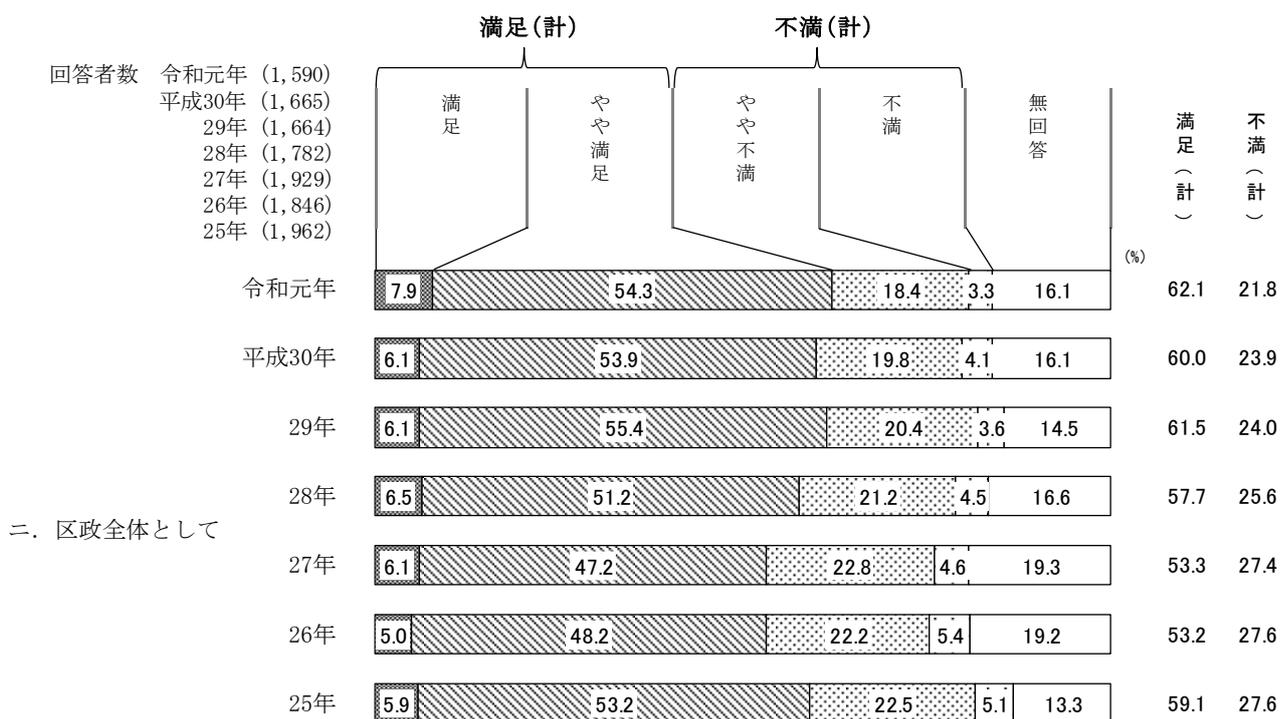


図11-1-1-⑧ 経年比較/現状評価(満足度)



区の取り組みについて、各分野に対する現状評価(満足度)を聴いた。【満足】(「満足」+「やや満足」)の高い順でみると、「資源環境対策」が72.2%で最も高く、以下「職員の接客態度」(66.6%)、「情報提供」(65.3%)、「自然・緑化対策」(65.0%)、「子育て支援」(63.5%)の順で続いている。

一方、【不満】(「やや不満」+「不満」)の高いものとしては、「住環境対策」(41.9%)、「交通対策」(36.9%)、「防災対策」(34.4%)、「低所得者対策」(33.8%)などがあげられる。

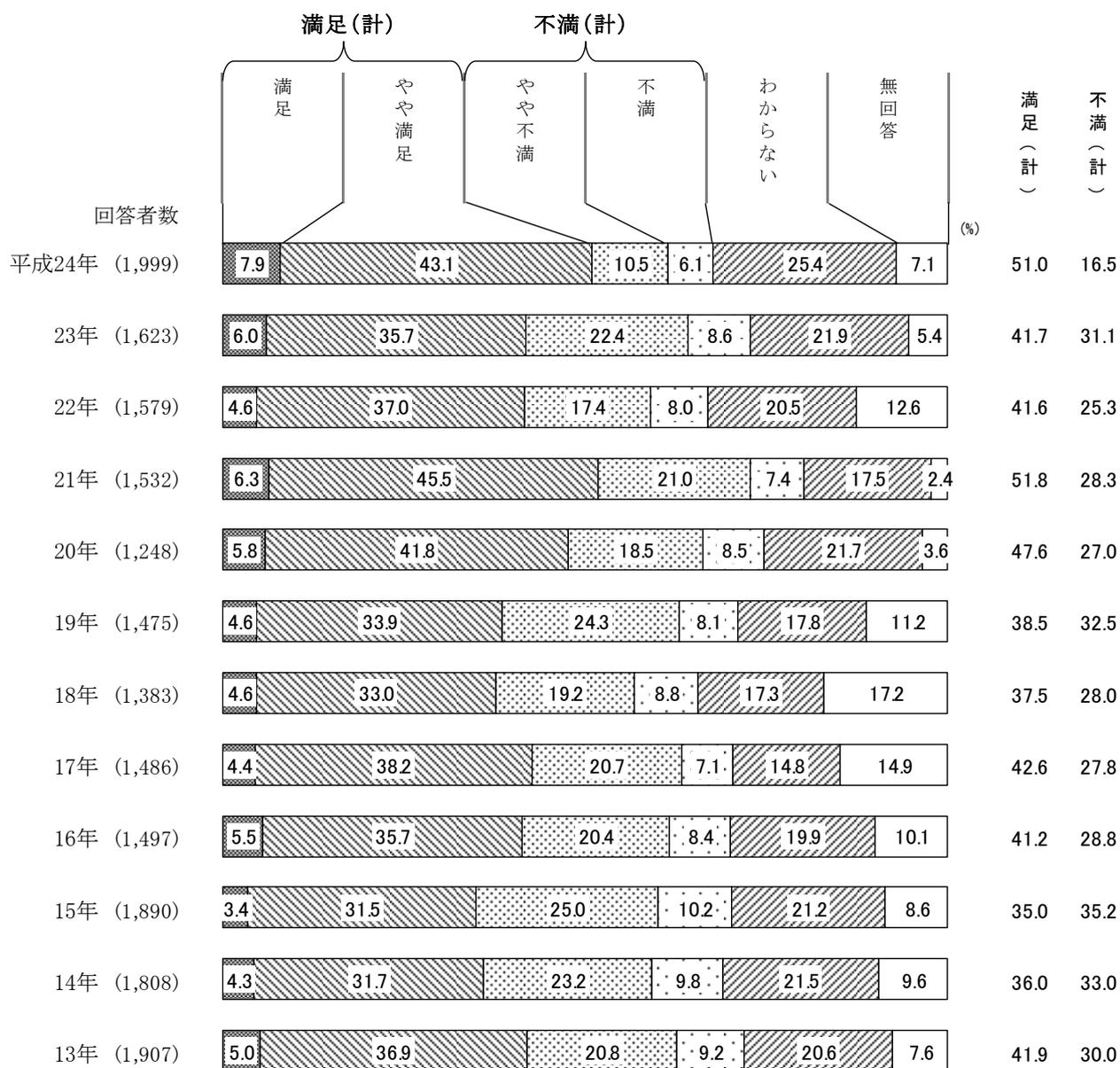
経年でみて、前回平成30年との比較では、【満足】で3.0ポイント以上の増加をしている項目が13項目に及び、中でも「生涯学習振興」(+6.1ポイント)、「地域活動支援」(+5.5ポイント)、「治安対策」(+5.3ポイント)、「社会参加支援」(+5.1ポイント)などで増加が大きくなっている。一方、【満足】での3.0ポイント以上の減少や【不満足】で±3.0ポイント以上の増減変化がみられる項目はひとつもみられない。

なお、平成25年と今回の結果を比較して【満足】が5.0ポイント以上増加している項目として「低所得者対策」(平成25年41.6%→今回50.0%)、「防災対策」(平成25年43.2%→今回50.4%)「職員の接客態度」(平成25年59.4%→今回66.6%)など全8項目があげられる。

一方、【不満】で平成25年と今回の結果を比較すると、「住環境対策」(平成25年36.9%→今回41.9%)以外のすべての項目で減少しており、とくに「治安対策」(平成25年38.4%→今回29.2%)「防災対策」(平成25年43.5%→今回34.4%)、「低所得者対策」(平成25年42.9%→今回33.8%)、「職員の接客態度」(平成25年30.4%→今回21.6%)などで減少幅が大きくなっている。

参考／区政に対する満足度

問 あなたは、現在の足立区政に満足していますか（○は1つだけ）。



※ 平成24年度までは「わからない」という選択肢があるため、結果を単純に比較することはできない。

図11-1-2-① 経年比較／重要度

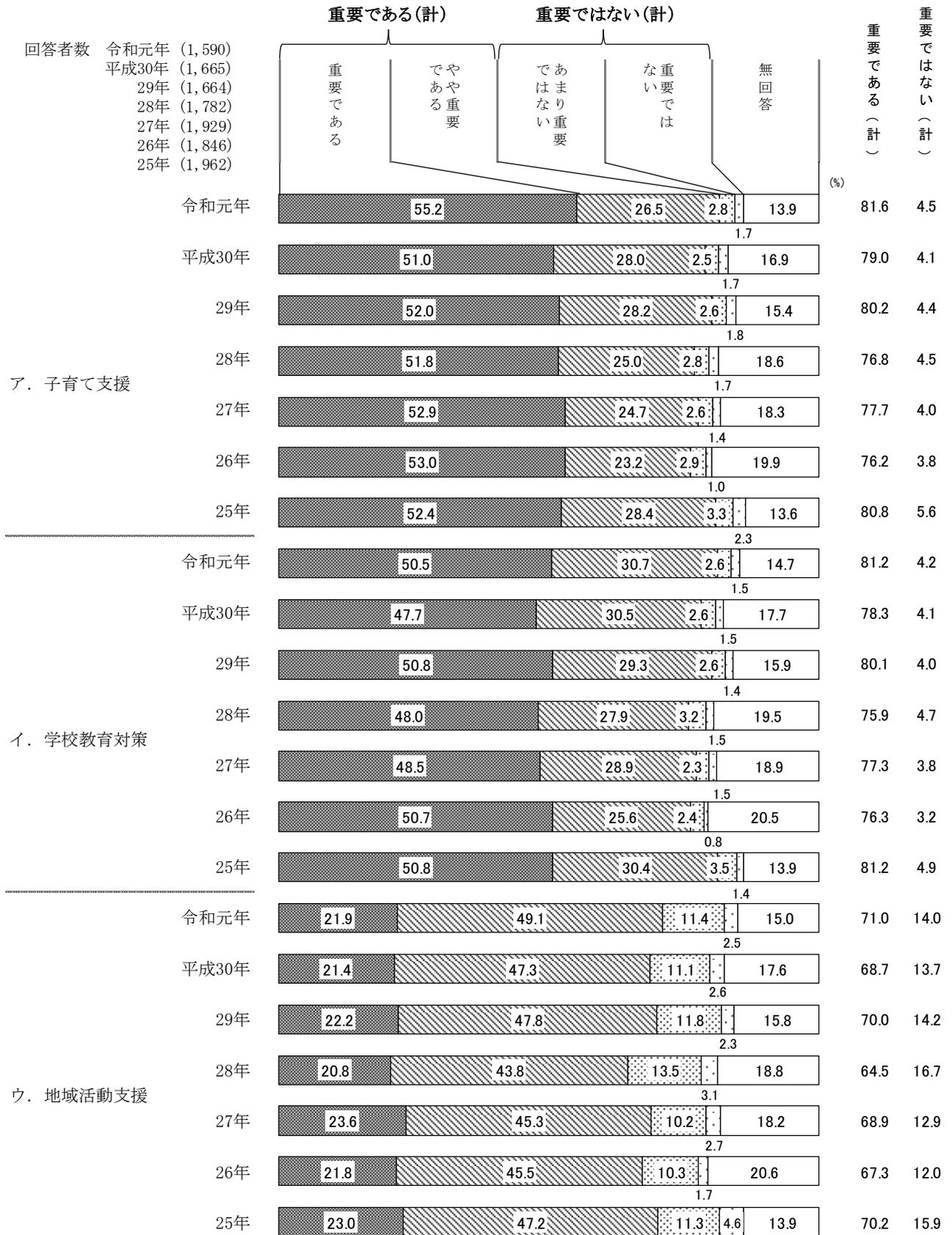


図11-1-2-② 経年比較／重要度

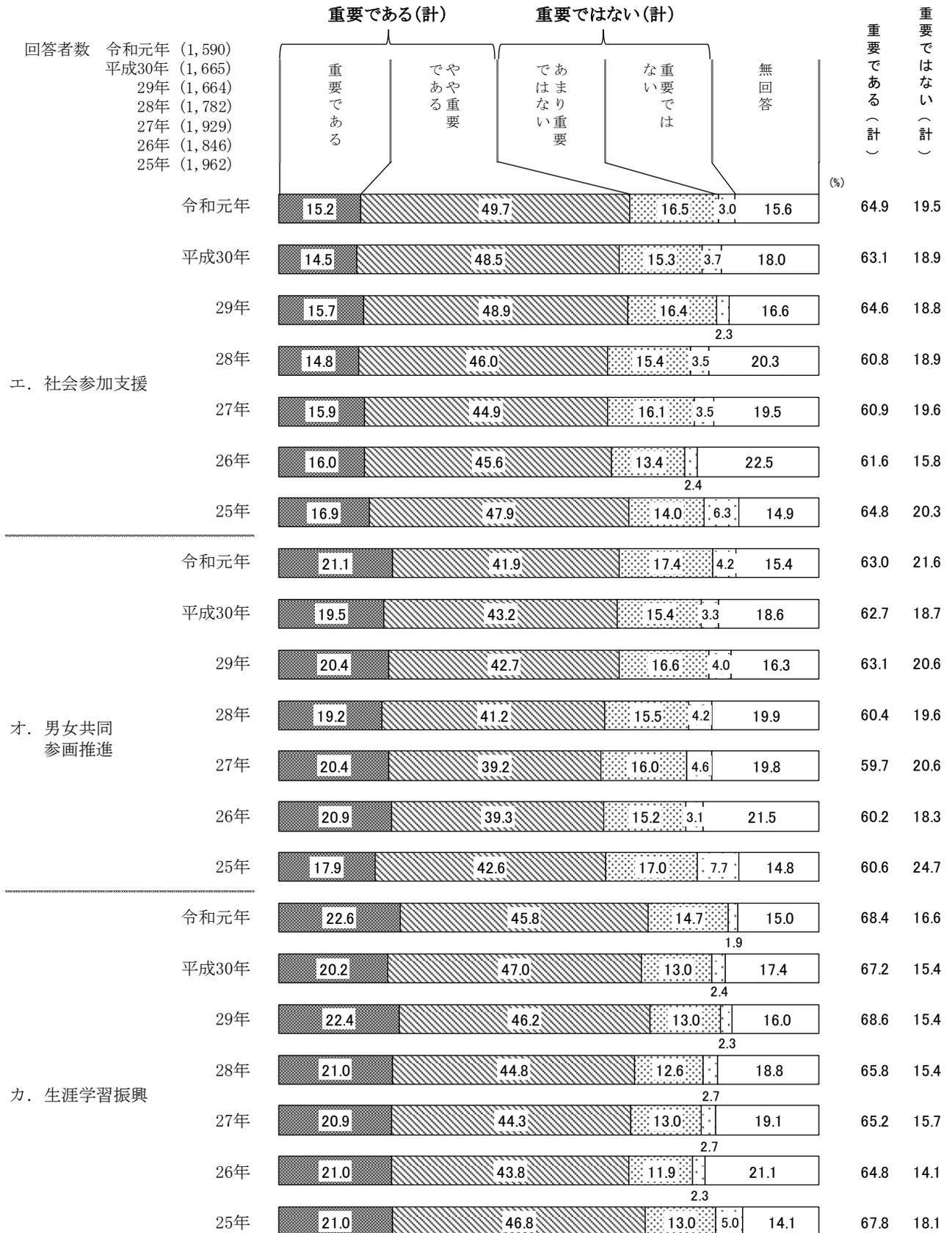


図11-1-2-③ 経年比較／重要度

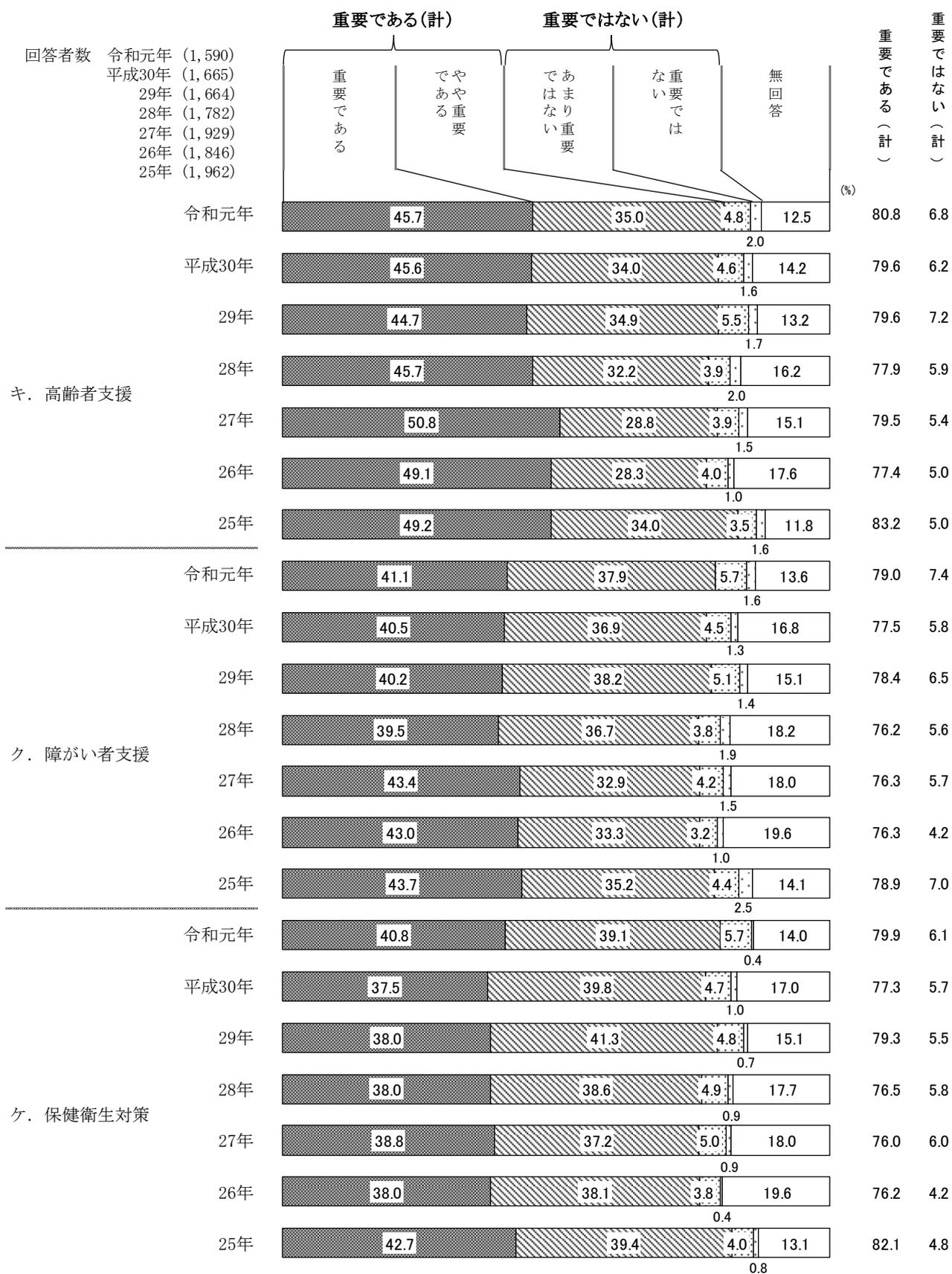


図11-1-2-④ 経年比較／重要度

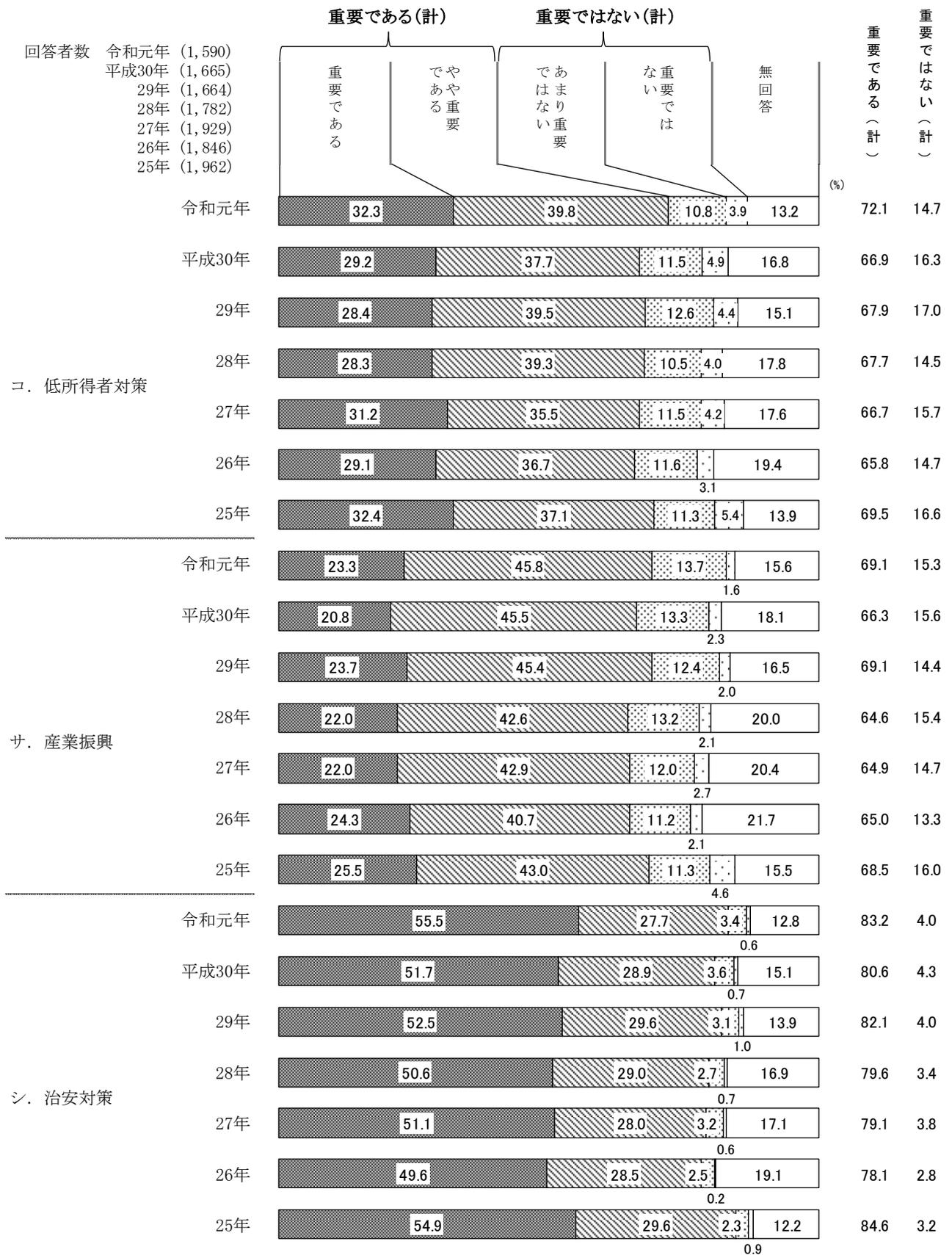
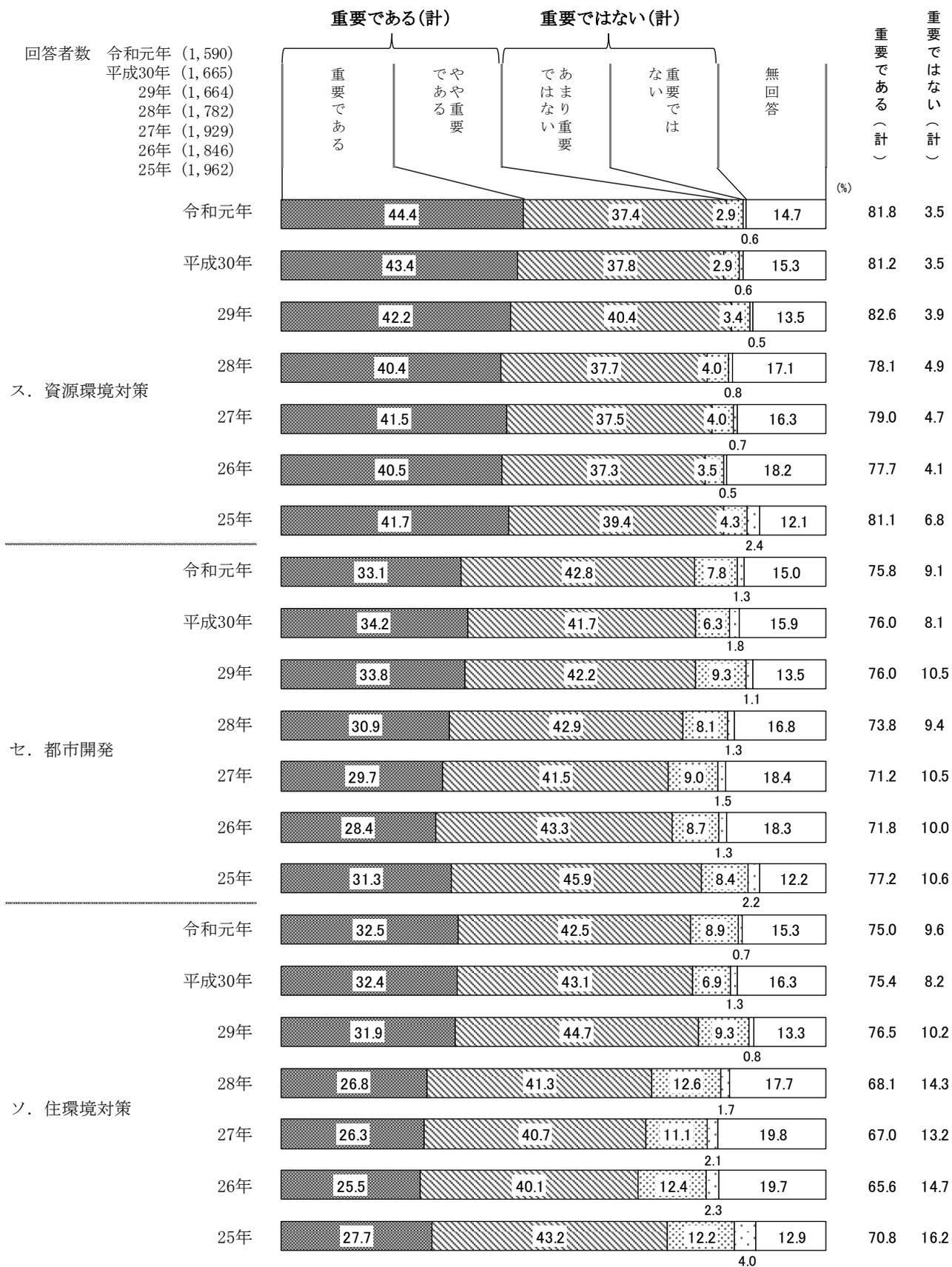


図11-1-2-⑤ 経年比較／重要度



※ 「ソ. 住環境対策」は、平成28年度までは「住宅対策」。

図11-1-2-⑥ 経年比較／重要度

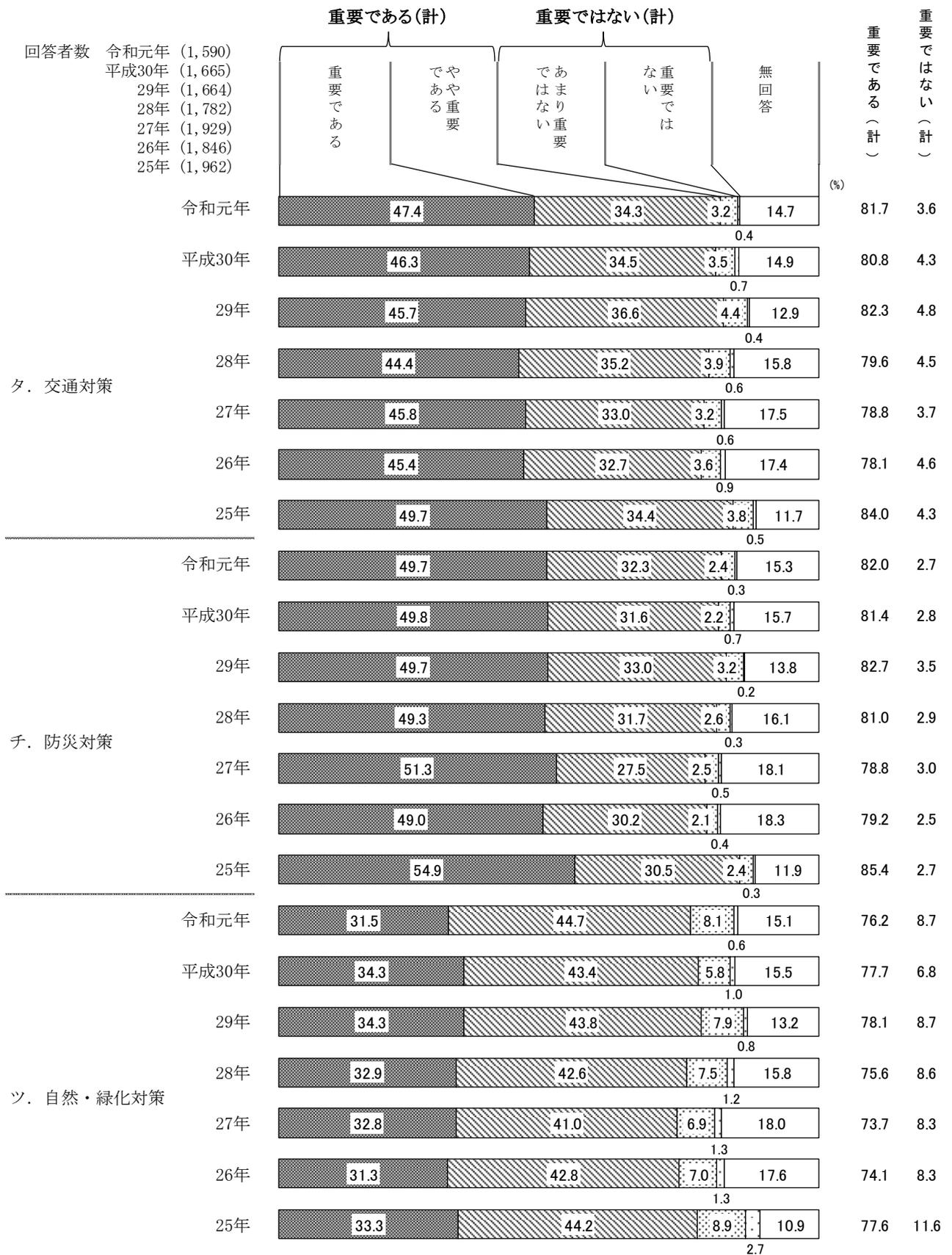
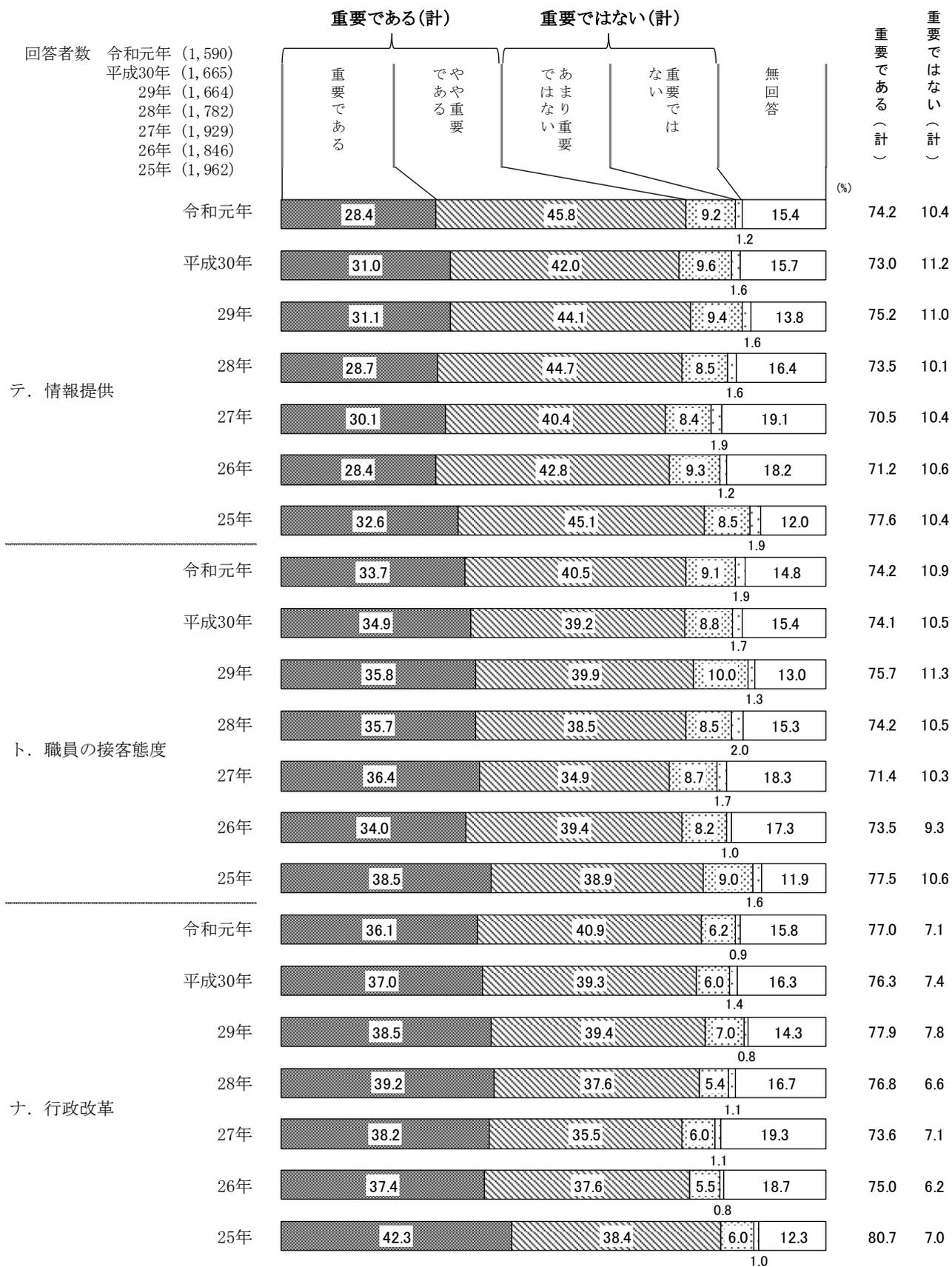


図11-1-2-⑦ 経年比較／重要度



第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

区の取り組みについて、各分野に対する重要度を聴いた。【重要である】（「重要である」＋「やや重要である」）の高い順でみると、「治安対策」が83.2%で最も高く、以下「防災対策」（82.0%）、「資源環境対策」（81.8%）、「交通対策」（81.7%）、「子育て支援」（81.6%）の順で続いている。

経年でみて、前回平成30年との比較では【重要である】と【重要ではない】ともに増減変化は小さい項目が多く、比率に3.0ポイント以上の大きな増減変化が見られるのは【重要である】が5.2ポイント増加した「低所得者対策」だけとなっている。

。なお、平成25年と今回の結果を比較して【重要である】が3.0ポイント以上高くなっている項目としては、唯一「住環境対策」（平成25年70.8%→今回75.0%）があげられる。一方、【重要でない】が3.0ポイント以上高くなっている項目はひとつもないが、3.0ポイント以上減少している項目には「住環境対策」（平成25年16.2%→今回9.6%）と「資源環境対策」（平成25年6.8%→今回3.5%）の“環境対策”関連の2項目と「男女共同参画推進」（平成25年24.7%→今回21.6%）の計3項目がある。

表11-1 満足度・重要度の上位5項目

満足度				重要度			
1	－	資源環境対策	72.2%	1	↑	治安対策	83.2%
2	↑	職員の接客態度	66.6	2	↓	防災対策	82.0
3	↑	情報提供	65.3	3	↓	資源環境対策	81.8
4	↓	自然・緑化対策	65.0	4	↓	交通対策	81.7
5	－	子育て支援	63.5	5	↑	子育て支援	81.6

※ 矢印は前回順位との比較

《 現状評価（満足度）、重要度について 》

(1) 現状評価（満足度）、重要度の評価点について

各分野の取り組みへの現状評価（満足度）と重要度意識の各選択肢に得点をつけ、現状評価（満足度）、重要度の評価点を算出した。これによって、区民の現状評価（満足度）や重要度意識を明確に捉え、分析することができる。

なお、各選択肢への点数の配分は下記の表のとおりである。

〔 得点配分 〕

現状評価（満足度）	重要度	得点
満足	重要である	4
やや満足	やや重要である	2
やや不満	あまり重要ではない	-2
不満	重要ではない	-4

※「無回答」は、母数から除くためポイントをつけない。

〔 計算式 〕

$$\text{現状評価} = \frac{\text{「満足」} \times 4 + \text{「やや満足」} \times 2 + \text{「やや不満」} \times (-2) + \text{「不満」} \times (-4)}{\text{「無回答」を除く有効回答者数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要である」} \times 4 + \text{「やや重要である」} \times 2 + \text{「あまり重要ではない」} \times (-2) + \text{「重要ではない」} \times (-4)}{\text{「無回答」を除く有効回答者数}}$$

(2) 現状評価（満足度）について

21施策の現状評価（満足度）は、最も高い〈資源環境対策〉の1.58から、最も低い〈住環境対策〉の-0.05の間に分布している。

分野別で見ると、前回までと同様に、資源や自然・緑化等の環境面や情報提供、職員の接客態度、子育て支援等で評価が高く、住環境、交通、低所得者や高齢者、防災、都市開発や産業振興等については低くなっている。

(3) 重要度について

21施策の重要度は、最も高い〈治安対策〉の3.07から、最も低い〈社会参加支援〉の1.36の間に分布している。

分野別で見ると、治安や防災、子育て支援、学校教育、交通対策等で重要度のポイントが高く、社会参加、男女共同参画、生涯学習、産業振興等で低くなっている。

第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

（4）現状評価（満足度）、重要度のプロット図

現状評価（満足度）を横軸に、重要度を縦軸にとって21項目を相対的に評価するため、平均値（満足度平均値0.80、重要度平均値2.36）を境として、4つの領域に分類した。

4つの領域の特性は、以下のとおりである。

A 現状評価（満足度）が平均値より低く、重要度が平均値より高い項目

グラフ左上のAゾーンに位置する項目は、施策の重要性が広く区民に認識され、とくに施策の推進や改善に対する区民のニーズが高い項目と考えられる。従来の取り組みの方向について検討を加え、改善していくことが求められる。

B 現状評価（満足度）、重要度ともに平均値より高い項目

グラフ右上のBゾーンに位置する項目は、施策の重要性が十分認識されているとともに、現在の取り組みにも満足している区民が多い項目と考えられる。今後も現在の水準を維持し、着実に取り組んでいくことが求められる。

現状評価（満足度）平均値（0.80）

≪重要度≫	《Aゾーン》 現状評価：平均値より低い 重要度：平均値より高い	《Bゾーン》 現状評価：平均値より高い 重要度：平均値より高い	重要度 平均値 (2.36)
	《Cゾーン》 現状評価：平均値より低い 重要度：平均値より低い	《Dゾーン》 現状評価：平均値より高い 重要度：平均値より低い	
≪ 現状評価（満足度）≫			

C 現状評価（満足度）、重要度ともに平均値より低い項目

グラフ左下のCゾーンに位置する項目は、取り組みの推進に対する期待は高いものの、他の施策と比較してその重要性の認識が低い項目と考えられる。施策の重要性に対する認知を高めるとともに、従来の取り組みの方向の改善を検討することが求められる。

D 現状評価（満足度）が平均値より高く、重要度が平均値より低い項目

グラフ右下のDゾーンに位置する項目は、他の施策と比較してその重要性の認識は低いものの、現状の取り組みには満足している項目と考えられる。今後も着実に取り組みの推進を図るとともに、施策の重要性についての認知を高めていくことが求められる。

表11-1-1-① 地域別／現状評価（満足度）

	区全体	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8	第9
ア 子育て支援	1.20	0.94	0.92	0.96	1.06	1.38	1.22	1.56	1.10	1.49
イ 学校教育対策	0.89	1.10	0.55	0.96	0.75	1.08	0.80	1.09	0.65	0.96
ウ 地域活動支援	0.94	0.99	0.84	0.78	1.04	1.06	0.92	1.13	0.47	1.10
エ 社会参加支援	0.84	0.89	0.80	0.68	0.83	1.15	0.95	0.92	0.32	0.70
オ 男女共同参画推進	0.84	0.77	0.83	1.09	1.07	1.06	0.91	0.87	0.56	0.69
カ 生涯学習振興	1.03	0.80	0.83	1.23	1.17	1.33	1.21	1.30	0.55	1.30
キ 高齢者支援	0.58	0.66	0.30	0.54	0.50	0.99	0.51	1.16	0.45	0.86
ク 障がい者支援	0.64	0.55	0.40	0.58	0.56	0.95	0.79	0.90	0.44	0.77
ケ 保健衛生対策	1.14	1.04	0.88	1.03	1.38	1.23	0.70	1.44	0.95	1.48
コ 低所得者対策	0.35	0.28	-0.13	0.25	0.44	0.42	0.70	0.60	0.20	0.67
サ 産業振興	0.57	0.56	0.76	0.03	0.77	0.45	0.34	0.77	0.11	0.78
シ 治安対策	0.71	1.04	0.62	0.36	0.92	0.61	0.76	0.76	0.60	0.70
ス 資源環境対策	1.58	1.46	1.60	1.49	1.59	1.62	1.59	1.55	1.32	1.81
セ 都市開発	0.49	0.49	0.78	0.63	0.72	0.61	0.08	0.58	0.02	0.78
ソ 住環境対策	-0.05	-0.05	0.07	-0.18	-0.07	0.14	-0.15	0.23	-0.05	-0.16
タ 交通対策	0.24	0.54	-0.28	-0.05	0.48	0.10	0.81	0.43	-0.20	0.29
チ 防災対策	0.39	0.25	0.30	0.44	0.40	0.67	0.50	0.35	0.08	0.61
ツ 自然・緑化対策	1.21	1.09	1.57	1.08	1.24	1.23	1.59	1.65	0.34	1.27
テ 情報提供	1.23	0.98	1.11	0.89	1.28	1.15	1.28	1.20	1.05	1.53
ト 職員の接客態度	1.26	1.14	1.17	1.02	1.47	1.44	1.28	1.23	1.29	1.38
ナ 行政改革	0.72	0.65	0.60	0.63	0.93	0.61	0.71	0.78	0.84	0.87
ニ 区政全体として	1.07	1.15	1.05	1.15	1.12	1.19	1.03	1.15	0.68	1.09

※ 地域ごとに、最も評価点の高いものを「文字白抜き」、低いものを「網掛け」で表示しています。

第3章 調査結果の分析〈区の取り組み〉

表11-1-1-② 地域別／現状評価（満足度）

	区全体	第10	第11	第12	第13	第14	第15
ア 子育て支援	1.20	1.55	1.20	1.53	1.35	1.12	1.25
イ 学校教育対策	0.89	1.04	0.68	1.16	0.98	0.97	0.69
ウ 地域活動支援	0.94	1.35	0.64	1.23	1.01	0.78	1.25
エ 社会参加支援	0.84	1.18	0.99	1.29	0.89	0.51	0.77
オ 男女共同参画推進	0.84	0.59	0.52	1.25	1.17	0.60	0.80
カ 生涯学習振興	1.03	1.08	0.77	1.02	1.20	0.87	1.42
キ 高齢者支援	0.58	0.47	0.12	0.69	0.65	0.40	0.53
ク 障がい者支援	0.64	0.78	0.30	0.75	0.58	0.64	1.08
ケ 保健衛生対策	1.14	0.81	1.10	1.51	1.34	1.04	1.43
コ 低所得者対策	0.35	0.49	0.00	0.70	0.45	0.19	0.44
サ 産業振興	0.57	1.15	0.38	1.27	0.75	0.25	0.79
シ 治安対策	0.71	0.49	0.63	1.08	0.85	0.44	0.44
ス 資源環境対策	1.58	1.75	1.62	1.72	1.66	1.34	2.07
セ 都市開発	0.49	0.56	0.52	0.67	0.09	0.35	0.50
ソ 住環境対策	-0.05	0.43	-0.32	0.29	-0.18	-0.33	-0.18
タ 交通対策	0.24	0.18	0.05	0.41	0.49	-0.13	0.69
チ 防災対策	0.39	0.51	-0.02	0.77	0.31	0.40	0.85
ツ 自然・緑化対策	1.21	1.27	1.04	1.38	1.22	1.28	1.56
テ 情報提供	1.23	1.71	1.06	1.54	1.79	1.16	1.49
ト 職員の接客態度	1.26	1.29	1.21	1.02	1.45	1.05	1.46
ナ 行政改革	0.72	0.78	0.40	1.07	0.62	0.61	1.02
ニ 区政全体として	1.07	1.17	0.81	1.38	1.24	1.00	1.15

※ 地域ごとに、最も評価点の高いものを「文字白抜き」、低いものを「網掛け」で表示しています。

表11-1-2-① 地域別／重要度

	区全体	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8	第9
ア 子育て支援	3.03	3.17	3.15	3.14	2.90	2.69	2.95	3.08	3.20	3.12
イ 学校教育対策	2.95	2.92	3.07	2.96	2.96	2.63	2.92	2.94	2.84	3.11
ウ 地域活動支援	1.80	1.81	1.74	1.90	1.70	1.75	1.42	1.67	2.08	1.47
エ 社会参加支援	1.36	1.11	1.18	1.19	1.09	1.33	1.01	1.51	1.73	1.58
オ 男女共同参画推進	1.38	1.30	1.35	1.51	0.95	1.07	1.10	1.45	1.58	1.29
カ 生涯学習振興	1.71	1.64	1.62	1.28	1.61	1.95	1.56	1.83	1.50	1.88
キ 高齢者支援	2.69	2.47	2.56	2.56	2.59	2.66	2.47	2.51	2.72	2.94
ク 障がい者支援	2.57	2.35	2.51	2.32	2.62	2.58	2.20	2.42	2.48	2.96
ケ 保健衛生対策	2.65	2.43	2.64	2.49	2.75	2.88	2.66	2.71	2.60	3.04
コ 低所得者対策	1.98	1.96	1.81	2.02	1.69	2.05	1.48	1.93	2.03	2.38
サ 産業振興	1.79	1.87	1.40	1.90	1.94	1.75	1.81	1.81	1.54	2.18
シ 治安対策	3.07	2.94	3.13	2.98	2.94	3.18	3.25	3.30	3.11	3.31
ス 資源環境対策	2.86	2.71	2.94	2.90	2.69	2.81	2.57	2.98	2.79	2.95
セ 都市開発	2.32	2.08	2.32	2.05	2.17	2.77	2.45	2.18	2.35	2.56
ソ 住環境対策	2.30	2.39	2.36	2.29	2.13	2.50	2.33	2.09	2.33	2.40
タ 交通対策	2.93	2.70	3.04	3.12	2.53	3.23	2.95	2.92	2.89	3.19
チ 防災対策	3.04	3.06	3.13	3.09	2.84	3.33	2.84	3.00	3.10	3.17
ツ 自然・緑化対策	2.32	2.25	2.37	2.36	1.96	2.55	2.47	1.94	2.14	2.51
テ 情報提供	2.15	2.06	2.02	1.97	2.05	2.30	2.02	2.31	2.14	2.54
ト 職員の接客態度	2.23	2.02	2.22	2.56	1.80	2.37	1.98	2.50	2.18	2.61
ナ 行政改革	2.50	2.45	2.39	2.46	2.48	2.77	2.27	2.65	2.41	2.71

※ 地域ごとに、最も評価点の高いものを「文字白抜き」、低いものを「網掛け」で表示しています。

第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

表11-1-2-② 地域別／重要度

		区全体	第10	第11	第12	第13	第14	第15
ア	子育て支援	3.03	2.81	2.98	3.05	3.22	2.99	2.93
イ	学校教育対策	2.95	3.04	2.94	2.92	3.15	2.96	3.25
ウ	地域活動支援	1.80	1.88	1.95	1.83	2.03	1.89	1.96
エ	社会参加支援	1.36	1.21	1.53	1.76	1.61	1.38	1.56
オ	男女共同参画推進	1.38	1.69	1.73	1.55	1.37	1.56	1.56
カ	生涯学習振興	1.71	1.92	1.93	2.14	1.76	1.68	1.44
キ	高齢者支援	2.69	3.04	2.69	3.05	2.81	3.03	2.69
ク	障がい者支援	2.57	3.06	2.64	2.71	2.76	2.92	2.40
ケ	保健衛生対策	2.65	2.48	2.72	2.75	2.63	2.43	2.62
コ	低所得者対策	1.98	2.15	2.17	1.60	2.12	2.31	1.86
サ	産業振興	1.79	1.49	1.73	1.73	1.97	1.70	2.00
シ	治安対策	3.07	3.21	2.91	3.17	2.90	2.78	3.27
ス	資源環境対策	2.86	3.02	3.02	2.82	3.23	2.96	2.89
セ	都市開発	2.32	1.89	2.29	2.25	2.53	2.14	2.73
ソ	住環境対策	2.30	1.62	2.22	2.50	2.53	2.38	1.96
タ	交通対策	2.93	2.93	2.88	2.95	2.99	3.11	2.79
チ	防災対策	3.04	2.93	2.97	2.98	2.95	2.89	3.16
ツ	自然・緑化対策	2.32	2.42	2.19	2.50	2.64	2.33	2.44
テ	情報提供	2.15	2.15	2.31	2.14	2.42	1.74	2.11
ト	職員の接客態度	2.23	1.78	2.29	2.39	2.63	2.58	1.74
ナ	行政改革	2.50	2.45	2.46	2.67	2.67	2.32	2.42

※ 地域ごとに、最も評価点の高いものを「文字白抜き」、低いものを「網掛け」で表示しています。

全21施策の現状評価（満足度）と重要度の関係をみた。《区全体》では、

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「交通対策」「防災対策」「治安対策」などは、現状評価（満足度）が低く、重要度が高くなっている。また「高齢者支援」と「障がい者支援」などもここにあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」「子育て支援」「保健衛生対策」などは、現状評価（満足度）と重要度の両面で高くなっている。

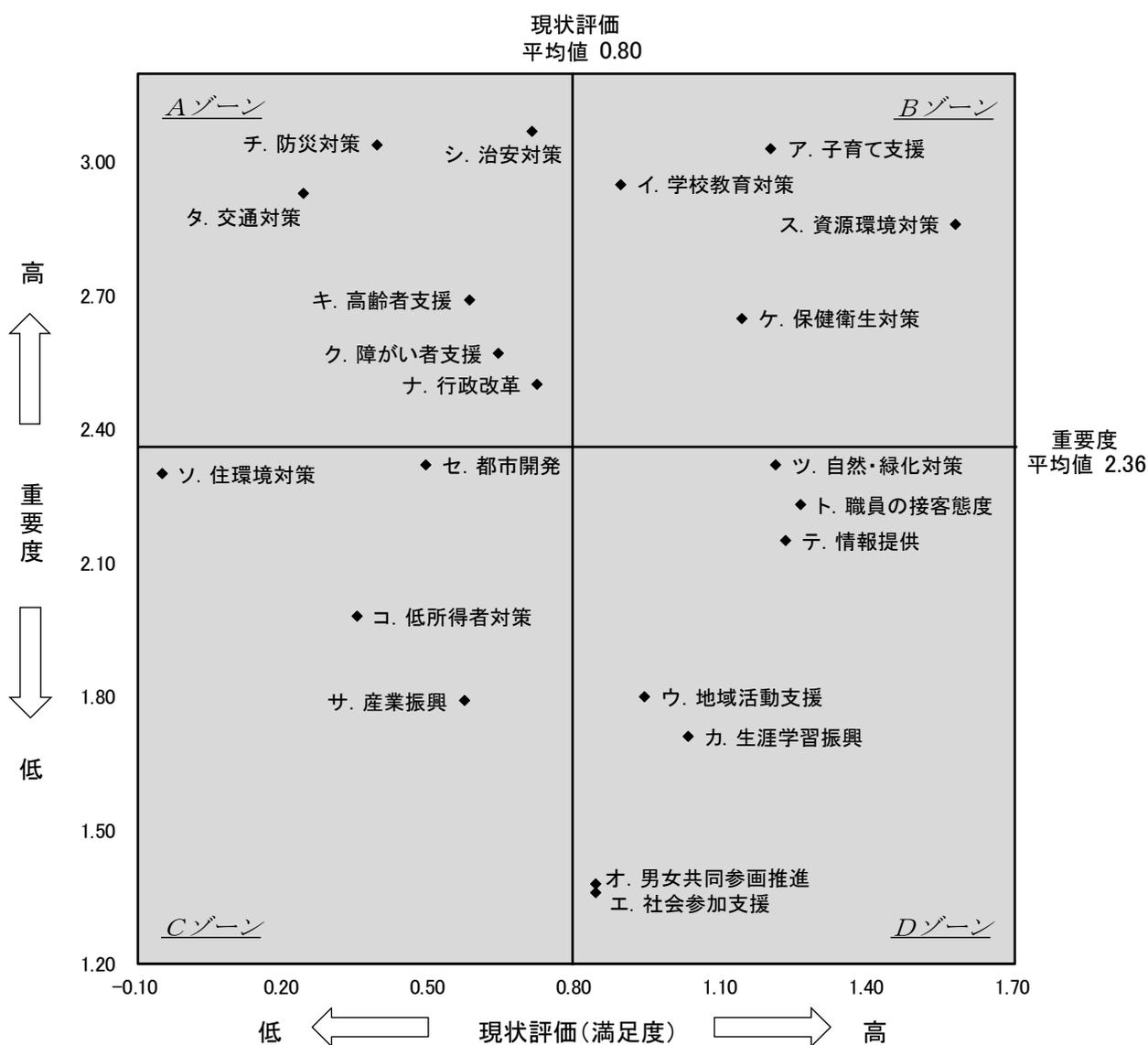
C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「低所得者対策」と「産業振興」は、現状評価（満足度）と重要度の両面で低くなっている。また、「住環境対策」は、現状評価（満足度）がとくに低くなっている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「職員の接客態度」「情報提供」「自然・緑化対策」など計7項目があげられている。

図11-1-3 現状評価（満足度）と重要度の関係



第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

各地域の現状評価（満足度）と重要度の関係を見た。《第1地域》では、

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」の満足度が低く、重要度は高くなっているほか、「住環境対策」や「交通対策」もあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」の満足度がとくに高く、「子育て支援」の重要度がとくに高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

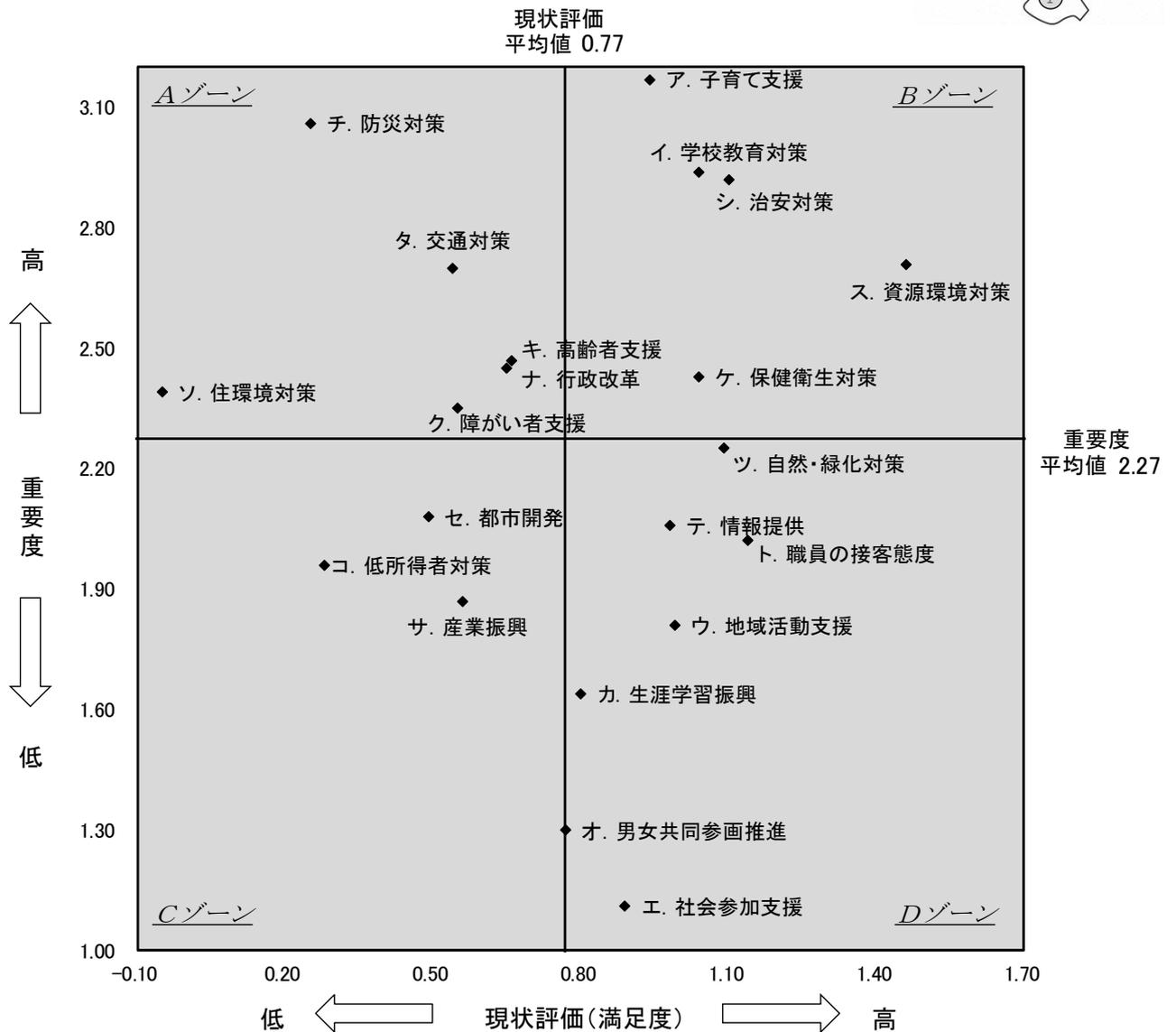
「低所得者対策」の満足度が低く、重要度も低くなっている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「職員の接客態度」「情報提供」「地域活動支援」などがあげられている。



図11-1-4-① 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第1地域



《第2地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「交通対策」でとくに重要度が高く、満足度が低いほか、「防災対策」「治安対策」「学校教育対策」なども重要度が高くあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」「自然・緑化対策」で満足度が高く、「子育て支援」で重要度がとくに高い。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「低所得者対策」だけがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「職員の接客態度」「情報提供」などがあげられている。

地域区分図

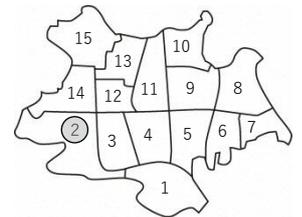
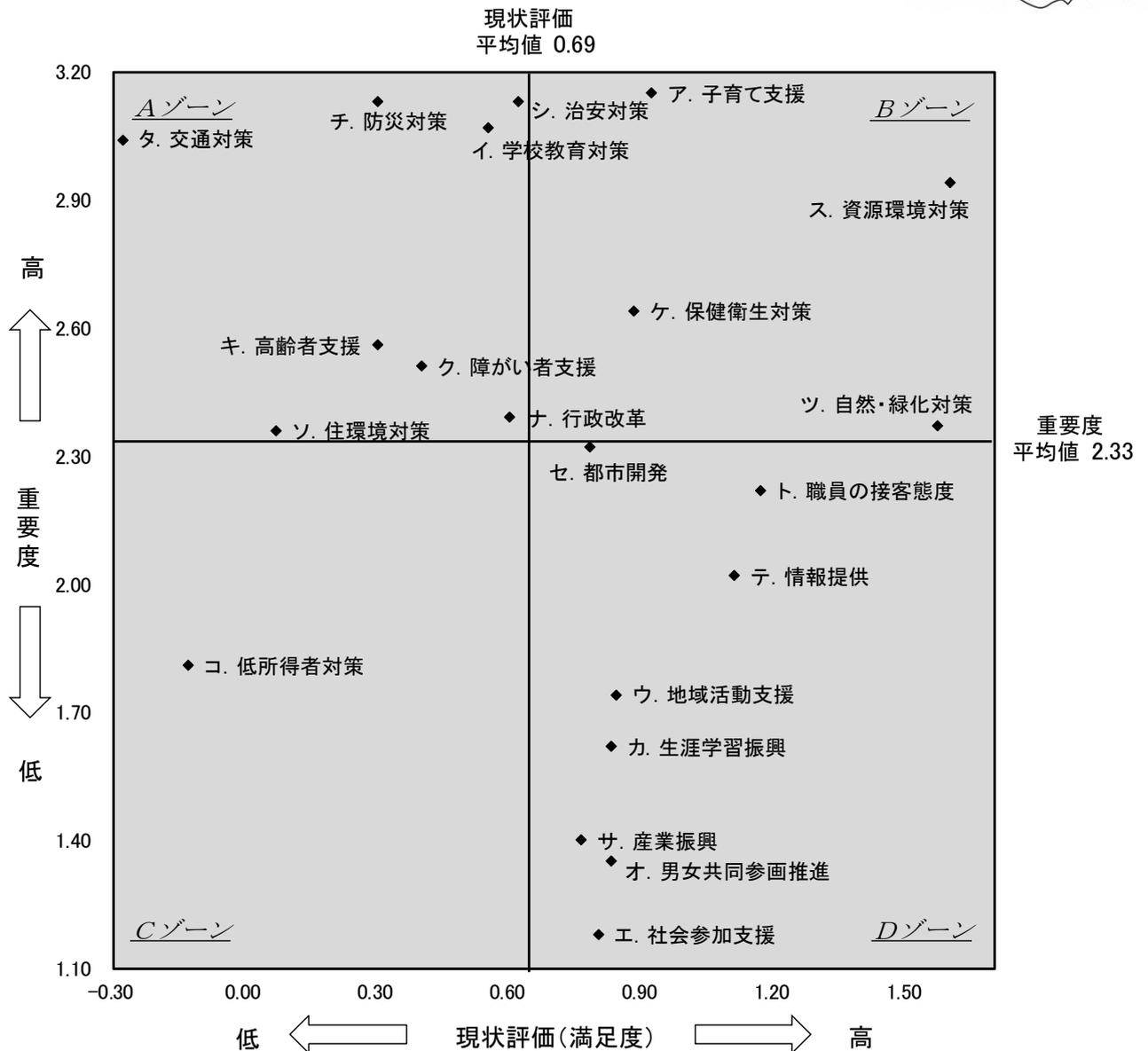


図11-1-4-② 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第2地域



《第3地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「交通対策」でとくに重要度が高く、満足度が低く、「防災対策」「治安対策」など重要度が高くなっている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」の満足度が高く、「子育て支援」と「学校教育対策」の重要度が高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

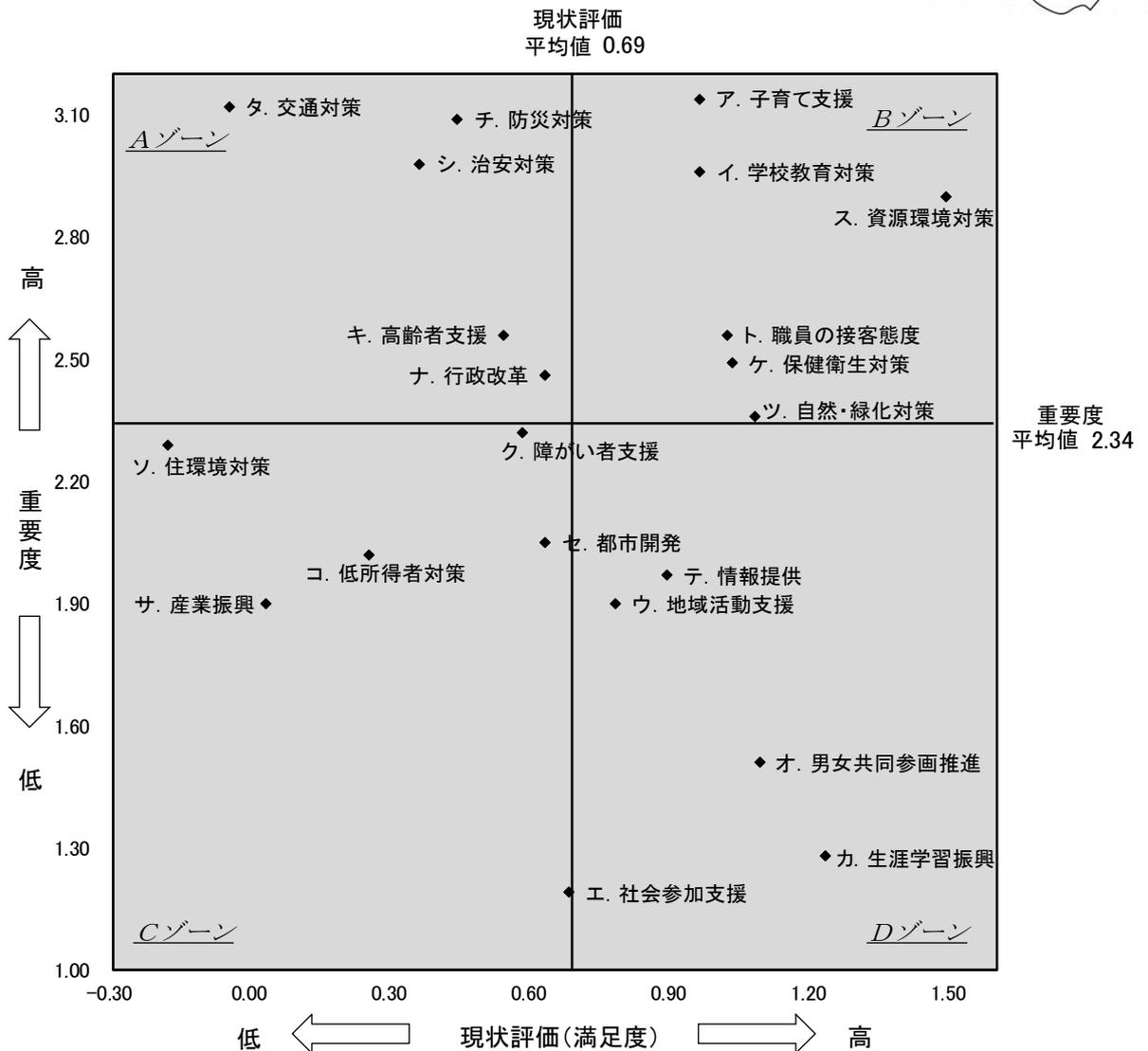
「産業振興」「低所得者対策」などがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「生涯学習振興」「男女共同参画推進」などがあげられている。



図11-1-4-③ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第3地域



《第4地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」の重要度が高く、満足度が低く、「学校教育対策」の重要度がとくに高いほか、「高齢者支援」「障がい者支援」「交通対策」などもあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」と「保健衛生対策」の満足度が高く、「治安対策」と「子育て支援」は重要度が高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」の満足度が低く、ほかに「低所得者対策」などがあげられている。

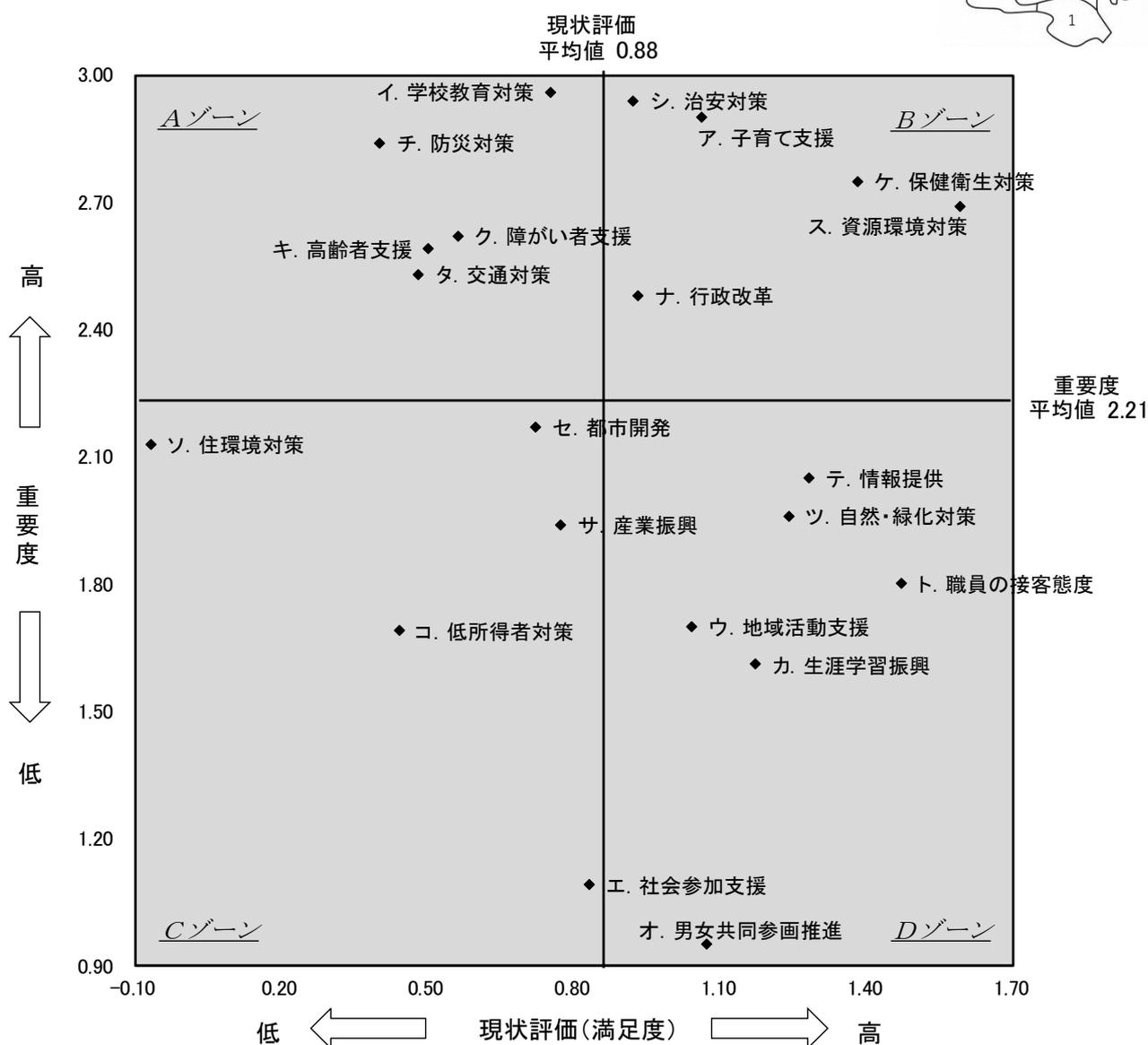
D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「職員の接客態度」「情報提供」「自然・緑化対策」などがあげられている。

地域区分図



図11-1-4-④ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第4地域



《第5地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「交通対策」で重要度が高く、とくに満足度が低いほか、「防災対策」「治安対策」の重要度が高く、「住環境対策」の満足度が低くなっている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」で満足度が高く、重要度は「保健衛生対策」で高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

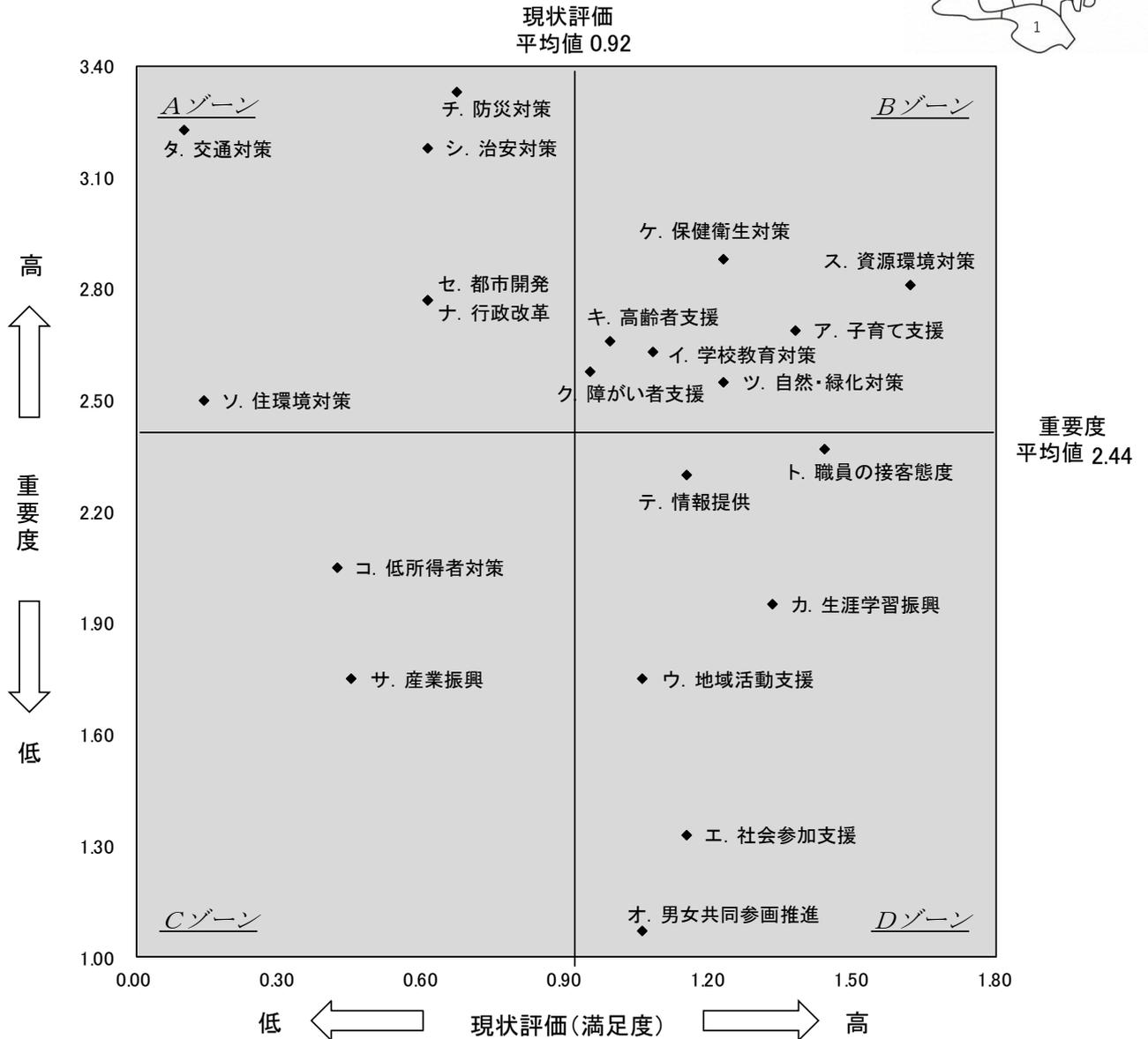
「産業振興」と「低所得者対策」があげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「職員の接客態度」で満足度が高く、「生涯学習対策」「情報提供」などもあげられている。



図11-1-4-⑤ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第5地域



《第6地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」「防災対策」「交通対策」「高齢者支援」など計9項目があげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」と「自然・緑化対策」の満足度が高く、「子育て支援」の重要度が高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

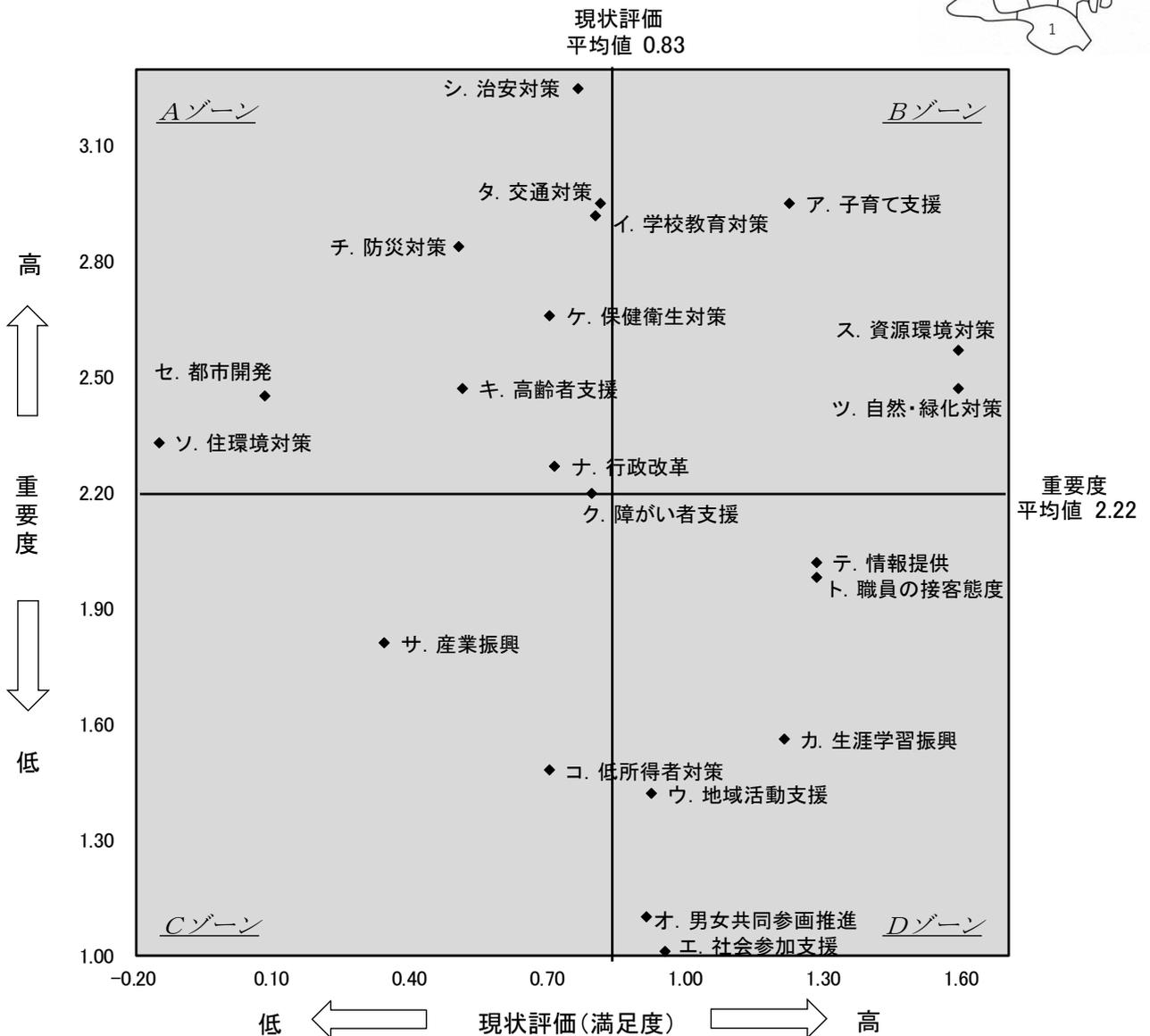
「低所得者対策」と「産業振興」の2項目があげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「生涯学習振興」「情報提供」「職員の接客態度」などがあげられている。



図11-1-4-⑥ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第6地域



《第7地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」の重要度が高く、ほかに「防災対策」「交通対策」などがあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「子育て支援」と「資源環境対策」の満足度が高く、「子育て支援」は重要度も高く、ほかに「学校教育対策」「保健衛生対策」などもあげられている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」の満足度が低く、ほかに「低所得者対策」「都市開発」「産業振興」などがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「自然・緑化対策」の満足度が高く、ほかに「生涯学習振興」「地域活動支援」などがあげられている。

地域区分図

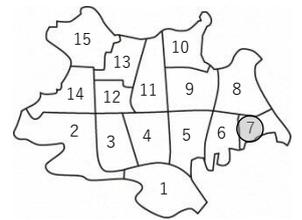
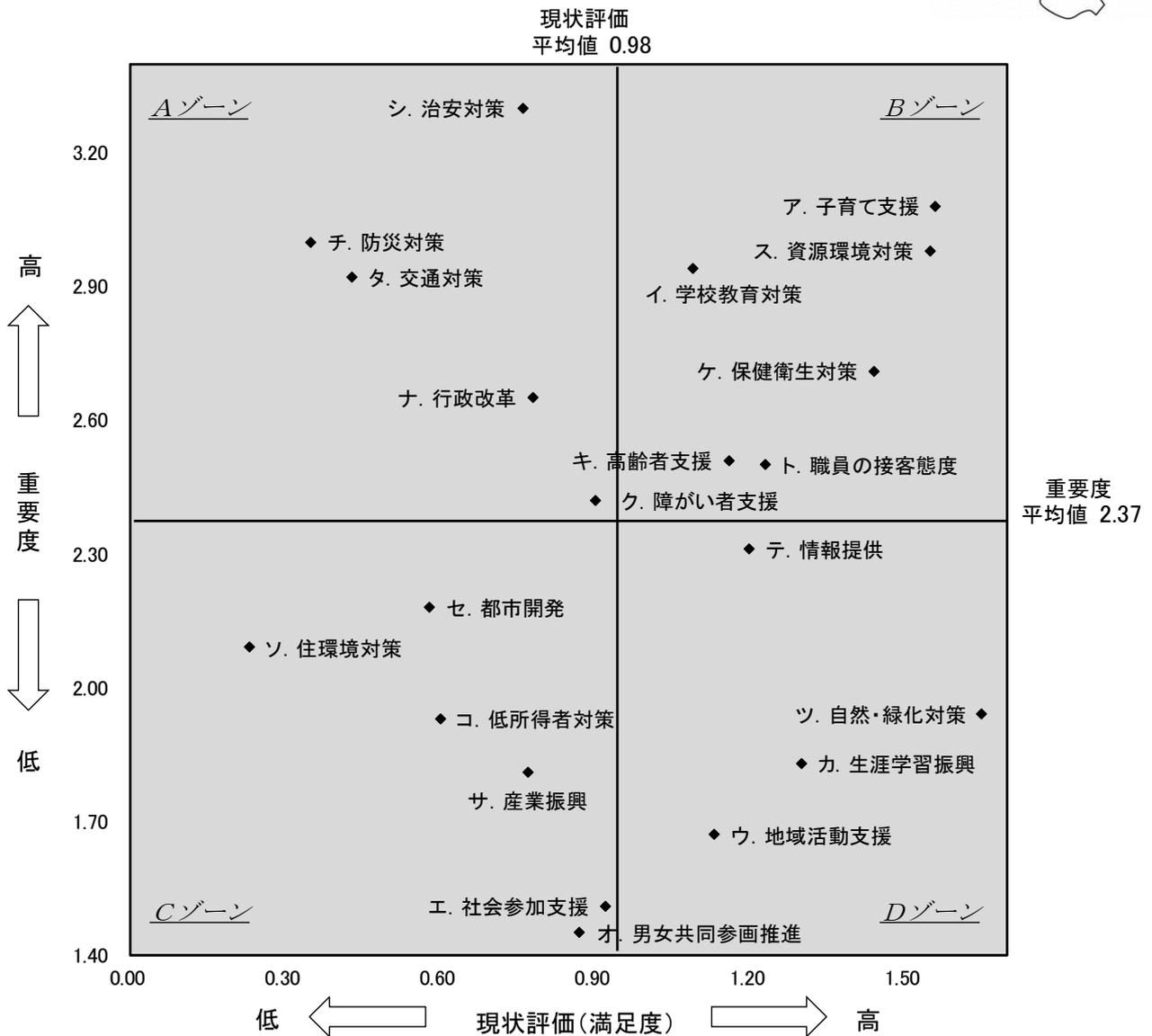


図11-1-4-⑦ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第7地域



《第8地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「交通対策」で満足度が低く、重要度が高いほか、「防災対策」の重要度も高くなっており、ほかに「高齢者支援」と「障がい者支援」もあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」で満足度が高く、「子育て支援」と「治安対策」の重要度が高く、ほかに「学校教育対策」「保健衛生対策」などもあげられている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

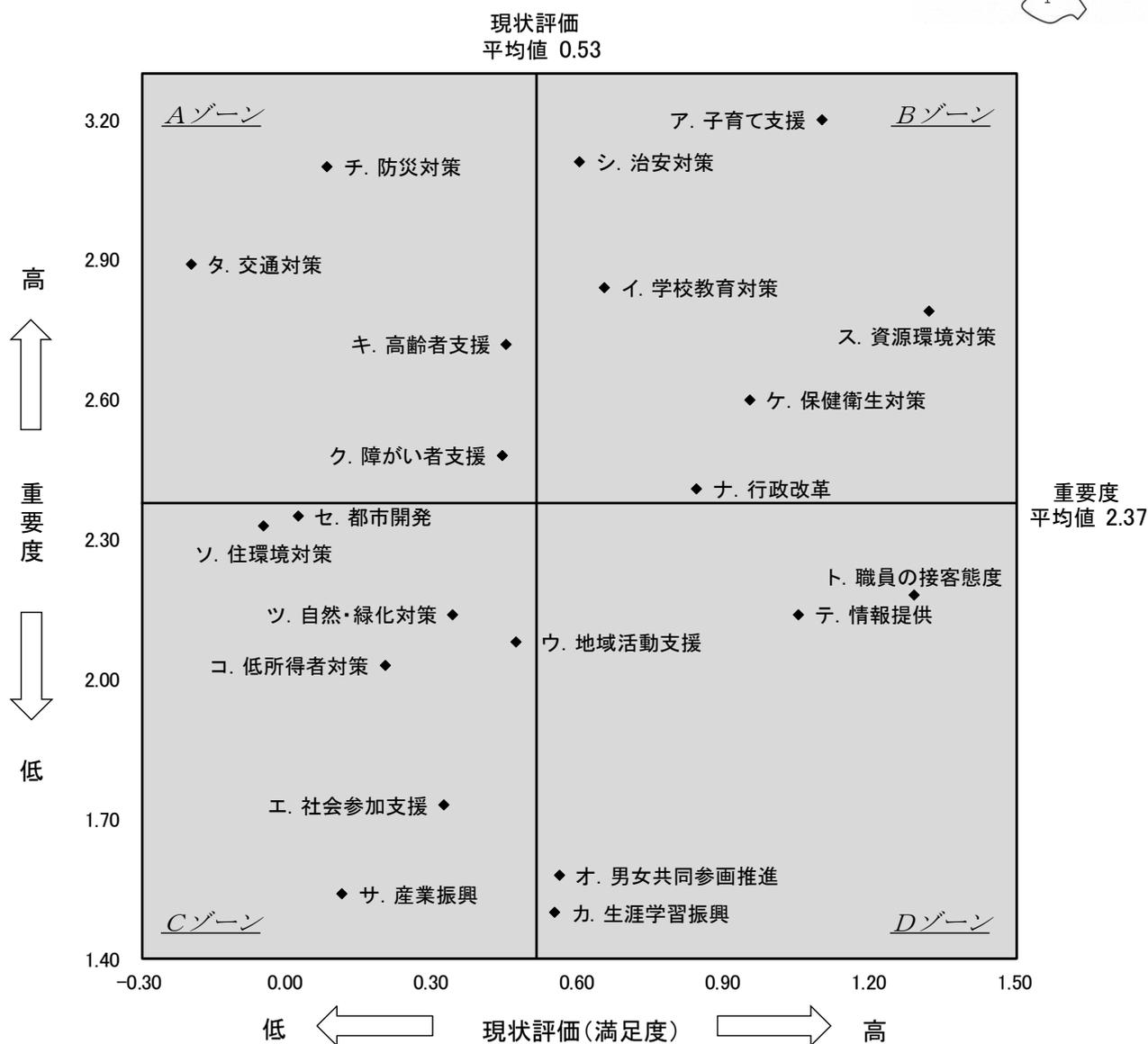
「低所得者対策」など計7項目があげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「職員の接客態度」は満足度が高く、ほかに「情報提供」「生涯学習振興」「男女共同参画推進」があげられている。



図11-1-4-⑧ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第8地域



《第9地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「交通対策」で満足度が低く、重要度が高いほか、「治安対策」「防災対策」「高齢者支援」「障がい者支援」などがあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」で満足度が高く、「子育て支援」で重要度が高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

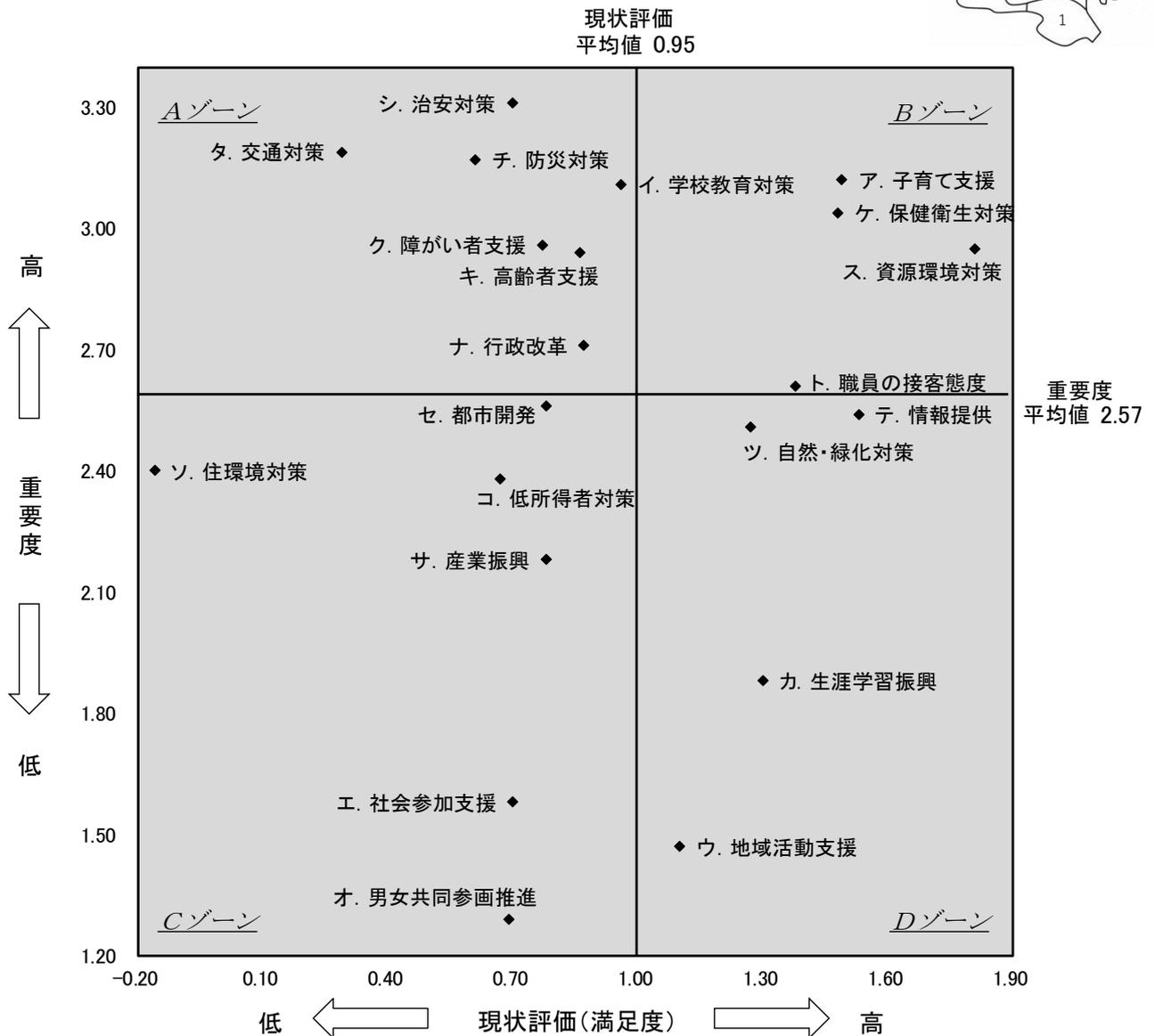
「住環境対策」で満足度がとくに低くなっているほか、「社会参加支援」「産業振興」「低所得者対策」などがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「情報提供」で満足度が高く、「地域活動支援」で重要度がとくに低くなっている。



図11-1-4-⑨ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第9地域



《第10地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「交通対策」「高齢者支援」「治安対策」で満足度が低く、重要度が高いのに加えて、ほかに「防災対策」「障がい者支援」などがあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」で満足度と重要度がともに高いほか、「子育て支援」「学校教育対策」「自然・緑化対策」の計4項目があげられている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

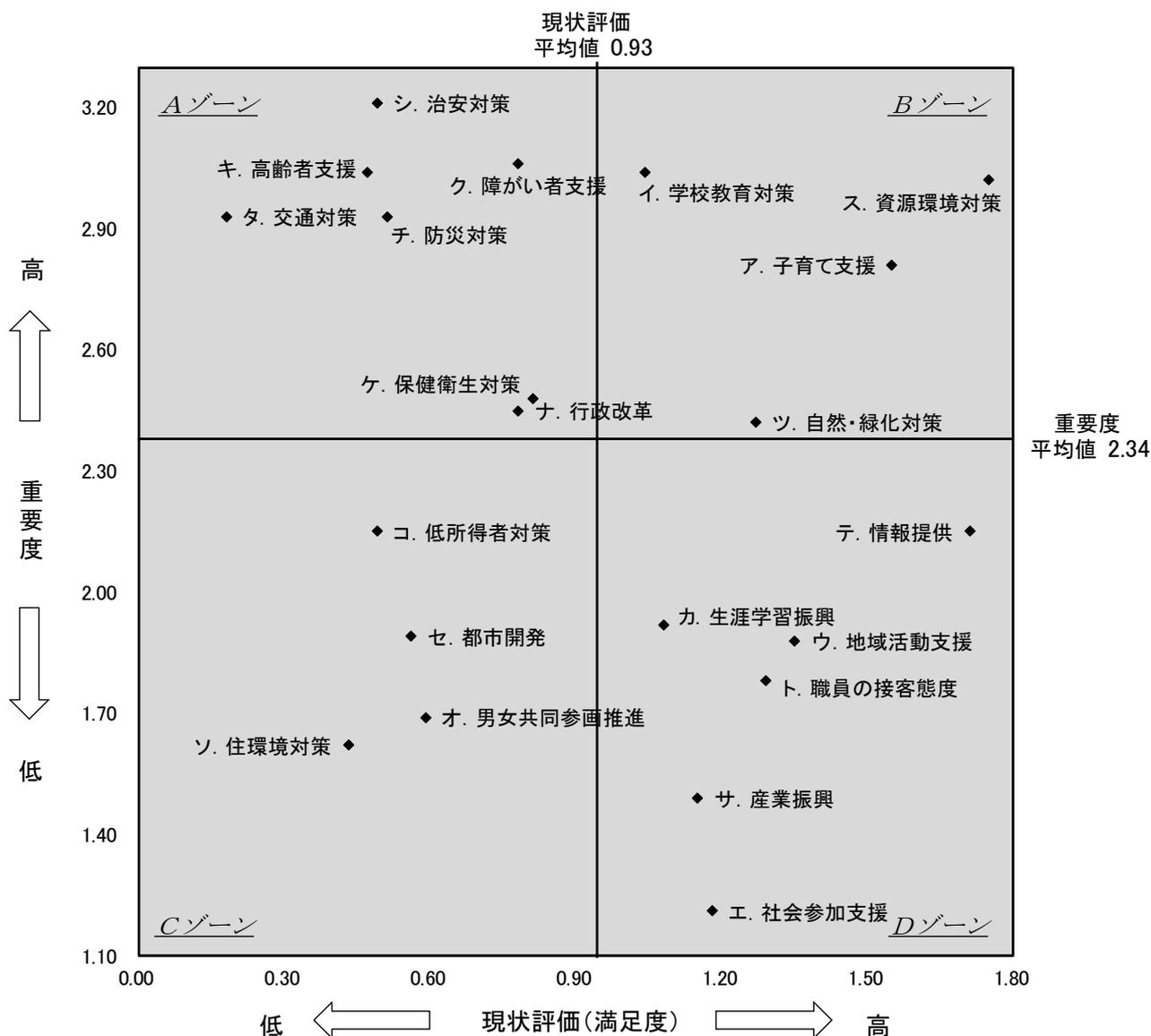
「住環境対策」の満足度がとくに低いほか、「低所得者対策」などがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「社会参加支援」の重要度がとくに低いほか、「産業振興」「情報提供」「職員の接客態度」など計6項目があげられている。



図11-1-4-⑩ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第10地域



《第11地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」と「交通対策」で重要度が高く、満足度は低くなっているほか、「高齢者支援」「障がい者支援」などもあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」と「子育て支援」で満足度と重要度がともに高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」の満足度が低く、ほかに「低所得者対策」「産業振興」など計6項目があげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「社会参加支援」の重要度がとくに低いほか、「生涯学習振興」「職員の接客態度」などがあげられている。

地域区分図

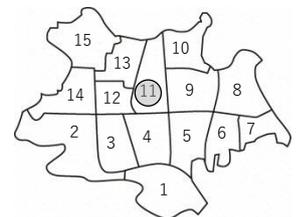
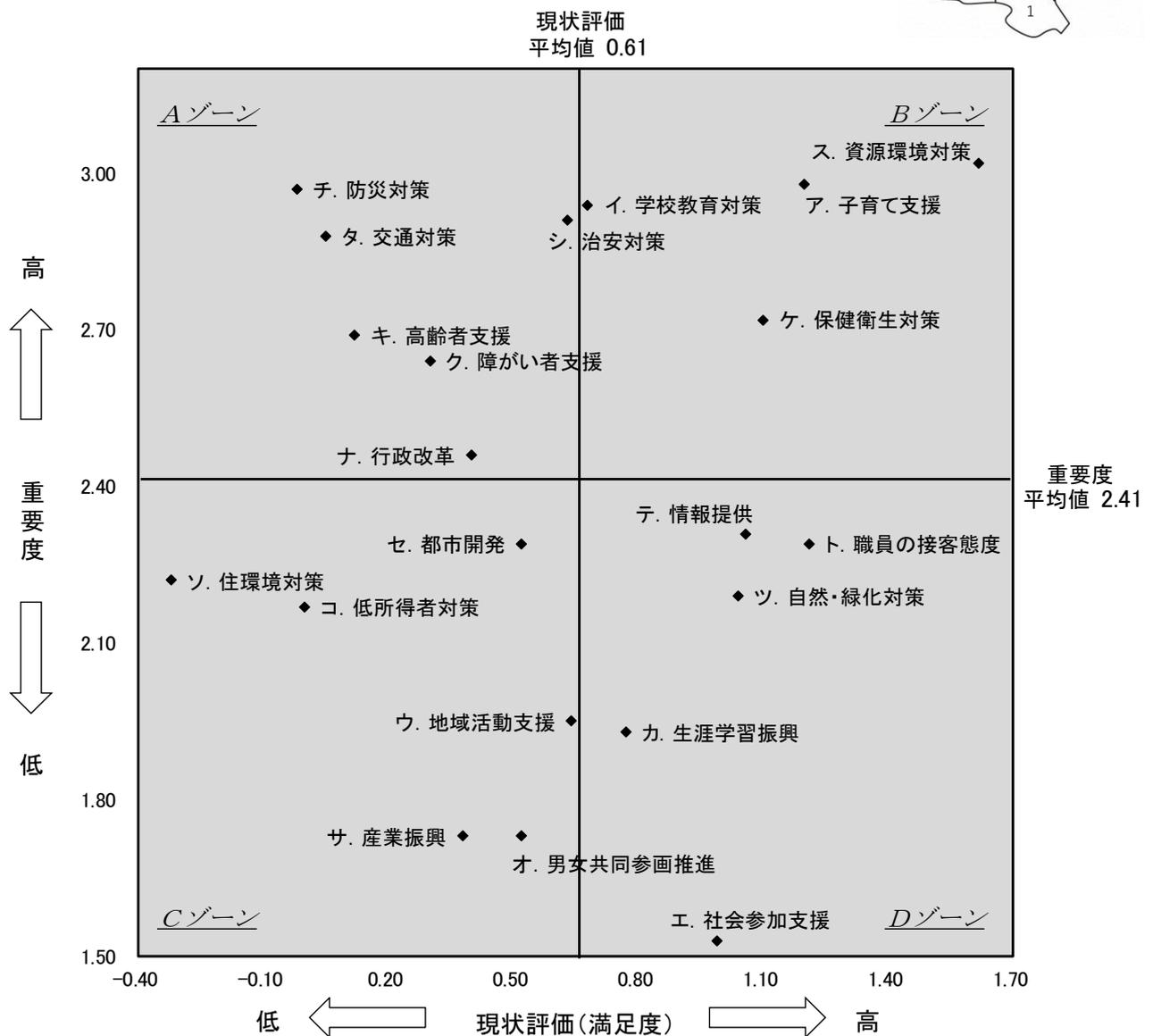


図11-1-4-⑪ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第11地域



《第12地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「交通対策」で重要度が高く、満足度が低い上に、「住環境対策」の満足度も低い、ほかに「高齢者支援」「防災対策」「障がい者支援」もあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」と「子育て支援」「保健衛生対策」で満足度が高く、重要度は「治安対策」と「子育て支援」で高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

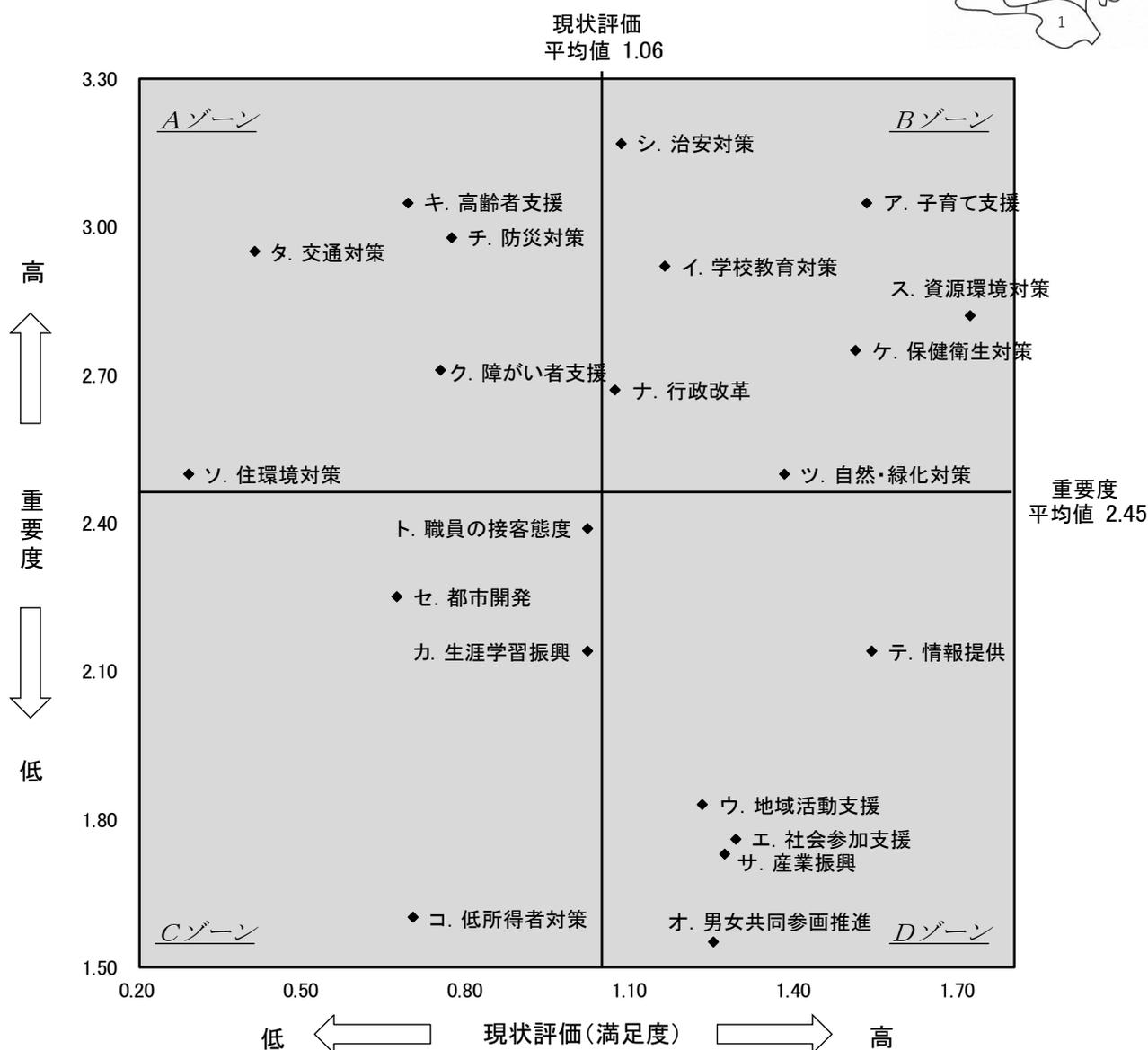
「低所得者対策」で重要度と満足度がともに低いほか、計4項目があげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

満足度が高めな「情報提供」のほか、「男女共同参画推進」など計5項目があげられている。



図11-1-4-⑫ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第12地域



《第13地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

重要度が高めな「交通対策」「防災対策」「治安対策」のほか、満足度が低い「住環境対策」など計8項目があげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」で満足度と重要度がともに高いほか、「子育て支援」と「学校教育対策」も重要度が高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項

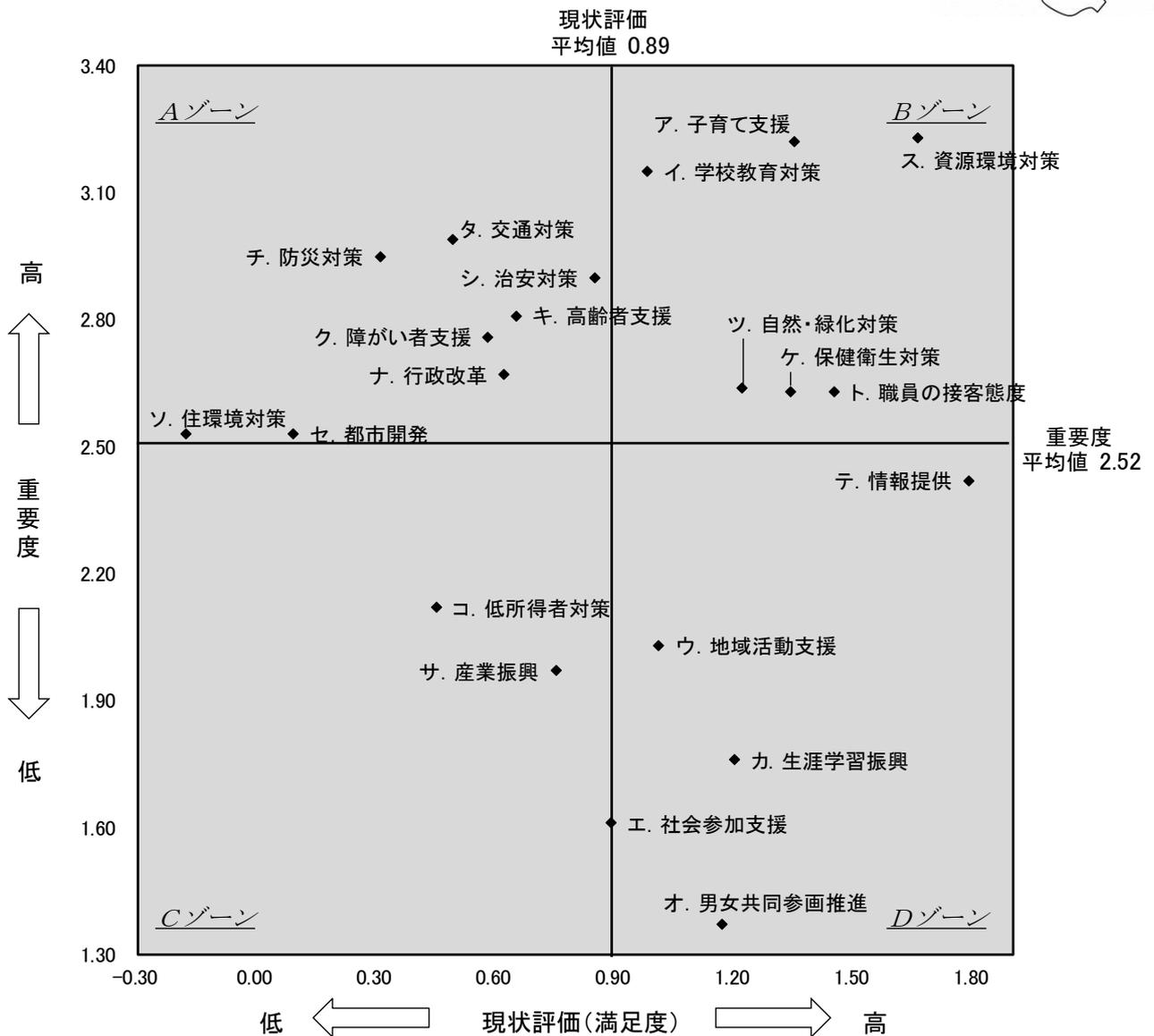
「低所得者対策」と「産業振興」があげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

満足度の高い「情報提供」や重要度の低い「男女共同参画推進」などがあげられている。



図11-1-4-⑬ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第13地域



《第14地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「交通対策」でとくに重要度が高く、満足度が低いほか、「高齢者支援」「防災対策」「治安対策」などもあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」で満足度が高く、「資源環境対策」は「子育て支援」「学校教育対策」「障がい者支援」とともに重要度も高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

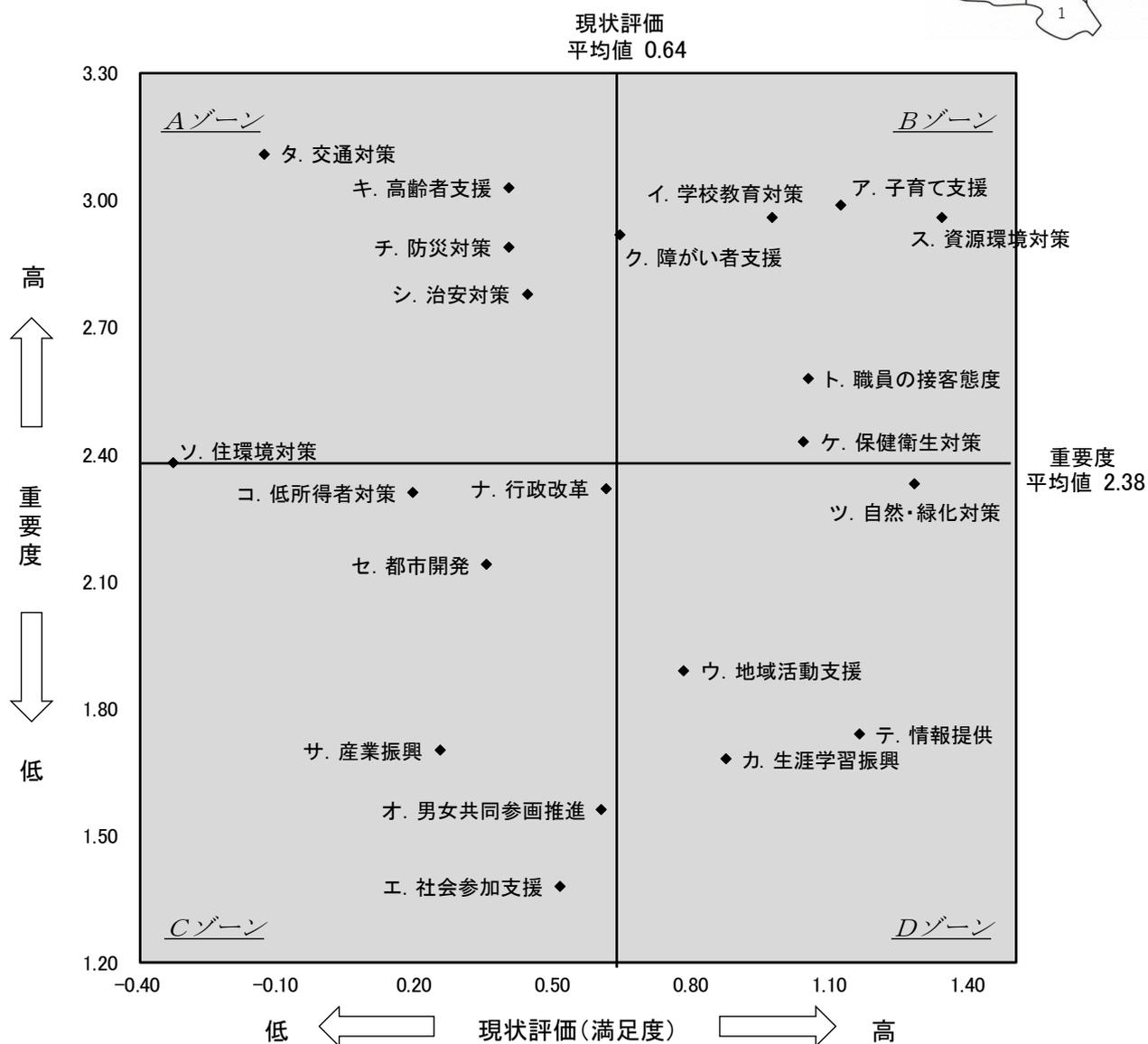
「産業振興」「都市開発」など計6項目があげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「情報提供」「生涯学習振興」など計4項目があげられている。



図11-1-4-⑭ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第14地域



《第15地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」「学校教育対策」「防災対策」で重要度がとくに高く、ほかに「交通対策」「高齢者支援」などがあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」で満足度と重要度がともに特に高いほか、「子育て支援」「保健衛生対策」などがあげられている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

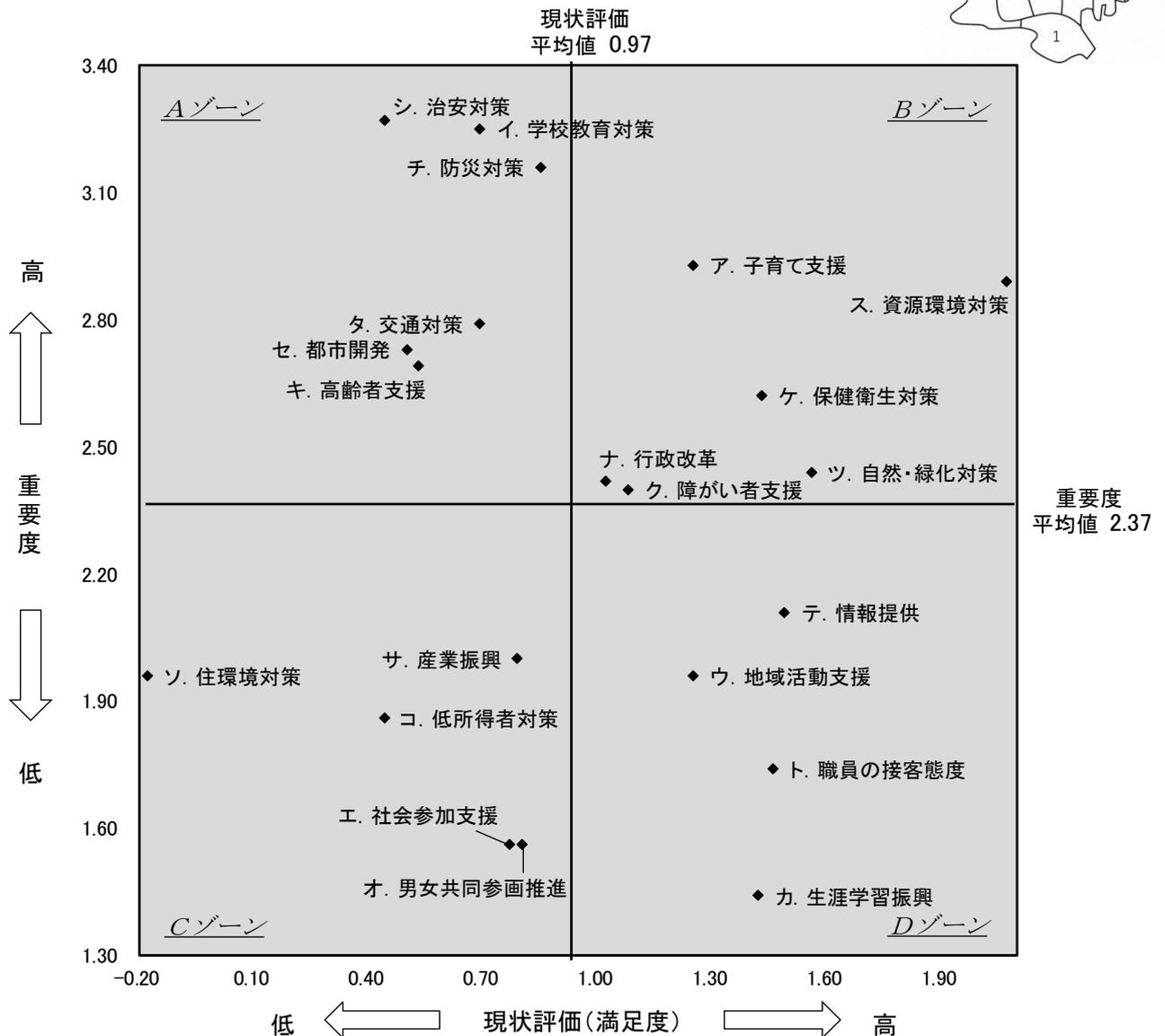
満足度がとくに低い「住環境対策」のほか「低所得者対策」などがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「職員の接客態度」「情報提供」などがあげられている。



図11-1-4-⑮ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第15地域

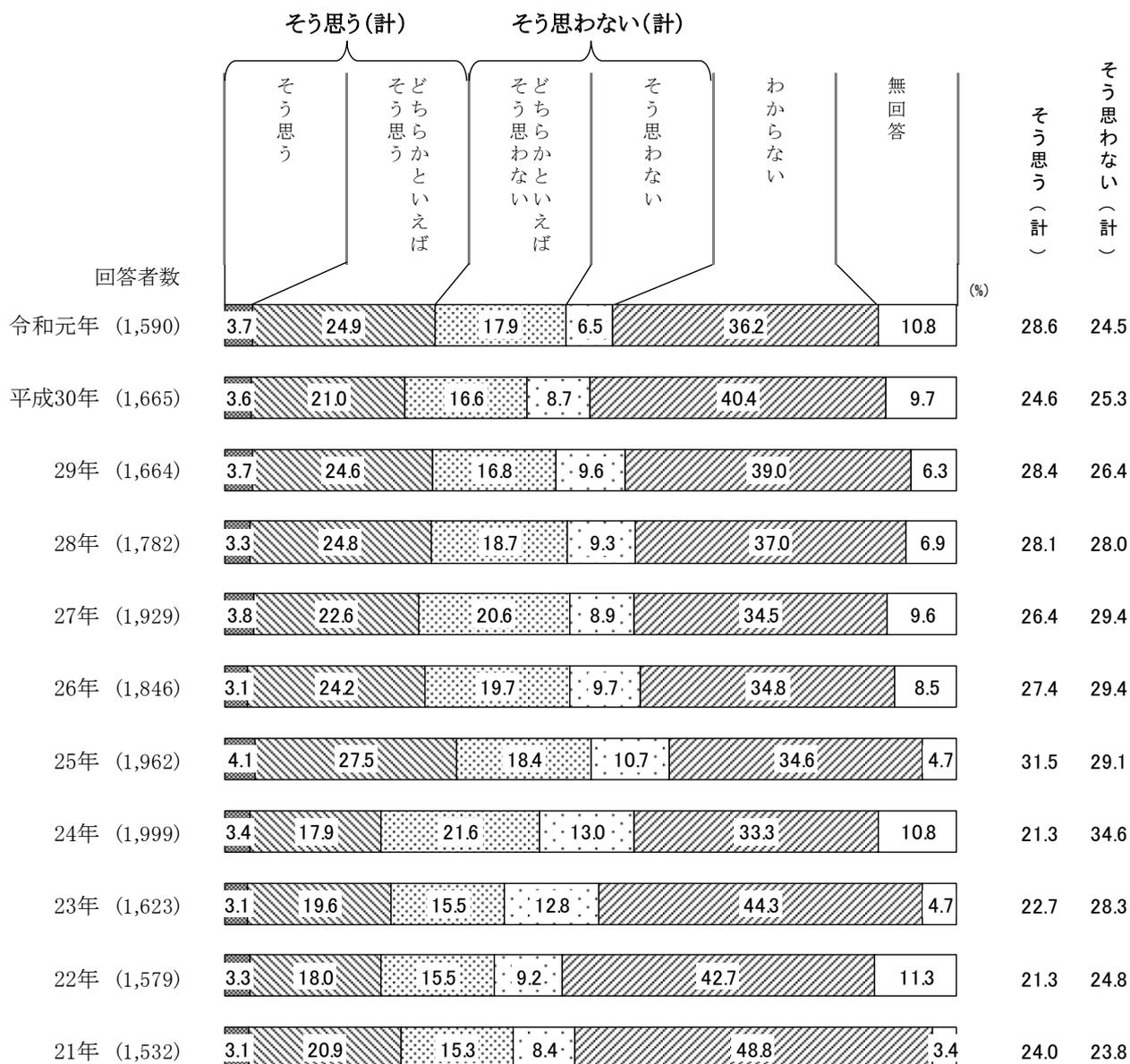


(2) 区政への区民意見の反映度

■ 【そう思う】は3割弱で、前年よりやや増加して【そう思わない】を上回っている

問49 あなたは、区政に区民の意見が反映されていると感じていますか（○は1つだけ）。

図11-2-1 経年比較／区政への区民意見の反映度



区政に区民の意見が反映されていると感じているか聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う】は28.6%で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた【そう思わない】(24.5%)を4.1ポイントながら上回っている。

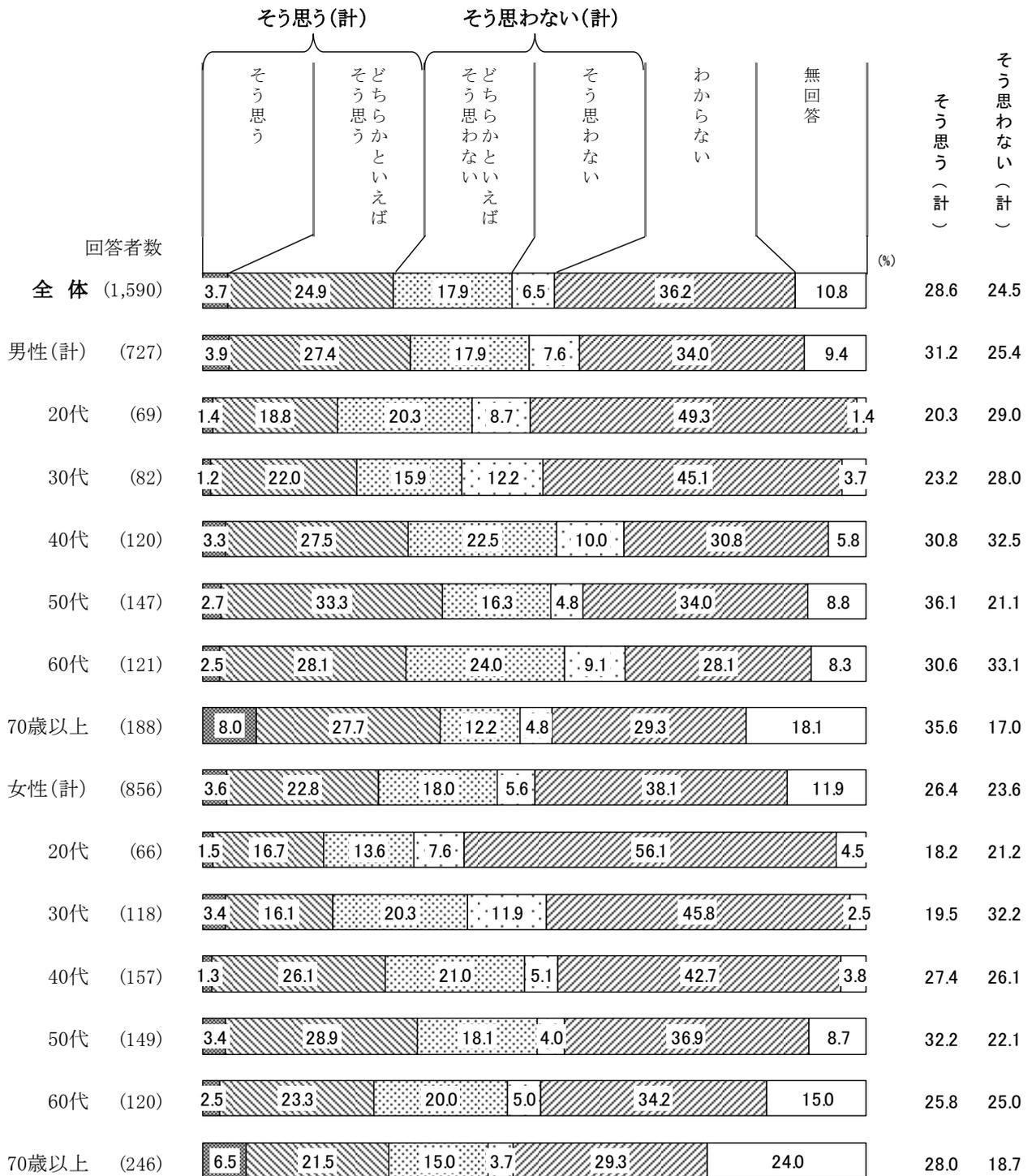
経年でみると、【そう思う】は今回28.6%と、平成30年の24.6%から4.0ポイント増加している。

第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

性別でみると、【そう思う】は男性で31.2%と、女性（26.4%）よりやや高くなっている。

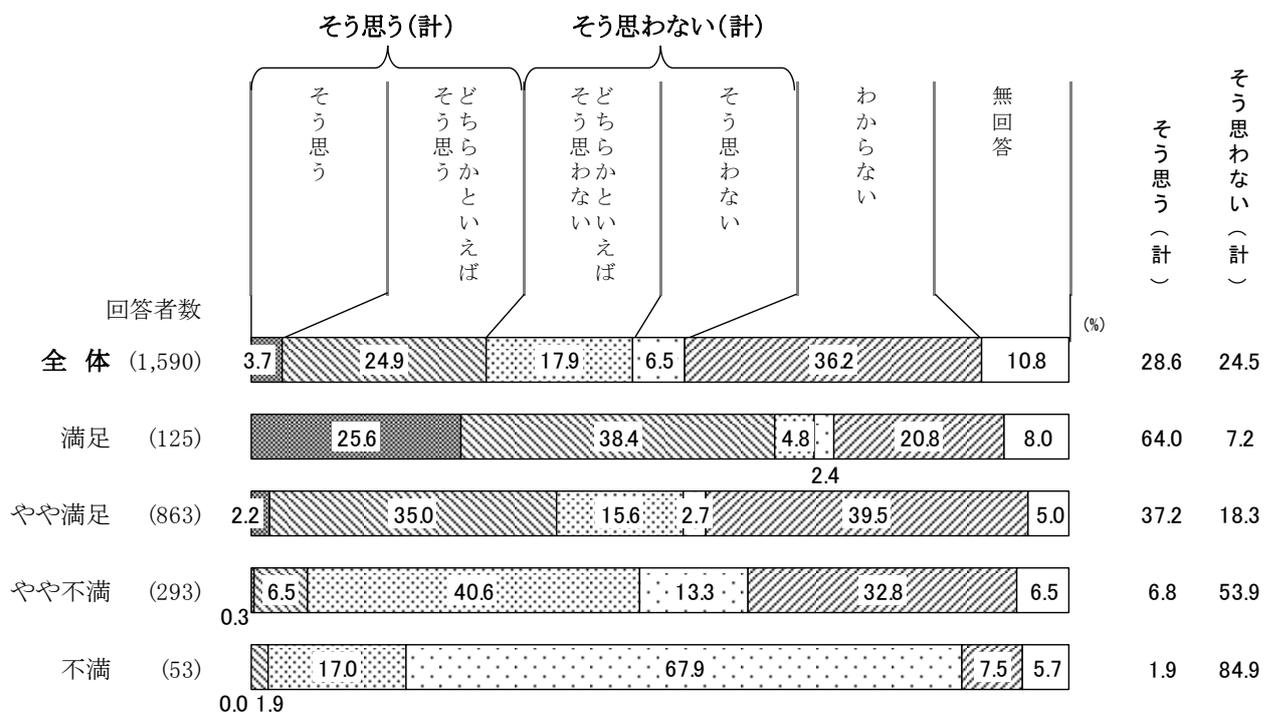
性・年代別でみると、【そう思う】は、男性では50代と70歳以上で3割台半ばと高く、女性では50代と70歳以上で3割前後と高くなっており、この男女4層では【そう思わない】をそれぞれ10ポイント前後以上上回っているが、一方、【そう思わない】が【そう思う】を10ポイント前後上回って多い性・年代層には、男性の20代と女性の30代の2層となっている。

図11-2-2 性別、性・年代別／区政への区民意見の反映度



区政満足度別で見ると、【そう思う】の割合は、区政への満足度が高くなるほど増加し、満足している層では64.0%で6割台半ばと高くなっている。

図11-2-3 区政満足度別／区政への区民意見の反映度



(3) 区に対する気持ち

■ “足立区に愛着”と“足立区を良いまちにする活動をしている人に共感”がともに7割台半ば

問50 あなたの足立区に対する気持ちとして、以下の項目にそれぞれどの程度あてはまりますか（○はそれぞれ1つずつ）。

図11-3-1-① 経年比較/区に対する気持ち

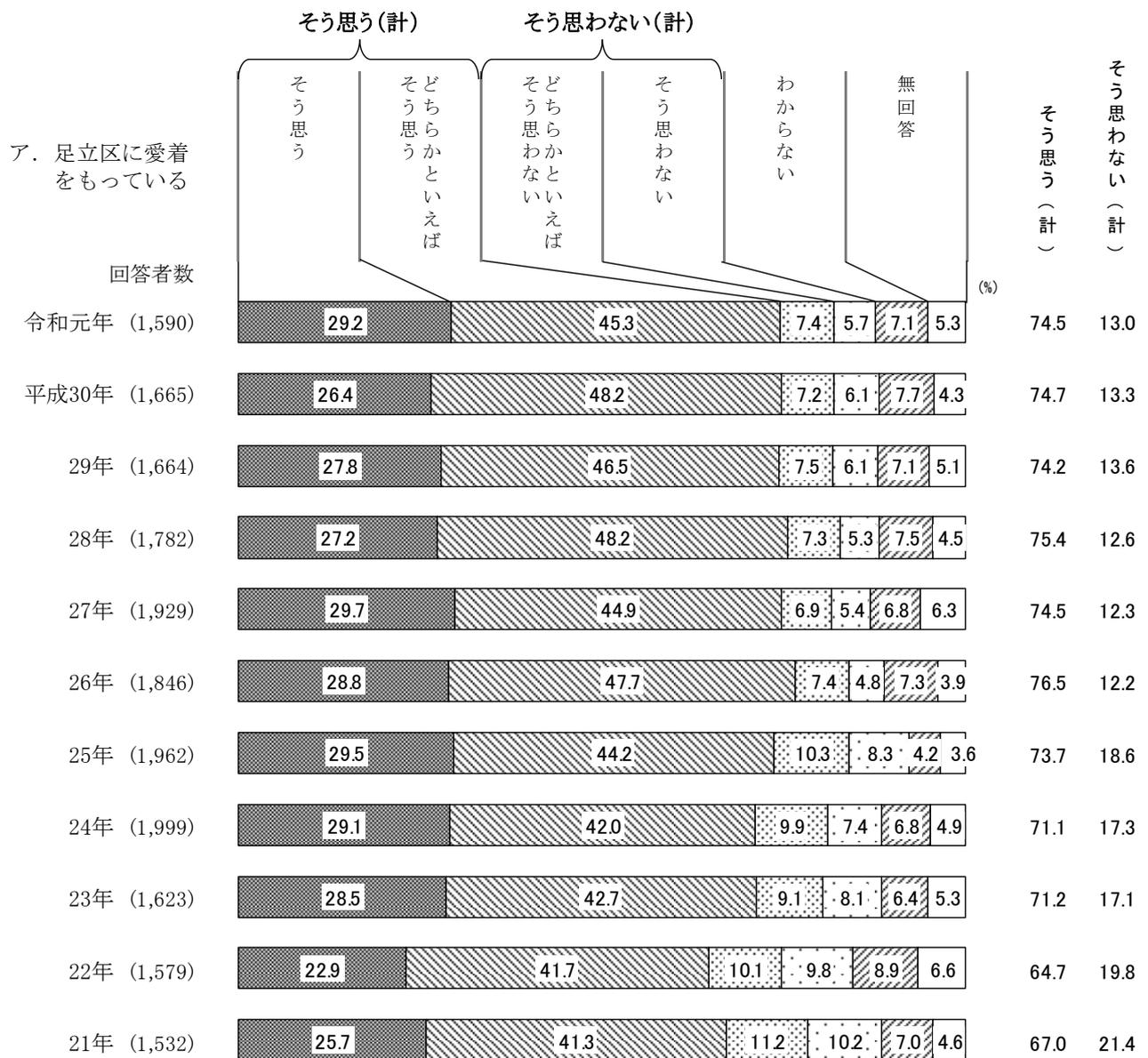


図11-3-1-② 経年比較/区に対する気持ち

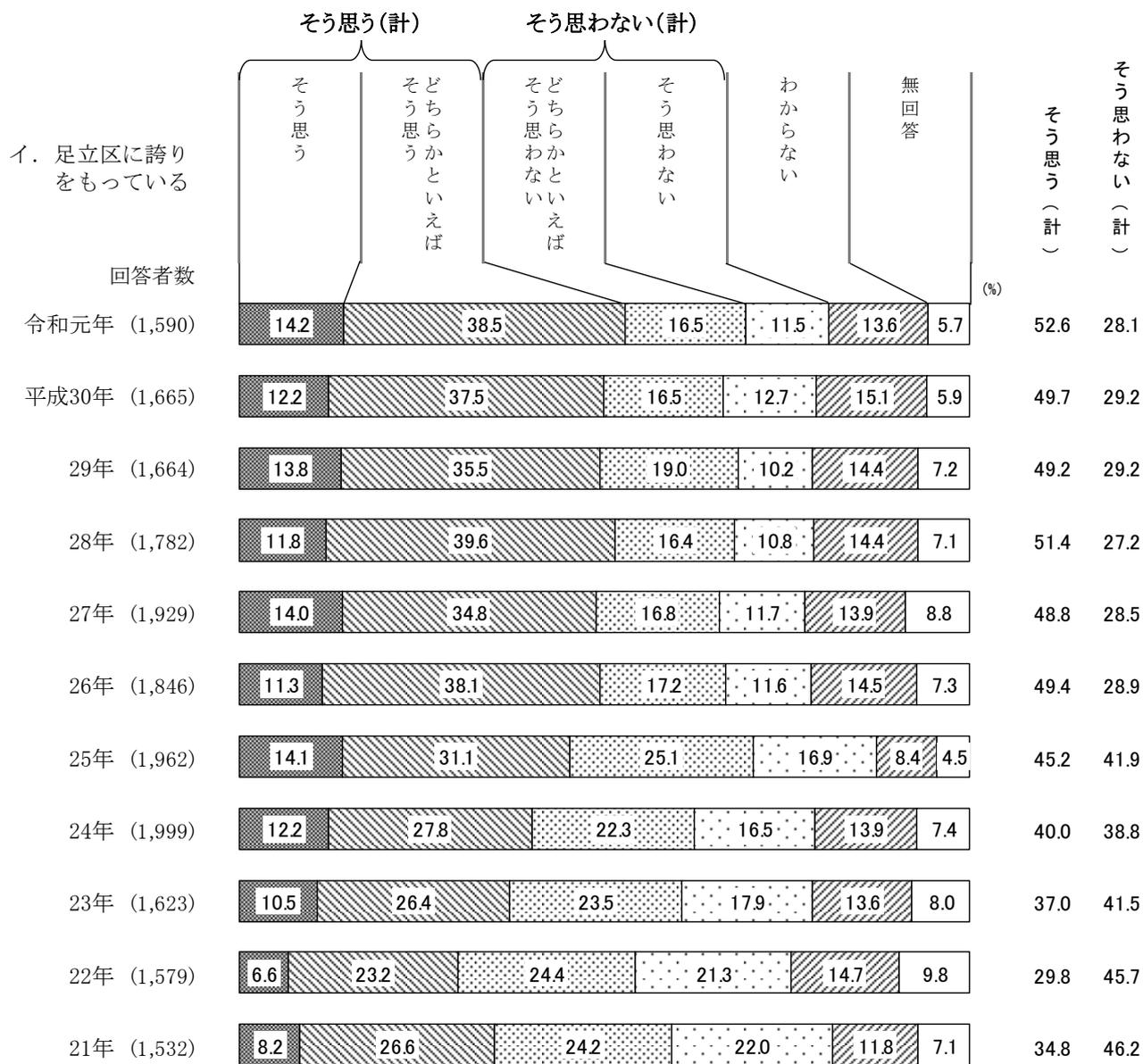


図11-3-1-③ 経年比較/区に対する気持ち

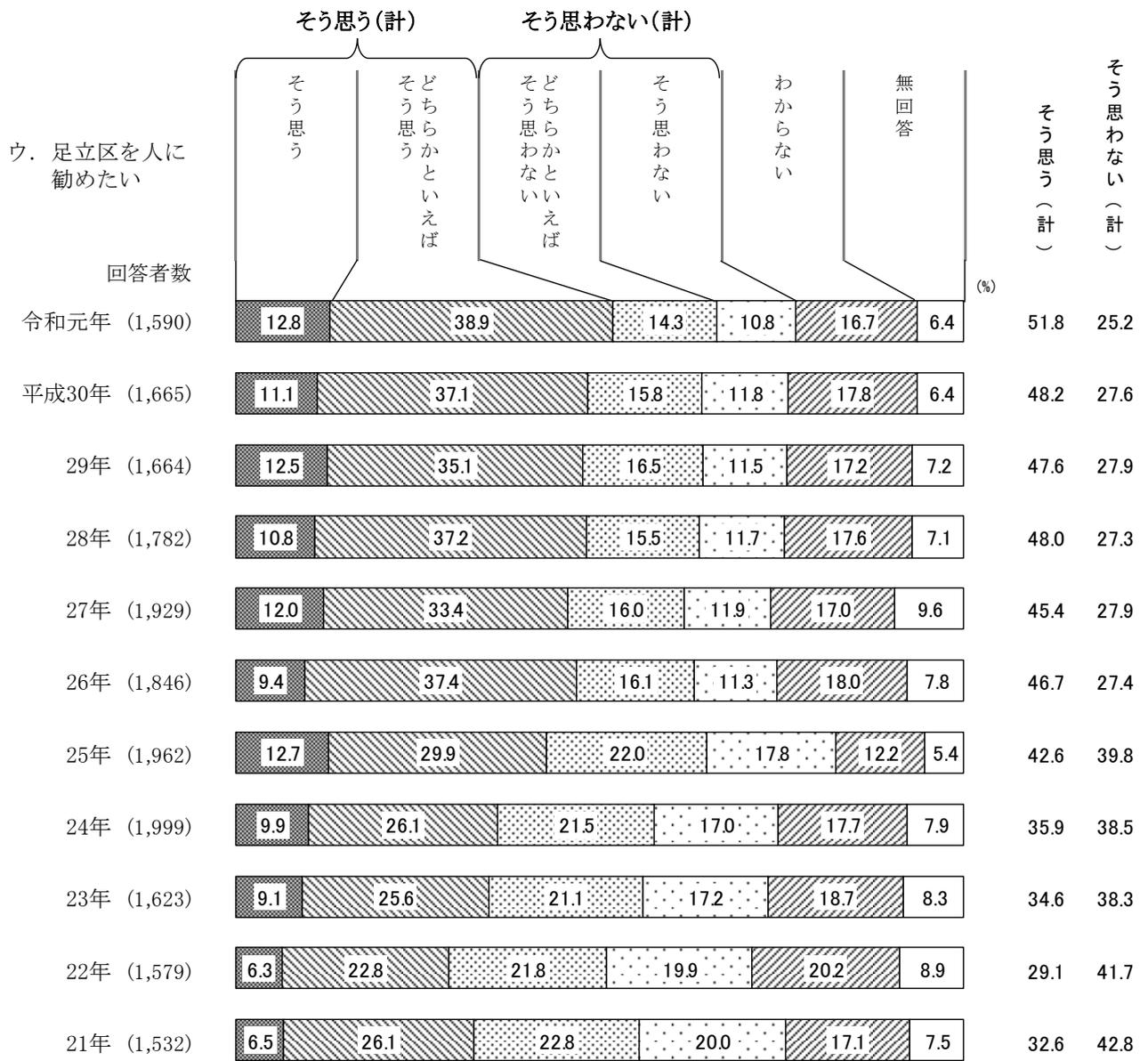
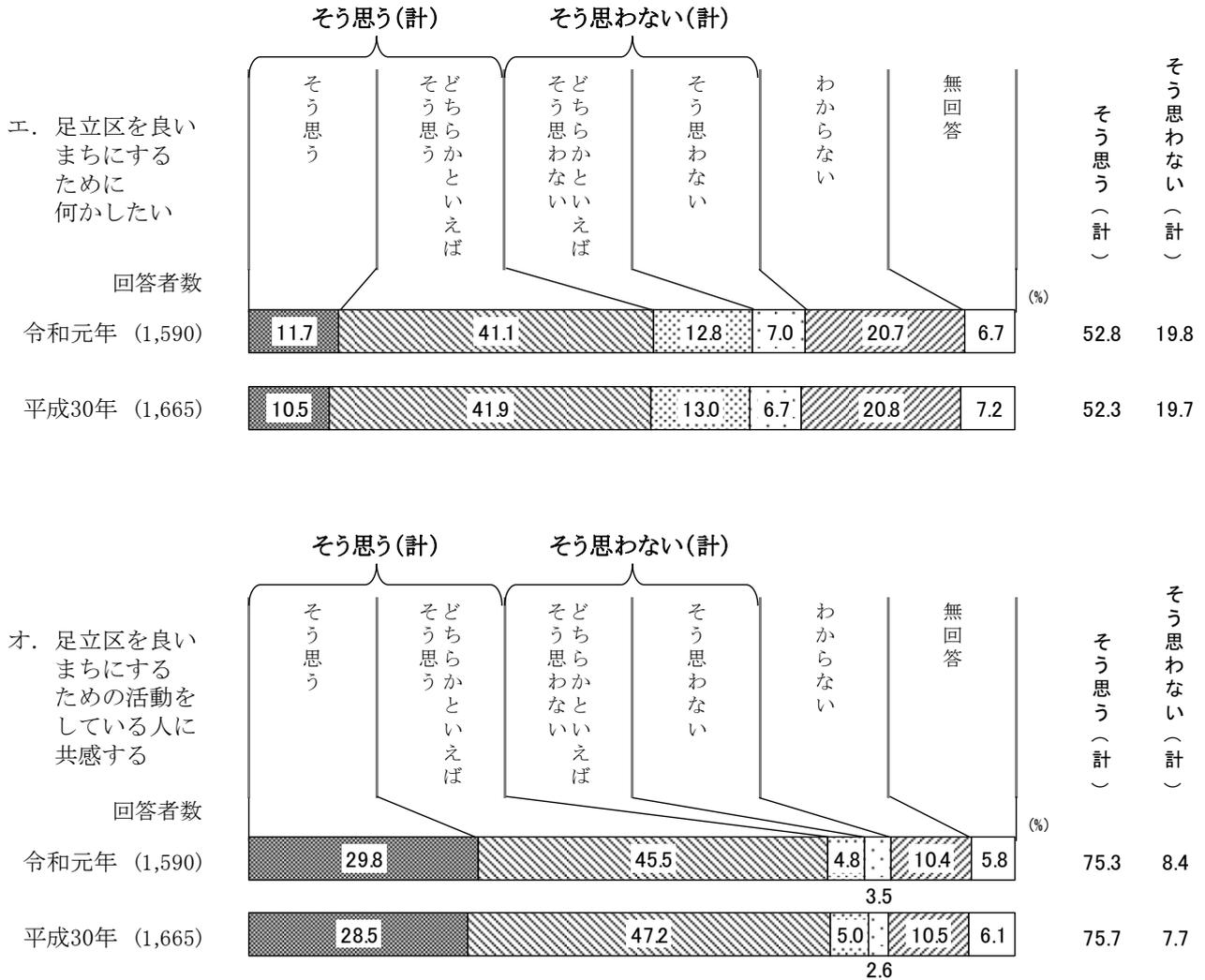


図11-3-1-④ 前回調査比較／区に対する気持ち



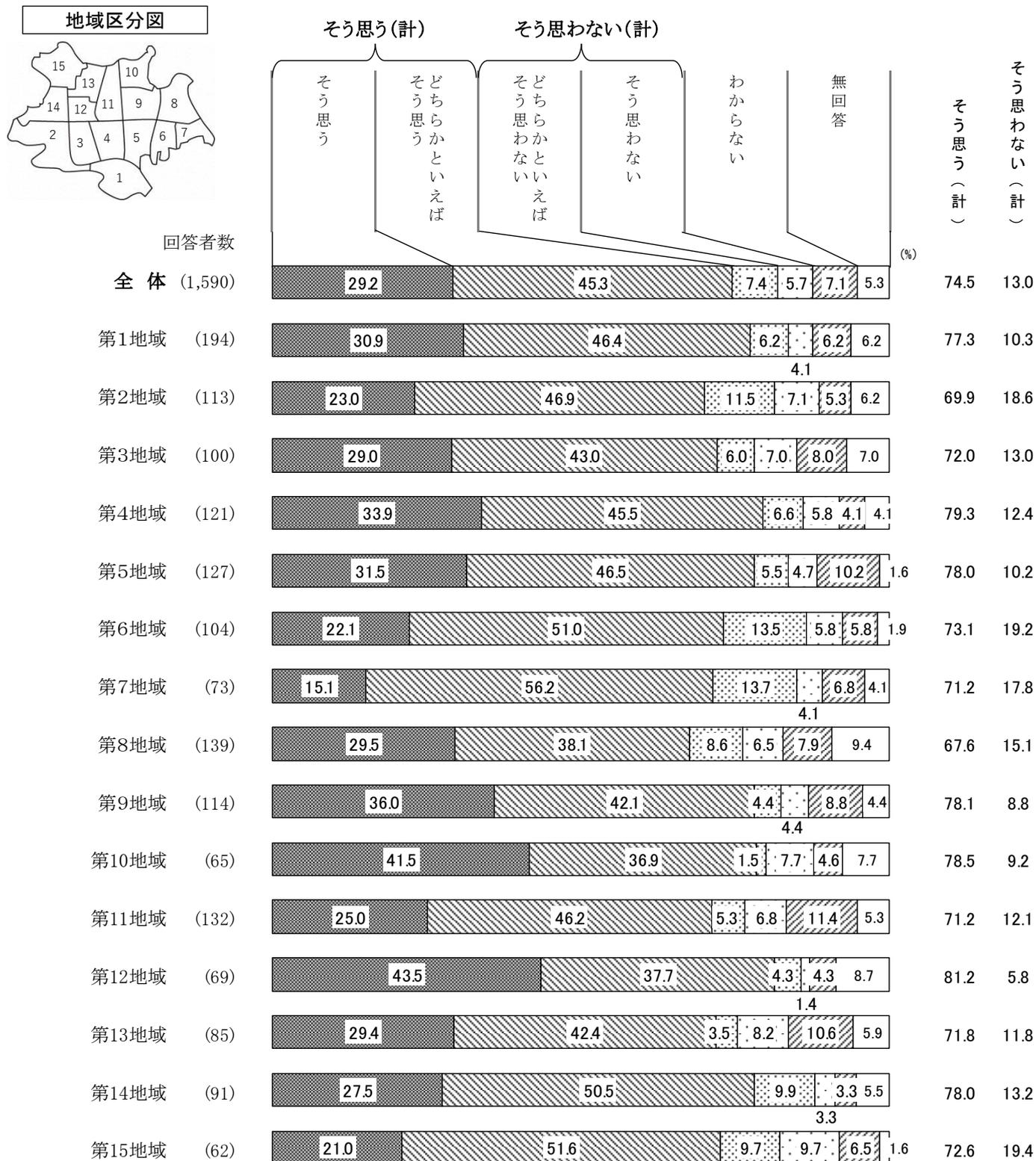
区に対する気持ちについて計5項目に亘って聴いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う】は、〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉が75.3%、〈足立区に愛着をもっている〉が74.5%で、この2項目が7割台半ばで並んで高く、〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉が52.8%、〈足立区に誇りをもっている〉が52.6%、〈足立区を人に勧めたい〉が51.8%で、この3項目も5割強で並んで続く結果となっている。

平成21年から測定している3項目の【そう思う】の結果を経年でみると、〈足立区に愛着をもっている〉は前回とほぼ同率で、ここ5年間ほどは各年7割台半ばで横ばい状態にあるが、〈足立区に誇りをもっている〉と〈足立区を人に勧めたい〉の2項目は、ともに前回より3ポイント前後増加して5割を超えており、〈足立区を人に勧めたい〉が5割を超えたのは平成21年以降初めてのこととなる。

第3章 調査結果の分析〈区の取り組み〉

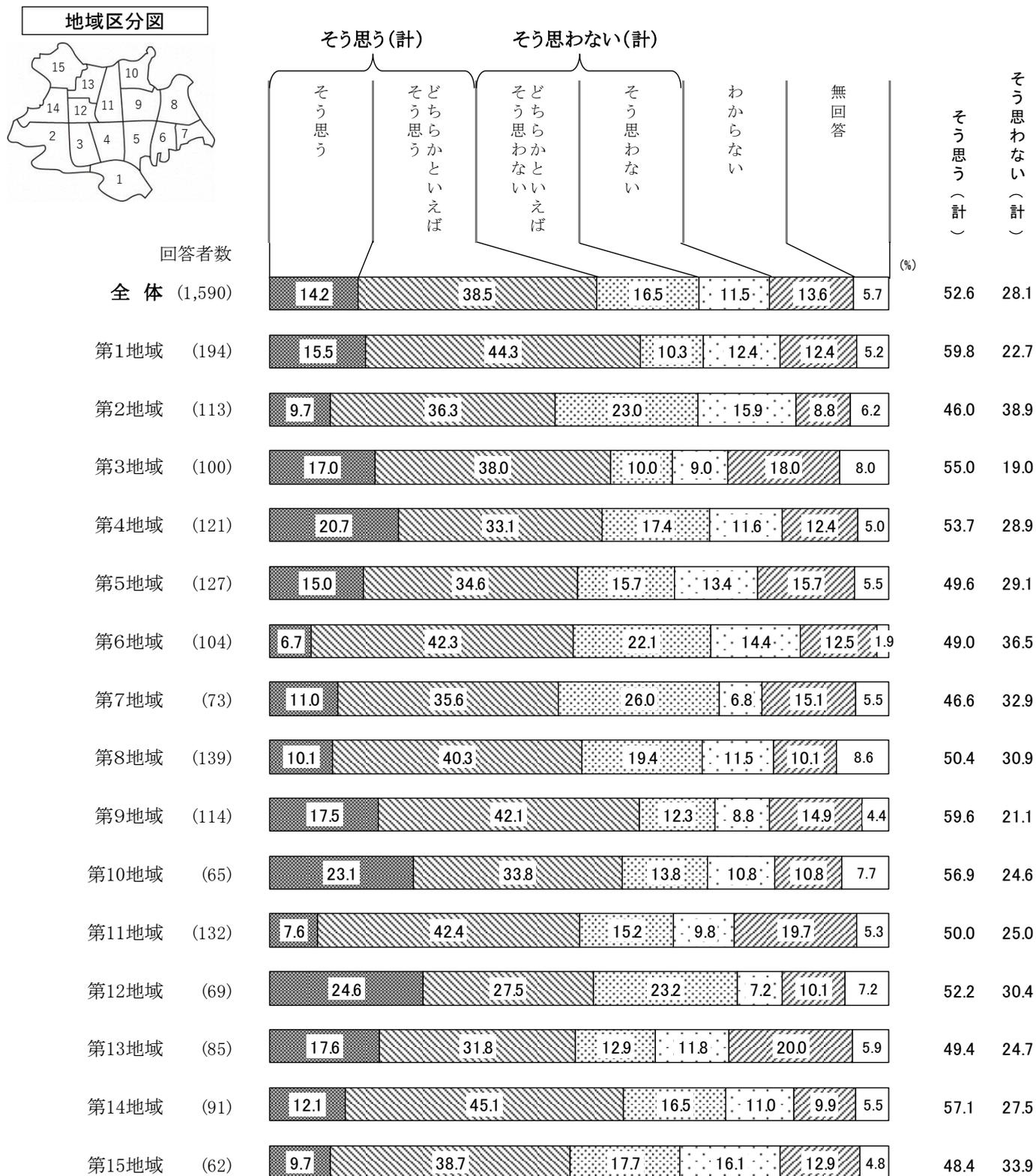
地域別でみると、〈足立区に愛着をもっている〉では、【**そう思う**】は第12地域で8割を超えて最も高く、以下、第4地域、第5地域、第9地域、第10地域、第14地域などがそれぞれ8割弱とやや高くなっている

図11-3-2-① 地域別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている



地域別でみると、〈足立区に誇りをもっている〉では、【そう思う】が第1地域、第9地域、第10地域、第14地域でそれぞれ6割弱で、他の地域より高くなっている。

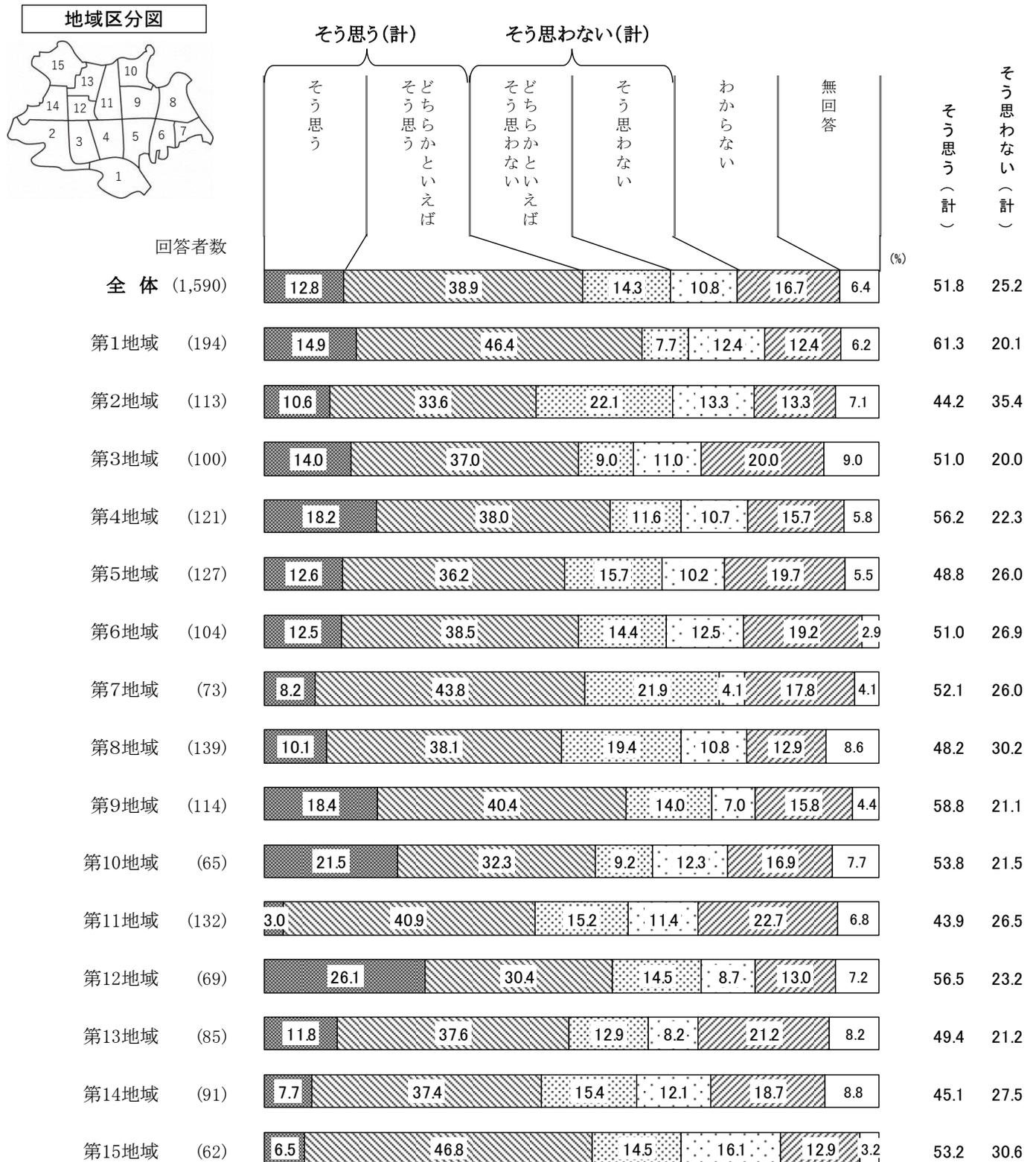
図11-3-2-② 地域別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている



第3章 調査結果の分析〈区の取り組み〉

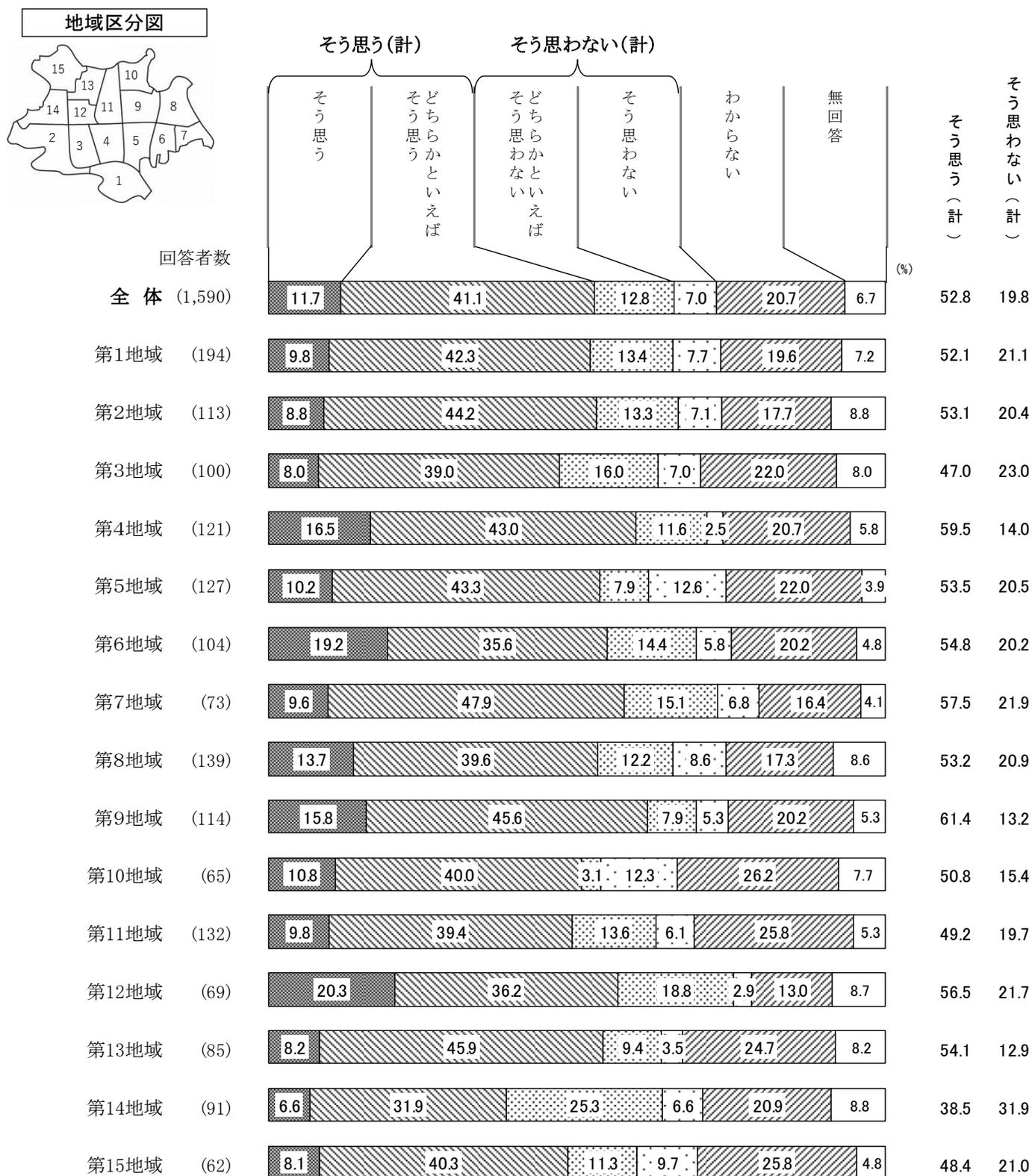
地域別でみると、〈足立区を人に勧めたい〉では、【そう思う】が第1地域で6割を超えて最も高く、第9地域が6割弱で続き、他の地域より高くなっている。

図11-3-2-③ 地域別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい



地域別でみると、〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉では、【**そう思う**】が第9地域で6割強と最も高く、第4地域と第7地域が6割弱で続き、他の地域より高くなっている。

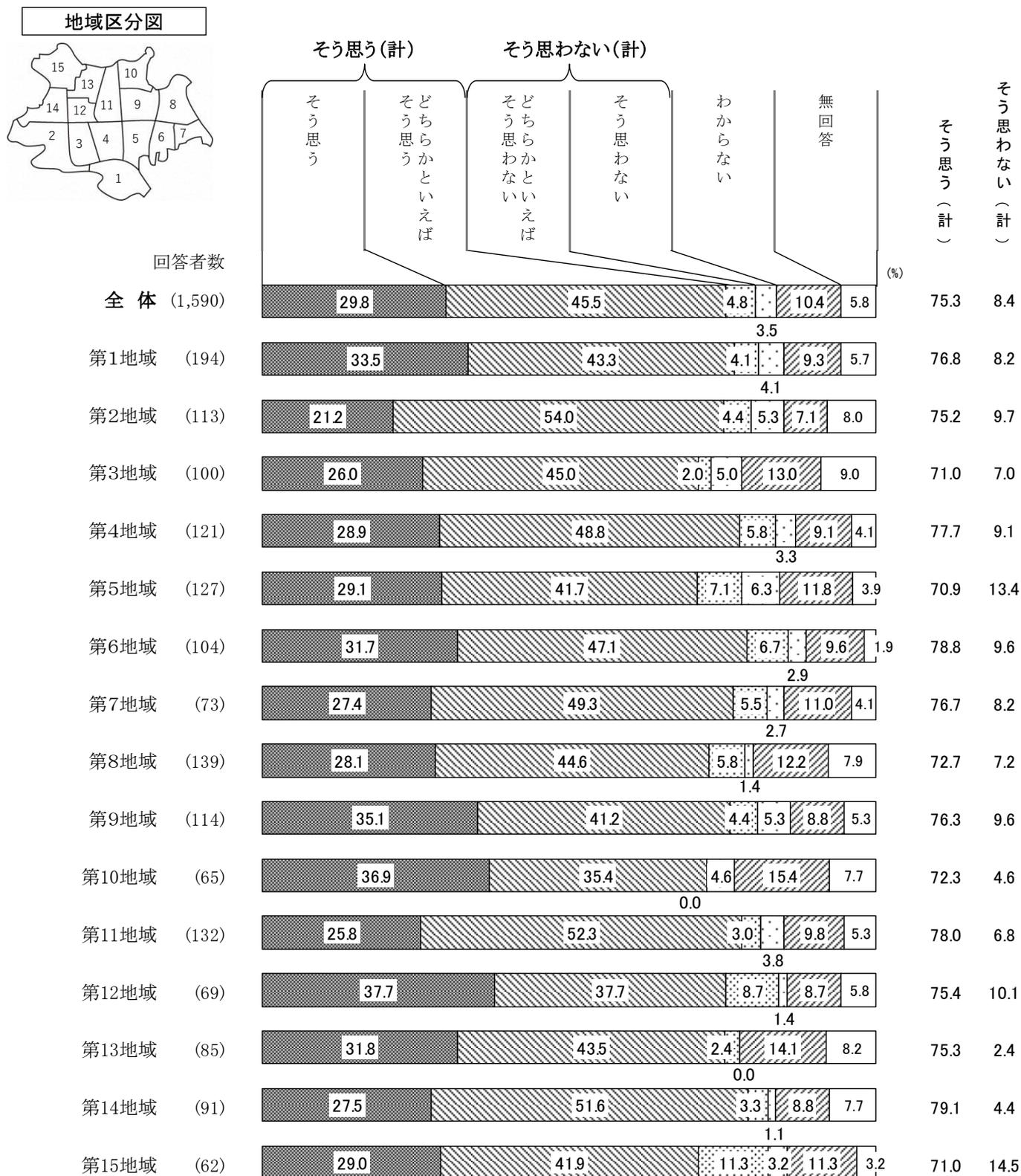
図11-3-2-④ 地域別／区に対する気持ち／足立区を良いまちにするために何かしたい



第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

地域別でみると、〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉では、【そう思う】が第4地域、第6地域、第11地域、第14地域などでともに8割弱と、その他の地域に比べてやや高くなっている。

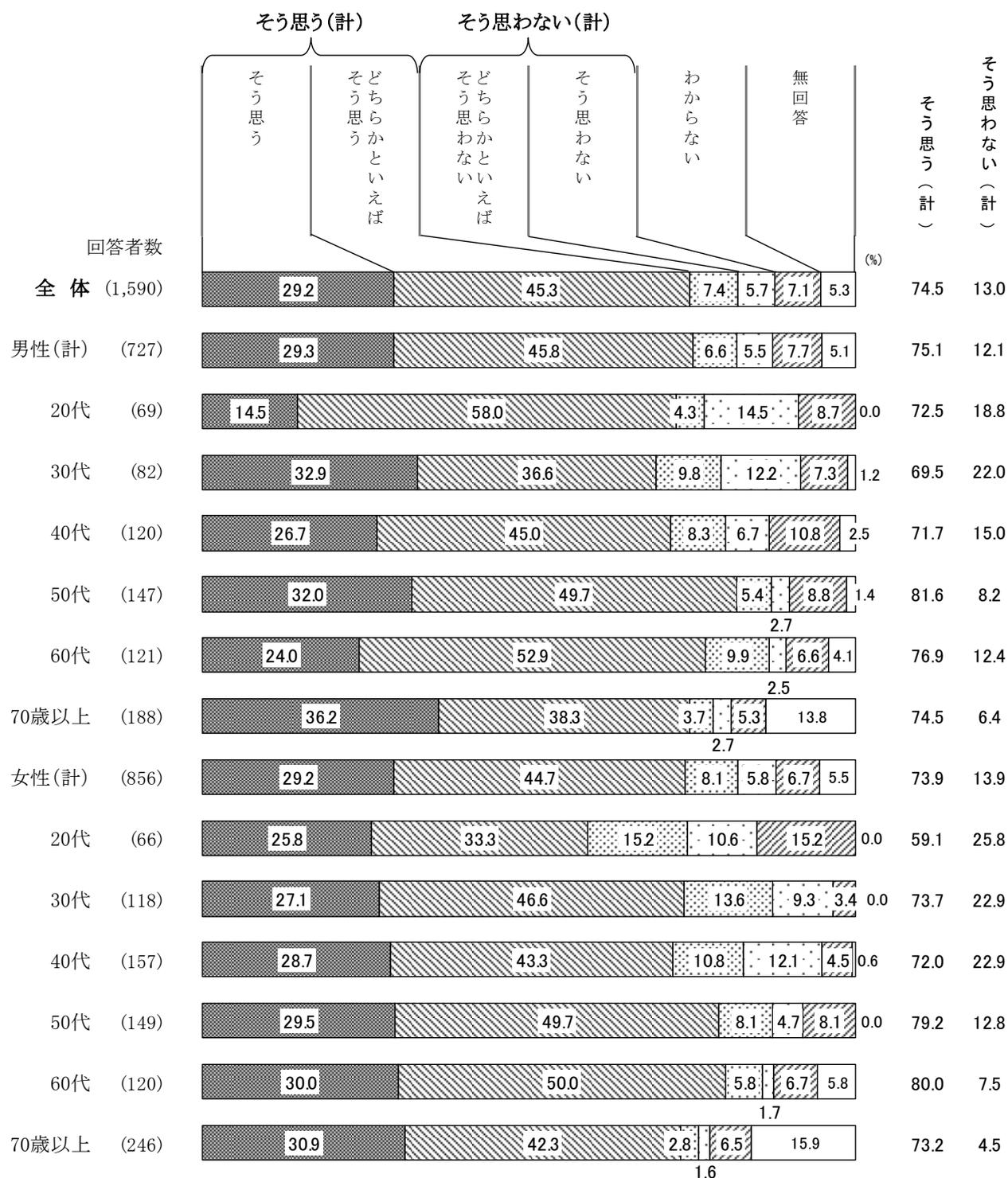
図11-3-2-⑤ 地域別／区に対する気持ち
／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する



〈足立区に愛着をもっている〉について性別で見ると、【そう思う】は男性75.1%、女性73.9%となっている。

性・年代別で見ると、【そう思う】は、男性では50代で、女性では50代と60代で、それぞれ8割前後と同性の他の年代に比べてやや高くなっている。

図11-3-3-① 性別、性・年代別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている

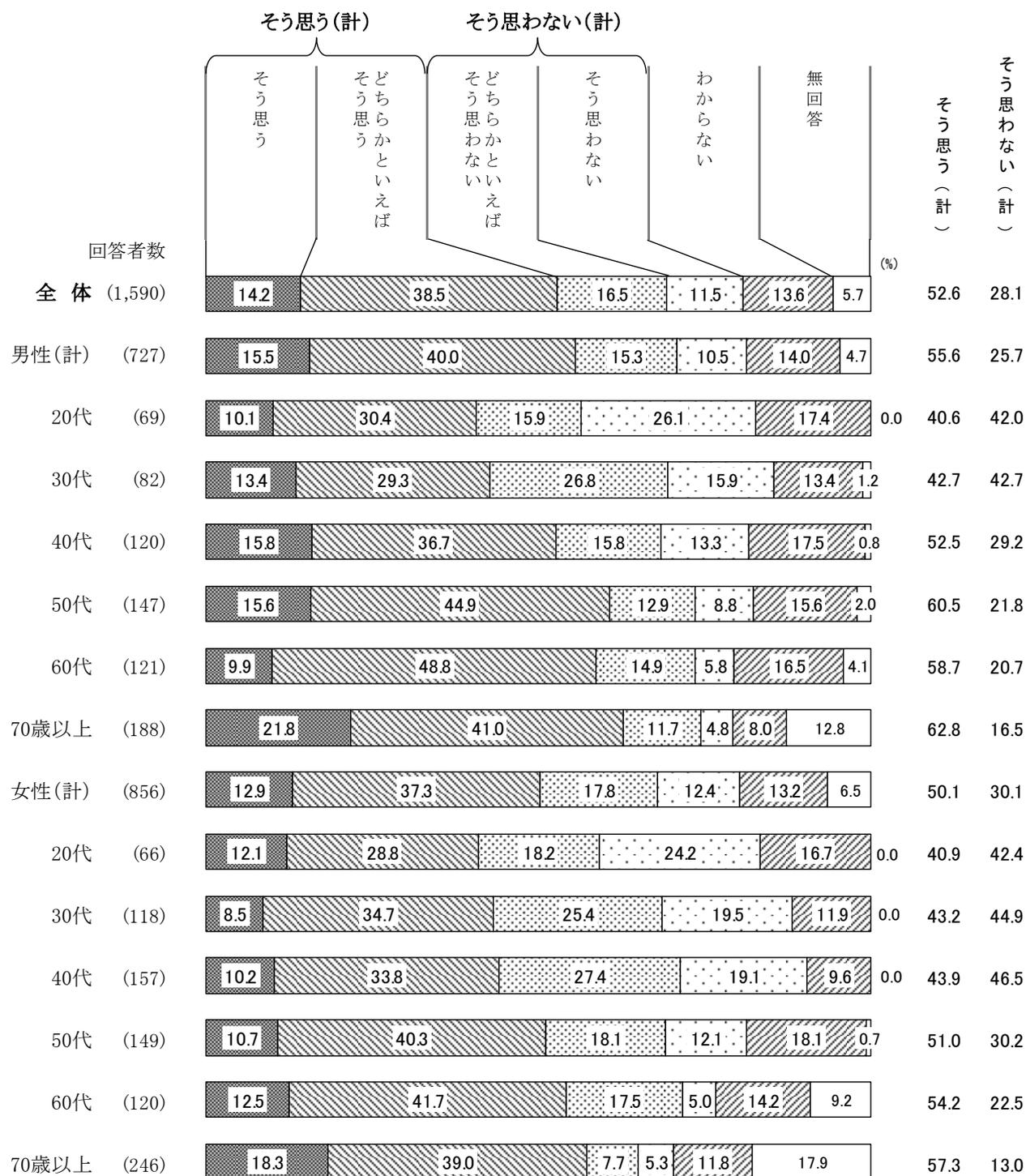


第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

〈足立区に誇りをもっている〉について性別で見ると、【そう思う】は男性55.6%、女性50.1%となっており、男性の方がやや高い。

性・年代別で見ると、【そう思う】は、男性では50代以上の3年代層で、女性では70歳以上で、それぞれ6割前後と高くなっている。

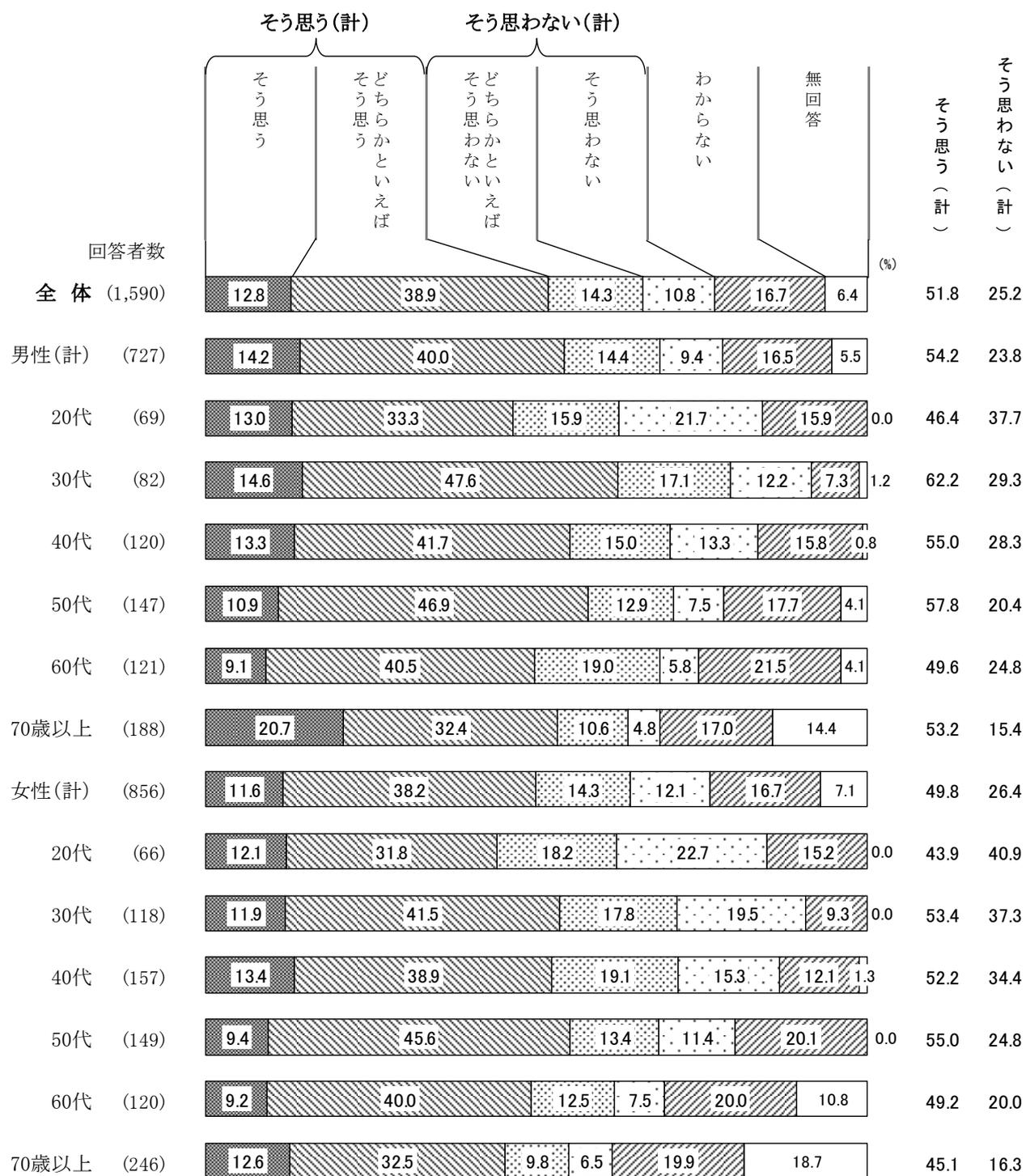
図11-3-3-② 性別、性・年代別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている



〈足立区を人に勧めたい〉について性別でみると、【そう思う】は男性54.2%、女性49.8%で、男性の方がやや高くなっている。

性・年代別でみると、【そう思う】は、男性では30代で6割強と高く、50代も6割弱でやや高い。女性では50代で5割台半ばとやや高くなっている。

図11-3-3-③ 性別、性・年代別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい

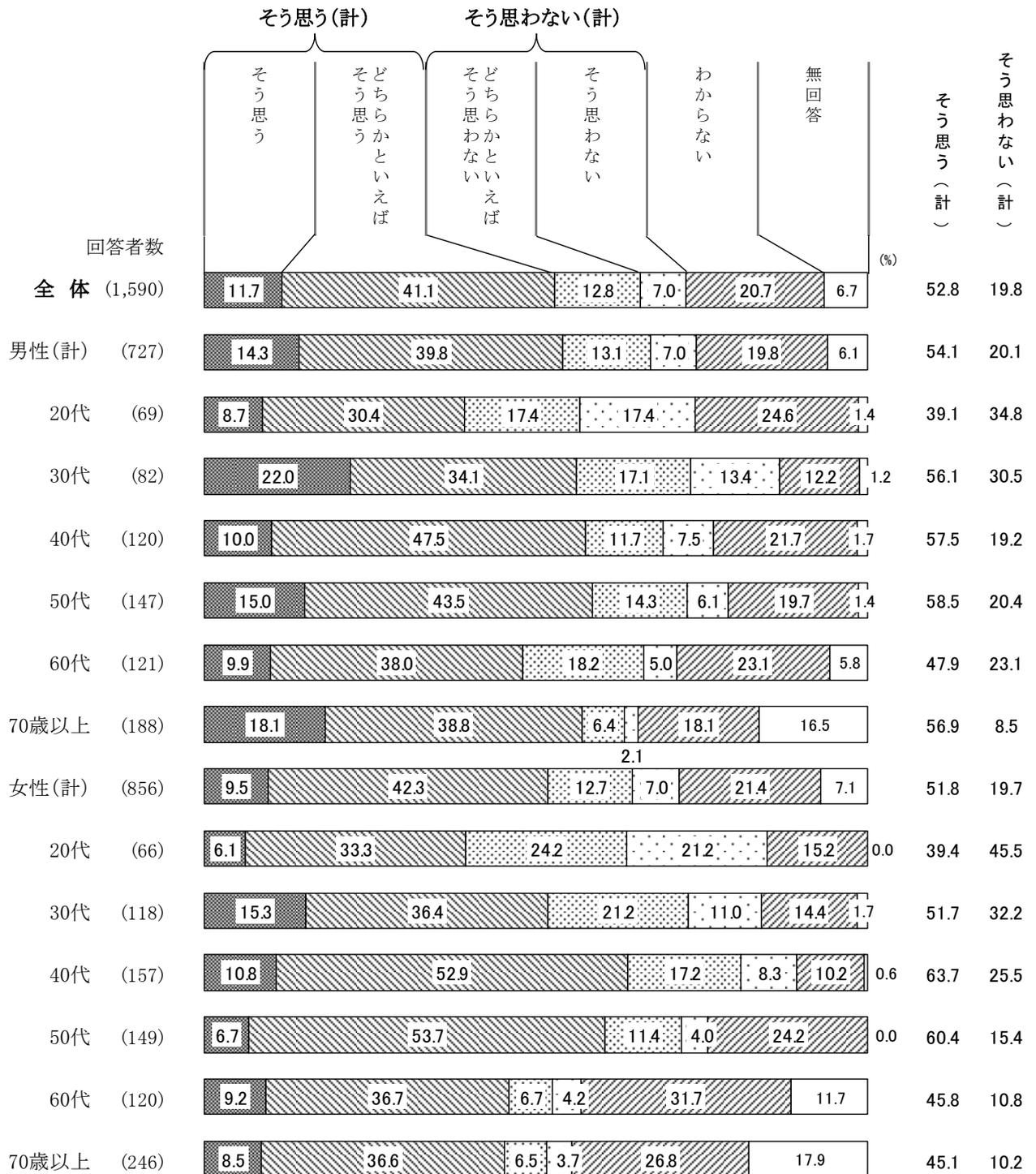


第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉について性別で見ると、【そう思う】は男性54.1%、女性51.8%となっている。

性・年代別で見ると、【そう思う】は、男性では40代と50代でそれぞれ6割弱とやや高く、女性では40代が6割台半ばで最も高く、50代も6割を超えて高くなっている。

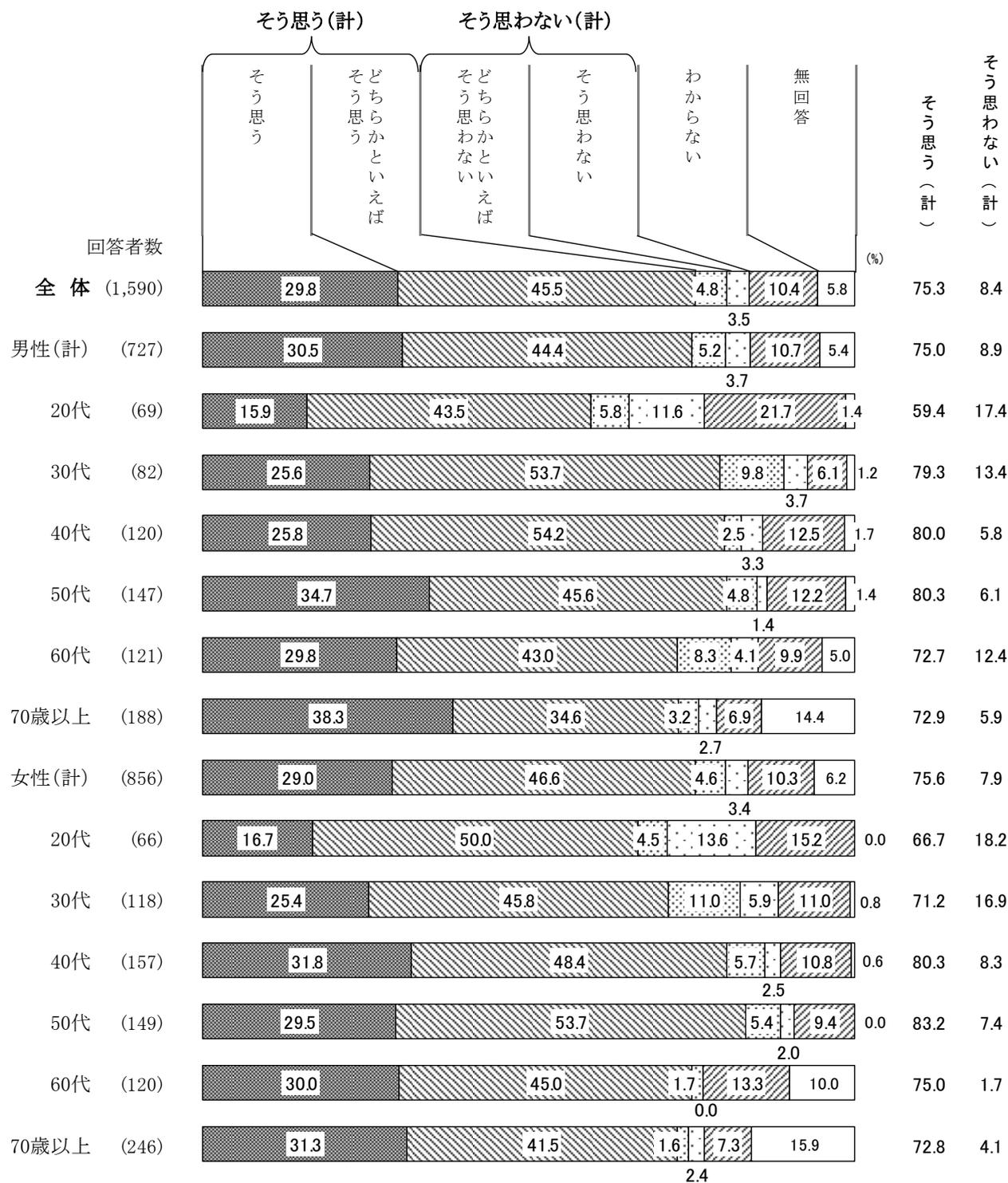
図11-3-3-④ 性別、性・年代別／区に対する気持ち
／足立区を良いまちにするために何かしたい



〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉について性別でみると、【**そう思う**】は男性75.0%、女性75.6%となっている。

性・年代別でみると、【**そう思う**】は、男性では30代から50代の3年代層でそれぞれ8割前後とやや高く、女性では50代で8割強と最も高く、40代でも8割台とやや高くなっている。

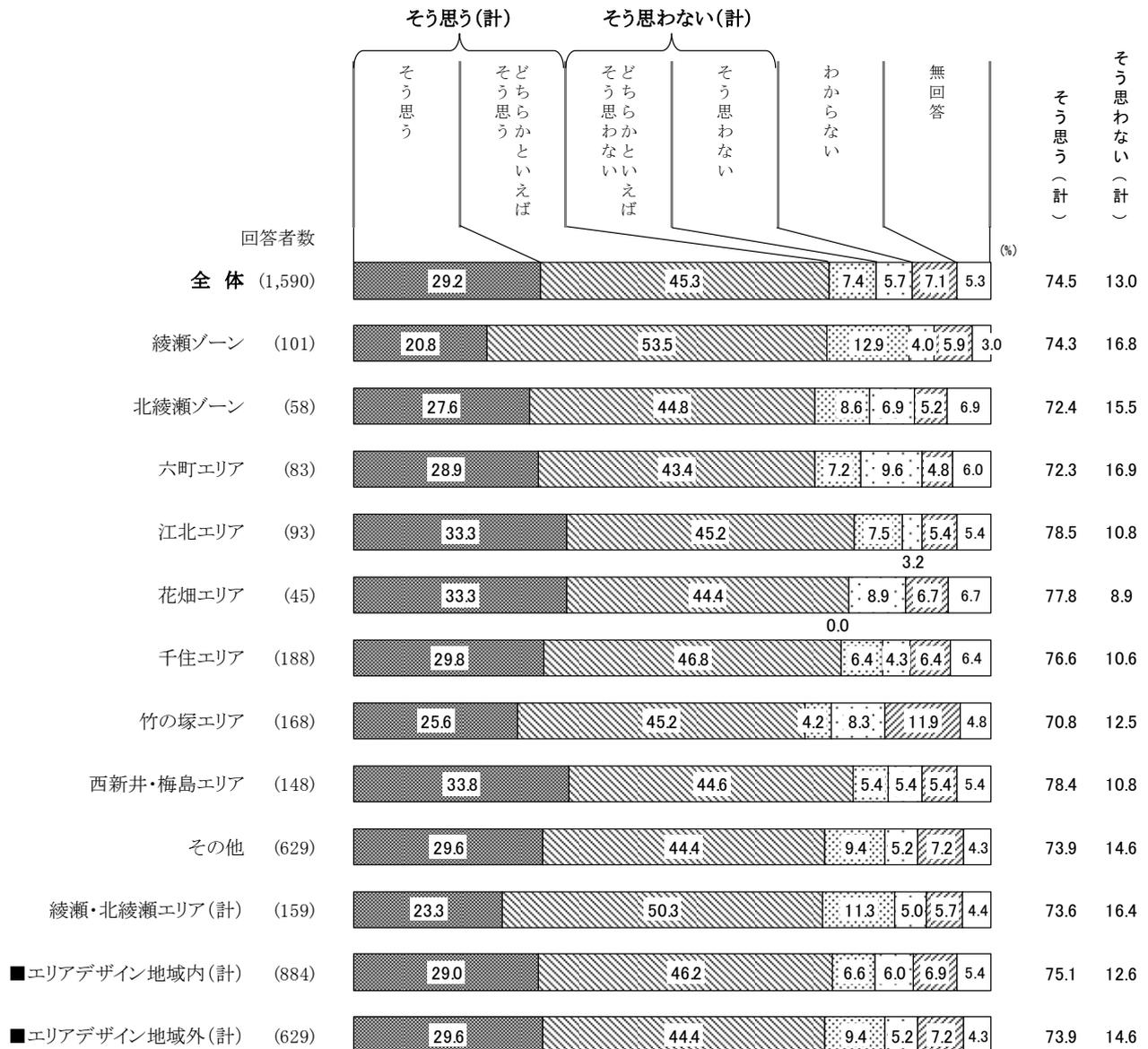
図11-3-3-⑤ 性別、性・年代別／区に対する気持ち
／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する



第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

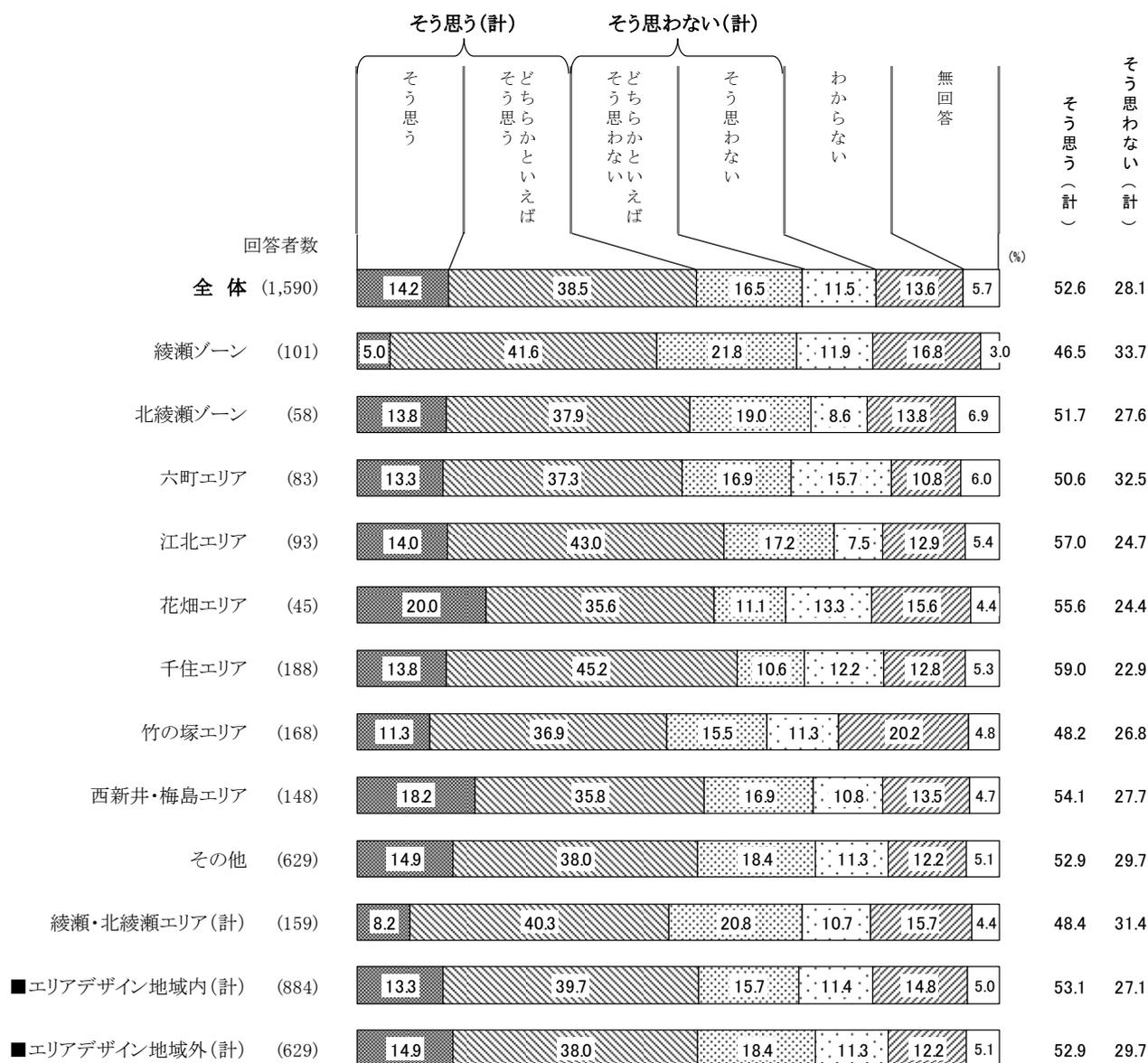
〈足立区に愛着をもっている〉をエリアデザイン別で見ると、【そう思う】は、江北エリア、花畑エリア、西新井・梅島エリアがそれぞれ8割弱とやや高くなっている。また、エリアデザインの地域内（75.1%）と地域外（73.9%）にほとんど違いはみられない。

図11-3-4-① エリアデザイン別／区に対する気持ち
／足立区に愛着をもっている



〈足立区に誇りをもっている〉をエリアデザイン別で見ると、【そう思う】は、江北エリアと千住エリアがそれぞれ6割弱とやや高くなっている。また、エリアデザインの地域内（53.1%）と地域外（52.9%）にほとんど違いはみられない。一方、【そう思わない】は、綾瀬ゾーンが3割台半ばで最も高い。

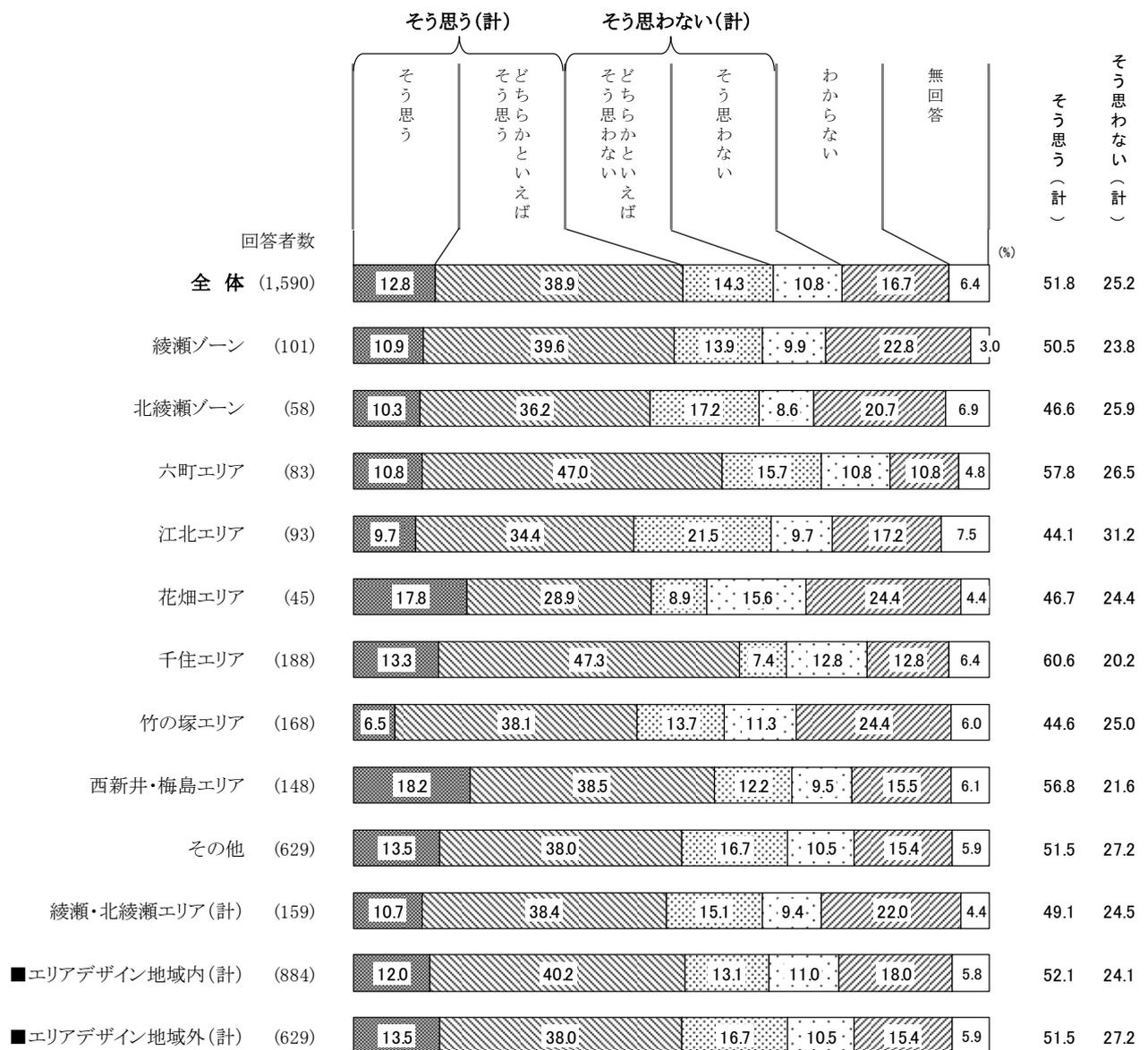
図11-3-4-② エリアデザイン別／区に対する気持ち
／足立区に誇りをもっている



第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

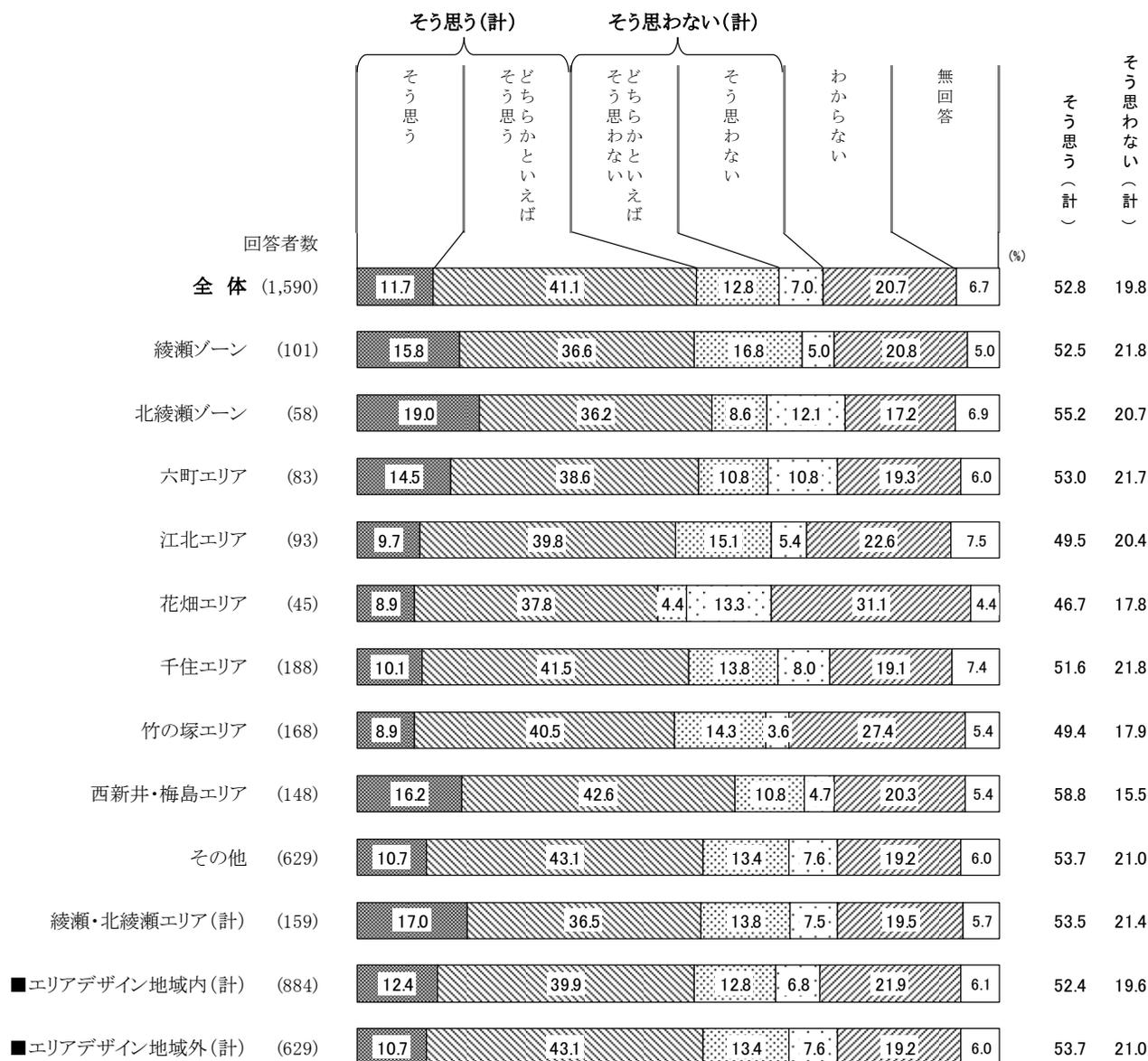
〈足立区を人に勧めたい〉をエリアデザイン別で見ると、【そう思う】は、六町エリア、千住エリア、西新井・梅島エリアがそれぞれ6割前後と高くなっている。また、エリアデザインの地域内（52.1%）と地域外（51.5%）にほとんど違いはみられない。一方、【そう思わない】は、江北エリアが3割強で高くなっている。

図11-3-4-③ エリアデザイン別／区に対する気持ち
／足立区を人に勧めたい



〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉をエリアデザイン別で見ると、【そう思う】は、西新井・梅島エリアが6割弱と高くなっている。また、エリアデザインの地域内（52.4%）と地域外（53.7%）にほとんど違いはみられない。

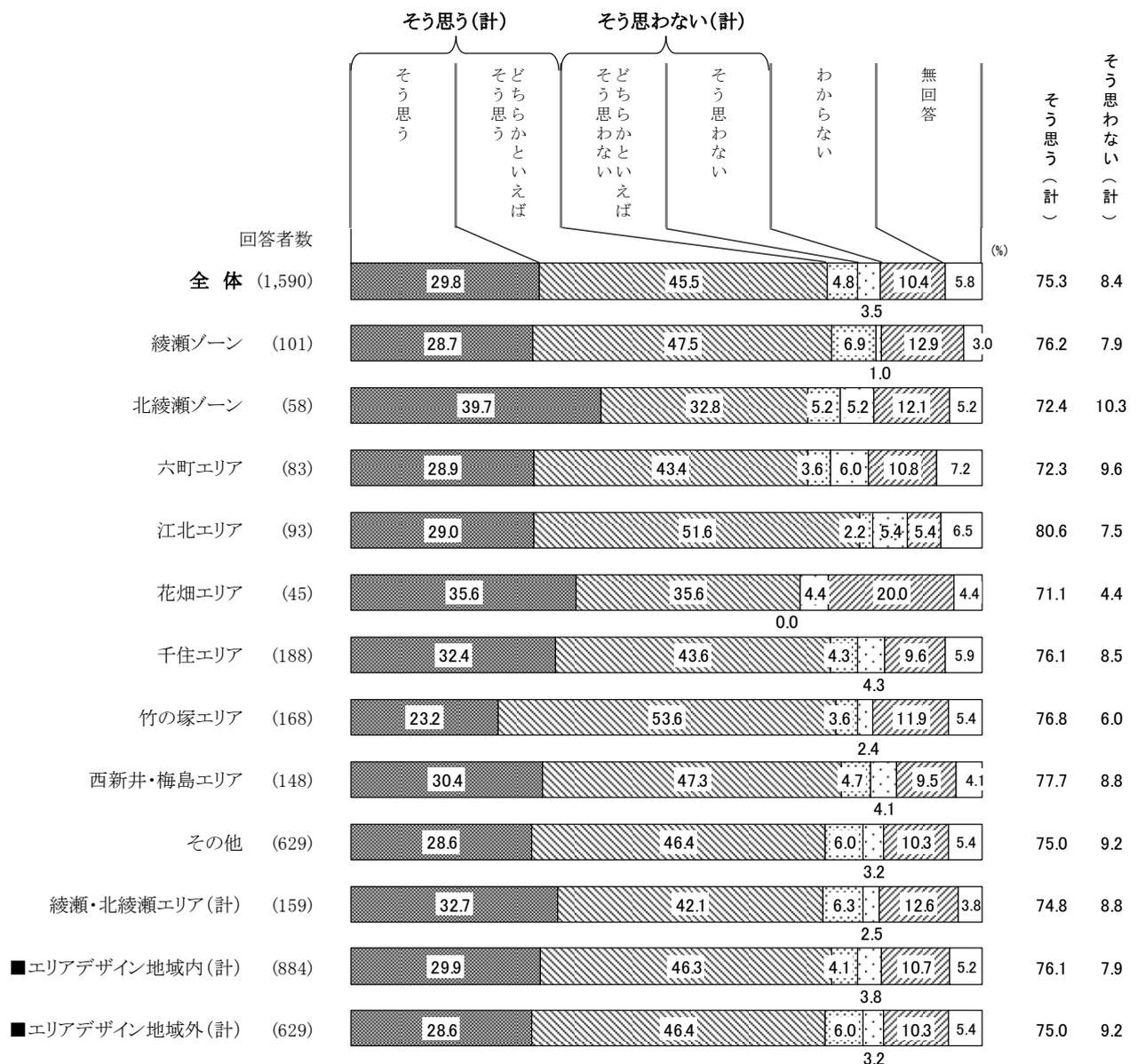
図11-3-4-④ エリアデザイン別／区に対する気持ち
／足立区を良いまちにするために何かしたい



第3章 調査結果の分析 〈 区の取り組み 〉

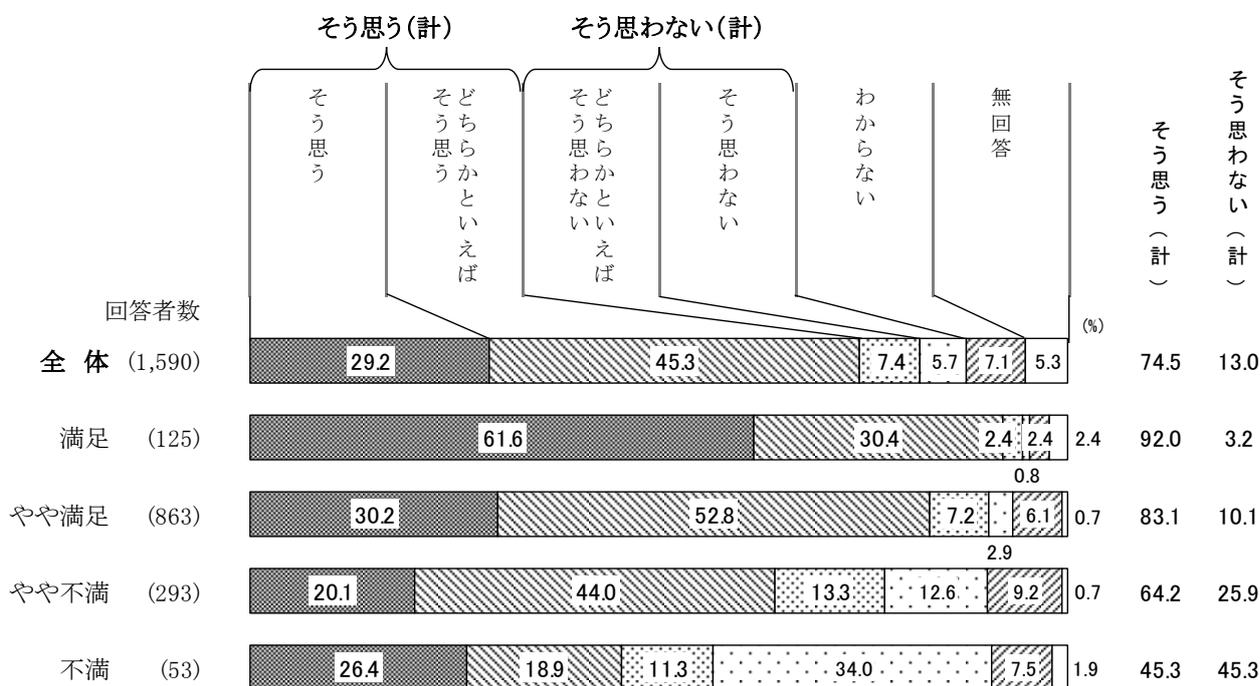
〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉をエリアデザイン別でみると、【そう思う】は、江北エリアが8割を超えて最も高く、西新井・梅島エリアが8割弱で続いて、やや高くなっている。また、エリアデザインの地域内(76.1%)と地域外(75.0%)にほとんど違いはみられない。

図11-3-4-⑤ エリアデザイン別／区に対する気持ち
／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する



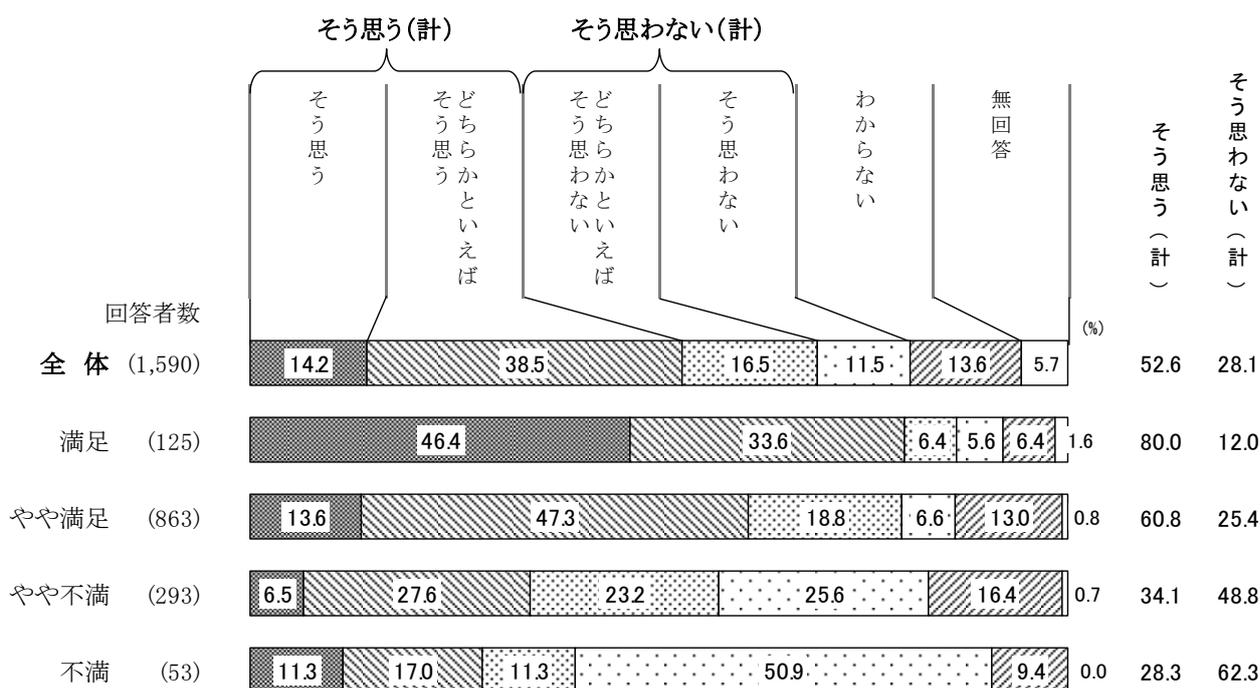
〈足立区に愛着をもっている〉について区政満足度別でみると、満足している層では【そう思う】が92.0%と9割を超えている。

図11-3-5-① 区政満足度別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている



〈足立区に誇りをもっている〉について区政満足度別でみると、満足している層では【そう思う】が80.0%と8割に達している。

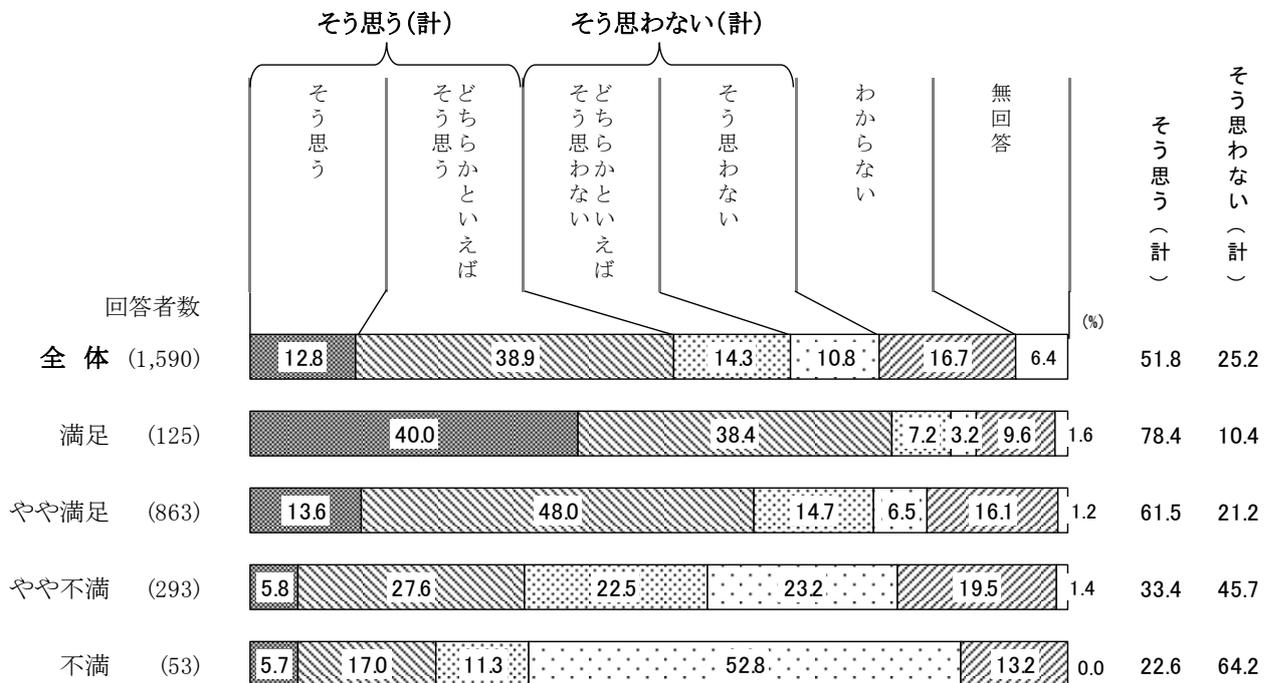
図11-3-5-② 区政満足度別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている



第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

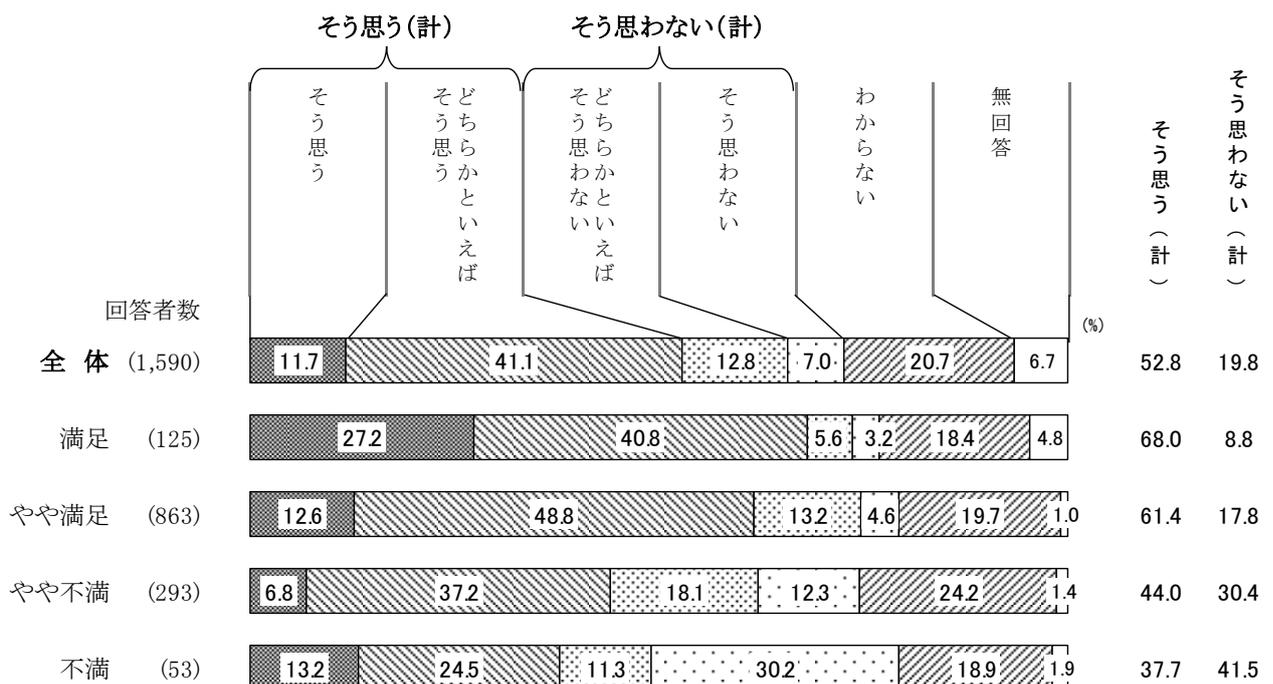
〈足立区を人に勧めたい〉について区政満足度別でみると、満足している層では【そう思う】が78.4%で8割弱と高くなっている。

図11-3-5-③ 区政満足度別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい



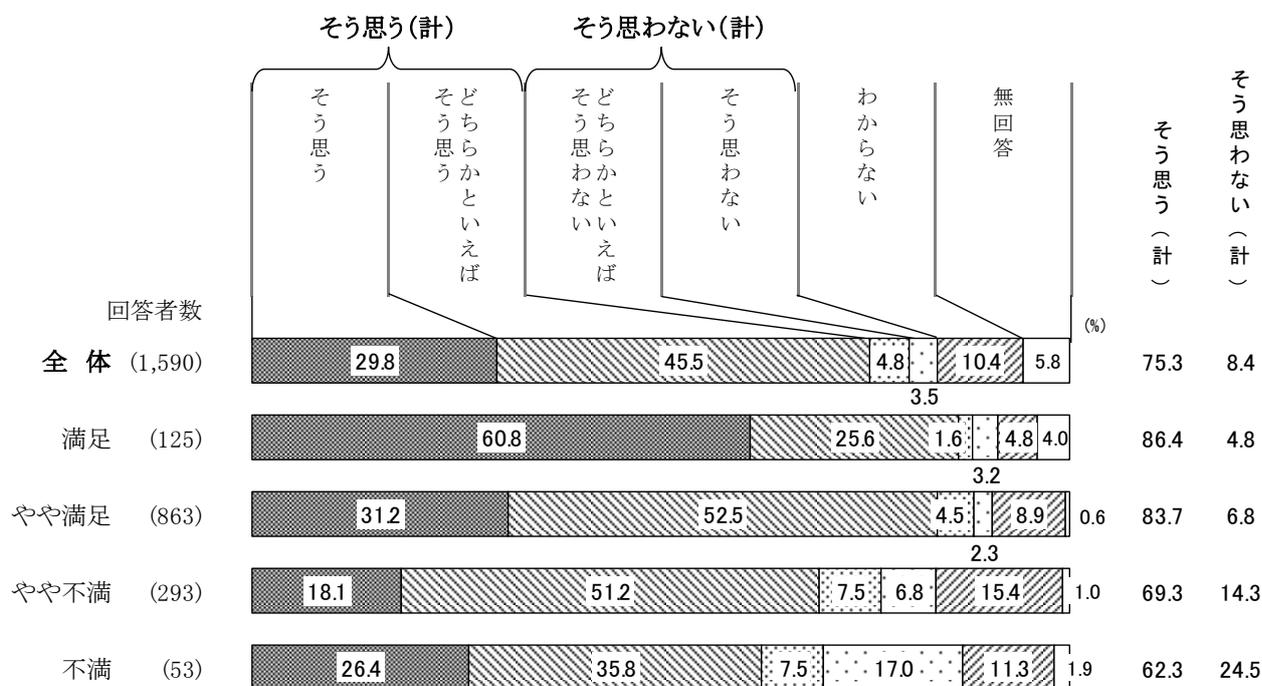
〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉について区政満足度別でみると、【そう思う】は、満足している層で68.0%、やや満足している層で61.4%と、ともに6割台と高くなっている。

図11-3-5-④ 区政満足度別／区に対する気持ち／足立区を良いまちにするために何かしたい



〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉について区政満足度別でみると、【**そう思う**】は、満足している層で86.4%、やや満足している層で83.7%と、ともに8割台半ばと高くなっている。

図11-3-5-⑤ 区政満足度別／区に対する気持ち
／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する

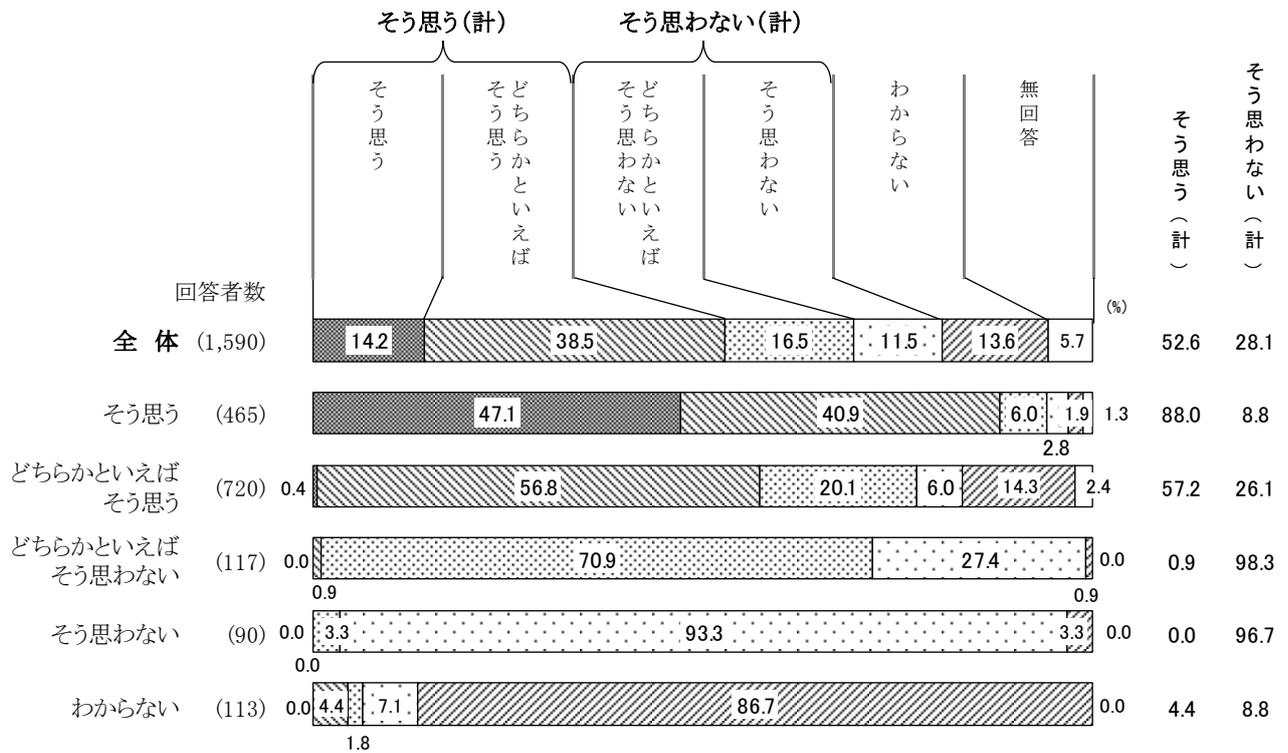


区に対する気持ちの全5項目をそれぞれ区政満足度別にみた結果、全5項目ともに“区政への満足度が高い層ほど、足立区に対する前向きな意識が高まる”という『正の相関関係』があることが窺えたが、満足層と不満層で【**そう思う**】の比率に格差が大きいのは、ともに50ポイント以上の格差がみられる〈足立区を人に勧めたい〉(両層の格差：55.8P)と〈足立区に誇りをもっている〉(両層の格差：51.7P)の2項目となっている。

第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

次に、区への愛着度別に区への誇りをみると、愛着が強まるにつれて【**そう思う**】割合は増加し、『区に愛着をもっている』に〈**そう思う**〉と回答した層では88.0%と9割弱に達している。

図11-3-6 区への愛着度別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている



(4) 区に愛着や誇りをもてない、区を人に勧めたくないと思う理由（自由回答）

問50の項目のア．イ．ウ．のいずれかで、「3. どちらかといえばそう思わない」、または「4. そう思わない」に○のついた方に

問50-1 足立区に愛着をもてない、誇りをもてない、足立区を人に勧めたくないと思うのは、どうしてですか。理由をお書きください。

足立区に愛着をもてない、誇りをもてない、足立区を人に勧めたくないと思う回答した人に、そう思う理由を記述していただいたところ、427名から延べ582件の回答を得られましたので、一部抜粋してご意見を掲載いたします。

■ 足立区のイメージ（103件）

- ・ 足立区は治安が良くないイメージがあり、事件などのニュースがあるたびにそれを実感するので、誇りを持つとか、他の人に積極的に勧めるには抵抗がある。
- ・ いまだに足立区のイメージが悪く、足立区出身と分かったとたん、バカにされたりする。
- ・ 住んでみると良いと感じるが、人に勧める時に足立区の自慢できる所、良さが分からない。治安が悪いというイメージが定着している為、人に勧めるのは考えてしまう。
- ・ 千住の住みたい町ランキングのランクインなどで、少しはイメージが良くなってきてはいると思うが、まだ負のイメージが強すぎる。
- ・ 区外の人からは、やはり「犯罪の多い街」のようなイメージがある。
- ・ とても良い区だと思いますが、他の区からのイメージが悪すぎる。
- ・ 23区の中でも、治安が悪い、低所得者が多いというイメージが根強くある。
- ・ 住んでみると住み心地も良く満足しているが、やはりイメージは悪い。
- ・ まだまだ足立区は治安が悪いというイメージが強く、他地区に住んでいる人に言われる事も多く、自信をもって勧める事はできない。

■ 治安・防犯（95件）

- ・ 住んでいる町がうす暗い。へんな人がうろついている。
- ・ 犯罪が多く、全国的に知られている。Aメールでは子どもに対する不審者情報が多い。
- ・ 治安が悪く、昼の公園でも、お酒に酔って子どもに話しかけることなどがあり、マナーも悪い。
- ・ 区外の方に足立区だと話しをすると、治安の悪さを言われる。
- ・ 治安も前よりは良くなってきたが、自転車盗難や万引きなども他の区に比べまだ多い。
- ・ 自転車、バイク、車のいたずらや盗難が非常に多い。
- ・ 軽犯罪が多く、治安の面で誇りに思えない。
- ・ 昔から変質者が多く、小中学生の被害が目にする。
- ・ 治安が悪く、防犯対策ができていない。

第3章 調査結果の分析〈区の取り組み〉

■ 道路・交通（53件）

- ・ 舍人ライナーの朝の混雑、交通が不便、またライナーの運賃が高い。
- ・ 足立区は交通機関に問題があります。駅から遠い所が多く、外出はバス利用が必要なので、出勤者や通学者にはお勧めできません。バスの増便を都バスなどで検討して頂けたらと願っています。
- ・ 混みいった町並み、せまい道が多い、車がないと不便。
- ・ 道が狭く信号待ちの危険地帯がある。
- ・ 区民の足となる交通網の整備が遅れている。
- ・ バスに乗らないと、電車に乗れない。バスの時間は朝（始発）が遅く、夜は終バスが早く終わる。

■ マナー（52件）

- ・ 歩行者、自転車利用者のマナーが悪い。たばこのポイ捨てが減らない。
- ・ 自転車で左側を走らない人やごみ捨てのルールを守れていない人が多い。歩きタバコ、ポイ捨て、公園内での喫煙。タバコのマナーができていない。いずれも高齢者が多い。
- ・ 犬のフンの後始末、タバコのポイ捨て、自転車のルールを守らない。高齢者が横断歩道を使わず道路を横切る。スマートフォンを見ながら歩く。
- ・ 自転車用の青い道路が出来ても駐車していて通れない。マナーを守らない人が多い。
- ・ マナーの悪い人が多い（若い方だけでなく高齢の方も）、歩きタバコ、ポイ捨て、交通マナー、子どもや女性に対する威圧的な対応など。
- ・ 公園での喫煙者が全く減らない。タバコのポイ捨てが多すぎる。
- ・ 外国の人が増えたこともあり、不法投棄やゴミ捨てのルール違反が目立つ。

■ 住民の質や意識面（44件）

- ・ 人柄や言葉使いが悪い方や常識が無い方が多い。
- ・ 区民の中の意識（道徳観、公共性、社会性等）レベルが低い。
- ・ 他の地域から来た人との壁がありすぎる。自己中心的な考え方の地域の人が多い。
- ・ 下町風情があるわけでもなし、住んでいる人達の品がない。

■ 環境・衛生・公園（25件）

- ・ 公園が良く整備されていない。排ガスで空気が悪い。
- ・ 緑が少ない。
- ・ 子育てをする世帯にとっては公園があまり内容が良くないのでおすすめにくい。
- ・ 駅前の外観をどうにかして欲しい。団地が汚らしくてみすぼらしい。
- ・ 公園などを作っても歩道などが破損してもそのまま、歩いていて危なく、転ぶ。作りました後は管理なしの状態の公園が多い。
- ・ 都市開発や住環境の整備が、他の区より遅れていると感じる。

■ 学校・教育（24件）

- ・ 大学進学率が低いなど依然として負の要素が多い。
- ・ 23区の中では低所得、低学力の統計がでている。
- ・ 教育水準が低い。良い中学、高校が区内にない。
- ・ 小学校の学習のすすめ方も最低レベルのことしか授業で習わず、宿題も少なく、授業態度も悪い。学校も教材にお金をかけていない。

■ 所得や収入の低さ（21件）

- ・ 区民平均所得が23区最下位。
- ・ 生活保護の受給率が高い。
- ・ 低所得者、生活保護が多い。

■ 飲食店やお店が少ない（14件）

- ・ スーパーマーケットが少なく、カフェも少ない。
- ・ お酒を飲むお店ばかり増えてお昼に楽しめる場所がない。昔ながらのお店がどんどん減っていく。
- ・ 早く閉店してしまうお店が多く、不便。
- ・ 食品以外は地域外、だいたい区外へ行かなくてはならない。
- ・ 商店街などがなく、スーパー1つだけで買い物がしづらい。近くに飲食店もない。

■ 足立区以外に良い区がある（12件）

- ・ もともと東京都内でも神奈川寄りに住んでいたこともあり、都内なら西側のほうが住みやすく、治安なども良かったような気がする。
- ・ 行政はよく頑張ってくれているので足立区は悪くはないが、他より優れている“持ち味”みたいなものが無い。
- ・ 交通の便や治安が悪く、子育てするにはもっと良い区がある。

■ 区の見どころ・観光・文化・施設（12件）

- ・ 以前に比べ犯罪率が減少し、街の景観も着実に良くなってきているが、千住地区以外で“足立区に住む、遊びに行く”ことを友人・知人に勧めたいほど、アトラクションとなる所が沢山ない。
- ・ 医療機関が少なすぎる。
- ・ 質の良い病院が少ない。
- ・ 大学もできて良い方向に向ってはいるが、まだ美術館、博物館など文化的なものが少ない。
- ・ 観光施設や商業施設が多いとは思えない。大規模イベントが花火大会しか無い。

第3章 調査結果の分析〈区の取り組み〉

■ その他（127件）

- ・ 肩ひじ張らずに色んな人が安心して住める街だから、「良い意味で誇りを持たない」が良いと思う。
- ・ 年配者には厚遇された町だが、比較的転居が多い若年層には魅力を感じない都市計画だから。
- ・ もうすこし子どもや老人（福祉等）に対して住みやすい区にして欲しい。
- ・ 居住者の事をまず一番に考えた住まいづくり町づくりをしていないと思う。
- ・ 役所の人間は自分の事だけ、もっと働いて欲しい。税金で給料をもらっているのだから。
- ・ 住みやすいし、愛着は持っているが、「誇り」までは持っていない。「誇り」を持てる位、良い街になっていたらいいなと思う。
- ・ 綾瀬駅の雑然としたイメージと活気のなさや、地域の診療所と区内大手病院の連携の悪さも気掛かり。
- ・ 足立区、住みやすいです。外部からのうわさほど、悪くありません。ただ、外へのアピール足らず、もったいないと思います。もっと良いところアピールしていくべきだと思います。
- ・ 地域によって住みやすさに差があるので、自分の住む「町」なら勧めたいが、区全体ではない。
- ・ 北千住以外、努力している場所が見当たらない。五反野はパチンコ店が多すぎる。

(5) 区政についてのご意見、ご要望（自由回答）

問51 区政についてのご意見、ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

区政への意見、要望を自由に記述していただいたところ、488人から延べ653件の回答を得られましたので、一部抜粋してご意見・ご要望を掲載いたします。

■ 区政全般（109件）

- ・ 北千住ばかりを発展させないで他の地区にも力を入れて欲しい。北千住の盛り上がりは荒川に分断されて、隣の小菅地区まで入って来ない。それよりも地理的に足立区の中心地である西新井周辺をもっと発展させ、交通、経済の中心にすべき。
- ・ 現在の区政は、子どもおよび高齢者のバランスが良いと思うので、現在の区政方針を続けて下さい。
- ・ エリアデザイン対象外地区に住んでいるため、税金の使われ方に格差を感じています。解消策を要望致します。
- ・ 足立区には相当の余剰金があると聞いているので、そのお金を生活に困っている人や医療、その他にどんどん使ってもらいたいです。そうしないとやがて区民から不満が出てくると思います。
- ・ 高齢者や住民税非課税世帯ばかり優遇され、ちゃんと働いて納税している現役世代にメリットが少ない。本来は、税金を納めている世帯こそ恩恵を受けるべきではないか。
- ・ 北千住付近に大学を呼び、若い人が増えて活性化したのはすばらしい。
- ・ 大学の誘致、総合病院の誘致は特に評価される。区政に区民の意見（交通網の整備）が反映されていると思う。あと防災対策について市民の関心に温度差があるので、いま一度正確な情報を再発信お願いしたい。
- ・ とにかく「住みたい」と思える人が定着したくなる環境整備に取り組んで欲しいです。
- ・ 外国人が急速に増加しているので、外国人、日本人ともに足立区で快適に仲良く暮らせるような取り組みを希望します。
- ・ 古い体質が悪い意味で残っているので、改革して欲しい。地主、権力者のなあなあで政治をしないで欲しい。

■ 交通機関・道路の整備（59件）

- ・ 高齢者が車を運転しなくてもいいように区バスの本数を増やす、回る地域を増やすなどをしてもらいたい。
- ・ 子どもが多い区だと思うが、道路の整備が不十分で歩道がない所も多く、危険と感じる。是非今以上の安全対策をお願いします。
- ・ 道路（歩道）に樹木を植えるのは良いのですが道幅が狭すぎて雨などの時、傘などさす時、すれちがう時など、全体に道幅が（歩道）狭いのを何とかならないかと以前からずっと思っています。まずは、人が歩く事を考えて欲しい。
- ・ 綾瀬、北綾瀬の駅周辺開発とメトロ8号線誘致の早期実現をよろしくお願いします。
- ・ コミバスについて（はるかぜ）はとても便利になったが、時刻改訂のたび、本数が減って困る。せめて、1時間に2本ぐらいは走らせて欲しい。
- ・ 舎人ライナーの席を見直して欲しい。一部の車両は改善されたがBOXシートや1人がけの席は必要ない。JRの席の様に1列の長い物で良い。ラッシュの時間はあの席構成では乗り切れない。

第3章 調査結果の分析〈区取り組み〉

■ 環境対策・公園（48件）

- ・ 親水公園や舎人公園は緑があって素晴らしいです。人が住む環境として安全でキレイで便利な足立区（舎人）の実現と続行を期待致します。
- ・ 魅力ある公園を整備して欲しい。公園の数は多いが、子どもが遊べる遊具がかなりおそまつな状態で危険です。公園の数を増やすとかではなく中身の充実を願っています。
- ・ ビューティフル・ウィンドウズで街がきれいになっている。
- ・ 青空喫煙所はやめて、囲って機械で処理して下さい。臭気すごいです。区民として恥ずかしい。
- ・ 子どもの遊び場が少なく、可哀想です。これからの足立区を背負って行く子どもたちがのびのび過ごせるよう、今ある資源を活用しながら、環境を整えてもらいたいです。

■ 治安対策（38件）

- ・ 夜暗い場所が多い為、街灯等をふやして夜間でも安心な街にしてもらいたい。
- ・ 悪質な客引きが相変わらず多いので、パトロールを強化して欲しい。
- ・ 防災や犯罪について、これからもより対策をして欲しいです。
- ・ 防犯カメラをもっと増やしていただけたら安心なので、ぜひお願いしたいです。
- ・ もう少し夜が明るい街にして欲しい。“明るい”だけで治安も少し良くなると思います。
- ・ 徹底的に治安対策を強化して欲しい。

■ 広報・情報公開（33件）

- ・ サービス向上の裏には、区職員の皆様のご苦勞があると思います。区民も職員の方も幸せに暮らせるよう、バランスを考えて欲しいと感じます。区長さんからのメールは楽しく読めて、区民の視点での情報をいただけるのが良いです（区長のあだちな毎日）。
- ・ 何を頑張っているのか全然分からない。区民が自発的に見に行かなければ分からないような状態ではなく、嫌でも目に付くような仕掛けを考えて頂きたい。
- ・ 防災放送がハウリングして聞きづらい。
- ・ 区の広報、町内の回覧板、地域イベント等で、足立区政が目指す方向性をもっと周知して欲しい。
- ・ 忙しい人でも普通にしている自然に区の活動などの情報が入ってくるようにして欲しい。自分から調べたり興味を持たないと何をしているかよくわからない。

■ 都市開発（33件）

- ・ 西新井駅ビルを早く改修し、使い易い環境にして欲しい。
- ・ 足立区を中心部ばかりでは無く、県境にも目を向けて活性化して欲しい。
- ・ 綾瀬駅東口前の広大な更地を早く有効活用して欲しいです。以前のような商業施設を望みます。
- ・ 近所にスーパーが無く自転車で片道20分以上かかるので、買い物がとても大変です。スーパーマーケットを増やしてください。

■ マナー（29件）

- ・ いつも気になるのは若者のマナーについてです。自転車の一時停止や歩きスマホ、自転車スマホ、また歩きタバコ等、意識の改革が必要と感じています。
- ・ 海外の人や高齢者が増えている。しかし、どちらも新しい交通ルールやマナーを教える場所がなく、自分流のやり方で生活しているから、人数の少ない働く世代が生活しづらい。ルールやマナーを守る高齢者や外国人の多い地域にして欲しい。
- ・ 歩きタバコをまだよく見かける事が多く、ちょうど子どもの視線なので見ていて不安になる。もう少し取り締まりや分かり易い禁止事項を掲げて欲しい。交通マナーもたまに悪い人がいるので、パトロール等して欲しい。車だけではなく、自転車の方が悪質な運転をしていて危険だと思う。
- ・ 他区と比べても自転車のマナーが悪いと感じる。幼児がいるので気を付けてはいるが、自転車の逆走、スマホ操作、夜間の無灯火をよく見かけるので、ヒヤヒヤすることが多い。

■ この調査について（29件）

- ・ ネットで回答できたらよかったです。ボールペンいれてくれてありがとうございました。
- ・ アンケート問48に「わからない」の項目を増やしていただけるとよいと思います。子育てとか学校教育など受けたことのないサービスの情報はあいまいとなるためです。
- ・ 回答するにあたり区政について考えるいい機会になりました。大好きな足立区がより良い街になることを願っています。
- ・ このアンケートを回答したことによって、初めて足立区として力を入れている活動、今後力を入れたいと考えている事業について理解することができました。このアンケート結果を公表することによって、アンケートを答えていない人でも足立区の状況を把握できると思いました。

■ 医療・福祉（26件）

- ・ 介護保険料、国民健康保険料が高すぎる。
- ・ 弱者の多いところだと思いますので、福祉の充実をさらに進めて頂きたいです。
- ・ 健康診断は他区並みに検診項目をふやし、無料か低額で受けられるようにして欲しい。
- ・ 他の区では東京都の不妊治療助成金以外に区の独自の助成金などの制度があるところが多く、他の区が羨ましいです。足立区でもそのような制度を早急をお願いします。

■ 高齢者支援・介護（24件）

- ・ 独り暮らしの高齢者も多く、区でも孤立させないように対策がとられているが、地域の居場所がより多くあると良い。高齢者自身が担い手になれるよう人材育成、集まれる場所の呼びかけ、情報提供を区が主体で行うと、より活性化すると思う。
- ・ 介護保険が高すぎる。年金生活者は苦しい現実。
- ・ 区営住宅ならびにケアハウスの様な建物を充実させて欲しい。高齢者の運動やリハビリなどの施設が欲しいのと、その為の補助を充実させて欲しい。

第3章 調査結果の分析〈区取り組み〉

■ 職員の対応（23件）

- ・ 区役所に行っても昔と同じで聞いても返事を待たされます。電話をしても時間がかかります。
- ・ 区職員の接客態度を教育してもらいたい。感じのいい方もいるが、電話の対応も不満に思うとよく耳にする（周囲から）。職員やパート等採用時、採用後は考慮して欲しい。特に若い子育てに悩む人や高齢者はどうしていいかわからないから相談するので、対応を親切にお願いしたいと思う。
- ・ 以前の区役所と違い、職員がとても優しく、丁寧に教えて下さるので、行きやすくなりました。
- ・ 区民サービスの住民票発行など、多い時の対応を見直して欲しい。

■ 子育て支援（22件）

- ・ 保育園、幼稚園、学校給食、修学旅行積立金、教材、高校授業料（都立）など、0～18歳まで無料（足立区に住民票のある世帯に限る）。子どもは国の宝です。どんな家庭に生まれても食べること、教育を受けることはとても大事なことです。教育は全ての子どもにとって平等であって欲しい。
- ・ 子育て支援の充実をお願いしたいです。まだ子どもはいませんが、もし足立区が他区に比べて“子育てしやすい区”ならここで子どもを育てたいです。
- ・ 子どもはお金をかけないと遊ぶ所へ行けない。管理された場所で老人達の目を窺いながら遊んでいる。土手などで集まり話をしていても、子どもだけでは注意され追い出される様な所が多過ぎる。
- ・ 一時保育がもっと利用しやすいと良いと思います。やっている保育園が少ない。補助金が欲しい。
- ・ 足立区の教育水準を上げて欲しいです。また、教育機関の充実を含めて、子育てしやすい区として欲しいです。

■ 生活保護・低所得（22件）

- ・ 生活保護の方で裕福な暮らしをされている人がいるようなので、きちんと調べて欲しい。私達足立区民の税金で暮らしているのだから。
- ・ 年金生活をしている人に団地を提供して欲しい。年金所得が低いので家賃が大変です。
- ・ 足立区は生活保護受給者が多いと聞いています。なぜ多いのかをもっと分析し、区民バランスを整えて欲しいです。
- ・ 税金のつかい方。足立区は貧乏区とずっと言われていたが、何と1600億円もためこんだ金があると知り、驚いている。その金を区民の生活につかって欲しい。
- ・ 自営業者でも生活が苦しいことがあるので、個人事業主へ何か生活への支援等があるとありがたい。

■ 学校教育（20件）

- ・ 教育のレベルが低い（芸術・スポーツ含む）。ここをもっと引き上げていかないと、若い世代の流入は伸びないと思う。
- ・ 教育レベルをあげ、教師の質を見極めることをして欲しい。親への教育への関心を深めることを取り組んで欲しい。子どもは社会の宝、健常児、障がい児ともに教育の場の充実を掘り下げて現状を見て、改善に努めて欲しい。
- ・ 中、小学校の教員に対する物理的、心理的支援を、足立区が先頭に立って行って欲しい。
- ・ 物価や家賃の安さから多くの子育て世帯が入ってきていると思うので、もっと「子育て・教育」に力を入れたら、足立の魅力が高まると思います。
- ・ 大学等の誘致は良いのですが、小、中学校の能力が低すぎる様なので、高校入試等の偏差値を上げる努力が必要。
- ・ アンケートF9のその他のゾーン・エリアに対して、他のエリアよりも学校や公共施設に目をむけてくれないように思う。

■ 議員・職員（19件）

- ・ 区民の意見や思いは人を通じ（議員さん等）ないと動かない。もっと簡単に動いて欲しい。
- ・ 役所や区長さん、議員さん、足立区の役人さんは本当に足立区のことをよくしたいとがんばっていると思えます。
- ・ 区政に携わるすべての職員に、もっと親身に仕事をして欲しい。与えられた職責を気持ちを入れて遂行して欲しいと思っている。
- ・ 区政について区議会報告などを見る限り、まさにルーティンワークそのもので、議会の中身に知恵も工夫も意欲も感じられないという印象を受ける。
- ・ 選挙も必ず参加し投票へ行きますが、報告を見て何をしたくて区議をしているのかがよく分からない人が多いです。

■ 防災対策（15件）

- ・ ガラケーユーザーなど時代に遅れた人にも情報が（災害時などに）得られるようにして頂きたい。
- ・ 避難場所があったとしても、遠い場合、近くの会社のビルやマンション（高い）などに解放許可などをあらかじめ得ておいてもらいたい。
- ・ 大型再開発よりも木造密集地域の防災性向上や、内水氾濫対策に力を入れて欲しい。
- ・ 狭い道路が多く、災害時に重大な被害が発生すると予想される。細い道路を広くする等、早急に整備する必要がある。
- ・ 川口市と葛飾区では電柱に荒川が氾濫した時の為に何メートルまで水が来ますと表示してあります。足立区にはそれすらない。

第3章 調査結果の分析〈区取り組み〉

■ 税金（13件）

- ・ 格差、貧困の解消の為、高所得の家から高い税を取って欲しい。
- ・ 足立区はため込み金がたくさんあるのにそのお金を有効に使っていない。トポス跡地に住宅を建てるのに、40億も区民の税金を使うのはおかしい。
- ・ アンケートF9で、エリアデザインというのを初めて知りましたが、うちはエリア外で、恩恵は受けておりません。その分の住民税を返して欲しい。
- ・ 税金はどこへ？働けば働く程、税金が高く、苦しい生活に。きれい事ばかりじゃなく、もっと一般人の事を考えて欲しい。

■ 資源環境・ゴミ対策（11件）

- ・ 資源ゴミの持ち去りがずっと続いています（車と自転車での持ち去り）。子どもたちの通学時間帯はとくに危険だし、車の出し入れの際は迷惑をしているので、これはもっと厳しく罰して欲しい。
- ・ ビューティフル・ウィンドウズで街がきれいになっている。ゴミは戸別回収の方が良い（当番がづらい、運ぶのがづらい）。
- ・ ゴミの出し方が道路や歩道に大きくはみ出して、自転車などで急ぐ人が多くて危ない。
- ・ 近隣のゴミ捨て場にカラスが集まるようになり、ひどいので対策をして欲しい。ゴミ出しのネットだけでは不十分。

■ その他（80件）

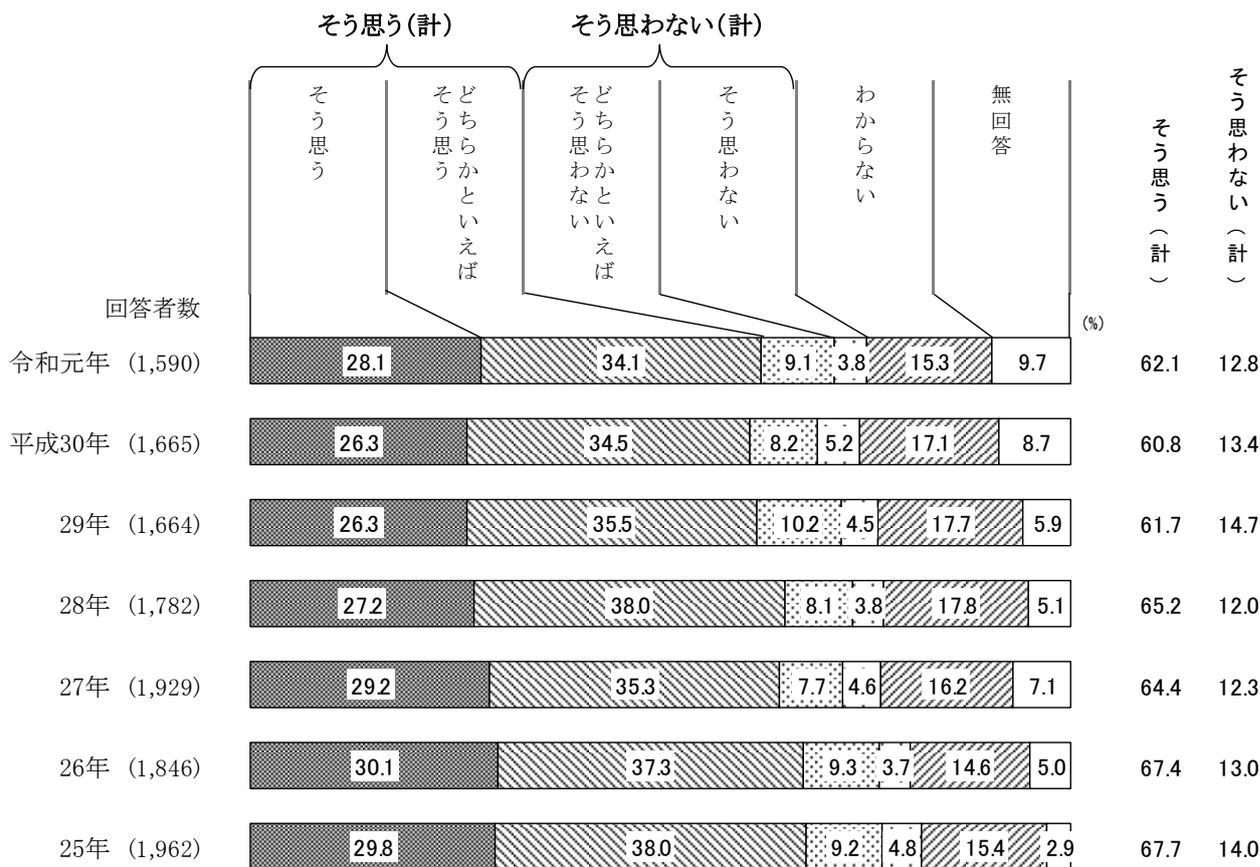
- ・ 長年住んでいて、最近の区政のさまざまな面が良くなり、行政に携わっている方々に感謝している。
- ・ 東京都で一番の住みやすい町にして、人に勧めたい。
- ・ 「足立の花火」のような催し物がもっとたくさんあればいいかなと思う。
- ・ 毎年花火大会の際に、交通の面や会場最寄りの混雑、汚れに迷惑を感じているので、この予算をより良いものに使えないのか、区民のどれほどが必要としているのかという事をつくづく思う。
- ・ 足立区を住みよくするための区の努力に感謝している。犯罪件数減はその成果だと思う。
- ・ 区政に限らず、住民が意見を言う場が無い。
- ・ バリアフリーをもっと使う立場の人の事を考えて作って欲しい。エレベーターの場所は遠くとても大変。

(6) 本調査内容の区民ニーズ・意識把握に対する有効度

■ 本調査を有効な内容だと思う人は6割強

問52 多数の質問にお答えいただき、ありがとうございました。最後におうかがいします。
 今回の質問内容は、区民のニーズや意識を把握するうえで有効な内容だと思いますか
 (〇は1つだけ)。

図11-6-1 経年比較/本調査内容の区民ニーズ・意識把握に対する有効度



本調査の質問内容が、区民ニーズや意識を把握するうえで有効かを聞いたところ、「そう思う」が28.1%で、これに「どちらかといえばそう思う」(34.1%)を合わせた【そう思う】は62.1%となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」は9.1%、「そう思わない」は3.8%で両者を合わせた【そう思わない】は12.8%となっている。

経年でみると、【そう思う】は前回より1.3ポイント増、【そう思わない】前回より0.6ポイント減と、平成30年から大きな変化はみられないものの、平成25年からみると【そう思う】は67.7%から今回62.1%へとやや漸減傾向がみられる。

第3章 調査結果の分析〈区の取り組み〉

性別でみると、【そう思う】は男性61.5%、女性62.9%で大きな性差はみられない。

性・年代別でみると、【そう思う】は、男性では30代、40代、70歳以上の3年代層で6割台半ばとやや高く、女性では20代がほぼ7割で最も高く、60代も7割弱とやや高くなっている。

図11-6-2 性別、性・年代別／本調査内容の区民ニーズ・意識把握に対する有効度

